
武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部
卒業生アンケート調査 結果報告書

2011年3月

武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部
自己評価委員会

■ 調査概要／調査結果の要約	1
----------------	---

第1章. 調査結果

I. 回答者のプロフィール	
1. 卒業年／現在の年齢	19
2. 在籍学科	20
3. 卒業時の居住地／現在の居住地	21
4. 現在の就業状況	22
5. 現在の業種	23
6. 卒業後の進路への満足度	24
7. 卒業後の進路への満足度～新卒者求人倍率・就職率との比較	25
8. 最初の勤務先での勤続年数	26
9. 転職経験の有無	27
II. 仕事に対する意識について	
1. 仕事をする上で重視すること	29
2. 仕事をする上で重視すること～若者の仕事生活実態調査結果との比較	31
III. 本学の教育目標や教育活動について	
1. 立学の精神の認知	33
2. 立学の精神への共感	35
3. 立学の精神の認知と共感	37
4. 立学の精神をふまえた教育活動実践への実感度	38
5. 立学の精神をふまえた教育活動の社会での必要度	40
6. 立学の精神をふまえた教育活動実践への実感度と社会での必要度	42
IV. 本学の教育で得た能力について	
1. 本学で身についた能力	43
2. 本学で身についた能力<カテゴリー別平均スコア値比較>	45
3. 社会生活全般に必要な能力	49
4. 本学で身についた能力と社会生活全般に必要な能力について	52
V. 本学の教育内容に対する在学時の印象について	
1. 在学中の教育内容についての満足度	53
2. 在学中の教育内容について、卒業後の社会生活全般での役立ち度	55
3. 在学中の教育内容についての満足度と卒業後の社会生活全般での役立ち度	57
4. 最も満足していなかった在学中の教育内容	58
5. 最も満足していなかった在学中の教育内容の不満理由	60
6. 学修支援についての評価	62

VI. 在学時の学習や活動について	
1. 学生生活支援についての満足度	65
2. 最も満足していなかった学生生活支援	67
3. 最も満足していなかった学生生活支援の不满理由	69
4. 意欲的な取り組み度	72
5. 本学で身についた能力と意欲的な取り組み度の関係	74
6. 卒業後の社会生活全般での役立ち度	75
7. 意欲的な取り組み度と卒業後の社会生活全般での役立ち度	77
8. 在学中にもっとやればよかったと思うこと	78
VII. 卒業後の本学からの情報提供・支援体制について	
1. 広報物や卒業生向けの活動について～閲覧経験	81
2. 広報物や卒業生向けの活動について～認知	82
3. 本学から支援してほしいと思うもの	83
4. 本学からの支援で最も希望するもの	84
5. 本学から最も希望する支援内容	85
6. 取得を希望する資格・免許	87
7. 卒業生を優遇する制度についての評価	91
8. 卒業生を優遇する制度についての具体例	92
VIII. 本学の満足度について	
1. 本学への入学満足度	97
2. 所属していた学部・学科への満足度	99
3. 学びの成果	101
4. 入学推奨度	103
IX. 本学・在学生への意見	
1. 本学の学生へのメッセージ	105
2. 本学への意見	109

第2章. 大学・短大・全体施策とその効果検証

はじめに	113
1. 実施施策とその効果検証結果まとめ	115
2. 立学の精神の認知度	116
3. 立学の精神をふまえた教育活動実践への実感度	117
4. 本学で身についた能力	118
5. 在学中の教育内容についての満足度	119
6. 学修支援についての評価	122
7. 学生生活支援についての満足度	123

第3章. 入学満足度と学びの成果の要因

入学満足度と学びの成果の要因の分析にあたって	127
1. 本学への入学満足度に影響を与えていること	128
2. 学びの成果に影響を与えていること	130

附属資料

調査票	133
-----------	-----

調査概要／調査結果の要約

1. 調査目的

武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部の「よりよい大学づくり」「魅力ある大学づくり」実現のため、卒業生において本学教育の「何がよかったのか」「今後どのような施策が必要・有効か」を探り、教育内容等の改善策検討・教育目標の見直しに役立てる。
また、今後実施する在学生満足度アンケート調査の結果とも照合し、精度の高い情報を得ることとしている。

2. 調査対象と方法

武庫川学院鳴松会データベースより、大学は平成10年3月～平成21年3月の卒業生、短期大学部は平成8年3月～平成21年3月の卒業生より、各年それぞれ500人を無作為に抽出して郵送にて調査を実施した。

3. 調査対象者数

	発送件数	回収件数	回収率
大学	6,000件	1,694件	28.2%
短期大学部	7,000件	1,364件	19.5%

4. 調査時期

2010年8月10日～2010年9月30日

5. 主調査項目

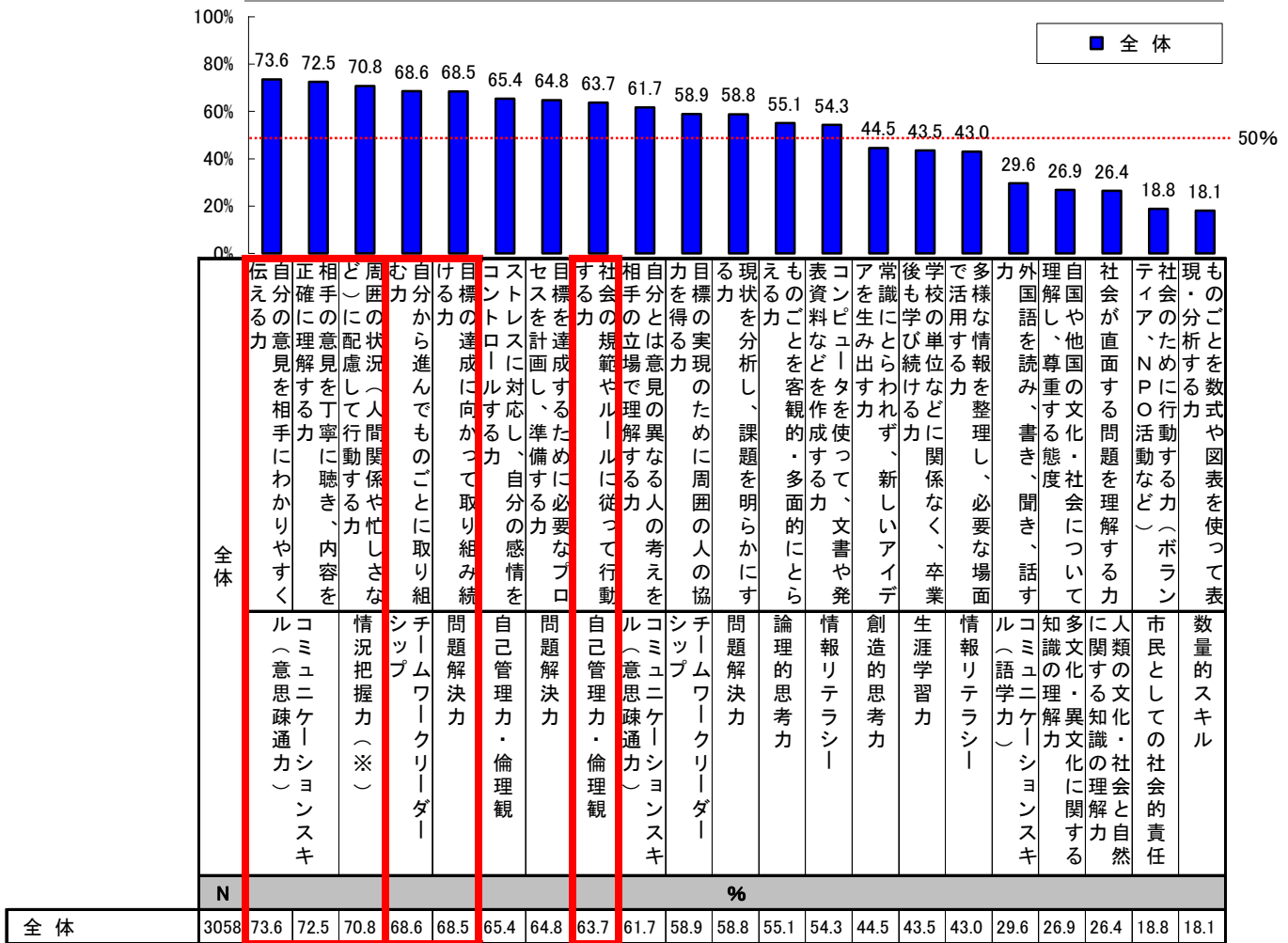
- 仕事に対する意識について
- 本学の教育目標や教育活動について
- 本学の教育によって得た能力について
- 本学の教育内容に対する在学時の印象について
- 在学時の学習や活動について
- 卒業後の本学からの情報提供・支援体制について
- 本学の満足度について
- 本学・在校生への意見

詳細は、巻末の調査票をご覧ください。

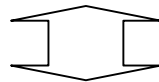
- ◆ 卒業生の半数以上が「必要である」と回答した能力は、「コミュニケーション能力(意思疎通力)」「状況把握力」「チームワークリーダーシップ」「問題解決力」「自己管理力・倫理観」「論理的思考力」「情報リテラシー」に関連する能力である。
- ◆ 特に、「自分の意見を相手にわかりやすく伝える力」や「相手の意見を丁寧に聴き、内容を正確に理解する力」「周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に配慮して行動する力」といった相手とのコミュニケーションを円滑に進める力や、「自分から進んでものごとに取り組む力」や「目標の達成に向かって取り組み続ける力」といった自発的に目標の達成に向けて物事を進める力を卒業生は必要と感じている。
- ◆ 卒業生が特に必要と感じている能力は、立学の精神(教育目標)と重なる部分が多い。しかしながら、立学の精神に関連する項目の認知度(「知っていた」+「多少知っていた」の割合)はいずれも半数以下と低い。立学の精神は社会のニーズに合致しており、立学の精神の認知度を上げることが結果として、卒業生が特に必要と感じている能力を身につけるきっかけになると思われる。

問14 社会生活全般に必要な能力

「必要である」

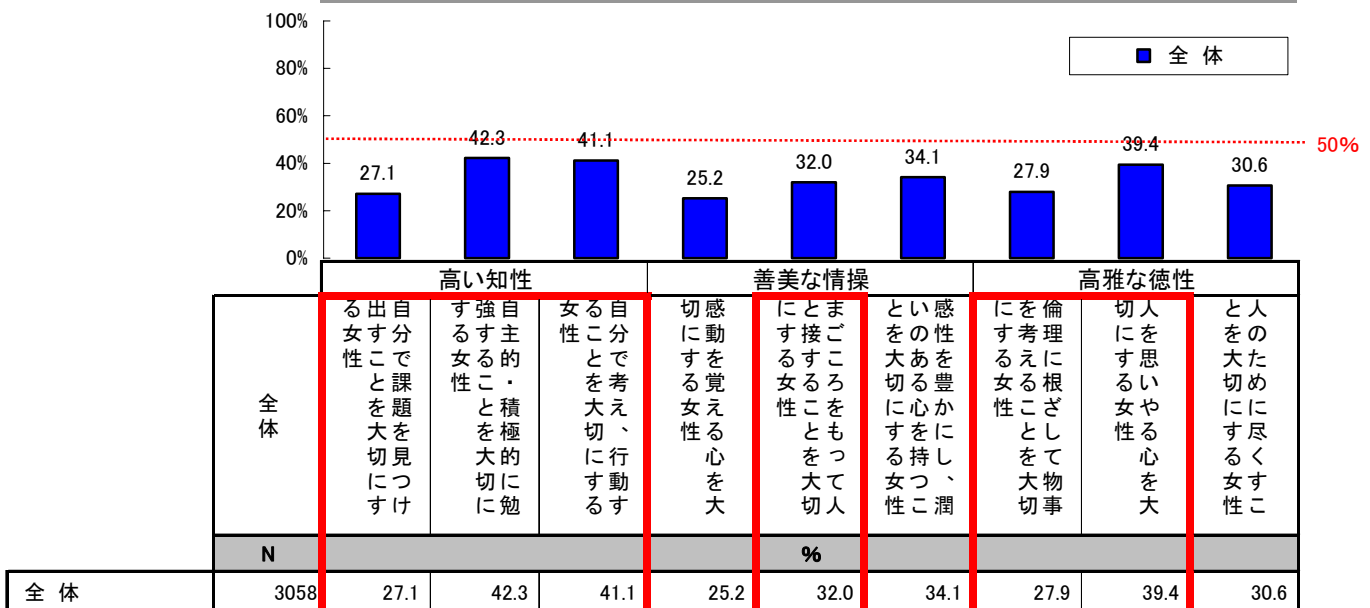


※「周囲の状況（人間関係や忙しさなど）に配慮して行動する力」は経済産業省「社会人基礎力」における状況把握力に準じた選択肢。その他の選択肢は、文部科学省「学士力」に準じた選択肢。



問12 立学の精神の認知度

「知っていた」+「多少知っていた」



調査結果の要約 II. 本学の強みと弱み

1. 更に伸ばしていきたい点、改善が必要な点

本編pp.33-79の要約

①「立学の精神の認知度」「本学で身についた能力」「教育内容の満足度」「学生生活支援の満足度」に関連する項目の中で、評価が高く、本学の特長として更に伸ばしていきたい点を表1としてまとめている。

表1

			更に伸ばしていきたい点	施策の効果検証結果		
				効果がみられる	効果があまりみられない	施策の効果検証未実施
問14A	本学で身についた能力	「身についた」 + 「ある程度身についた」 割合トップ5	・社会の規範やルールに従って行動する力(69.6%)			○
			・目標の達成に向かって取り組み続ける力(64.9%)			○
			・周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に配慮して行動する力(59.2%)			○
			・自分から進んでものごとに取り組む力(56.1%)			○
			・目標の実現のために周囲の人の協力を得る力(53.8%)			○
問15-1A	教育内容の満足度	「満足していた」 + 「どちらかといえば満足していた」 割合トップ3	・専門教育(専門教育科目)(81.2%)			○
			・共通教育(一般教養科目)(66.9%)	○		
			・クラス(学年)担任制(64.0%)	△ 短大のみ		
問17-1	学生生活支援の満足度	「満足していた」 + 「どちらかといえば満足していた」 割合トップ3	・図書館の施設や蔵書の充実(88.1%)	△ 短大のみ		
			・情報処理関係施設や機器の充実(69.1%)	○		
			・実験・実習施設の充実(62.6%)			○

※施策実施前後で効果検証をした項目とその結果を掲載

②「立学の精神の認知度」「本学で身についた能力」「教育内容の満足度」「学生生活支援の満足度」に関連する項目の中で、評価が低いため、改善が必要な点を表2としてまとめている。

表2

			改善が必要な点	施策の効果検証結果		
				効果がみられる	効果があまりみられない	施策の効果検証未実施
問12A	立学の精神の認知度	「知っていた」 + 「多少知っていた」 割合50%以下	・立学の精神に関連する全9項目の認知度(「知っていた」+「多少知っていた」)は20%~40%台に分布しており、いずれの項目も認知者は半数以下。	△ 短大のみ		
問14A	本学で身についた能力	「身についた」 + 「ある程度身についた」 割合ワースト5	・ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力(15.3%)			○
			・外国語を読み、書き、聞き、話す力(16.6%)		○	
			・社会のために行動する力(19.9%)			○
			・常識にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力(25.2%)			○
			・社会が直面する問題を理解する力(25.8%)			○
問15-1A	教育内容の満足度	「満足していた」 + 「どちらかといえば満足していた」 割合ワースト3 (ゼミを除く)	・外国語教育(28.4%)	△ 短大のみ		
			・初期演習(40.7%)	△ 短大のみ		
			・情報教育(49.6%)	○		
問17-1、 問17-2	学生生活支援の満足度	「満足していた」 + 「どちらかといえば満足していた」 割合ワースト3	・クラブ・サークルなど課外活動に対する理解や支援(25.3%)		○	
			・学生生活におけるさまざまな悩みの解決支援(26.4%)	△ 短大のみ		
			・奨学金制度など経済的な支援(27.2%)	○		
			・就職活動に対する支援(9.5%)	○		

※施策実施前後で効果検証をした項目とその結果を掲載

③「立学の精神の認知度」「本学で身についた能力」「教育内容の満足度」「学生生活支援の満足度」に関連する項目の中で、必要度ないし役立ち度は高いが、評価との乖離が大きいため改善が必要と思われる点を表3としてまとめている。

表3

			改善が必要な点	施策の効果検証結果		
				効果がみられる	効果があまりみられない	施策の効果検証未実施
問14	本学で身についた能力	「必要度」に対して「身についた度」に乖離がある項目	・自分の意見を相手にわかりやすく伝える力			○
			・ストレスに対応し、自分の感情をコントロールする力			○
			・現状を分析し、課題を明らかにする力			○
			・常識にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力			○
問15-1	教育内容の満足度	「役立ち度」に対して「満足度」に乖離がある項目	・情報教育	○		

※施策実施前後で効果検証をした項目とその結果を掲載

2. 実施施策とその効果検証結果

本編pp.113-126の要約

			施策の効果検証結果			
			大学・短大ともに効果がみられる	大学のみ効果がみられる	短大のみ効果がみられる	大学・短大ともに効果があまりみられない
問12A	立学の精神の認知度	・立学の精神の認知度			○	
問13A	教育活動の実感度	・各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている	○			
		・実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する	○			
問14A	本学で身についた能力	・外国語を読み、書き、話す力				○
		・コンピュータを使って、文章や発表資料などを作成する力	○			
問15-1A	教育内容の満足度	・共通教育(一般教養科目)	○			
		・情報教育	○			
		・クラス(学年)担任制			○	
		・初期演習			○	
		・外国語教育			○	
問16	学修支援の評価	・履修方法についてのガイダンスが充実していた	○			
		・適切な成績評価がなされていた				○
問17-1	学生生活支援の満足度	・学生生活におけるさまざまな悩みの解決支援			○	
		・健康管理体制の充実	○			
		・奨学金制度などの経済的な支援	○			
		・留学や語学研修への支援	○			
		・クラブ・サークルなど課外活動に対する理解や支援				○
		・就職活動に対する支援	○			
		・図書館の施設や蔵書の充実			○	
・情報処理関係施設や機器の充実	○					

※施策実施前後で効果検証をした項目とその結果を掲載

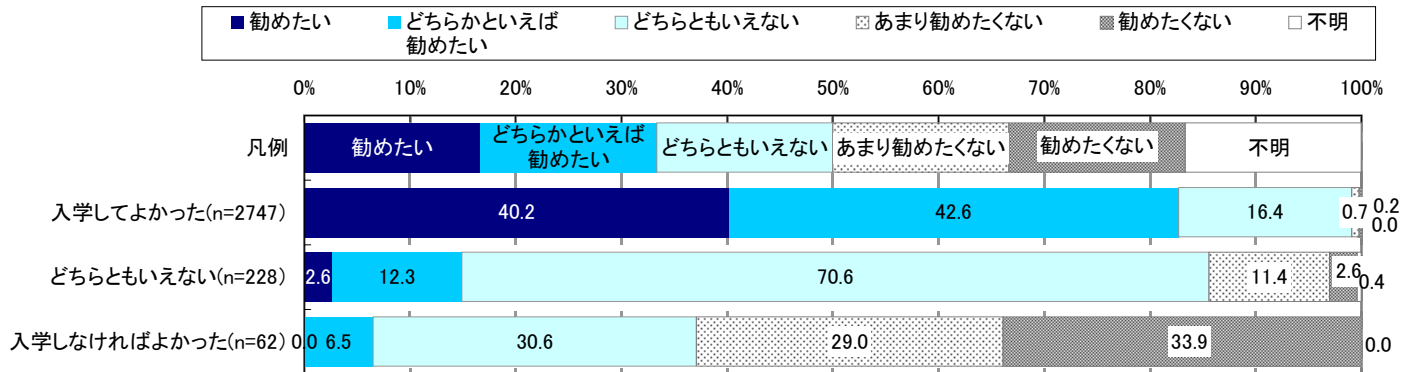
調査結果の要約 Ⅲ. 入学満足度を上げるために必要な取り組み

1. 入学満足度と入学推奨度の関係

本編pp.97-112の要約

- ◆ 入学満足度別に入学推奨度をみると、入学満足度が高いほど、入学推奨度も高い傾向がみられることから、入学満足度を上げることが、入学推奨度を上げることにもつながると考えられる。

問26 入学推奨度



2. 入学満足度に影響を与えている項目

本編pp.127-131の要約

- ◆ 入学満足度との相関係数をみると、大学は、「教育内容の満足度」や「本学で身についた能力」に関連する項目が上位を占める。また、特に相関がみられる項目として、「専門教育(専門教育科目)」の満足度や「クラス(学年)担任制」の満足度が挙げられる。短大も大学とほぼ同様の傾向であるが、短大の特徴として、「本学で身についた能力」よりも「教育内容の役立ち度」に関連する項目が上位を占める。
- ◆ 入学満足度別のクロス集計結果に大きな差がみられる項目として、「専門教育(専門教育科目)」「クラス(学年)担任制」「資格取得、試験対策」といった教育内容の満足度や、「就職活動への支援」「卒業後の進路」といったキャリア支援や就職への満足度が挙げられる。その他、「交友関係を広げること」に意欲的に取り組んだか否かが挙げられる。大学/短大別でみてもほぼ同様の傾向であるが、大学の特徴として、「ゼミ」、「初期演習」といった教育内容の満足度や、「情報処理関係施設や機器の充実」「実験・実習施設の充実」といった学生生活支援の満足度、短大の特徴として、「共通教育(一般教養科目)」、「特別学期(特別教育科目)」といった教育内容の満足度でも大きな差がみられる。(短大では「ゼミ」がほとんどないため、短大における「ゼミ」の言及は省略)

【入学満足度を高めるために】

入学満足度(「入学してよかった」+「どちらかといえば入学してよかった」割合)は約9割と非常に高いが、更に入学満足度を高めるためには下記のような対応が必要と思われる。

- ◆ 入学満足度との相関がみられる項目については、定期的に評価を確認しながら、継続的な改善を行う。
- ◆ 下記のような傾向がみられた場合には、不満につながりやすいため、早めのケアを実施することで、不満につながる芽を摘むことが必要と思われる。

- (例)
- ・専門教育に対する意欲低下
 - ・専門教育に対する授業評価結果の低下
 - ・学生とクラス担任とのコミュニケーション不足
 - ・キャリアセンターの利用率、ガイダンスへの参加率の低下
 - ・学生同士、学生と教員等との交流機会の減少

①相関係数からみた入学満足度との相関があると思われる項目

			大学	短大
問13A	教育活動の実感度	・個性を大切にしたいきめ細かな指導	0.36	0.34
		・ニーズに応じて選べる学びのステージが豊富	0.32	0.30
		・女性の自立や特性を活かした教育	—	0.30
問14A	本学で身についた能力	・目標の達成に向かって取り組み続ける力	0.36	0.32
		・目標実現のために周囲の協力を得る力	0.34	—
		・自分から進んでものごとに取り組む力	0.33	—
		・目標達成に必要なプロセスの計画・準備	0.31	—
		・物事を客観的・多面的にとらえる力	0.30	—
問15-1A	教育内容の満足度	・専門教育(専門教育科目)	0.43	0.46
		・クラス(学年)担任制	0.38	0.39
		・資格取得、試験対策	0.36	0.37
		・初期演習	0.33	0.32
		・共通教育(一般教養科目)	—	0.37
		・特別学期(特別教育科目)	—	0.30
問15-1B	教育内容の役立ち度	・専門教育(専門教育科目)	0.35	0.36
		・クラス(学年)担任制	0.33	0.36
		・資格取得、試験対策	—	0.32
		・共通教育(一般教養科目)	—	0.32
		・特別学期(特別教育科目)	—	0.31
		・初期演習	—	0.31
問16	学修支援の評価	・在学中の成長が分かるようになっていた	0.33	0.38
		・各授業の役割が分かるようになっていた	—	0.32
		・各授業の到達目標が明確に提示されていた	—	0.30
		・履修方法のガイダンスが充実していた	—	0.30
問17-1	学生生活支援の満足度	・就職活動に対する支援	0.35	0.33
		・学生生活における様々な悩みの解決支援	0.31	0.31
問18-1A	在学中の活動意欲度	・交友関係を広げること	—	0.30
問18-1B	在学中の活動の社会での役立ち度	・交友関係を広げること	0.32	0.35
		・専門的な知識の習得	—	0.32

※入学満足度との相関係数が0.3以上の項目をカテゴリー別に抽出
 ※表中の数値は相関係数、—は相関係数が0.29以下

②入学満足度別のクロス集計結果に大きな差がみられる項目

		問8	問15-1A							問17-1			問18-1A
		卒業後の進路への満足度	教育内容の満足度							学生生活支援の満足度			在学中の活動意欲度
		卒業後の進路への満足度	専門教育(専門教育科目)	共通教育(一般教養科目)	特別学期(特別教育科目)	ゼミ	クラス(学年)担任制	初期演習	資格取得、試験対策	情報処理関係施設や機器の充実	実験・実習施設の充実	就職活動に対する支援	交友関係を広げること
大学	① 入学してよかった	61.1	85.3	68.6	56.5	67.5	68.3	43.5	65.2	73.9	66.3	56.9	65.8
	② どちらともいえない	31.8	58.3	47.7	33.3	38.6	28.8	15.9	32.6	43.9	46.2	21.2	29.5
	③ 入学しなければよかった	25.8	29.0	35.5	35.5	22.6	19.4	6.5	19.4	35.5	29.0	19.4	29.0
	①-③の差	35.3	56.3	33.1	21.0	44.9	48.9	37.0	45.8	38.4	37.3	37.5	36.8
短大	① 入学してよかった	57.2	84.3	71.9	57.9	7.9	67.4	43.4	55.6	69.7	63.8	64.7	68.3
	② どちらともいえない	35.4	51.0	32.3	28.1	0.0	31.3	12.5	15.6	43.8	38.5	31.3	28.1
	③ 入学しなければよかった	22.6	16.1	25.8	22.6	0.0	32.3	19.4	9.7	48.4	32.3	19.4	25.8
	①-③の差	34.6	68.2	46.1	35.3	7.9	35.1	24.0	45.9	21.3	31.5	45.3	42.5

※大学/短大のいずれかにおいて、「入学満足者」と「入学不満足者」の回答結果の差が35ポイント以上の項目を抽出

- ◆ 大学にとって、卒業生は、「大学の情報を伝えるメディア」、「大学院入学等によるリピーター予備軍」、「産学連携や地域連携における社会との窓口」、「寄附や学生支援を通じた協力者」などいくつかの側面を持つ。母校に愛着を感じれば、地域や職場でその魅力を語り、わが子に受験を勧め、機会があれば自分も再び母校で学ぼうと考えると思われる。したがって、多様な側面を持つ大学の財産である卒業生へのフォローを行い、卒業生との関係を強化することは重要な施策である。

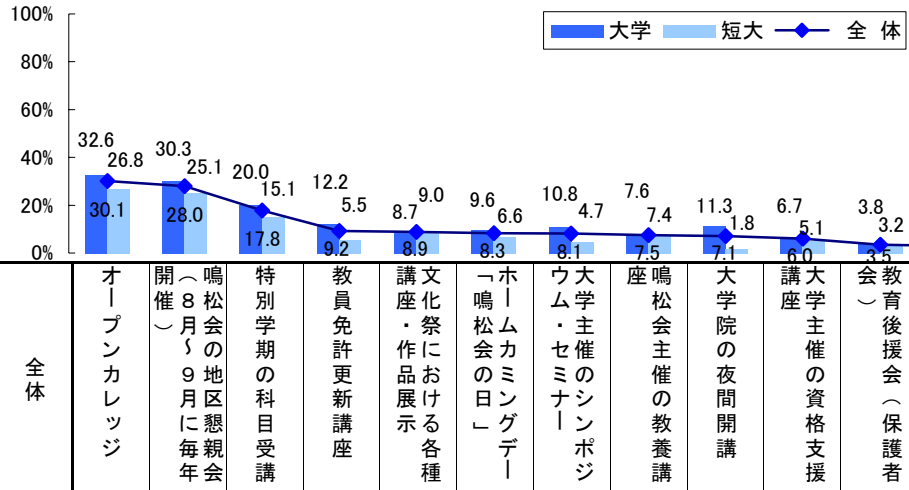
【卒業生向け広報物について】

- ◆ 「鳴松会報」は7割強、「リビエール」は5割弱、「武庫川学院ホームページ」は4割強の卒業生が卒業後、見たことがある・読んだことがあると回答している。
- ◆ 卒業後の年数が短いほど「鳴松会報」の認知度は低い。インターネット等を積極的に活用することで、卒業後の年数が短い卒業生にも認知してもらえるような仕掛け作りが求められている。

【卒業生向け支援内容について】

- ◆ 「卒業生向け活動の認知度」をみると、最も知られている「オープンカレッジ」でも約3割と全体的に認知度は低い傾向にあるが、卒業生の約9割は本学からの何らかの支援を希望している。
- ◆ 「卒業生向け活動の認知度」は卒業後の年数が短いほど低い傾向にある。
- ◆ 支援を希望するもののトップ5は「大学施設の利用」(56.4%)、「離職した時の再就職支援」(47.3%)、「資格・免許取得の支援」(46.6%)、「現在の職業や取得した資格に関係する専門知識を深めるための支援」(31.7%)、「生涯学習のための支援」(31.2%)であり、「大学施設の利用」や「キャリア支援」に関連する項目が上位を占める。
- ◆ 支援を希望するものを卒業年別でも「大学施設の利用」が最も高い傾向にあるが、卒業年別にみた場合の顕著な傾向として、卒業後の年数が短い卒業生では「離職したときの再就職支援」、卒業後の年数が長い卒業生では「生涯学習(教養を深める)のための支援」が高くなる等、卒業年別で支援を希望する内容に違いもみられるため、対象者に合った施策の検討が必要と思われる。
- ◆ 自由記述では、具体的な支援の要望に加え、支援に関する案内などの「情報提供」に対する要望についての記述が多くみられた。特に、インターネット(ホームページやメール)、ダイレクトメールによる情報提供が求められている。支援制度作りの際には、それをいかに卒業生に発信していくかもあわせて検討する必要がある。

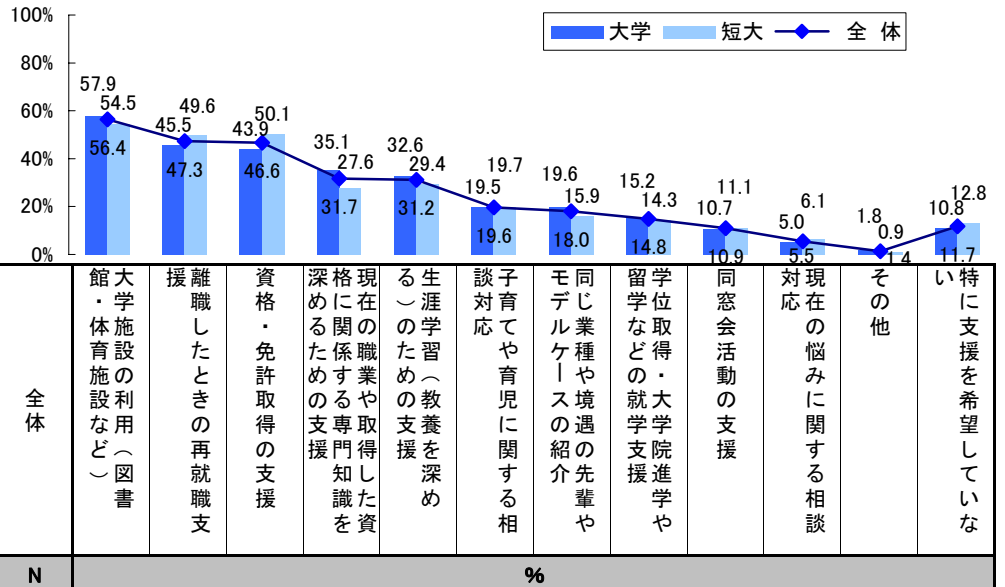
問19-2 卒業生向け活動の認知度



	N	%											
全体	3058	30.1	28.0	17.8	9.2	8.9	8.3	8.1	7.5	7.1	6.0	3.5	2.9
区分													
大学	1694	32.6	30.3	20.0	12.2	8.7	9.6	10.8	7.6	11.3	6.7	3.8	3.8
短大	1364	26.8	25.1	15.1	5.5	9.0	6.6	4.7	7.4	1.8	5.1	3.2	1.8
卒業年別													
大学:98~99年卒業	275	47.6	46.2	13.8	14.9	9.8	12.0	10.9	10.9	13.5	3.6	2.9	3.3
大学:00~04年卒業	720	35.1	33.6	20.6	7.4	7.1	11.3	11.5	6.5	13.3	5.7	2.9	3.5
大学:05~09年卒業	664	23.5	20.2	22.4	16.4	9.9	7.1	10.4	7.2	8.6	9.2	5.1	4.7
短大:96~99年卒業	396	35.1	37.1	11.4	3.0	6.6	8.6	3.0	8.8	1.8	3.0	1.0	1.8
短大:00~04年卒業	476	25.8	22.7	13.2	3.8	7.1	6.7	4.2	6.1	1.3	4.6	2.5	1.5
短大:05~09年卒業	468	21.4	18.2	20.3	9.4	13.0	5.1	6.4	7.1	2.4	7.3	5.6	2.1

■:全体より10ポイント以上高い □:全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

問20-1 本学から支援してほしいと思うもの



	N	%											
全体	3058	56.4	47.3	46.6	31.7	31.2	19.6	18.0	14.8	10.9	5.5	1.4	11.7
区分													
大学	1694	57.9	45.5	43.9	35.1	32.6	19.5	19.6	15.2	10.7	5.0	1.8	10.8
短大	1364	54.5	49.6	50.1	27.6	29.4	19.7	15.9	14.3	11.1	6.1	0.9	12.8
卒業年別													
大学:98~99年卒業	275	53.8	35.3	41.1	34.5	33.8	16.0	18.2	12.7	8.7	2.9	1.5	13.8
大学:00~04年卒業	720	58.1	42.5	42.9	35.8	36.3	19.4	18.6	14.2	10.7	4.0	1.7	11.8
大学:05~09年卒業	664	59.8	53.8	45.8	34.9	27.9	21.1	21.4	17.5	11.7	6.5	2.1	8.4
短大:96~99年卒業	396	54.3	37.9	45.7	24.2	37.4	17.9	11.1	12.6	10.6	3.3	0.5	14.9
短大:00~04年卒業	476	50.8	48.7	51.1	29.0	28.8	19.5	14.5	13.4	9.0	5.9	1.5	14.1
短大:05~09年卒業	468	59.4	61.3	53.0	28.6	22.6	21.4	21.2	16.9	14.1	9.0	0.6	8.8

■:全体より10ポイント以上高い □:全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

下記は、本編で学科別の分析コメントを掲載した、「教育活動の実感度」「教育内容の満足度」「学修支援の評価」「本学への入学満足度」「所属していた学部・学科への満足度」「学びの成果」の調査結果を利用して、全体と比較した場合の学科別の特徴をまとめている。

※ピックアップした項目は、それぞれ下記の割合に関して、全体数値との差異を基準に掲載している。

問13A.教育活動の実感度 ……………「実感していた」+「どちらかといえば実感していた」割合

問15-1A.教育内容の満足度 ……………「満足していた」+「どちらかといえば満足していた」割合

短大では「ゼミ」はほとんどないため、短大における「ゼミ」についての言及は省略

大学における「ゼミ」については、大学全体数値との差異を基準に掲載

問16.学修支援の評価 ……………「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」割合

問23.本学への入学満足度 ……………「入学してよかった」割合

問24.所属していた学部・学科への満足度 ……………「満足している」割合

問25.学びの成果 ……………「そう思う」割合

1. 大学

■日本語日本文学科/国文学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度			・実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している	
問15-1A	教育内容の満足度		・共通教育(一般教養科目)	・クラス(学年)担任制	
問16	学修支援の評価			・授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた ・それぞれの授業科目における到達目標が明確に提示されていた ・本学での修学によって、どのように成長できるかが理解できた ・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった	
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度			・所属していた学部・学科への満足度	
問25	学びの成果			・学びの成果	

■英語文化学科/英米文学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度				
問15-1A	教育内容の満足度	・外国語教育		・資格取得、試験対策	
問16	学修支援の評価	・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった			
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度				
問25	学びの成果				

■教育学科／教育学科初等教育専攻

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度		<ul style="list-style-type: none"> ・実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している ・ニーズに応じて選べる学びのステージを豊富に用意している ・実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する ・女性の自立や特性を活かした教育が行われている ・各学生の個性を大切にしながらきめ細かな指導をしている 		
問15-1A	教育内容の満足度	・資格取得、試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育 ・ゼミ 		
問16	学修支援の評価		<ul style="list-style-type: none"> ・履修方法についてのガイダンスが充実していた ・授業科目が、学びや資格取得で担う役割が理解できた 	・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった	
問23	本学への入学満足度		・本学への入学満足度		
問24	所属していた学部・学科への満足度	・所属していた学部・学科への満足度			
問25	学びの成果		・学びの成果		

■健康・スポーツ科学科/教育学科体育専攻/教育学科健康・スポーツ専攻

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度				
問15-1A	教育内容の満足度			<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育(一般教養科目) ・外国語教育 	
問16	学修支援の評価			・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった	
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度		・所属していた学部・学科への満足度		
問25	学びの成果		・学びの成果		

■心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度		<ul style="list-style-type: none"> ・実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する 		
問15-1A	教育内容の満足度		<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育 ・ゼミ 	・資格取得、試験対策	
問16	学修支援の評価			<ul style="list-style-type: none"> ・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった ・高校での学習と大学での学習とのつながりが理解できた 	
問23	本学への入学満足度			・本学への入学満足度	
問24	所属していた学部・学科への満足度			・所属していた学部・学科への満足度	
問25	学びの成果				

■生活環境学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度		・文理を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している	・実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する	
問15-1A	教育内容の満足度			・情報教育 ・ゼミ ・クラス(学年)担任制 ・外国語教育 ・資格取得、試験対策	
問16	学修支援の評価				
問23	本学への入学満足度			・本学への入学満足度	
問24	所属していた学部・学科への満足度			・所属していた学部・学科への満足度	
問25	学びの成果				

■食物栄養学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度		・実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している		
問15-1A	教育内容の満足度		・資格取得、試験対策	・ゼミ ・外国語教育	
問16	学修支援の評価				
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度				
問25	学びの成果				

■情報メディア学科/生活情報学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度	・実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する		・実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している	
問15-1A	教育内容の満足度	・情報教育		・資格取得、試験対策	
問16	学修支援の評価			・授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた ・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった	
問23	本学への入学満足度			・本学への入学満足度	
問24	所属していた学部・学科への満足度			・所属していた学部・学科への満足度	
問25	学びの成果				

■ 声楽学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度	・各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている	・ニーズに応じて選べる学びのステージを豊富に用意している		
問15-1A	教育内容の満足度			・共通教育(一般教養科目) ・特別学期(特別教育科目) ・初期演習	・情報教育 ・ゼミ
問16	学修支援の評価		・授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた ・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった		
問23	本学への入学満足度		・本学への入学満足度		
問24	所属していた学部・学科への満足度				
問25	学びの成果				

※声楽学科はサンプル数が少ないため参考値

■ 器楽学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度	・各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている		・実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する	
問15-1A	教育内容の満足度		・共通教育(一般教養科目) ・特別学期(特別教育科目) ・初期演習	・情報教育	・ゼミ
問16	学修支援の評価	・適切な成績評価がなされていた ・本学での修学によって、どのように成長できるかが理解できた ・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった	・授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた ・それぞれの授業科目における到達目標が明確に提示されていた ・高校での学習と大学での学習とのつながりが理解できた		
問23	本学への入学満足度		・本学への入学満足度		
問24	所属していた学部・学科への満足度	・所属していた学部・学科への満足度			
問25	学びの成果				

※器楽学科はサンプル数が少ないため参考値

■薬学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度			<ul style="list-style-type: none"> ・文理を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している ・ニーズに応じて選べる学びのステージを豊富に用意している ・実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する 	
問15-1A	教育内容の満足度	・資格取得、試験対策		<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育(一般教養科目) ・特別学期(特別教育科目) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育 ・ゼミ
問16	学修支援の評価		<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた ・それぞれの授業科目における到達目標が明確に提示されていた ・本学での修学によって、どのように成長できるかが理解できた ・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった ・高校での学習と大学での学習とのつながりが理解できた 		
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度		・所属していた学部・学科への満足度		
問25	学びの成果				

■生物薬学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度			<ul style="list-style-type: none"> ・文理を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している ・実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じて選べる学びのステージを豊富に用意している
問15-1A	教育内容の満足度	・資格取得、試験対策	・専門教育(専門教育科目)	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育(一般教養科目) ・特別学期(特別教育科目) 	・情報教育
問16	学修支援の評価		<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた ・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった ・高校での学習と大学での学習とのつながりが理解できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・履修方法についてのガイダンスが充実していた 	
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度		・所属していた学部・学科への満足度		
問25	学びの成果		・学びの成果		

2. 短大

■日本語文化学科／国文学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度				・実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している
問15-1A	教育内容の満足度			・専門教育(専門教育科目) ・外国語教育 ・資格取得、試験対策	
問16	学修支援の評価				・授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度			・所属していた学部・学科への満足度	
問25	学びの成果			・学びの成果	

■英語コミュニケーション学科／英語学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度				
問15-1A	教育内容の満足度	・外国語教育			・資格取得、試験対策
問16	学修支援の評価	・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった		・授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた	
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度				
問25	学びの成果				

■幼児教育学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度		・実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している		
問15-1A	教育内容の満足度		・資格取得、試験対策		
問16	学修支援の評価	・授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた			
問23	本学への入学満足度		・本学への入学満足度		
問24	所属していた学部・学科への満足度		・所属していた学部・学科への満足度		
問25	学びの成果				

■人間関係学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度	・実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する	・文理を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している		
問15-1A	教育内容の満足度	・情報教育			
問16	学修支援の評価			・予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった	
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度			・所属していた学部・学科への満足度	
問25	学びの成果				

■健康・スポーツ学科／体育学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度				
問15-1A	教育内容の満足度			・外国語教育	
問16	学修支援の評価				
問23	本学への入学満足度		・本学への入学満足度		
問24	所属していた学部・学科への満足度				
問25	学びの成果		・学びの成果		

■食生活学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度				
問15-1A	教育内容の満足度			・外国語教育	
問16	学修支援の評価				
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度				
問25	学びの成果				

■生活造形学科

		全体+20ポイント以上	全体+10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-10ポイント以上 (20ポイント未満)	全体-20ポイント以上
問13A	教育活動の実感度			・実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する	
問15-1A	教育内容の満足度			・情報教育 ・外国語教育 ・資格取得、試験対策	
問16	学修支援の評価				
問23	本学への入学満足度				
問24	所属していた学部・学科への満足度			・所属していた学部・学科への満足度	
問25	学びの成果			・学びの成果	


■第1章■


調査結果

本報告書の表記は、特にことわりのない限り、以下の通りである。

■ コメント・数表・グラフ中の数値は%

■ 数表中の網掛けは、

 : 全体より10ポイント以上高い

 : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

I. 回答者のプロフィール

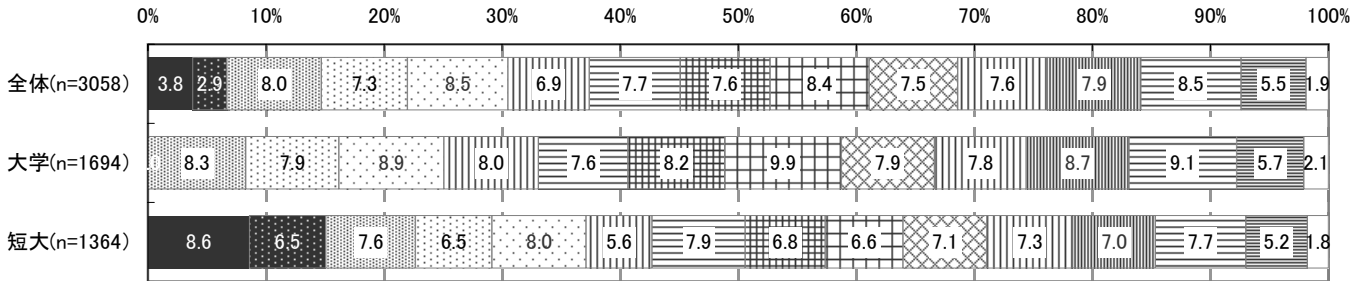
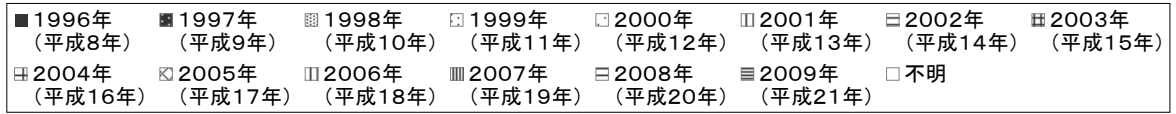
I. 回答者のプロフィール

1. 卒業年／現在の年齢

問1.あなたが本学を卒業された年ではまる番号1つに○をつけてください。

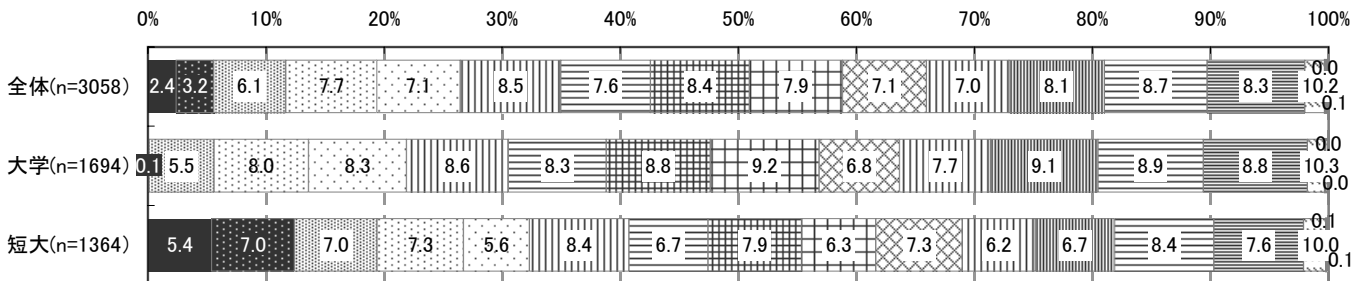
問3.あなたの年齢に○をつけてください。(2010年4月1日現在)

■ 卒業年



	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	不明	
全体	3058	3.8	2.9	8.0	7.3	8.5	6.9	7.7	7.6	8.4	7.5	7.6	7.9	8.5	5.5	1.9
大学	1694	0.0	0.0	8.3	7.9	8.9	8.0	7.6	8.2	9.9	7.9	7.8	8.7	9.1	5.7	2.1
短大	1364	8.6	6.5	7.6	6.5	8.0	5.6	7.9	6.8	6.6	7.1	7.3	7.0	7.7	5.2	1.8

■ 現在の年齢



	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	その他	不明	
全体	3058	2.4	3.2	6.1	7.7	7.1	8.5	7.6	8.4	7.9	7.1	7.0	8.1	8.7	8.3	1.7	0.2	0.0	0.1
大学	1694	0.0	0.1	5.5	8.0	8.3	8.6	8.3	8.8	9.2	6.8	7.7	9.1	8.9	8.8	1.5	0.3	0.0	0.0
短大	1364	5.4	7.0	7.0	7.3	5.6	8.4	6.7	7.9	6.3	7.3	6.2	6.7	8.4	7.6	1.9	0.0	0.1	0.1

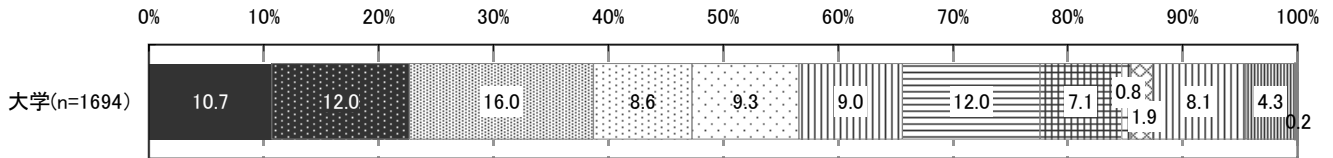
I. 回答者のプロフィール

2. 在籍学科

問2.あなたが在籍されていた学部・学科であてはまる番号に○をつけてください。

■在籍学科【大学】

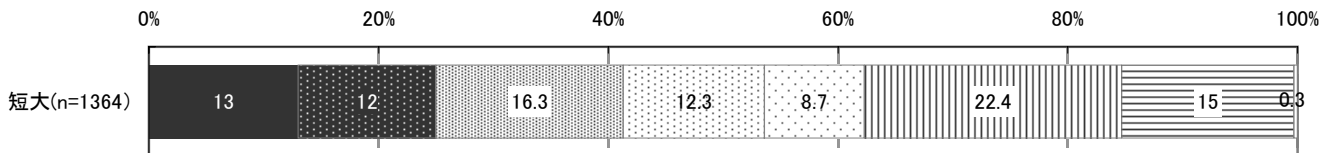
- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ■ 日本語日本文学科／国文学科 | ■ 英語文化学科／英米文学科 |
| ▨ 教育学科／教育学科：初等教育専攻 | ▨ 健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻 |
| □ 心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科 | □ 生活環境学科 |
| ▨ 食物栄養学科 | ▨ 情報メディア学科／生活情報学科 |
| ▨ 声楽学科 | ▨ 器楽学科 |
| ▨ 薬学科 | ▨ 生物薬学科 |
| □ 不明 | |



		大学												
全体	日本語日本文学科／国文学科	英語文化学科／英米文学科	教育学科：初等教育専攻	健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻	心理・社会福祉学科／人間関係学科	生活環境学科	食物栄養学科	情報メディア学科／生活情報学科	声楽学科	器楽学科	薬学科	生物薬学科	不明	
N														
大学	1694	10.7	12.0	16.0	8.6	9.3	9.0	12.0	7.1	0.8	1.9	8.1	4.3	0.2

■在籍学科【短大】

- | | | |
|----------------|----------------------|----------|
| ■ 日本語文化学科／国文学科 | ■ 英語コミュニケーション学科／英語学科 | ▨ 幼児教育学科 |
| ▨ 人間関係学科 | ▨ 健康・スポーツ学科／体育学科 | ▨ 食生活学科 |
| ▨ 生活造形学科 | □ 不明 | |



		短大							
全体	日本語文化学科／国文学科	英語コミュニケーション学科	幼児教育学科	人間関係学科	健康・スポーツ学科	食生活学科	生活造形学科	不明	
N	%								
短大	1364	13.0	12.0	16.3	12.3	8.7	22.4	15.0	0.3

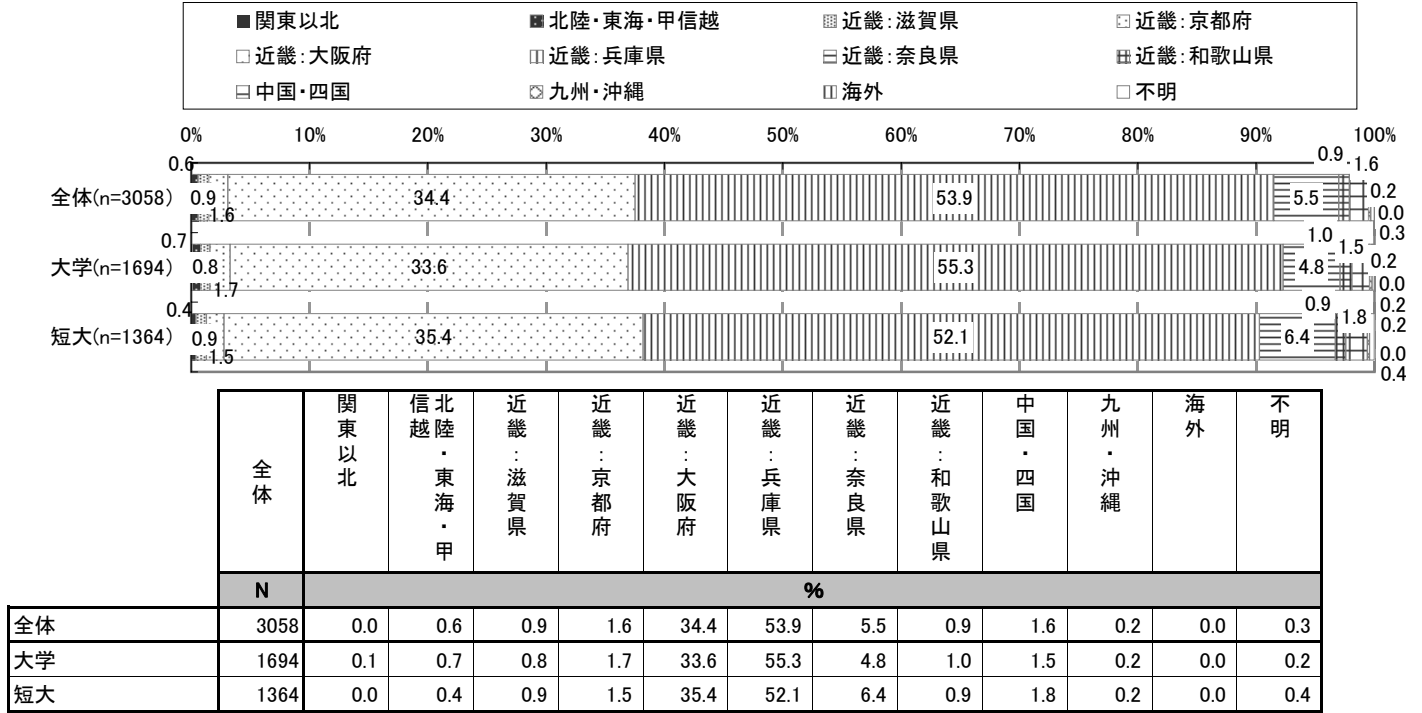
I. 回答者のプロフィール

3. 卒業時の居住地／現在の居住地

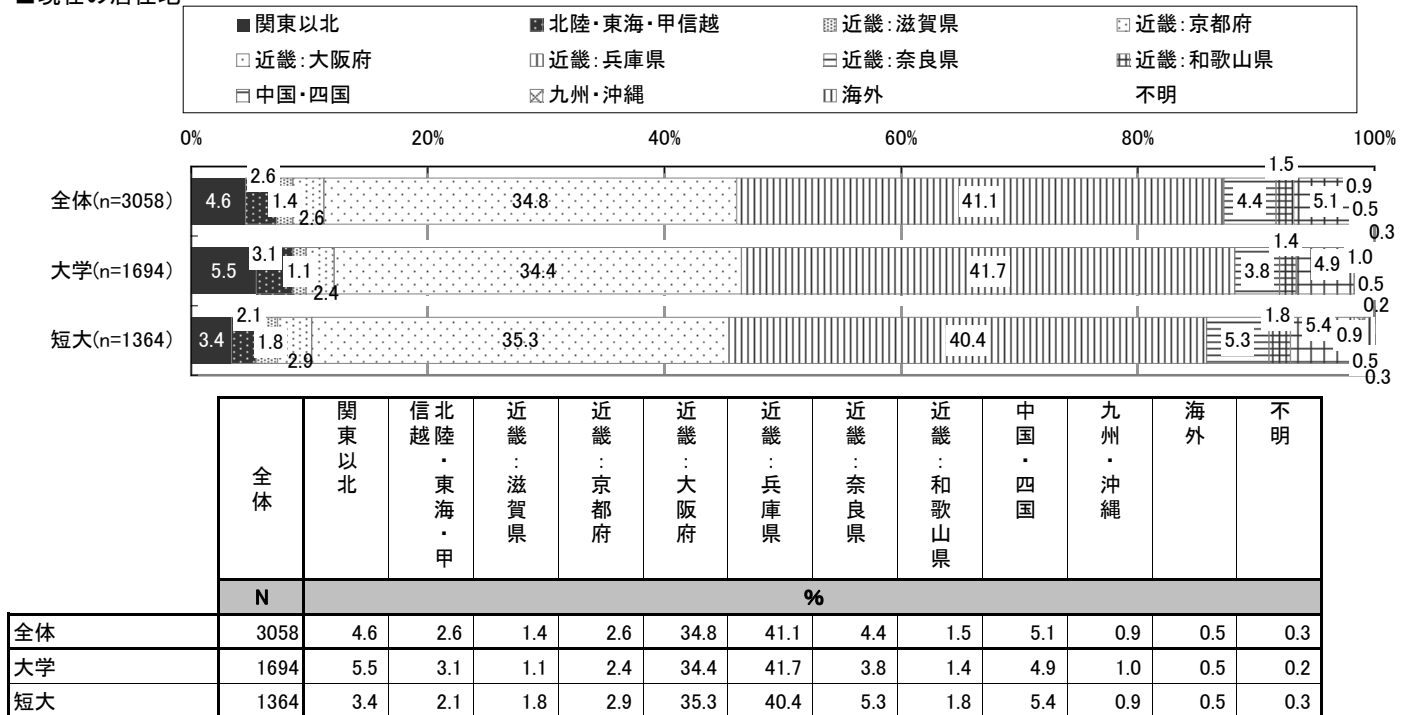
問4.あなたの卒業時の居住地(都道府県名)を記入してください。／問5.あなたの現在の居住地(都道府県名)を記入してください。

- ◆ 卒業時の居住地は、「兵庫県」が53.9%と過半数を占め、次いで「大阪府」が多く34.4%を占める。
この他では「奈良県」が比較的多く5.5%。
近畿で97.2%とほぼ全てを占め、他の地域はほとんど見られない。
- ◆ 現在の居住地も卒業時の居住地とほとんど変わらず、「兵庫県」が41.1%と大半を占め、次いで「大阪府」が多く34.8%を占める。
近畿で85.8%と9割近くを占め、卒業生の多くが近畿地方に在住している。
この他では「中国・四国」「関東以北」が比較的多く各4～6%程度。

■ 卒業時の居住地



■ 現在の居住地

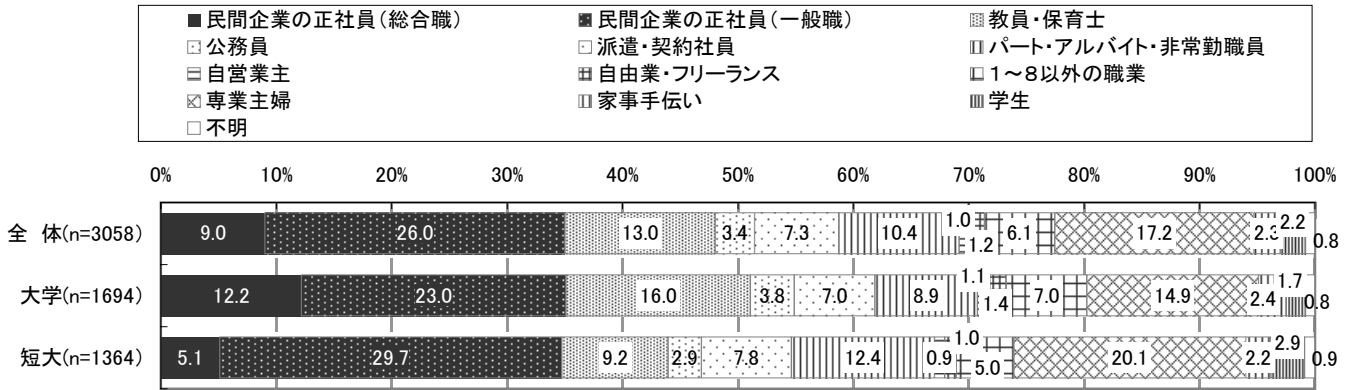


I. 回答者のプロフィール

4. 現在の就業状況

問5.あなたの現在の就業状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ◆ 現在の職種で、最も多いのは「民間企業の正社員（一般職）」で26.0%。次いで多いのは「専業主婦」で17.2%を占めている。他に比較的多いのは「教員・保育士」「パート・アルバイト・非常勤職員」「民間企業の正社員（総合職）」「派遣・契約社員」など。
- ◆ 大学／短大別では、大学では「民間企業の正社員（総合職）」や「教員・保育士」などが多めで、「専業主婦」は比較的少なめ。一方短大では、「民間企業の正社員（一般職）」「専業主婦」が多く、「民間企業の正社員（総合職）」「教員・保育士」は少なめ。
- ◆ 卒業年別では、大学・短大とも99年以前の卒業生は「専業主婦」の割合が3割前後と多く、05年以降は5～6%程度にとどまっている。
- ◆ 学科別では、大学の情報メディア学科／生活情報学科で「民間企業の正社員（総合職）」の割合が高いことが特徴。また、大学の教育学科／教育学科：初等教育専攻や短大の幼児教育学科では「教員・保育士」の割合が5割以上となっている。



	N	%													
		民間企業の正社員(総合職)	民間企業の正社員(一般職)	教員・保育士	公務員	派遣・契約社員	パート・アルバイト・非常勤職員	自営業主	自由業・フリーランス	1～8以外の職業	専業主婦	家事手伝い	学生	不明	
全体	3058	9.0	26.0	13.0	3.4	7.3	10.4	1.0	1.2	6.1	17.2	2.3	2.2	0.8	
区分	大学	1694	12.2	23.0	16.0	3.8	7.0	8.9	1.1	1.4	7.0	14.9	2.4	1.7	0.8
	短大	1364	5.1	29.7	9.2	2.9	7.8	12.4	0.9	1.0	5.0	20.1	2.2	2.9	0.9
卒業年別	大学：98～99年卒業	275	7.3	17.1	12.4	2.2	8.4	10.9	1.1	2.5	5.8	28.4	2.2	0.7	1.1
	大学：00～04年卒業	720	11.7	22.6	13.9	3.8	6.9	8.9	1.7	1.4	6.7	17.9	2.2	1.5	0.8
	大学：05～09年卒業	664	15.4	25.8	19.7	4.4	6.6	8.1	0.5	0.9	7.8	5.3	2.7	2.4	0.5
	短大：96～99年卒業	396	4.0	21.5	4.5	3.0	7.8	13.9	2.0	2.0	4.3	33.6	1.0	1.0	1.3
	短大：00～04年卒業	476	5.7	31.3	7.6	2.3	9.2	12.2	0.8	0.8	3.6	21.6	2.9	1.5	0.4
	短大：05～09年卒業	468	5.1	35.9	14.7	3.4	6.4	11.5	0.0	0.2	7.3	6.4	2.4	5.8	0.9
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	7.7	30.8	7.7	3.3	7.7	11.0	0.5	1.6	6.0	18.1	4.9	0.0	0.5
	英語文化学科／英米文学科	203	11.8	32.5	4.9	1.0	11.8	6.4	1.5	2.0	3.9	19.2	3.4	1.0	0.5
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	2.6	7.4	62.4	7.4	2.2	4.8	0.0	0.4	1.8	8.9	1.1	0.4	0.7
	健康・スポーツ学科／教育学科：体育／健康・スポーツ専攻	145	11.0	15.2	29.0	5.5	7.6	5.5	0.7	1.4	3.4	17.9	0.7	2.1	0.0
	心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科	157	15.3	31.8	1.3	5.7	7.0	11.5	1.9	1.3	4.5	13.4	1.3	4.5	0.6
	生活環境学科	152	17.1	30.9	5.9	0.7	10.5	9.2	0.0	2.0	2.0	14.5	3.9	2.6	0.7
	食物栄養学科	204	17.6	19.6	3.4	5.4	8.3	12.3	1.0	1.0	13.7	13.2	1.0	2.5	1.0
	情報メディア学科／生活情報学科	120	20.8	33.3	3.3	0.0	10.8	7.5	0.8	0.0	2.5	15.0	4.2	1.7	0.0
	声楽学科	14	0.0	7.1	35.7	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	14.3	7.1	0.0	7.1	7.1
	器楽学科	33	0.0	6.1	9.1	0.0	6.1	12.1	18.2	12.1	9.1	21.2	0.0	3.0	3.0
	薬学科	138	17.4	21.7	2.2	2.2	1.4	13.8	0.7	0.0	21.0	16.7	1.4	0.7	0.7
	生物薬学科	72	13.9	22.2	1.4	4.2	2.8	8.3	0.0	0.0	20.8	16.7	4.2	2.8	2.8
在籍学科・短大	日本語文化学科／国文学科	178	5.6	37.6	0.0	1.1	9.6	12.9	1.7	0.6	1.7	19.7	5.1	3.9	0.6
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	3.0	43.3	1.2	1.2	11.6	10.4	0.0	2.4	2.4	18.3	3.0	1.2	1.8
	幼児教育学科	222	1.4	6.8	50.0	5.0	2.7	10.8	0.0	0.0	1.4	19.8	1.4	0.5	0.5
	人間関係学科	168	9.5	35.1	1.8	1.8	7.1	13.7	0.6	0.0	4.2	19.0	1.8	5.4	0.0
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	10.2	25.4	6.8	7.6	4.2	11.9	0.0	2.5	8.5	14.4	0.8	6.8	0.8
	食生活学科	305	3.0	34.8	0.0	3.0	8.9	13.1	2.0	0.0	9.8	21.3	2.0	1.0	1.3
生活造形学科	205	6.8	27.8	1.0	2.0	9.3	13.7	1.0	2.4	4.9	24.4	1.5	4.4	1.0	

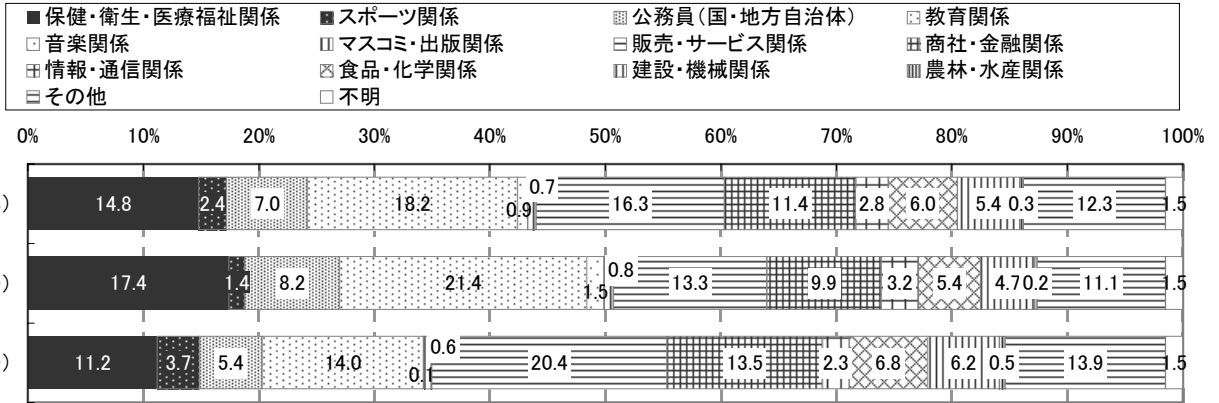
■ : 全体より10ポイント以上高い □ : 全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

I. 回答者のプロフィール

5. 現在の業種

問7.問6 で1.~9.を回答された方にお聞きます。あなたの現在の業種であてはまる番号1つに○をつけてください。

- ◆ 現在の業種で、多く見られるのは「教育関係」「販売・サービス関係」「保健・衛生・医療福祉関係」などで各2割弱程度。また、「商社・金融関係」「公務員」「食品・化学関係」も1割前後見られる。
- ◆ 大学／短大別では、大学では「教育関係」「保健・衛生・医療福祉関係」などが多めで、「販売・サービス関係」は比較的少なめ。一方短大では、「販売・サービス関係」が多く、「保健・衛生・医療福祉関係」「教育関係」は少なめ。
- ◆ 学科別では、大学の教育学科／教育学科：初等教育専攻や短大の幼児教育学科では「教育関係」の割合が5割を超えている。また、大学の薬学科、生物薬学科では「保健・衛生・医療福祉関係」が7割前後を占めている。



	N	%													
		保健・衛生・医療福祉関係	スポーツ関係	公務員(国・地方自治体)	教育関係	音楽関係	マスコミ・出版関係	販売・サービス関係	商社・金融関係	情報・通信関係	食品・化学関係	建設・機械関係	農林・水産関係	その他	不明
全体	2368	14.8	2.4	7.0	18.2	0.9	0.7	16.3	11.4	2.8	6.0	5.4	0.3	12.3	1.5
区分															
大学	1359	17.4	1.4	8.2	21.4	1.5	0.8	13.3	9.9	3.2	5.4	4.7	0.2	11.1	1.5
短大	1009	11.2	3.7	5.4	14.0	0.1	0.6	20.4	13.5	2.3	6.8	6.2	0.5	13.9	1.5
卒業年別															
大学:98~99年卒業	186	16.1	2.2	7.5	18.3	2.7	0.5	11.8	9.1	1.6	7.5	7.0	0.0	12.9	2.7
大学:00~04年卒業	558	21.1	1.1	7.2	21.5	1.6	1.1	12.5	7.2	3.2	6.1	4.1	0.5	11.8	0.9
大学:05~09年卒業	592	14.4	1.5	9.1	22.3	1.0	0.5	14.5	12.7	3.5	4.4	4.6	0.0	9.8	1.7
短大:96~99年卒業	250	15.2	2.0	6.0	9.6	0.0	0.4	21.2	11.2	2.0	8.0	6.4	0.8	16.0	1.2
短大:00~04年卒業	350	10.9	4.6	5.1	11.7	0.0	1.1	18.6	15.1	2.9	6.9	7.4	0.0	14.0	1.7
短大:05~09年卒業	396	8.8	4.0	5.1	18.4	0.3	0.3	22.0	13.1	1.8	6.3	5.1	0.8	12.9	1.3
在籍学科・大学															
日本語日本文学科/国文学科	139	10.1	0.0	9.4	19.4	0.0	2.2	17.3	18.7	2.9	2.2	6.5	0.0	10.8	0.7
英語文化学科/英米文学科	154	4.5	0.6	3.9	14.9	0.0	0.0	24.7	19.5	3.2	1.9	5.2	0.6	18.2	2.6
教育学科/教育学科:初等教育専攻	241	3.3	0.0	23.2	56.4	0.4	0.4	4.6	2.5	0.0	0.8	1.7	0.0	5.0	1.7
健・スポ科学科/教育学科:体育/健・スポ専攻	115	9.6	13.9	9.6	36.5	0.0	0.0	9.6	7.0	0.9	2.6	1.7	0.9	4.3	3.5
心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科	126	15.9	0.0	4.0	9.5	0.0	1.6	23.0	18.3	4.0	0.0	7.9	0.8	12.7	2.4
生活環境学科	119	4.2	0.0	2.5	10.1	0.8	0.8	19.3	10.1	2.5	1.7	19.3	0.0	27.7	0.8
食物栄養学科	168	30.4	0.6	4.8	11.3	0.0	0.6	12.5	4.2	0.6	25.6	1.8	0.0	7.1	0.6
情報メディア学科/生活情報学科	95	3.2	1.1	4.2	6.3	0.0	3.2	12.6	21.1	25.3	5.3	5.3	0.0	11.6	1.1
声楽学科	11	0.0	0.0	9.1	45.5	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0
器楽学科	24	4.2	0.0	0.0	16.7	62.5	0.0	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
薬学科	111	74.8	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	8.1	0.9	0.0	7.2	0.0	0.0	7.2	0.0
生物薬学科	53	64.2	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	9.4	0.0	0.0	15.1	1.9
在籍学科・短大															
日本語文化学科/国文学科	126	7.1	0.8	3.2	2.4	0.0	0.8	27.0	23.0	2.4	4.8	8.7	0.0	19.0	0.8
英語コミュニケーション学科/英語学科	124	10.5	0.8	4.0	3.2	0.0	0.8	25.0	24.2	2.4	2.4	7.3	0.0	19.4	0.0
幼児教育学科	173	3.5	1.2	13.3	60.1	0.6	0.0	7.5	2.9	0.6	0.6	1.7	1.2	4.6	2.3
人間関係学科	124	15.3	1.6	4.0	3.2	0.0	1.6	24.2	19.4	2.4	6.5	5.6	0.0	13.7	2.4
健康・スポーツ学科/体育学科	91	12.1	29.7	4.4	12.1	0.0	0.0	14.3	7.7	0.0	1.1	5.5	0.0	11.0	2.2
食生活学科	227	16.7	0.4	4.0	4.4	0.0	0.0	18.1	12.8	3.1	18.9	5.3	0.9	14.1	1.3
生活造形学科	141	10.6	2.1	2.8	3.5	0.0	1.4	31.2	8.5	4.3	4.3	11.3	0.7	17.7	1.4

■: 全体より10ポイント以上高い □: 全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

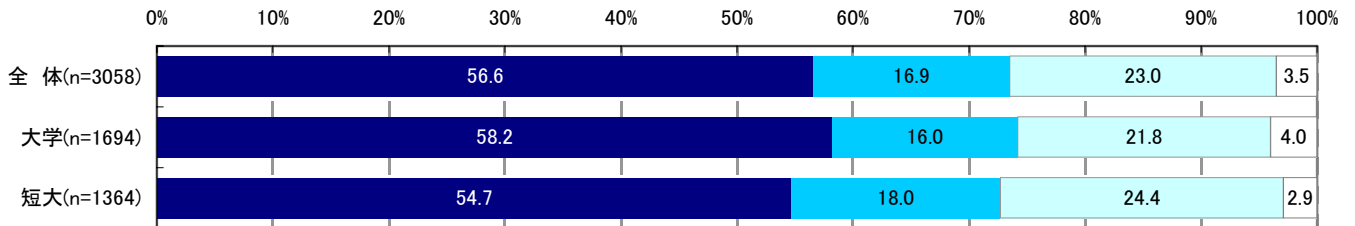
I. 回答者のプロフィール

6. 卒業後の進路への満足度

問8.あなたが卒業されたとき、ご希望の進路(就職先・業種・進学先など)に進めましたか。

- ◆ 全体では、「希望していた進路に進めた」という人は56.6%。一方で「希望していた進路に進めなかった」という人も16.9%見られる。
- ◆ 大学/短大別では、ほとんど差異は見られないが、やや大学の方が「希望していた進路に進めた」割合が高め。
- ◆ 卒業年別では、卒業後の年数が短いほど「希望していた進路に進めた」割合が高い傾向が見られる。
- ◆ 学科別では、大学の教育学科/教育学科:初等教育専攻や短大の幼児教育学科、大学の薬学科、生物薬学科で「希望していた進路に進めた」割合が7~8割と特に高い。
- ◆ 入学満足度別では、大学・短大とも、入学満足度が低くなるにしたがって「希望していた進路に進めなかった」割合が高まっており、進路と入学満足度が密接に繋がっていることがうかがわれる。
特に大学において、入学満足者の「希望していた進路に進めた」割合の高さが顕著。

■ 希望していた進路に進めた ■ 希望していた進路に進めなかった □ どちらともいえない □ 不明



	全体	めた希	めた希	いど	不明
		た進	な進	えち	
	N	%			
全 体	3058	56.6	16.9	23.0	3.5
区 分					
大学	1694	58.2	16.0	21.8	4.0
短大	1364	54.7	18.0	24.4	2.9
卒 業 年 別					
卒業年-大学:98~99年	275	51.6	23.3	19.6	5.5
卒業年-大学:00~04年	720	54.0	18.9	24.0	3.1
卒業年-大学:05~09年	664	66.0	9.3	20.2	4.5
卒業年-短大:96~99年	396	48.2	23.0	26.0	2.8
卒業年-短大:00~04年	476	54.6	18.7	23.3	3.4
卒業年-短大:05~09年	468	61.5	12.6	23.3	2.6
在 籍 学 科 ・ 大 学					
日本語日本文学科/国文学科	182	41.8	25.8	28.6	3.8
英語文化学科/英米文学科	203	46.8	19.7	29.1	4.4
教育学科/教育学科:初等教育専攻	271	74.9	10.3	11.4	3.3
健・スポ科学科/教育学科:体育/健・スポ専攻	145	60.7	9.7	24.8	4.8
心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科	157	47.1	22.3	28.7	1.9
生活環境学科	152	51.3	25.7	20.4	2.6
食物栄養学科	204	52.5	15.7	24.0	7.8
情報メディア学科/生活情報学科	120	54.2	13.3	29.2	3.3
声楽学科	14	57.1	14.3	28.6	0.0
器楽学科	33	63.6	21.2	15.2	0.0
薬学科	138	81.2	5.8	8.7	4.3
生物薬学科	72	77.8	4.2	13.9	4.2
在 籍 学 科 ・ 短 大					
日本語文化学科/国文学科	178	46.1	19.7	30.9	3.4
英語コミュニケーション学科/英語学科	164	42.7	26.8	27.4	3.0
幼児教育学科	222	78.4	9.5	9.0	3.2
人間関係学科	168	56.0	11.9	28.0	4.2
健康・スポーツ学科/体育学科	118	60.2	14.4	22.0	3.4
食生活学科	305	54.1	17.4	26.2	2.3
生活造形学科	205	43.4	25.9	28.8	2.0
入 学 満 足 度 別					
大学:入学してよかった	1519	61.1	14.1	20.7	4.1
大学:どちらともいえない	132	31.8	32.6	31.8	3.8
大学:入学しなければよかった	31	25.8	38.7	35.5	0.0
短大:入学してよかった	1228	57.2	16.3	23.6	2.9
短大:どちらともいえない	96	35.4	28.1	34.4	2.1
短大:入学しなければよかった	31	22.6	48.4	22.6	6.5

■ : 全体より10ポイント以上高い □ : 全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

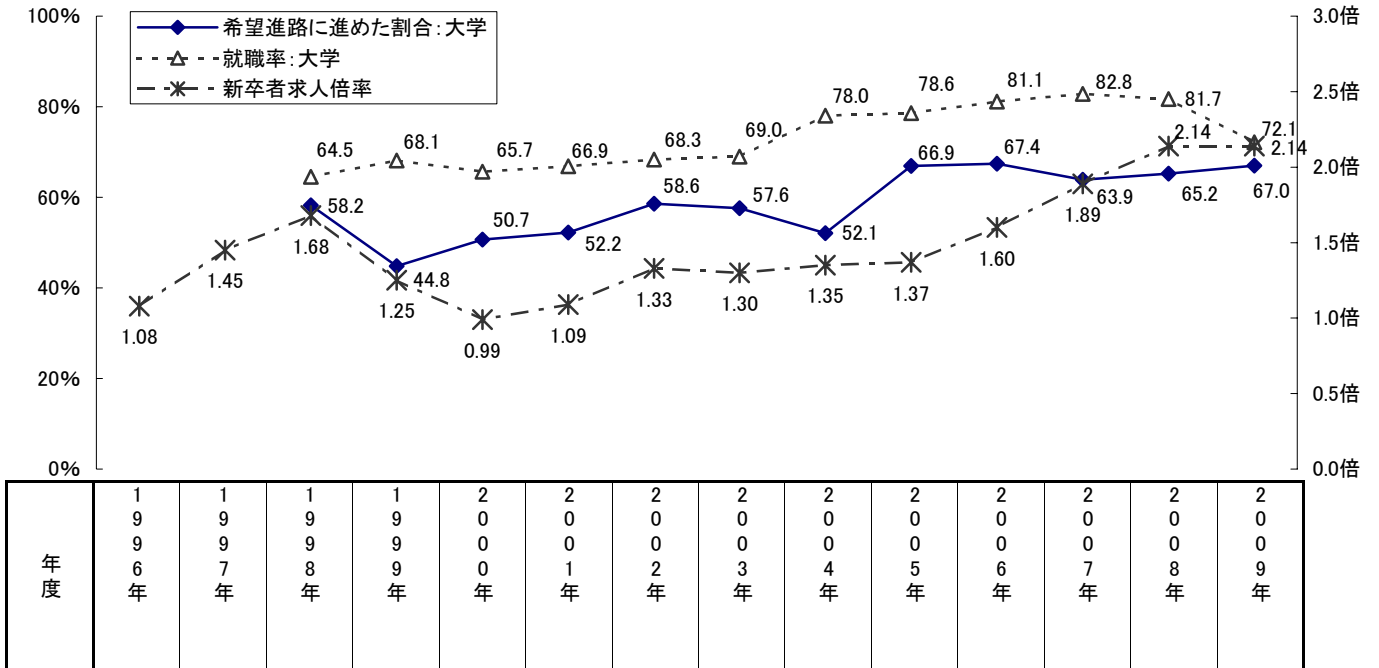
I. 回答者のプロフィール

7. 卒業後の進路への満足度～新卒者求人倍率・就職率との比較

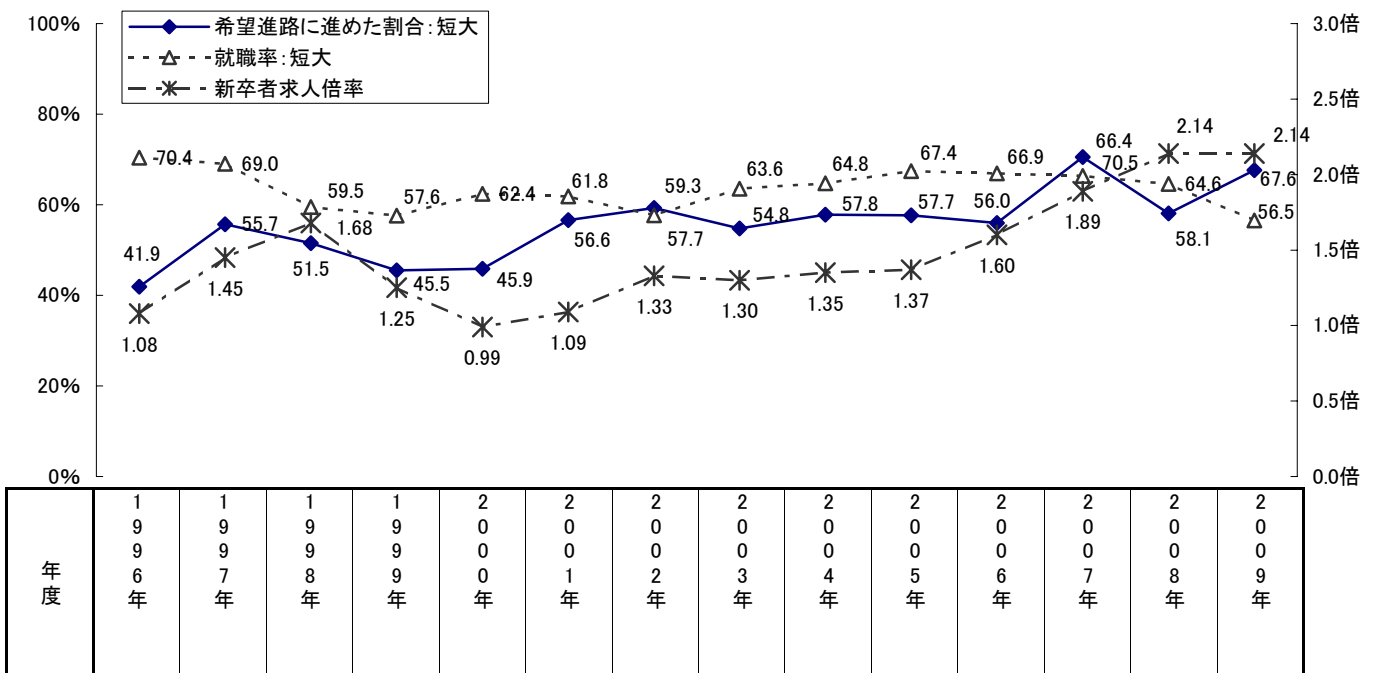
問8.あなたが卒業されたとき、ご希望の進路(就職先・業種・進学先など)に進めましたか。

◆「希望していた進路に進めた」割合と就職率、新卒者求人倍率を併せて比較してみたところ、就職率や新卒者求人倍率上昇時期には希望進路に進めた割合も上昇するなど、「希望していた進路に進めた」割合と就職率、新卒者求人倍率の間には、ある程度関連性がみられる。

大学 希望していた進路に進めた割合(問8)と新卒者求人倍率・就職率の推移



短大 希望していた進路に進めた割合(問8)と新卒者求人倍率・就職率の推移



* 新卒者求人倍率…株式会社リクルートワークス研究所「第27回 ワークス大学卒求人倍率調査」より

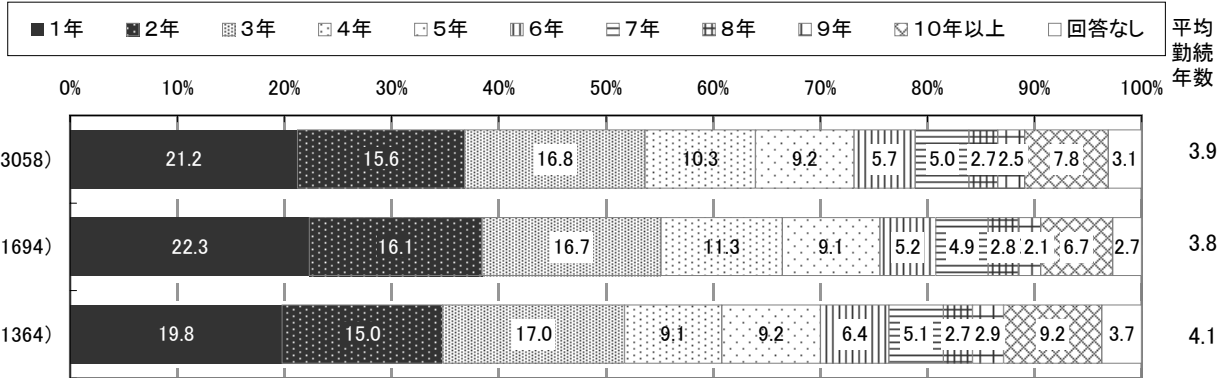
* 就職率…本学卒業生数に占める就職者数の割合

I. 回答者のプロフィール

8. 最初の勤務先での勤続年数

問9. 卒業後、最初の勤務先(自営業を含む)での勤続年数を記入してください。

- ◆ 卒業後5年以上経過している人を中心に勤続年数をみると、大学では98年～99年卒業者において、勤続年数が「10年以上」が最も高く22.5%、「3年以内」の割合は44.7%。00年～04年の卒業者において、勤続年数が「1年」が最も高く21.1%。「3年以内」の割合は44.9%。一方、短大では、96年～99年卒業者において、勤続年数が「10年以上」が最も高く24.0%。「3年以内」の割合は38.1%。00年～04年の卒業生において、勤続年数が「1年」が最も高く20.4%。
- ◆ 「入学しなければよかった」と思っている人のうち、勤続年数が「1年以内」が38.7%と高くなっており、就職のミスマッチが入学満足度に影響していると考えられる。



	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年以上	回答なし	平均
		N	%										
全体	3058	21.2	15.6	16.8	10.3	9.2	5.7	5.0	2.7	2.5	7.8	3.1	3.9
区分													
大学	1694	22.3	16.1	16.7	11.3	9.1	5.2	4.9	2.8	2.1	6.7	2.7	3.8
短大	1364	19.8	15.0	17.0	9.1	9.2	6.4	5.1	2.7	2.9	9.2	3.7	4.1
卒業年別													
大学: 98～99年卒業	275	17.5	11.6	15.6	10.5	9.1	5.5	2.9	1.5	1.1	22.5	2.2	3.8
大学: 00～04年卒業	720	21.1	12.5	11.3	9.9	8.1	7.6	10.3	5.8	4.6	6.8	2.1	3.0
大学: 05～09年卒業	664	25.2	21.5	23.2	13.4	10.5	2.4	0.2	0.0	0.0	0.0	3.6	1.5
短大: 96～99年卒業	396	12.9	11.6	13.6	9.1	9.1	7.1	4.5	2.5	3.0	24.0	2.5	4.3
短大: 00～04年卒業	476	20.4	8.8	14.9	8.6	8.8	9.5	10.3	5.7	5.5	5.7	1.9	2.9
短大: 05～09年卒業	468	25.4	23.9	22.0	9.6	9.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.6	6.2	1.7
在籍学科・大学													
日本語日本文学科/国文学科	182	26.9	8.2	15.9	12.1	6.0	4.4	6.6	2.7	3.3	10.4	3.3	4.1
英語文化学科/英米文学科	203	24.1	19.7	18.2	8.9	7.9	3.0	5.4	2.0	2.5	5.4	3.0	3.5
教育学科/教育学科: 初等教育専攻	271	17.0	17.7	16.6	11.1	9.6	5.9	5.9	4.8	1.8	7.4	2.2	4.0
健・スポ科学科/教育学科: 体育/健・スポ専攻	145	25.5	20.0	17.9	14.5	5.5	4.1	1.4	1.4	1.4	5.5	2.8	3.2
心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科	157	26.1	16.6	12.1	11.5	8.3	7.0	5.1	0.6	3.8	7.6	1.3	3.9
生活環境学科	152	19.1	14.5	19.7	12.5	13.8	3.9	5.3	3.3	0.7	4.6	2.6	3.7
食物栄養学科	204	25.0	15.7	17.6	8.8	11.8	7.8	2.5	2.9	0.5	4.4	2.9	3.5
情報メディア学科/生活情報学科	120	17.5	17.5	10.8	13.3	11.7	5.0	5.8	3.3	4.2	8.3	2.5	4.2
声楽学科	14	21.4	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	2.7
器楽学科	33	24.2	12.1	18.2	9.1	6.1	3.0	6.1	6.1	0.0	15.2	0.0	4.6
薬学科	138	21.7	16.7	17.4	10.1	10.1	4.3	5.1	3.6	1.4	6.5	2.9	3.7
生物薬学科	72	19.4	12.5	23.6	15.3	2.8	6.9	6.9	0.0	2.8	5.6	4.2	3.7
在籍学科・短大													
日本語文化学科/国文学科	178	19.1	12.4	12.4	6.7	6.7	6.2	6.2	3.4	3.4	16.9	6.7	4.8
英語コミュニケーション学科/英語学科	164	11.0	15.9	21.3	11.0	13.4	4.3	6.1	0.0	4.3	8.5	4.3	4.3
幼児教育学科	222	19.8	16.7	18.0	11.7	9.9	5.9	4.1	4.1	1.4	7.2	1.4	4.0
人間関係学科	168	19.0	13.7	13.1	8.9	8.9	8.3	7.7	6.0	2.4	7.7	4.2	4.3
健康・スポーツ学科/体育学科	118	17.8	15.3	21.2	8.5	10.2	5.9	2.5	1.7	3.4	6.8	6.8	3.7
食生活学科	305	19.0	16.1	17.0	8.5	7.5	7.9	5.9	2.6	3.6	9.5	2.3	4.3
生活造形学科	205	29.3	14.1	17.6	8.3	9.8	5.4	2.4	1.0	2.0	7.3	2.9	3.5
入学満足度別													
入学してよかった	2747	20.4	15.9	17.1	10.4	8.9	6.0	5.0	2.8	2.5	7.8	3.2	3.9
どちらともいえない	228	25.0	14.0	14.0	11.4	11.4	3.5	4.8	2.2	3.1	8.3	2.2	4.0
入学しなければよかった	62	38.7	12.9	11.3	3.2	12.9	3.2	0.0	1.6	0.0	9.7	6.5	3.1

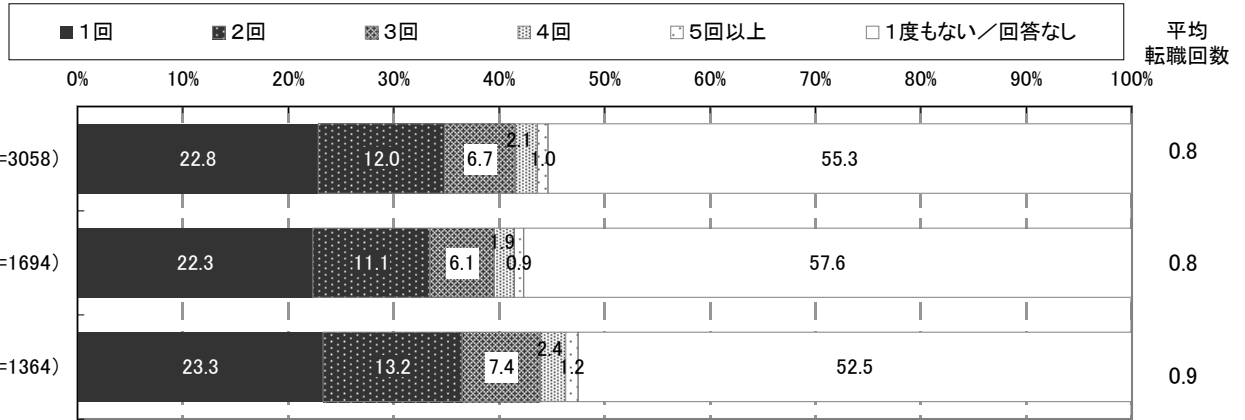
■: 全体より10ポイント以上高い □: 全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

I. 回答者のプロフィール

9. 転職経験の有無

問10.あなたは転職の経験がありますか。転職経験をお持ちの方はその回数を記入してください。

- ◆ 全体の44.6%が転職経験があると回答。
- ◆ 最も多い転職経験は「1回」で、全体では22.8%を占める。
- ◆ 大学/短大別では大差はないが、大学の方が「1度もない」(もしくは回答なし)の割合が高め。



	全体	1回	2回	3回	4回	5回以上	答1度もない/回答なし	平均	
		N	%						
全体	3058	22.8	12.0	6.7	2.1	1.0	55.3	0.8	
区分	大学	1694	22.3	11.1	6.1	1.9	0.9	57.6	0.8
	短大	1364	23.3	13.2	7.4	2.4	1.2	52.5	0.9
卒業年別	大学:98~99年卒業	275	23.6	13.5	13.8	2.5	2.5	44.0	1.2
	大学:00~04年卒業	720	27.4	13.2	7.9	3.2	1.1	47.2	1.0
	大学:05~09年卒業	664	16.3	7.7	1.2	0.2	0.0	74.7	0.4
	短大:96~99年卒業	396	22.7	16.7	12.6	3.8	1.8	42.4	1.2
	短大:00~04年卒業	476	26.3	17.9	8.8	3.2	1.9	42.0	1.1
	短大:05~09年卒業	468	19.9	5.3	1.5	0.6	0.0	72.6	0.4
在籍学科・大学	日本語日本文学科/国文学科	182	20.9	9.9	9.3	2.2	1.1	56.6	0.9
	英語文化学科/英米文学科	203	25.6	13.3	4.4	3.0	1.0	52.7	0.8
	教育学科/教育学科:初等教育専攻	271	12.9	5.2	3.7	1.1	1.1	76.0	0.5
	健・スポ科学科/教育学科:体育/健・スポ専攻	145	26.2	11.7	2.8	0.7	0.7	57.9	0.6
	心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科	157	22.9	12.7	5.1	1.3	1.3	56.7	0.8
	生活環境学科	152	22.4	5.9	9.2	2.6	0.7	59.2	0.8
	食物栄養学科	204	27.0	18.6	3.9	2.9	1.0	46.6	0.9
	情報メディア学科/生活情報学科	120	18.3	8.3	5.8	0.8	0.8	65.8	0.6
	声楽学科	14	7.1	7.1	28.6	0.0	0.0	57.1	1.1
	器楽学科	33	15.2	3.0	9.1	3.0	0.0	69.7	0.6
	薬学科	138	33.3	13.8	5.8	2.2	0.7	44.2	0.9
	生物薬学科	72	22.2	19.4	16.7	1.4	1.4	38.9	1.3
在籍学科・短大	日本語文化学科/国文学科	178	14.6	10.7	9.6	1.7	2.2	61.2	0.8
	英語コミュニケーション学科/英語学科	164	23.8	15.9	8.5	3.0	1.2	47.6	1.0
	幼児教育学科	222	25.2	11.3	3.2	0.0	0.9	59.5	0.6
	人間関係学科	168	22.6	13.7	6.5	4.8	1.8	50.6	1.0
	健康・スポーツ学科/体育学科	118	19.5	13.6	2.5	2.5	0.8	61.0	0.7
	食生活学科	305	26.2	10.8	9.5	2.3	0.3	50.8	0.9
生活造形学科	205	27.3	18.0	9.3	3.4	1.5	40.5	1.1	

■:全体より10ポイント以上高い □:全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

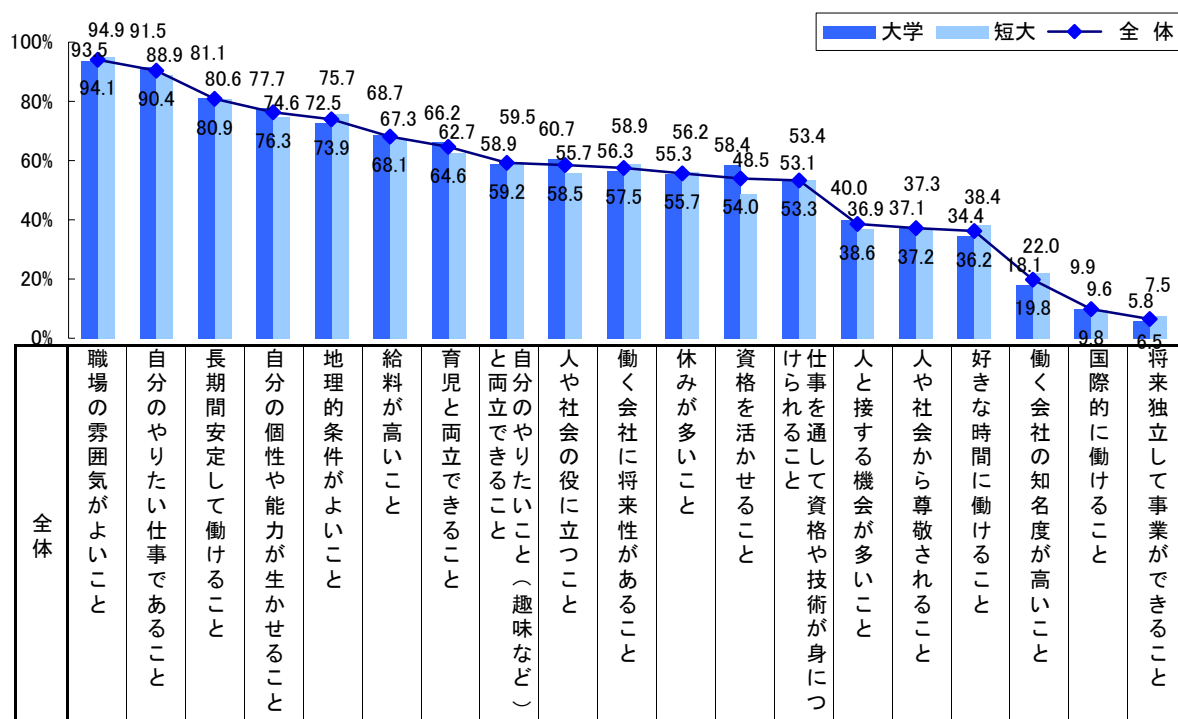
Ⅱ. 仕事に対する意識について

1. 仕事をする上で重視すること

問11.あなたが仕事をする上で(もしくは今後働くとしたら仕事をする上で)、重視することは何ですか。

- ◆ 全体では、「職場の雰囲気がよいこと」と「自分のやりたい仕事であること」が最も高く、9割を超える。次いで、「長期間安定して働けること」「自分の個性や能力が生かせること」「地理的条件がよいこと」が高く、7割を超える。
- ◆ 大学／短大別では、特に目立った差は見られない。
- ◆ 業種別では、下記の傾向が見られる。
 - ◇ 保健・衛生医療福祉関係勤務者は、「人や社会の役に立つこと」や「資格を活かせること」を重視する割合が高い。
 - ◇ スポーツ関係勤務者は、「人と接する機会が多いこと」「人や社会から尊敬されること」を重視する割合が高い。
 - ◇ 公務員は、「育児と両立できること」「人や社会の役に立つこと」を重視する割合が高い。
 - ◇ 教育関係勤務者は、「自分の個性や能力が生かせること」「人や社会の役に立つこと」「資格を活かせること」を重視する割合が高い。
 - ◇ 商社・金融関係勤務者は、「長期間安定して働けること」「働く会社に将来性があること」「休みが多いこと」を重視する割合が高い。
 - ◇ 情報・通信関係勤務者は、「仕事を通して資格や技術が身につけられること」を重視する割合が高い。
 - ◇ 食品・化学関係勤務者は、「働く会社に将来性があること」を重視する割合が高い。

「重視する」+「どちらかといえば重視する」



		N	%																		
			職場の雰囲気がよいこと	自分のやりたい仕事であること	長期間安定して働けること	自分の個性や能力が生かせること	地理的条件がよいこと	給料が高いこと	育児と両立できること	と両立できること(趣味など)	人や社会の役に立つこと	働く会社に将来性があること	休みが多いこと	資格を活かせること	仕事を通して資格や技術が身につけられること	人と接する機会が多いこと	人や社会から尊敬されること	好きな時間に働けること	働く会社の知名度が高いこと	国際的に働けること	将来独立して事業ができること
全体		3058	94.1	90.4	80.9	76.3	73.9	68.1	64.6	59.2	58.5	57.5	55.7	54.0	53.3	38.6	37.2	36.2	19.8	9.8	6.5
区分	大学	1694	93.5	91.5	81.1	77.7	72.5	68.7	66.2	58.9	60.7	56.3	55.3	58.4	53.1	40.0	37.1	34.4	18.1	9.9	5.8
	短大	1364	94.9	88.9	80.6	74.6	75.7	67.3	62.7	59.5	55.7	58.9	56.2	48.5	53.4	36.9	37.3	38.4	22.0	9.6	7.5
卒業年別	大学:98~99年卒業	275	92.4	85.8	78.5	76.0	74.5	67.3	71.6	54.2	54.5	47.6	52.0	55.3	49.5	34.9	34.5	43.6	13.5	8.4	5.5
	大学:00~04年卒業	720	92.5	92.1	80.6	76.0	74.4	67.9	67.4	55.3	58.3	56.5	54.0	58.2	52.8	35.0	32.5	36.3	16.5	8.6	5.0
	大学:05~09年卒業	664	95.3	93.1	82.7	79.8	69.3	70.3	62.7	63.4	65.7	59.5	58.1	59.9	54.7	47.1	43.4	27.9	22.0	12.0	6.6
	短大:96~99年卒業	396	92.9	89.1	80.3	70.5	77.8	63.4	69.4	53.0	53.8	56.3	54.0	44.4	50.5	28.8	32.1	48.7	17.4	7.3	8.1
	短大:00~04年卒業	476	96.0	86.8	82.8	76.7	77.9	68.7	62.2	61.6	56.3	56.7	55.7	47.1	54.8	38.4	36.1	40.5	22.3	10.7	7.1
	短大:05~09年卒業	468	95.5	91.5	78.8	75.9	72.0	69.0	57.5	63.5	57.3	63.9	58.3	53.4	54.5	42.9	42.5	27.8	25.6	10.5	7.7

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※ サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

1. 仕事をする上で重視すること

	N	%																			
		職場の雰囲気がよいこと	自分のやりたい仕事であること	長期間安定して働けること	自分の個性や能力が生かせること	地理的条件がよいこと	給料が高いこと	育児と両立できること	自分のやりたいこと（趣味など）と両立できること	人や社会の役に立つこと	働く会社に将来性があること	休みが多いこと	資格を活かせること	仕事を通して資格や技術が身につけられること	人と接する機会が多いこと	人や社会から尊敬されること	好きな時間に働けること	働く会社の知名度が高いこと	国際的に働けること	将来独立して事業ができること	
全体	3058	94.1	90.4	80.9	76.3	73.9	68.1	64.6	59.2	58.5	57.5	55.7	54.0	53.3	38.6	37.2	36.2	19.8	9.8	6.5	
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	94.0	86.8	86.3	72.5	74.7	59.9	53.8	53.8	51.6	52.7	53.8	37.4	50.0	28.0	29.7	28.6	17.6	5.5	6.6
	英語文化学科／英米文学科	203	94.1	91.6	80.8	73.9	71.9	63.5	60.6	60.1	55.2	63.5	54.2	49.3	55.7	44.3	36.5	33.0	27.1	29.6	5.9
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	90.0	95.2	85.2	84.1	66.4	76.4	77.9	52.0	68.6	48.3	57.9	71.6	41.3	51.3	36.2	26.2	13.7	8.5	3.0
	健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻	145	91.0	93.1	82.1	82.1	56.6	69.0	73.8	61.4	63.4	47.6	46.9	57.9	44.8	49.7	40.7	26.2	18.6	9.7	6.2
	心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科	157	93.6	88.5	80.9	73.2	75.8	65.0	61.1	58.6	62.4	61.1	52.9	42.0	56.1	36.9	32.5	29.3	15.3	4.5	3.8
	生活環境学科	152	95.4	92.1	80.3	79.6	72.4	63.2	61.8	58.6	52.0	59.9	59.9	46.1	59.2	28.9	39.5	36.2	19.7	9.2	7.9
	食物栄養学科	204	92.2	89.7	80.4	77.5	72.5	71.1	64.7	62.3	57.8	61.8	56.4	65.7	55.4	36.3	35.3	33.8	14.2	4.4	7.4
	情報メディア学科／生活情報学科	120	98.3	90.0	84.2	71.7	77.5	66.7	59.2	55.8	54.2	65.8	65.8	40.0	55.0	33.3	41.7	35.8	30.0	8.3	4.2
	声楽学科	14	92.9	100.0	78.6	100.0	57.1	64.3	64.3	57.1	64.3	50.0	35.7	64.3	42.9	64.3	14.3	21.4	7.1	7.1	0.0
	器楽学科	33	90.9	97.0	78.8	100.0	81.8	63.6	90.9	81.8	69.7	63.6	42.4	84.8	78.8	45.5	51.5	69.7	24.2	27.3	21.2
	薬学科	138	96.4	91.3	73.2	74.6	87.0	76.1	71.0	64.5	70.3	52.2	57.2	90.6	63.8	38.4	40.6	55.1	11.6	5.1	8.0
生物薬学科	72	95.8	95.8	68.1	76.4	80.6	81.9	69.4	63.9	75.0	48.6	51.4	84.7	56.9	45.8	48.6	54.2	15.3	5.6	1.4	
在籍学科・短大	日本語文化学科／国文学科	178	96.1	81.5	83.7	68.5	82.6	68.0	57.3	64.0	43.8	59.6	56.2	36.0	47.2	23.0	27.5	36.0	23.0	5.1	4.5
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	93.9	87.8	84.8	70.7	79.9	67.1	61.0	66.5	53.0	66.5	61.6	44.5	56.1	41.5	44.5	43.9	34.8	30.5	6.7
	幼児教育学科	222	96.8	96.4	80.2	82.4	74.8	64.0	66.2	53.2	66.7	46.4	56.8	82.4	48.2	48.2	38.7	41.0	11.7	7.2	5.9
	人間関係学科	168	97.6	88.1	80.4	74.4	79.8	69.6	67.9	60.7	54.8	61.3	66.7	39.9	54.2	38.7	35.1	38.1	26.2	3.6	4.8
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	94.9	90.7	75.4	80.5	56.8	66.9	65.3	67.8	75.4	55.9	43.2	52.5	59.3	58.5	47.5	31.4	19.5	11.0	17.8
	食生活学科	305	94.4	87.9	80.7	72.5	77.0	71.5	62.3	53.1	52.5	62.6	54.4	44.3	56.7	27.2	39.3	35.7	22.3	4.9	5.2
	生活造形学科	205	90.7	89.8	78.0	73.7	73.7	62.9	60.5	60.5	50.2	60.5	52.2	36.6	53.2	33.2	31.2	42.0	19.5	10.2	11.7
業種別	保健・衛生・医療福祉関係	350	93.7	92.0	80.6	74.9	75.7	68.6	61.4	60.6	68.6	54.9	52.6	76.6	62.9	40.6	36.9	36.6	9.4	4.9	5.7
	スポーツ関係	56	91.1	96.4	64.3	82.1	42.9	67.9	58.9	67.9	64.3	60.7	41.1	50.0	57.1	57.1	53.6	30.4	19.6	10.7	14.3
	公務員（国・地方自治体）	165	92.7	94.5	89.7	79.4	67.9	67.3	78.2	59.4	75.2	55.8	65.5	67.3	50.9	49.1	40.6	21.8	19.4	10.9	2.4
	教育関係	432	92.1	99.3	85.6	87.5	66.0	70.1	68.1	55.1	74.1	48.1	52.5	77.3	46.3	47.9	40.7	25.5	12.7	9.7	3.5
	音楽関係	21	95.2	100.0	71.4	100.0	76.2	57.1	81.0	71.4	66.7	66.7	33.3	81.0	71.4	52.4	66.7	76.2	28.6	33.3	33.3
	マスコミ・出版関係	17	82.4	100.0	64.7	88.2	58.8	70.6	41.2	58.8	64.7	41.2	58.8	11.8	70.6	52.9	29.4	35.3	11.8	17.6	11.8
	販売・サービス関係	387	94.6	92.2	76.0	76.5	75.7	66.4	48.3	59.4	47.8	59.9	52.5	35.9	49.4	45.0	32.8	34.4	22.0	14.2	9.6
	商社・金融関係	270	98.5	81.5	92.2	68.1	78.9	77.0	60.7	61.5	55.2	76.3	68.1	34.8	55.2	33.3	45.9	22.6	45.9	9.3	2.2
	情報・通信関係	66	100.0	84.8	77.3	83.3	72.7	65.2	54.5	62.1	50.0	66.7	53.0	42.4	66.7	21.2	30.3	21.2	16.7	4.5	9.1
	食品・化学関係	143	95.1	88.8	87.4	67.1	74.8	77.6	63.6	60.1	53.8	74.1	60.1	42.0	55.2	27.3	39.2	28.0	25.2	5.6	5.6
	建設・機械関係	127	94.5	85.0	88.2	76.4	80.3	61.4	59.8	54.3	55.9	64.6	53.5	39.4	55.9	26.0	40.9	27.6	18.9	9.4	4.7
	農林・水産関係	8	75.0	62.5	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	62.5	37.5	50.0	75.0	25.0	37.5	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	291	92.8	86.3	81.4	74.2	71.8	67.7	57.0	68.0	52.6	64.6	58.4	46.4	56.7	34.0	37.5	32.0	22.7	15.5	12.4

■：全体より10ポイント以上高い □：全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

2.仕事をする上で重視すること～若者の仕事生活実態調査結果との比較

問11.あなたが仕事をする上で(もしくは今後働くとしたら仕事をする上で)、重視することは何ですか。

一般調査(*)の『仕事をする上で重視すること』の調査結果と比較してみたところ、次のような傾向が見られた

- ◆ 有職女性ベースでは、下記の傾向が見られた。
- ◇ 一般の有職女性よりも、武庫川女子大学・短期大学部卒業の有職女性は、「人や社会の役に立つこと」「働く会社に将来性があること」等の優先順位が高い。
- ◇ 一方、「給料が高いこと」「休みが多いこと」「好きな時間に働けること」等の優先順位は低い傾向。

仕事をする上で重視すること(「重視する」+「どちらかといえば重視する」)の順位

有職女性ベース

武庫川女子大学・短期大学部卒業生 有職女性ランキング

順位	項目	%
1位	職場の雰囲気がよいこと	94.0
2位	自分のやりたい仕事であること	91.0
3位	長期間安定して働けること	83.0
4位	自分の個性や能力が活かせること	77.2
5位	地理的条件がよいこと	72.4
6位	給料が高いこと	69.2
7位	育児と両立できること	60.9
8位	人や社会の役に立つこと	60.7
9位	働く会社に将来性があること	60.5
10位	自分のやりたいこと(趣味など)と両立できること	60.2
11位	休みが多いこと	56.2
12位	資格を活かせること	54.4
13位	仕事を通して資格や技術が身につけられること	54.1
14位	人と接する機会が多いこと	39.9
15位	人や社会から尊敬されること	39.1
16位	好きな時間に働けること	29.4
17位	働く会社の知名度が高いこと	20.9
18位	国際的に働けること	10.3
19位	将来独立して事業ができること	6.7

一般調査(*) 有職女性ランキング

順位	項目	%
1位	職場の雰囲気がよいこと	49.8
2位	自分のやりたい仕事であること	40.3
3位	給料が高いこと	30.6
4位	自分の個性や能力が活かせること	26.8
5位	長期間安定して働けること	21.8
6位	休みが多いこと	18.5
7位	地理的条件がよいこと	18.4
8位	育児と両立できること	17.3
9位	自分のやりたいこと(趣味など)と両立できること	16.4
10位	仕事を通して資格や技術が身につけられること	11.6
11位	好きな時間に働けること	11.6
12位	資格を活かせること	8.3
13位	人や社会の役に立つこと	5.7
14位	人と接する機会が多いこと	4.7
15位	働く会社に将来性があること	2.0
16位	将来独立して事業ができること	1.9
17位	人や社会から尊敬されること	0.8
18位	国際的に働けること	0.8
19位	働く会社の知名度が高いこと	0.8

* 一般調査・・・2006年1月ベネッセコーポレーション実施「若者の仕事生活実態調査報告書-25～35歳の男女を対象に-」より

2.仕事をする上で重視すること～若者の仕事生活実態調査結果との比較

問11.あなたが仕事をする上で(もしくは今後働くとしたら仕事をする上で)、重視することは何ですか。

一般調査(*)の『仕事をする上で重視すること』の調査結果と比較してみたところ、次のような傾向が見られた。

- ◆ 専業主婦ベースでは、下記の傾向が見られた。
- ◇ 一般の専業主婦よりも、武庫川女子大学・短期大学部卒業の専業主婦は、「職場の雰囲気がよいこと」「地理的条件がよいこと」「長期間安定して働けること」等の優先順位が高い。
- ◇ 一方、「育児と両立できること」「好きな時間に働けること」等の優先順位は低い傾向。

仕事をする上で重視すること(「重視する」+「どちらかといえば重視する」)の順位

専業主婦ベース

武庫川女子大学・短期大学部卒業生 専業主婦ランキング

順位	項目	%
1位	職場の雰囲気がよいこと	95.0
2位	自分のやりたい仕事であること	88.7
3位	地理的条件がよいこと	79.8
4位	育児と両立できること	78.2
5位	長期間安定して働けること	74.3
6位	自分の個性や能力が活かせること	73.7
7位	給料が高いこと	64.7
8位	好きな時間に働けること	60.6
9位	自分のやりたいこと(趣味など)と両立できること	55.8
10位	休みが多いこと	55.0
11位	資格を活かせること	52.3
12位	仕事を通して資格や技術が身につけられること	50.8
13位	人や社会の役に立つこと	50.4
14位	働く会社に将来性があること	47.4
15位	人と接する機会が多いこと	33.8
16位	人や社会から尊敬されること	29.9
17位	働く会社の知名度が高いこと	16.2
18位	国際的に働けること	7.8
19位	将来独立して事業ができること	6.0

一般調査(*) 専業主婦ランキング

順位	項目	%
1位	育児と両立できること	70.1
2位	自分のやりたい仕事であること	41.4
3位	好きな時間に働けること	34.7
4位	職場の雰囲気がよいこと	34.5
5位	給料が高いこと	24.3
6位	自分の個性や能力が活かせること	17.8
7位	地理的条件がよいこと	17.8
8位	休みが多いこと	15.0
9位	長期間安定して働けること	11.1
10位	自分のやりたいこと(趣味など)と両立できること	6.9
11位	仕事を通して資格や技術が身につけられること	6.9
12位	資格を活かせること	4.6
13位	人や社会の役に立つこと	2.4
14位	人と接する機会が多いこと	2.2
15位	働く会社に将来性があること	1.3
16位	国際的に働けること	0.7
17位	将来独立して事業ができること	0.2
18位	人や社会から尊敬されること	0.2
19位	働く会社の知名度が高いこと	0.2

* 一般調査・・・2006年1月ベネッセコーポレーション実施「若者の仕事生活実態調査報告書-25～35歳の男女を対象に-」より

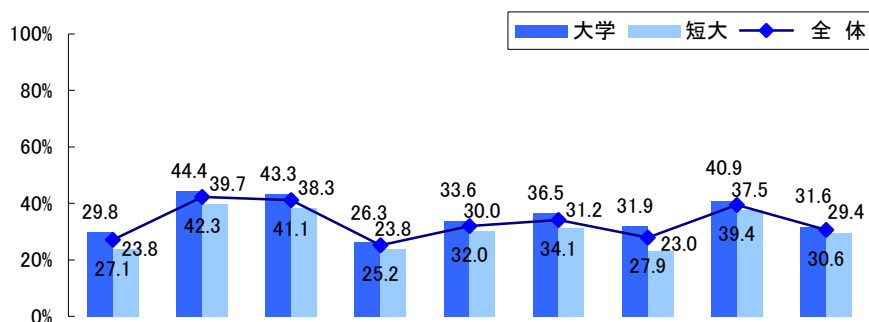
Ⅲ. 本学の教育目標や教育活動について

1. 立学の精神の認知

問12. 本学は、「高い知性、善美な情操、高雅な徳性」を持った、「社会に貢献できる女性の育成」という立学の精神を踏まえ、以下(1)～(9)のような女性を育成することをめざしています。あなたは、このことを A. 在学中に知っていましたか。

- ◆ 全体では認知度が過半数を超える項目は見られず、「自主的・積極的に勉強することを大切にする女性」「自分で考え、行動することを大切にする女性」「人を思いやる心を大切にする女性」などの高い項目でも認知率は約4割にとどまる。
- ◆ 大学／短大別では、一般的に大学の方が高めであるが、特に「倫理に根ざして物事を考えることを大切にする女性」「自分で課題を見つけ出すことを大切にする女性」に関して、大学の方が短大よりも5ポイント以上高い。
- ◆ 卒業年別では、大学、短大とも04年以前卒業生と比べ、05年以降卒業生の方が認知度は高い項目が目立つ。特に「自主的・積極的に勉強することを大切にする女性」は、05年以降の卒業生では認知度が過半数を超える。
- ◆ 入学満足度別では、総じて入学満足度の高い者の方が認知度は高い傾向が見られる。

「知っていた」+「多少知っていた」



	N	%									
		高い知性	善美な情操	高雅な徳性	高い知性	善美な情操	高雅な徳性	高い知性	善美な情操	高雅な徳性	
全体	3058	27.1	42.3	41.1	25.2	32.0	34.1	27.9	39.4	30.6	
区分	大学	1694	29.8	44.4	43.3	26.3	33.6	36.5	31.9	40.9	31.6
	短大	1364	23.8	39.7	38.3	23.8	30.0	31.2	23.0	37.5	29.4
卒業年別	大学:98～99年卒業	275	25.1	38.9	39.6	21.8	34.5	32.7	33.8	40.4	33.5
	大学:00～04年卒業	720	26.1	41.0	39.9	26.5	33.1	36.1	31.0	39.0	30.3
	大学:05～09年卒業	664	35.7	50.2	48.5	27.9	33.9	38.1	32.1	43.2	31.9
	短大:96～99年卒業	396	18.9	28.8	28.5	15.7	25.3	24.0	21.0	28.8	23.2
	短大:00～04年卒業	476	20.2	37.6	36.6	22.7	27.5	30.5	22.1	35.7	30.0
	短大:05～09年卒業	468	31.8	51.7	48.7	31.6	36.1	37.6	25.4	46.2	33.5

■: 全体より10ポイント以上高い

■: 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

1. 立学の精神の認知

	全体	高い知性			善美な情操			高雅な徳性			
		を自分で課題を見つける女性	とを自主的・積極的に勉強すること	大切に考える女性	感動を覚える心を大切にすること	まごころをもつて人と接すること	性心を豊かにし、潤いのある女性	倫理に根ざして物事を考える女性	人を思いやる心を大切にすること	人にするために尽くすことを大切に	
	N	%									
全体	3058	27.1	42.3	41.1	25.2	32.0	34.1	27.9	39.4	30.6	
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	26.9	44.5	41.8	22.5	26.9	34.1	31.3	35.7	27.5
	英語文化学科／英米文学科	203	31.5	50.2	47.8	32.0	34.5	41.4	36.0	44.8	37.4
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	35.8	50.6	52.4	30.6	39.9	40.6	32.8	43.2	36.5
	健・スポ科学科/教育学科：体育/健・スポ専攻	145	26.2	37.9	39.3	22.8	22.1	28.3	22.1	33.1	20.0
	心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科	157	29.3	50.3	45.2	24.2	29.9	35.7	31.8	42.7	35.7
	生活環境学科	152	30.3	40.1	41.4	21.1	32.9	36.2	30.9	35.5	26.3
	食物栄養学科	204	23.5	38.7	34.3	19.1	31.4	30.4	27.9	34.3	24.5
	情報メディア学科／生活情報学科	120	33.3	41.7	39.2	24.2	33.3	37.5	30.0	42.5	25.0
	声楽学科	14	14.3	21.4	28.6	21.4	21.4	21.4	21.4	28.6	21.4
	器楽学科	33	36.4	45.5	48.5	42.4	45.5	45.5	45.5	54.5	48.5
薬学科	138	29.0	41.3	42.8	31.9	45.7	40.6	34.1	51.4	39.1	
生物薬学科	72	30.6	44.4	43.1	31.9	38.9	38.9	45.8	50.0	43.1	
在籍学科・短大	日本語文化学科／国文学科	178	23.0	41.0	37.6	25.8	26.4	29.2	25.8	33.7	22.5
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	17.7	36.6	32.3	18.3	26.2	26.2	14.0	30.5	24.4
	幼児教育学科	222	33.8	45.9	46.8	28.8	37.4	37.8	29.7	45.9	35.1
	人間関係学科	168	28.0	41.7	41.1	26.2	36.3	36.3	26.2	42.3	36.3
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	25.4	44.1	40.7	28.0	30.5	32.2	22.0	43.2	34.7
	食生活学科	305	23.6	38.4	36.4	22.0	27.9	27.2	20.7	34.8	26.6
	生活造形学科	205	15.1	32.2	33.7	19.5	25.9	30.7	21.5	33.7	28.8
業種別	保健・衛生・医療福祉関係	350	22.0	41.1	40.0	24.6	35.4	34.0	28.9	41.1	28.6
	スポーツ関係	56	23.2	37.5	30.4	26.8	19.6	33.9	19.6	32.1	26.8
	公務員(国・地方自治体)	165	28.5	43.0	41.8	23.0	27.9	30.3	23.0	33.9	26.7
	教育関係	432	34.7	47.0	46.8	28.5	35.9	37.7	30.6	43.5	36.6
	音楽関係	21	23.8	42.9	47.6	42.9	47.6	42.9	33.3	52.4	47.6
	マスコミ・出版関係	17	23.5	29.4	29.4	23.5	23.5	35.3	23.5	35.3	35.3
	販売・サービス関係	387	26.1	42.9	40.1	27.6	33.6	36.4	27.6	41.3	31.8
	商社・金融関係	270	29.3	45.6	44.8	27.8	33.0	34.4	31.5	41.9	34.8
	情報・通信関係	66	27.3	47.0	45.5	21.2	31.8	34.8	33.3	34.8	25.8
	食品・化学関係	143	27.3	46.2	42.0	23.8	36.4	33.6	30.1	40.6	32.2
	建設・機械関係	127	24.4	34.6	37.0	18.1	23.6	28.3	22.8	30.7	20.5
	農林・水産関係	8	12.5	50.0	25.0	37.5	0.0	25.0	25.0	12.5	12.5
その他	291	27.5	42.3	39.5	25.8	30.2	34.7	27.1	41.2	31.6	
入学満足度別	入学してよかった	2747	28.9	44.4	43.2	26.4	33.8	35.9	29.1	41.5	32.3
	どちらともいえない	228	8.8	17.5	18.4	11.4	13.6	15.8	14.5	18.0	12.3
	入学しなければよかった	62	11.3	30.6	25.8	17.7	17.7	21.0	22.6	19.4	17.7

■ : 全体より10ポイント以上高い

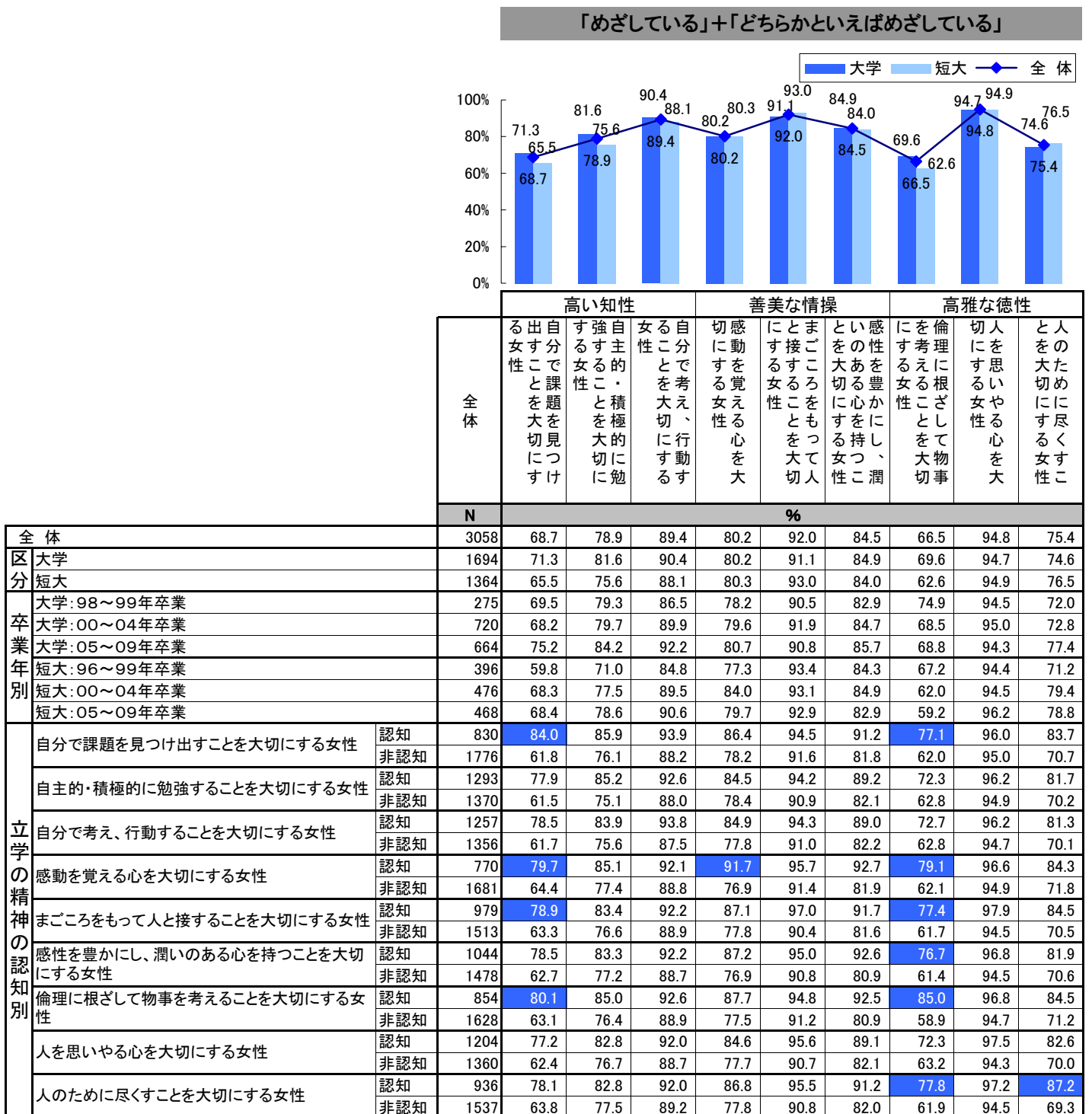
■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

2. 立学の精神への共感

問12. 本学は、「高い知性、善美な情操、高雅な徳性」を持った、「社会に貢献できる女性の育成」という立学の精神を踏まえ、以下(1)～(9)のような女性を育成することをめざしています。このような女性になることを B. 現在のあなたはめざしていますか。

- ◆ 全体では、「倫理に根ざして物事を考えることを大切にする女性」「自分で課題を見つけ出すことを大切にする女性」など低い項目でも共感度(「めざしている」+「どちらかといえばめざしている」)は約7割と、全般的にどの項目も高い。
特に、「人を思いやる心を大切にする女性」「まごころをもって人と接することを大切にする女性」「自分で考え、行動することを大切にする女性」は共感度が9割近くかそれ以上とほぼ全員がめざしている。
- ◆ 大学/短大別では特に大きな差異はないが、「倫理に根ざして物事を考えることを大切にする女性」「自主的・積極的に勉強することを大切にする女性」「自分で課題を見つけ出すことを大切にする女性」に関しては、大学の方が短大よりも5～7ポイント程度共感度が高め。
- ◆ 卒業年別では、大学、短大とも卒業後の年数が短い方が共感度が高めの項目が多いが、「倫理に根ざして物事を考えることを大切にする女性」に関しては、00年以降の卒業生よりも、99年以前の卒業生の方が共感度が高いことが特徴である。
- ◆ 入学満足度別では、総じて入学満足度の高い者の方が共感度が高いが、特に「自分で課題を見つけ出すことを大切にする女性」等において、入学満足者と不満者との間の差異が大きい。



■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

2. 立学の精神への共感

	全体	高い知性			善美な情操			高雅な徳性			
		を自分で課題を見つける女性	と自主的・積極的に勉強すること	大切に考える女性	感動を覚える心を大切に	まごころを大切にする女性	心を豊かにし、潤いのある女性	倫理に根ざして物事を考える女性	人を思いやる心を大切に	人のために尽くすことを大切に	
		N	%								
全体	3058	68.7	78.9	89.4	80.2	92.0	84.5	66.5	94.8	75.4	
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	68.1	77.5	87.4	80.8	88.5	81.3	72.0	92.9	67.6
	英語文化学科／英米文学科	203	68.0	84.7	92.1	81.8	91.1	87.7	69.0	95.6	77.3
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	78.6	83.8	91.1	87.5	94.5	89.3	74.9	97.4	81.9
	健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻	145	75.2	77.2	94.5	80.7	91.7	83.4	64.8	95.9	82.8
	心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科	157	68.2	82.8	92.4	80.9	89.8	88.5	70.7	94.3	70.1
	生活環境学科	152	71.1	82.2	92.8	79.6	90.8	86.2	64.5	92.8	69.7
	食物栄養学科	204	69.1	80.4	87.7	76.5	91.7	83.8	66.7	93.6	72.5
	情報メディア学科／生活情報学科	120	70.0	77.5	90.0	70.0	89.2	75.8	60.8	94.2	66.7
	声楽学科	14	78.6	85.7	100.0	100.0	100.0	100.0	85.7	100.0	100.0
	器楽学科	33	75.8	87.9	93.9	93.9	93.9	100.0	75.8	100.0	87.9
薬学科	138	67.4	80.4	84.8	71.7	88.4	79.7	70.3	90.6	70.3	
生物薬学科	72	73.6	88.9	90.3	79.2	91.7	79.2	80.6	97.2	77.8	
在籍学科・短大	日本語文化学科／国文学科	178	59.6	71.3	81.5	77.0	91.6	81.5	67.4	93.3	67.4
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	64.0	73.8	84.8	79.3	90.9	81.1	58.5	94.5	77.4
	幼児教育学科	222	70.7	78.4	91.4	86.9	96.8	91.9	64.0	97.3	81.5
	人間関係学科	168	63.7	74.4	86.3	80.4	90.5	82.7	63.1	94.6	76.8
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	75.4	82.2	94.9	80.5	96.6	81.4	65.3	98.3	81.4
	食生活学科	305	64.9	76.4	89.2	78.0	93.4	83.3	63.0	94.1	76.7
	生活造形学科	205	62.9	73.7	88.8	80.0	90.7	83.9	57.6	93.7	74.6
業種別	保健・衛生・医療福祉関係	350	71.1	83.1	91.4	80.3	94.3	82.3	72.6	96.3	78.6
	スポーツ関係	56	71.4	80.4	94.6	83.9	98.2	83.9	58.9	98.2	85.7
	公務員（国・地方自治体）	165	78.2	81.8	89.1	83.0	88.5	87.3	72.7	92.7	75.8
	教育関係	432	77.1	85.9	93.3	86.6	93.8	88.7	72.0	96.8	82.6
	音楽関係	21	85.7	90.5	95.2	90.5	100.0	100.0	76.2	100.0	95.2
	マスコミ・出版関係	17	70.6	82.4	94.1	82.4	82.4	88.2	41.2	100.0	58.8
	販売・サービス関係	387	65.9	76.7	89.4	79.3	90.7	83.7	58.7	91.7	69.8
	商社・金融関係	270	68.1	80.0	92.2	80.7	92.2	85.9	68.9	93.7	73.7
	情報・通信関係	66	69.7	80.3	84.8	74.2	90.9	78.8	60.6	95.5	71.2
	食品・化学関係	143	69.2	79.7	90.2	74.1	88.1	83.9	67.8	94.4	72.7
	建設・機械関係	127	63.8	75.6	86.6	79.5	93.7	85.8	63.8	94.5	78.0
	農林・水産関係	8	75.0	75.0	87.5	87.5	87.5	100.0	87.5	100.0	100.0
	その他	291	72.2	82.5	89.0	79.4	91.1	84.5	64.9	94.8	73.9
入学満足度別	入学してよかった	2747	70.0	79.8	89.9	80.8	92.5	85.3	66.6	95.3	76.7
	どちらともいえない	228	58.3	70.6	85.5	76.3	85.5	78.5	64.9	90.4	63.2
	入学しなければよかった	62	56.5	75.8	87.1	72.6	91.9	74.2	69.4	90.3	66.1

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

3. 立学の精神の認知と共感

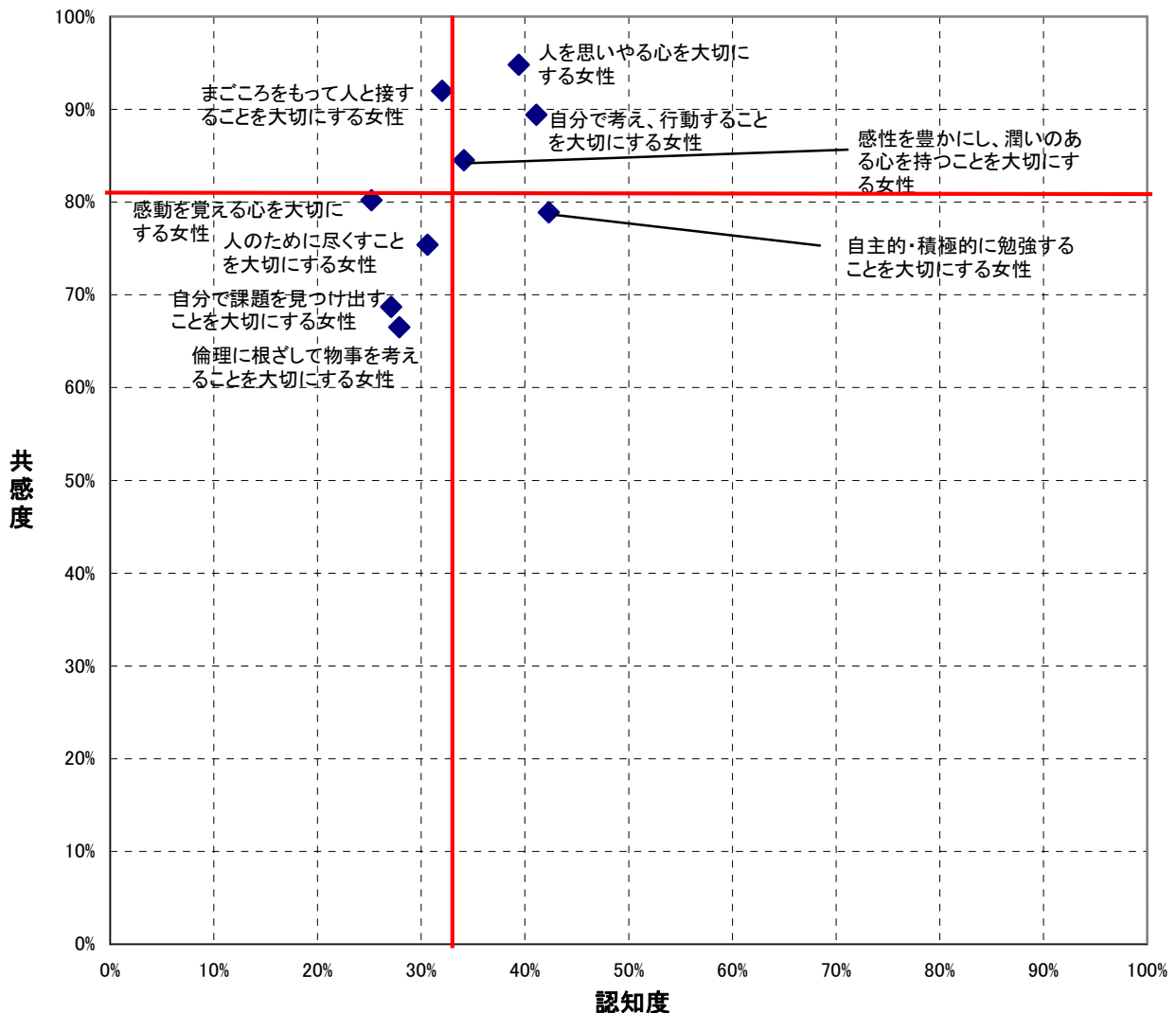
問12. 本学は、「高い知性、善美な情操、高雅な徳性」を持った、「社会に貢献できる女性の育成」という立学の精神を踏まえ、以下(1)～(9)のような女性を育成することをめざしています。

あなたは、このことを A. 在学中に知っていましたか。
また、このような女性になることを B. 現在のあなたはめざしていますか。

- ・ 下記グラフは、前項、前々項で考察をした立学の精神の認知度と共感度を掛け合わせ、各項目がどの位置にあるかを表したものである。
- ・ 縦軸は共感度、横軸は認知度を表している。
- ・ 実線のクロス線は、縦軸・横軸の各平均値を表している。
- ・ 実線のクロス線を境に、左上の象限にプロットされている項目は「共感度が高いが、認知度は低い」、右上の象限にプロットされている項目は、「共感度が高く、認知度も高い」、左下の象限にプロットされている項目は「共感度が低く、認知度も低い」、右下の象限にプロットされている項目は「共感度が低いが、認知度は高い」項目である。
- 以下、共感度と認知度の高い低いは平均との比較である。

- ◆ 左上の「共感度が高いが、認知度は低い」象限には、「まごころをもって人と接することを大切にする女性」1項目があてはまる。この項目は、「めざしている」人が多いにもかかわらずあまり認知されていないという特徴を持つので、認知度アップを特に強化したい。
- ◆ 左下の「共感度が低く、認知度も低い」象限には、「感動を覚える心を大切にする女性」「人のために尽くすことを大切にする女性」「自分で課題を見つけ出すことを大切にする女性」「倫理に根ざして物事を考えることを大切にする女性」の4項目があてはまる。特に、「自分で課題を見つけ出すことを大切にする女性」「倫理に根ざして物事を考えることを大切にする女性」については、卒業生が考える社会生活全般で必要な能力の上位であり(P51参照)、このような女性になることの大切さを伝えるとともに、認知度アップも強化したい。

認知(「知っている」+「多少知っていた」)vs. 共感(「めざしている」+「どちらかといえばめざしている」)



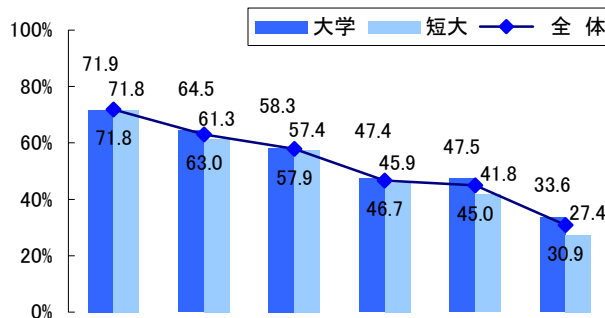
— : 縦軸、横軸の各平均値

4. 立学の精神をふまえた教育活動実践への実感度

問13. 本学は、問12に示した立学の精神を実現するために、以下(1)～(6)の教育活動を実践してきました。あなたは在学中、A. それぞれについてどの程度実感していましたか。

- ◆ 全体では、「文理を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している」の実感度が最も高く7割以上に達する。一方、「各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている」「女性の自立や特性を活かした教育が行われている」「実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する」に関しては実感度は5割以下と低い。
- ◆ 大学/短大別では、特に大きな差ではないが、「女性の自立や特性を活かした教育が行われている」「各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている」に関して、比較的大学の方が実感度が高い傾向。
- ◆ 卒業年別では、全般的に卒業後の年数が短い方が実感度が高い項目が多いが、中でも「実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する」に関しては差異が大きく、99年以前よりも05年以降の卒業生の方が20ポイント以上高い。
- ◆ 学科別では、下記の傾向が見られる。
 - ◇ 大学の教育学科/教育学科: 初等教育専攻は全般的に実感度が高く、ほとんどの項目で平均以上である。
 - ◇ 大学の情報メディア学科/生活情報学科や短大の人間関係学科は、他学科では低い「実社会で役立つIT(情報技術)運用能力を養成する」の実感度が約7割と高い。大学の心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科においても約6割と高め。
 - ◇ 大学の生活環境学科は「文理を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している」の実感度が特に高い。
 - ◇ 大学の食物栄養学科や短大の幼児教育学科は「実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している」が高い。
 - ◇ 大学の薬学科、生物薬学科などの理系学科は、全般的に実感度が低い傾向。特に、「文理を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している」「ニーズに応じて選べる学びのステージを豊富に用意している」「実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する」は、全体と比較して10ポイント以上低い。

「実感していた」+「どちらかといえば実感していた」



	N	%						
		1. 文理を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している	2. 各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている	3. 女性の自立や特性を活かした教育が行われている	4. 実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する	5. 実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している	6. ニーズに応じて選べる学びのステージを豊富に用意している	
全体	3058	71.8	63.0	57.9	46.7	45.0	30.9	
区分	大学	1694	71.9	64.5	58.3	47.4	47.5	33.6
	短大	1364	71.8	61.3	57.4	45.9	41.8	27.4
卒業年別	大学: 98～99年卒業	275	69.8	64.7	55.6	35.6	44.0	32.0
	大学: 00～04年卒業	720	71.0	61.9	52.8	44.2	44.6	28.5
	大学: 05～09年卒業	664	74.4	66.6	65.4	55.6	51.5	39.8
	短大: 96～99年卒業	396	69.2	53.0	54.3	33.8	36.6	20.7
	短大: 00～04年卒業	476	69.7	60.3	53.8	43.1	34.7	25.0
	短大: 05～09年卒業	468	77.1	69.7	64.5	59.8	53.8	36.1

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

4. 立学の精神をふまえた教育活動実践への実感度

	全体	由に文理を問わず幅広い分野を自 いる学べる科目群を用意して 機会を多数用意して実践から学ぶ るステージを豊富に用いる学びの する(実社会で役立つ高度なIT 情報技術)運用能力を養成 教育が行われていた 女性の自立や特性を活かした 各学生の個性を大切にしたい						
		N	%					
全体	3058	71.8	63.0	57.9	46.7	45.0	30.9	
在籍学科・大学	日本語日本文学科/国文学科	182	77.5	44.0	54.9	41.8	45.1	26.9
	英語文化学科/英米文学科	203	70.4	55.7	64.5	45.8	50.2	30.0
	教育学科/教育学科:初等教育専攻	271	67.9	81.9	69.7	61.6	55.7	49.1
	健・スポ科学科/教育学科:体育/健・スポ専攻	145	68.3	71.7	62.8	40.7	42.1	36.6
	心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科	157	78.3	60.5	58.0	59.2	49.0	29.3
	生活環境学科	152	82.2	63.8	59.2	30.9	42.1	32.2
	食物栄養学科	204	74.0	76.0	53.9	47.1	44.1	26.0
	情報メディア学科/生活情報学科	120	81.7	50.0	57.5	70.0	48.3	36.7
	声楽学科	14	78.6	57.1	71.4	42.9	35.7	57.1
	器楽学科	33	72.7	54.5	57.6	30.3	36.4	57.6
薬学科	138	55.8	66.7	41.3	33.3	47.1	27.5	
生物薬学科	72	55.6	62.5	37.5	33.3	50.0	22.2	
在籍学科・短大	日本語文化学科/国文学科	178	80.3	34.3	65.2	45.5	39.3	21.9
	英語コミュニケーション学科/英語学科	164	65.2	62.8	55.5	45.7	40.9	30.5
	幼児教育学科	222	64.0	77.5	55.0	47.3	46.8	36.5
	人間関係学科	168	82.1	60.1	65.5	69.6	44.6	27.4
	健康・スポーツ学科/体育学科	118	72.0	54.2	55.1	41.5	39.8	22.0
	食生活学科	305	70.8	70.8	53.8	42.3	39.3	24.3
	生活造形学科	205	71.2	57.6	55.6	33.2	41.5	27.3
業種別	保健・衛生・医療福祉関係	350	70.6	65.1	52.9	44.6	46.9	25.4
	スポーツ関係	56	76.8	66.1	66.1	39.3	41.1	19.6
	公務員(国・地方自治体)	165	71.5	66.1	60.6	47.9	48.5	38.8
	教育関係	432	69.0	73.1	61.8	52.8	50.2	43.8
	音楽関係	21	85.7	71.4	71.4	28.6	38.1	61.9
	マスコミ・出版関係	17	70.6	52.9	52.9	47.1	29.4	35.3
	販売・サービス関係	387	73.6	59.4	56.3	47.3	38.5	27.1
	商社・金融関係	270	71.9	59.6	65.9	55.6	45.6	33.7
	情報・通信関係	66	74.2	66.7	57.6	50.0	45.5	28.8
	食品・化学関係	143	72.0	69.2	57.3	44.8	44.8	27.3
	建設・機械関係	127	73.2	59.1	55.9	48.8	45.7	24.4
	農林・水産関係	8	75.0	87.5	50.0	75.0	37.5	25.0
	その他	291	72.9	54.0	57.0	43.6	42.3	26.1
入学満足度別	入学してよかった	2747	73.9	65.6	60.9	49.2	47.3	33.1
	どちらともいえない	228	53.9	38.6	30.3	21.1	21.5	8.3
	入学しなければよかった	62	53.2	35.5	30.6	30.6	25.8	9.7

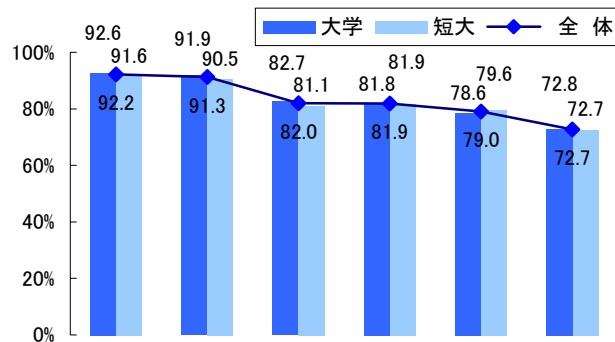
■ : 全体より10ポイント以上高い
 ■ : 全体より10ポイント以上低い
 ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

5. 立学の精神をふまえた教育活動の社会での必要度

問13. 本学は、問12に示した立学の精神を実現するために、以下(1)～(6)の教育活動を実践してきました。(1)～(6)の項目はB. 卒業後の社会生活全般にどの程度必要だと思いますか。

- ◆ 全体では、最も必要度が高かった項目は「実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する」で92.2%。この項目は実感が低かったが必要度は非常に高い項目である。
- 他の項目についても、最も低い「各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている」でも必要度は7割以上。いずれの項目も、必要度は高いものばかりである。
- ◆ 大学/短大別では、ほとんど差異は見られない。
- ◆ 卒業年別では全般的に特に大きな差は見られないが、「各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている」に関しては、大学において、卒業後の年数が短いほど高い傾向が見られる。

「必要である」+「どちらかといえば必要である」



	N	%						
		1. 実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する	2. 実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している	3. 文理を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している	4. ステージに豊に用いる学習の機会を豊富に用意している	5. 女性が行われやすさを活かした教育が行われている	6. 各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている	
全体	3058	92.2	91.3	82.0	81.9	79.0	72.7	
区分	大学	1694	92.6	91.9	82.7	81.8	78.6	72.8
	短大	1364	91.6	90.5	81.1	81.9	79.6	72.7
卒業年別	大学: 98~99年卒業	275	90.9	91.6	82.2	79.3	77.5	68.7
	大学: 00~04年卒業	720	92.2	92.2	82.4	80.8	76.9	71.5
	大学: 05~09年卒業	664	94.1	91.9	83.4	83.9	81.0	76.1
	短大: 96~99年卒業	396	92.7	90.2	81.1	81.1	78.8	72.0
	短大: 00~04年卒業	476	91.4	89.1	80.9	81.7	80.3	72.1
	短大: 05~09年卒業	468	91.5	92.5	82.5	83.5	80.6	74.8

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

5. 立学の精神をふまえた教育活動の社会での必要度

		全体	（実社会で役立つ高度なIT情報技術）運用能力を養成する	実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している	文理を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している	ステージに応じて選べる学びのコースを豊富に用意している	女性の自立や特性を活かした教育が行われている	各学生の個性を大切にしながら指導をしている
		N	%					
全体		3058	92.2	91.3	82.0	81.9	79.0	72.7
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	91.8	87.4	81.9	81.9	75.3	72.5
	英語文化学科／英米文学科	203	92.6	91.6	84.2	89.2	82.3	74.4
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	94.5	94.8	83.4	85.2	82.3	78.6
	健・スポ科学科/教育学科：体育/健・スポ専攻	145	95.2	87.6	84.8	86.9	81.4	77.2
	心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科	157	93.6	93.0	82.2	82.2	77.7	74.5
	生活環境学科	152	90.1	92.8	82.2	80.9	77.6	73.7
	食物栄養学科	204	90.7	93.6	84.3	78.4	77.5	70.6
	情報メディア学科／生活情報学科	120	96.7	90.0	85.8	80.8	72.5	68.3
	声楽学科	14	85.7	100.0	78.6	78.6	71.4	100.0
	器楽学科	33	90.9	93.9	90.9	93.9	93.9	87.9
薬学科	138	90.6	90.6	73.9	65.9	74.6	55.8	
生物薬学科	72	88.9	95.8	81.9	75.0	75.0	65.3	
在籍学科・短大	日本語文化学科／国文学科	178	94.9	86.0	86.0	83.1	85.4	72.5
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	89.0	89.0	76.2	78.7	79.3	72.6
	幼児教育学科	222	91.4	94.6	78.4	83.3	80.6	77.5
	人間関係学科	168	92.9	88.7	86.9	85.1	77.4	73.8
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	89.8	89.0	84.7	80.5	73.7	72.9
	食生活学科	305	90.8	91.5	80.0	79.0	77.4	66.2
	生活造形学科	205	92.2	92.2	78.0	83.9	82.0	75.6
業種別	保健・衛生・医療福祉関係	350	94.9	95.1	85.1	79.4	79.4	74.3
	スポーツ関係	56	91.1	89.3	83.9	75.0	75.0	67.9
	公務員（国・地方自治体）	165	93.9	92.1	77.0	84.8	78.8	77.6
	教育関係	432	94.0	95.4	83.6	87.3	81.0	80.8
	音楽関係	21	85.7	100.0	95.2	95.2	85.7	100.0
	マスコミ・出版関係	17	82.4	88.2	88.2	94.1	64.7	88.2
	販売・サービス関係	387	92.2	92.2	83.5	81.1	79.6	70.5
	商社・金融関係	270	94.8	88.1	83.3	83.0	81.1	74.8
	情報・通信関係	66	98.5	97.0	83.3	77.3	77.3	72.7
	食品・化学関係	143	86.7	88.8	82.5	83.9	80.4	67.1
	建設・機械関係	127	92.1	87.4	79.5	78.7	72.4	65.4
	農林・水産関係	8	100.0	87.5	75.0	75.0	87.5	75.0
	その他	291	90.4	88.3	80.1	79.0	75.9	66.7

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

6. 立学の精神をふまえた教育活動実践への実感度と社会での必要度

問13. 本学は、問12に示した立学の精神を実現するために、以下(1)～(6)の教育活動を実践してきました。あなたは在学中、A. それぞれについてどの程度実感していましたか。

(1)～(6)の項目は B. 卒業後の社会生活全般にどの程度必要だと思われますか。

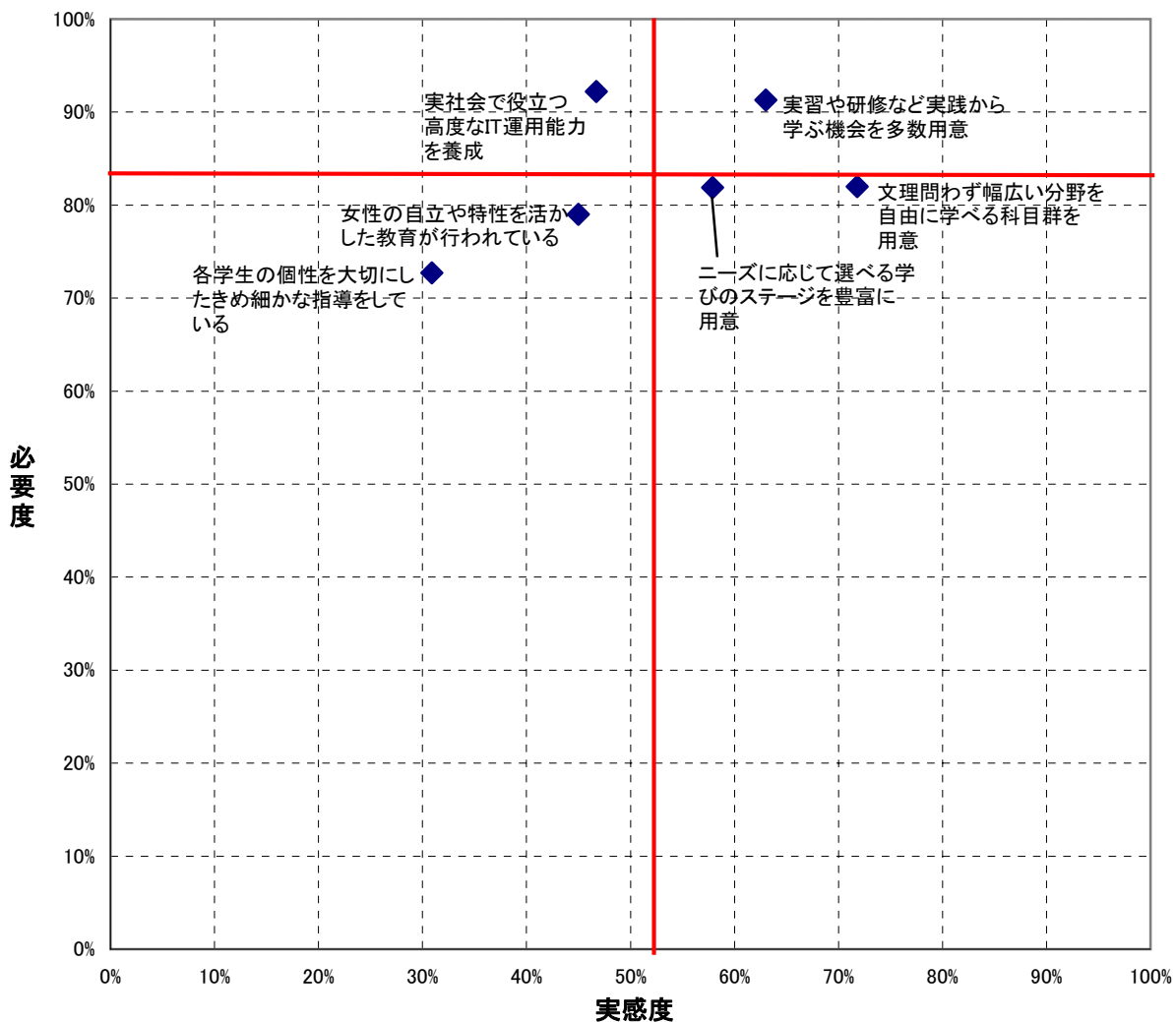
- ・ 下記グラフは、前項、前々項で考察をした立学の精神をふまえた教育活動の実感度と必要度を掛け合わせ、各項目がどの位置にあるかを表したものである。
- ・ 縦軸は必要度、横軸は実感度を表している。
- ・ 実線のクロス線は、縦軸・横軸の各平均値を表している。
- ・ 実線のクロス線を境に、左上の象限にプロットされている項目は「必要度が高いが、実感度は低い」、右上の象限にプロットされている項目は「必要度が高く、実感度も高い」、左下の象限にプロットされている項目は「必要度が低く、実感度も低い」、右下の象限にプロットされている項目は「必要度が低いが、実感度は高い」項目である。
- 以下、必要度と実感度の高い低いは平均との比較である。

◆ 左上の「必要度が高いが、実感度は低い」象限には、「実社会で役立つ高度なIT運用能力を養成」の1項目があてはまる。社会ニーズとのギャップを埋める施策の検討が必要と思われる。

◆ 左下の「必要度が低く、実感度も低い」象限には、「女性の自立や特性を活かした教育が行われている」「各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている」の2項目があてはまる。

これらの項目は、他の項目と比べると社会の必要度は低めであるとはいえ、7割以上の卒業生が必要であると回答した事柄なので、上記の「実社会で役立つ高度なIT運用能力を養成」とともに実感度アップを強化する施策が必要と考えられる。

実感(「実感していた」+「どちらかといえば実感していた」)vs. 必要度(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)



— : 縦軸、横軸の各平均値

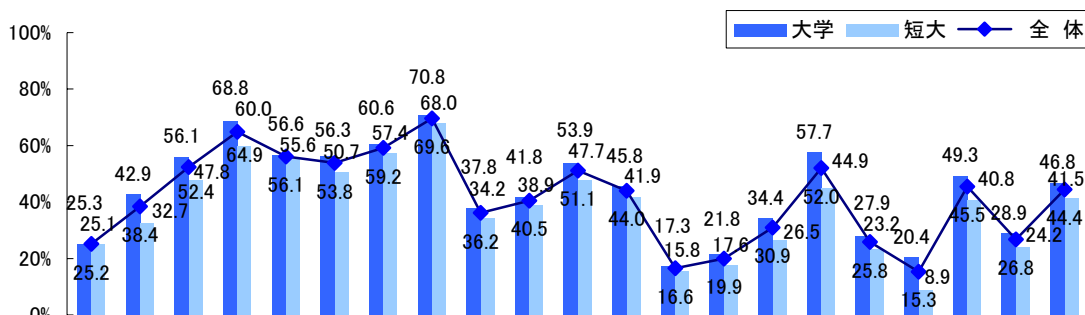
IV. 本学の教育で得た能力について

1. 本学で身についた能力

問14.あなたは本学で教育を受けたことにより、以下(1)～(21)の能力が、A.どの程度身についたと思いますか。

- ◆ 全体では、「社会の規範やルールに従って行動する力」が最も高く、身についた割合は約7割。
「目標の達成に向かって取り組み続ける力」が64.9%、「周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に配慮して行動する力」が59.2%と続く。
一方、「ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力」「外国語を読み、書き、聞き、話す力」「社会のために行動する力」は身についた割合が2割に満たないが、卒業後の年数が短いほど、「ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力」「外国語を読み、書き、聞き、話す力」の身についた割合が高くなっている。
カテゴリー単位で見てみると、「チームワークリーダーシップ」群において、身についた割合が高い。
- ◆ 大学／短大別では、全般的に短大よりも大学の方が高い傾向が見られるが、中でも「現状を分析し、課題を明らかにする力」「コンピュータを使って、文書や発表資料などを作成する力」「ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力」は短大と大学の差が大きく、大学の方が10ポイント以上高い。

「身についた」+「ある程度身についた」



カテゴリー	説明
創造的思考力	常識にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力
問題解決力	現状を分析し、課題を明らかにする力
チームワークリーダー	計画し、準備するための必要なプロセスを目標の達成に向けて取り組み続ける力
状況把握力(※)	目標の達成に向かって取り組み続ける力
自己管理能力・倫理観	自分から進んでものごとに取り組みする力
コミュニケーションスキル(意思疎通力)	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に配慮して行動するために周囲の人の協力を得る力
コミュニケーションスキル(語学力)	社会的規範やルールに従って行動する力
市民としての社会的責任	ロールモデルに対応し、自分の感情をコントロールする力
情報リテラシー	自分の意見を相手にわかりやすく伝える力
人類の文化・社会と自然に関する知識の理解力	理解する力
数量的スキル	立場で理解する力
生涯学習力	相手の意見を丁寧に聞き、内容を正確に理解する力
知識の理解力	外国語を読み、書き、聞き、話す力
多文化・異文化に関する	社会のために行動する力(ボランティア、NPO活動など)
論理的思考力	自分とは意見の異なる人の考えを相手の立場で理解する力
ものごとを客観的・多面的にとらえる力	多様な情報を整理し、必要な場面で活用する力
自己や他国の文化・社会について理解し、尊重する態度	コンピュータを使って、文書や発表資料を作成する力
卒業後も学び続ける力	社会が直面する問題を理解する力
学校単位などに関係なく、卒業後も学び続ける力	析する力
ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力	ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力
コンピュータを使って、文書や発表資料などを作成する力	コンピュータを使って、文書や発表資料を作成する力

	N	%																					
全体	3058	25.2	38.4	52.4	64.9	56.1	53.8	59.2	69.6	36.2	40.5	51.1	44.0	16.6	19.9	30.9	52.0	25.8	15.3	45.5	26.8	44.4	
区分	大学	1694	25.3	42.9	56.1	68.8	56.6	56.3	60.6	70.8	37.8	41.8	53.9	45.8	17.3	21.8	34.4	57.7	27.9	20.4	49.3	28.9	46.8
	短大	1364	25.1	32.7	47.8	60.0	55.6	50.7	57.4	68.0	34.2	38.9	47.7	41.9	15.8	17.6	26.5	44.9	23.2	8.9	40.8	24.2	41.5
卒業年別	大学:98~99年卒業	275	26.2	41.8	55.6	69.5	54.2	54.9	57.1	71.3	34.9	42.5	51.3	41.1	14.9	21.5	26.2	43.3	20.7	14.9	49.5	28.0	43.3
	大学:00~04年卒業	720	22.1	38.9	53.9	65.1	51.0	51.3	57.6	70.6	35.3	39.0	51.0	41.3	16.5	18.6	33.1	57.1	26.0	20.0	47.9	26.1	42.4
	大学:05~09年卒業	664	28.6	47.7	58.9	72.6	63.9	62.2	65.5	70.6	42.6	44.7	58.4	52.7	19.3	25.3	39.5	64.0	32.7	23.6	51.2	32.2	53.3
	短大:96~99年卒業	396	21.2	27.5	38.9	53.3	46.2	43.2	52.5	62.9	27.8	33.1	41.4	33.8	13.1	20.2	19.9	32.3	18.4	6.6	36.6	20.5	31.8
	短大:00~04年卒業	476	25.2	34.0	48.5	61.6	56.1	50.0	55.3	67.9	31.9	41.2	46.8	42.4	16.2	15.1	25.6	44.1	21.2	8.2	43.3	21.8	41.0
	短大:05~09年卒業	468	28.4	36.3	55.3	65.2	63.9	58.8	65.0	73.3	42.3	41.9	54.7	48.5	17.9	18.2	33.8	57.5	29.7	12.0	41.9	29.1	50.6

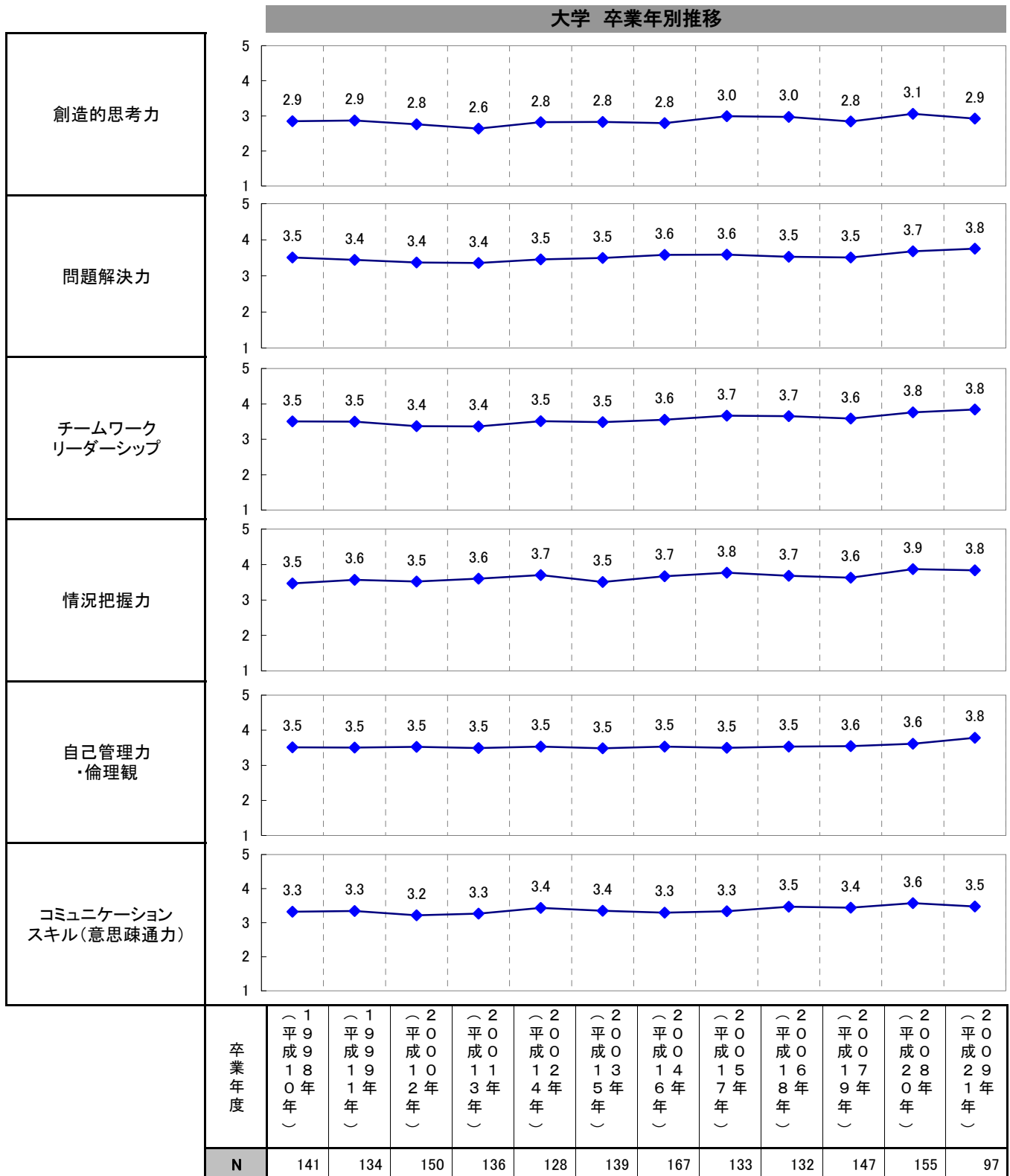
■:全体より10ポイント以上高い □:全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外
 ※「周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に配慮して行動する力」は経済産業省「社会人基礎力」における状況把握力に準じた選択肢。その他の選択肢は、文部科学省「学士力」に準じた選択肢。

2. 本学で身についた能力<カテゴリー別平均スコア値比較>～大学

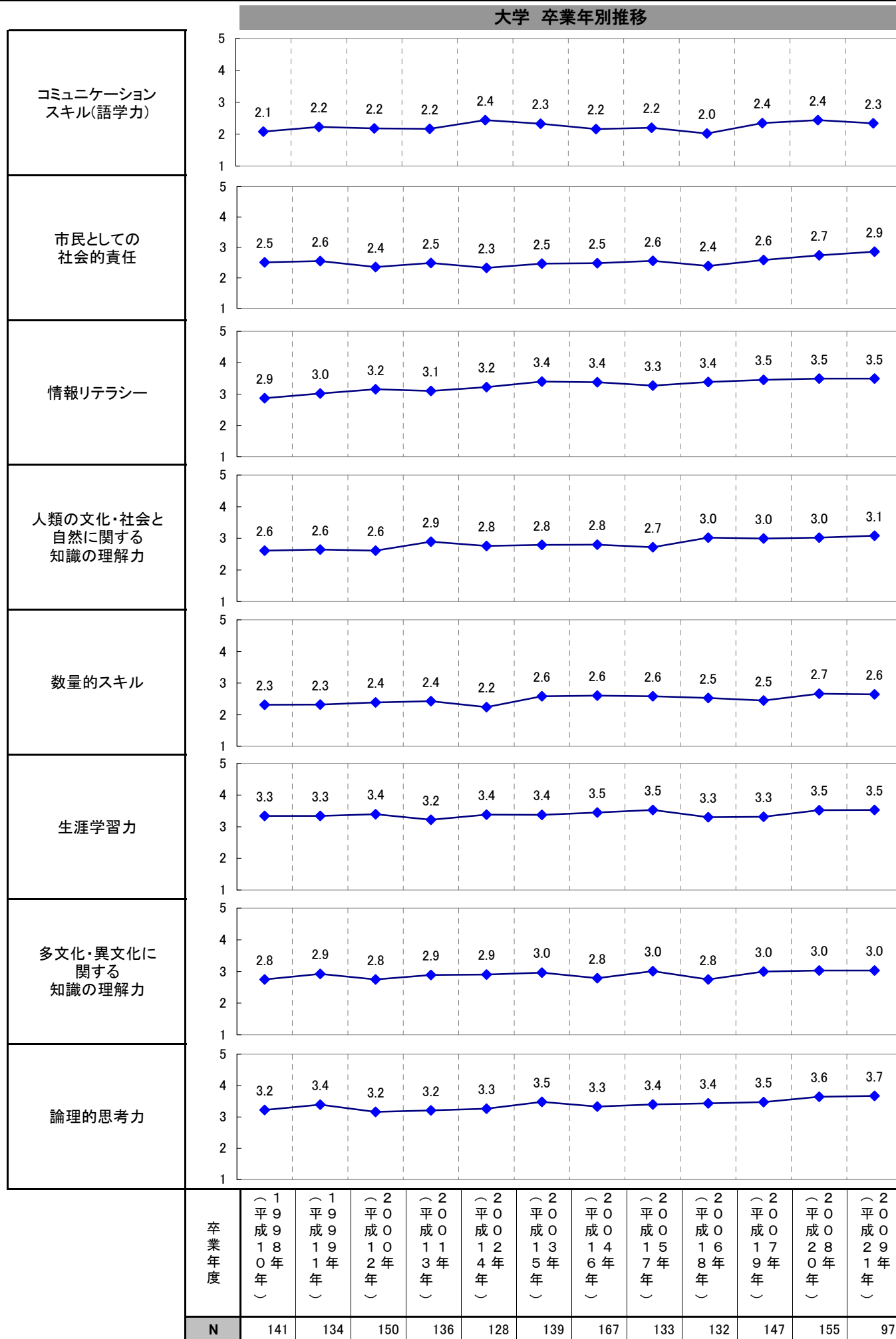
問14.あなたは本学で教育を受けたことにより、以下(1)～(21)の能力が、A.どの程度身についたと思いますか。

- ◆ 本学で身についた能力に関して、カテゴリー別でスコア平均値(*)を比べてみると、最も順調にスコアを伸ばしてきているのは「情報リテラシー」。98年から09年までほとんどスコア値を下げることなく0.6ポイントアップしている。「人類の文化・社会と自然に関する知識の理解力」や「論理的思考力」に関しては、ほとんどスコア値を下げずに0.5ポイントアップ。
- ◆ また、「問題解決力」「チームワークリーダーシップ」「状況把握力」「自己管理能力・倫理観」は、98年から09年まで大きな変化はないものの、常に高い数値をキープしている。
- ◆ 一方、「コミュニケーションスキル(語学力)」「創造的思考力」は、卒業年による大きな変化は見られない。

*スコア平均値……………回答によって、「身についた」:5、「ある程度身についた」:4、「どちらともいえない」:3、「あまり身につけていない」:2、「身につけていない」:1のウェイト値をつけたもの



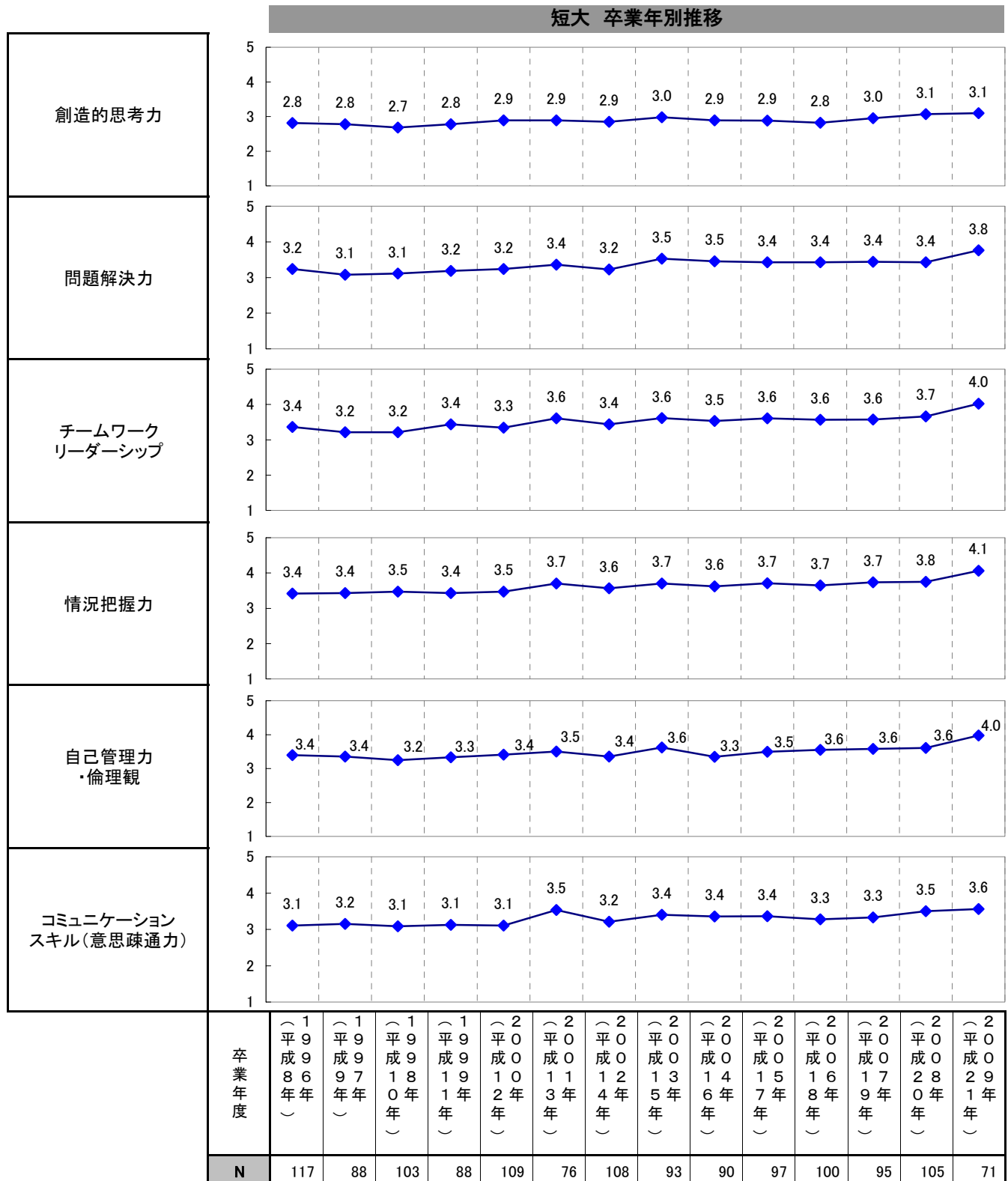
2. 本学で身についた能力<カテゴリー別平均スコア値比較>～大学



2. 本学で身についた能力<カテゴリー別平均スコア値比較>～短大

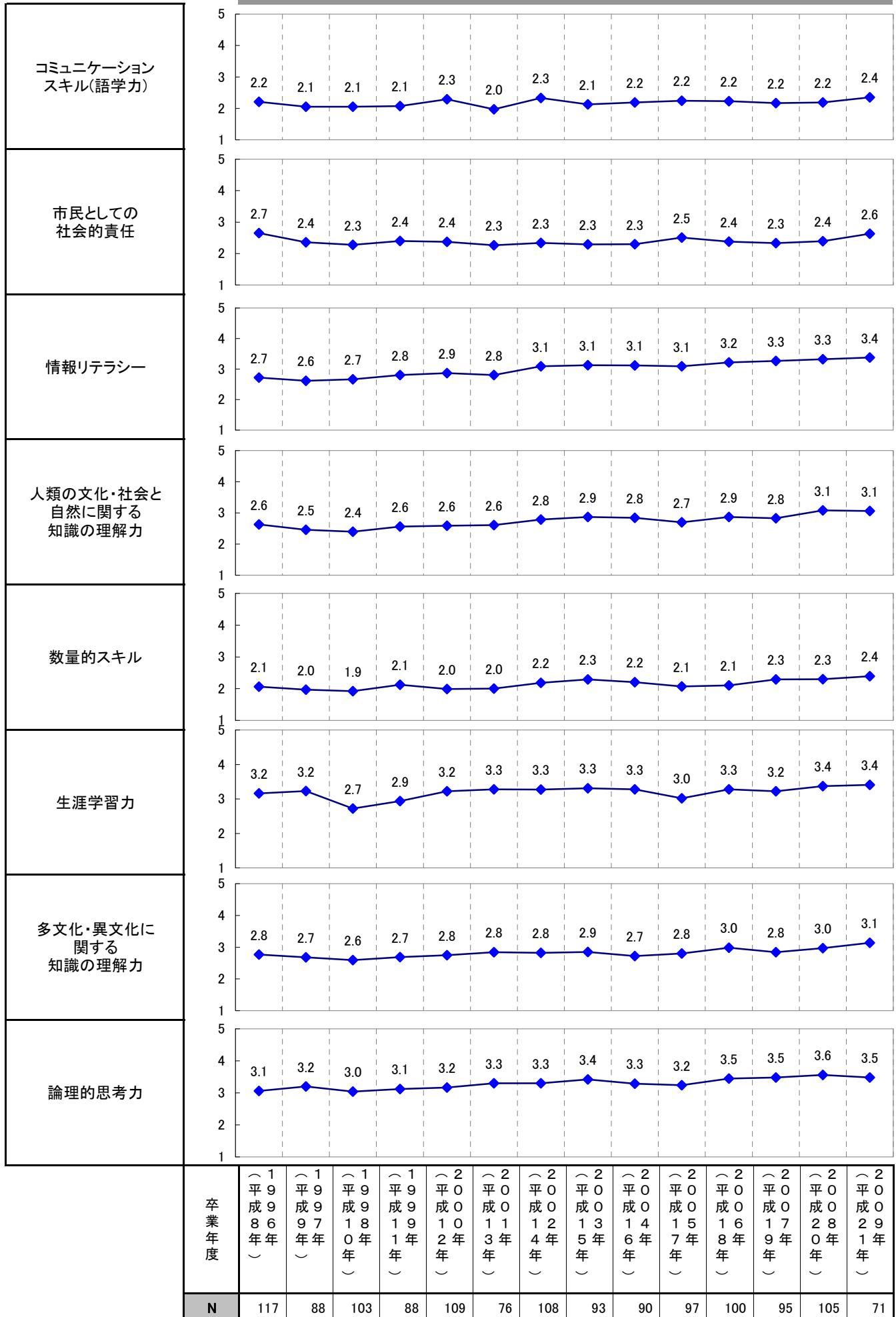
問14.あなたは本学で教育を受けたことにより、以下(1)～(21)の能力が、A.どの程度身についたと思いますか。

- ◆ 本学で身についた能力に関して、カテゴリー別でスコア平均値を比べてみると、最も順調にスコアを伸ばしてきているのは大学同様に「情報リテラシー」。96年から09年までほとんどスコア値を下げることなく0.7ポイントアップしている。
- ◆ 「チームワークリーダーシップ」や「状況把握力」「問題解決力」は、ここ2～3年で一気にスコアを上げ、96年から比べると0.6～0.7ポイントアップ。
- ◆ 一方、「コミュニケーションスキル(語学力)」「創造的思考力」「市民としての社会的責任」は、卒業年による大きな変化は見られない。



2. 本学で身についた能力<カテゴリー別平均スコア値比較>～短大

短大 卒業年別推移

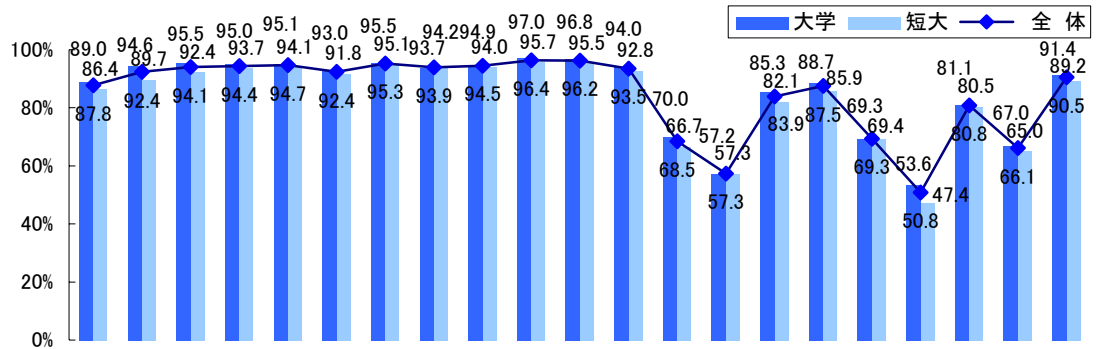


3. 社会生活全般で必要な能力

問14.あなたは以下(1)～(21)の能力が、B. 社会生活全般でどの程度必要だと思いますか。

- ◆ 全体では、ほとんどの項目で9割近くまたはそれ以上が「必要である」「ある程度必要である」と回答しているのに対し、「ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力」「社会のために行動する力」は必要度が6割未満と低い。
- ◆ 大学／短大別ではほとんど差異は見られないが、「ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力」と「現状を分析し、課題を明らかにする力」に関しては5ポイント程度の差で大学の方が高い。

「必要である」+「ある程度必要である」



項目	全体
創造的思考力	ものごとを客観的・多面的にとらえる力
問題解決力	現状を分析し、課題を明らかにする力
シームレスなコミュニケーション力	目標の達成に向けて取り組み続ける力
チームワークリーダーシップ	計画し、準備するための必要なプロセスを
状況把握力(※)	目標の達成に向けて取り組み続ける力
自己管理能力・倫理観	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
コミュニケーションスキル(意思疎通力)	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
コミュニケーションスキル(語学力)	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
市民としての社会的責任	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
情報リテラシー	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
人類の文化・社会と自然に関する知識の理解力	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
数量的スキル	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
生涯学習力	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
知識の理解力	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
多文化・異文化に関する論理的思考力	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
現状を分析し、課題を明らかにする力	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
学校の単位などに関係なく、卒業後も学び続ける力	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
自国や他国の文化・社会について理解し、尊重する態度	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に
ものごとを客観的・多面的にとらえる力	周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に

	N	%																					
全体	3058	87.8	92.4	94.1	94.4	94.7	92.4	95.3	93.9	94.5	96.4	96.2	93.5	68.5	57.3	83.9	87.5	69.3	50.8	80.8	66.1	90.5	
区分	大学	1694	89.0	94.6	95.5	95.0	95.1	93.0	95.5	93.7	94.9	97.0	96.8	94.0	70.0	57.2	85.3	88.7	69.3	53.6	81.1	67.0	91.4
	短大	1364	86.4	89.7	92.4	93.7	94.1	91.8	95.1	94.2	94.0	95.7	95.5	92.8	66.7	57.3	82.1	85.9	69.4	47.4	80.5	65.0	89.2
卒業年別	大学:98~99年卒業	275	85.8	92.0	93.5	91.6	94.2	92.7	95.3	93.5	93.8	95.3	95.3	92.4	72.4	61.1	82.9	84.7	71.6	52.7	81.5	69.5	89.8
	大学:00~04年卒業	720	90.3	94.3	96.0	95.1	94.2	93.1	95.4	93.3	94.7	97.2	96.4	94.3	69.4	55.1	83.9	89.6	68.6	52.5	79.4	66.0	91.0
	大学:05~09年卒業	664	89.3	95.9	96.2	96.8	97.0	93.5	95.9	94.1	95.9	98.2	98.0	94.4	70.0	57.7	88.3	89.3	69.0	55.1	83.0	67.6	92.8
	短大:96~99年卒業	396	85.4	90.7	92.2	93.2	93.7	91.4	95.2	94.2	93.2	95.7	95.2	93.7	70.7	56.8	81.6	88.9	71.5	50.3	81.3	68.2	90.2
	短大:00~04年卒業	476	86.1	89.3	92.2	93.9	94.3	91.0	95.4	93.9	93.7	95.2	94.7	91.4	69.7	56.7	83.4	87.2	68.1	45.0	80.5	65.5	90.3
	短大:05~09年卒業	468	88.0	89.5	92.9	94.4	95.1	93.4	94.9	94.7	94.9	96.2	96.4	93.6	60.9	59.0	81.6	82.7	69.0	48.1	80.3	62.4	87.8

■:全体より10ポイント以上高い □:全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外
 ※「周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に配慮して行動する力」は経済産業省「社会人基礎力」における状況把握力に準じた選択肢。その他の選択肢は、文部科学省「学士力」に準じた選択肢。

3. 社会生活全般で必要な能力

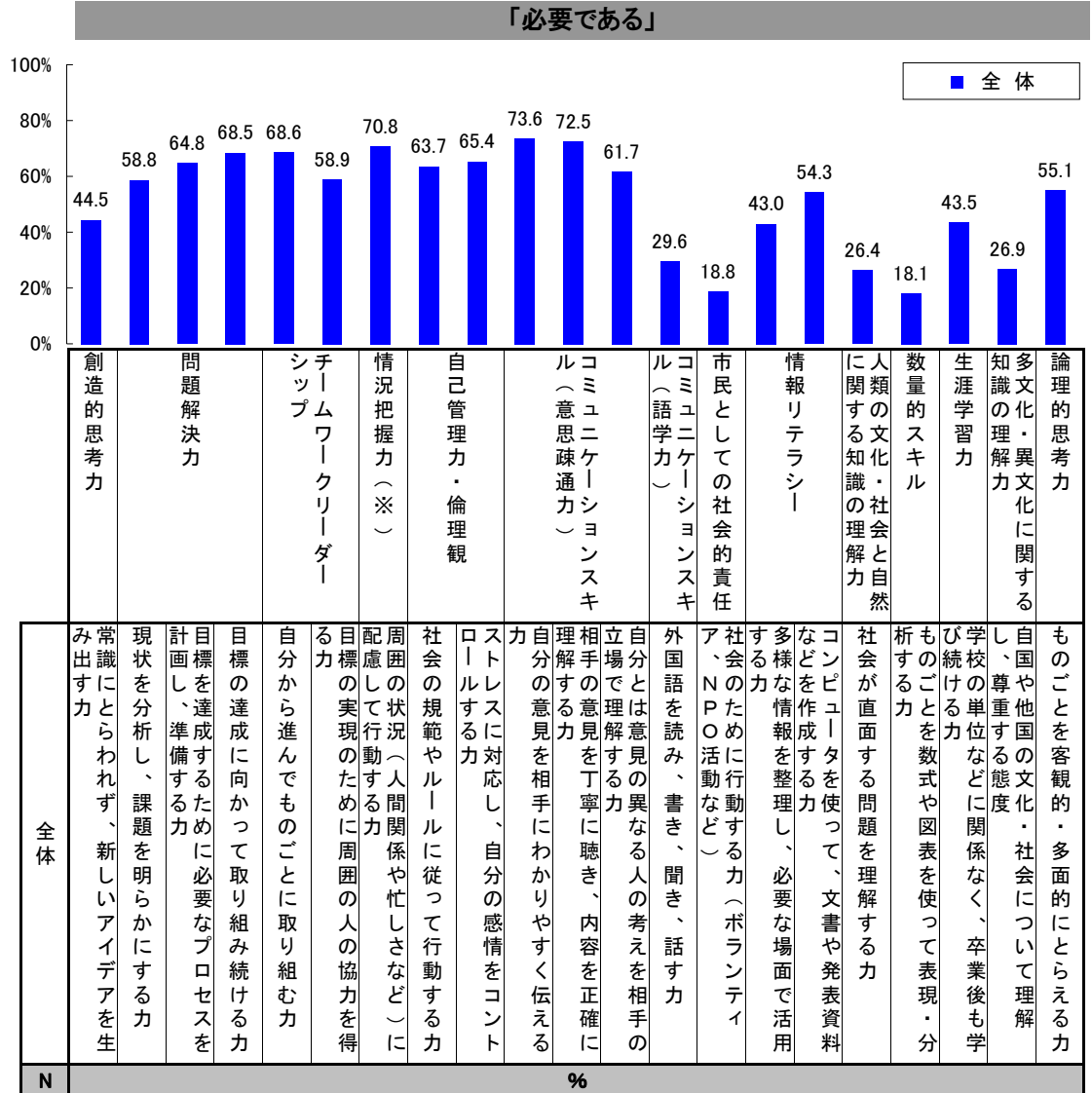
		創造的 思考力	問題 解決力	シッ プ	情 況 把 握 力 (※)	自 己 管 理 力 ・ 倫 理 観	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル (意 思 疎 通 力)	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル (語 学 力)	市 民 と し て の 社 会 的 責 任	情 報 リ テ ラ シー	人 類 の 文 化 ・ 社 会 と 自 然	数 量 的 ス キ ル	生 涯 学 習 力	知 識 の 理 解 力	多 文 化 ・ 異 文 化 に 関 す る	論 理 的 思 考 力							
		ア 常 識 に と ら わ れ ず 、 新 し い ア イ デ ア を 生 み 出 す 力	現 状 を 分 析 し 、 課 題 を 明 ら か に す る 力	目 標 を 計 画 し 、 準 備 す る 力	目 標 を 達 成 す る た め に 必 要 な プ ロ セ ス を 分 析 し 、 課 題 を 明 ら か に す る 力	目 標 の 達 成 に 向 か つ て 取 り 組 み 続 け る 力	自 分 か ら 進 ん で も の ご と に 取 り 組 む 力	周 圍 の 状 況 （人 間 関 係 や 忙 し さ な ど） に 配 慮 し て 行 動 す る 力	社 会 の 規 範 や ル ー ル に 従 つ て 行 動 す る 力	ス ト レ ス に 対 応 し 、 自 分 の 感 情 を 伝 え る 力	自 分 の 意 見 を 相 手 に わ か り や す く 正 確 に 理 解 す る 力	相 手 の 意 見 を 丁 寧 に 聴 き 、 内 容 を 相 手 の 立 場 で 理 解 す る 力	自 分 と は 意 見 の 異 な る 人 の 考 え を 力 外 国 語 を 読 み 、 書 き 、 聞 き 、 話 す	社 会 の た め に 行 動 す る 力 （ボ ラ ン テ ィ ア 、 N P O 活 動 な ど）	多 様 な 情 報 を 整 理 し 、 必 要 な 場 面 で 活 用 す る 力	表 資 料 な ど を 作 成 す る 力	社 会 が 直 面 す る 問 題 を 理 解 す る 力	現 も の ご と を 数 式 や 図 表 を 使 つ て 表 現 す る 力	後 も 学 び 続 け る 力	学 校 の 単 位 な ど に 関 係 な く 、 卒 業 後 も 学 び 続 け る 力	理 解 し 、 尊 重 す る 態 度	自 国 や 他 国 の 文 化 ・ 社 会 に つ い て	も の ご と を 客 観 的 ・ 多 面 的 に と ら
	N	%																					
全 体	3058	87.8	92.4	94.1	94.4	94.7	92.4	95.3	93.9	94.5	96.4	96.2	93.5	68.5	57.3	83.9	87.5	69.3	50.8	80.8	66.1	90.5	
在籍学 科・大 学	日本語日本文学科／国文学科	182	91.2	94.5	93.4	92.3	92.9	92.9	91.8	91.8	92.3	95.6	95.6	92.9	69.2	52.2	83.5	86.3	67.6	53.8	80.2	72.5	91.2
	英語文化学科／英米文学科	203	85.7	92.6	95.6	97.0	96.6	91.6	96.1	94.1	94.1	96.6	96.6	93.6	75.9	56.2	81.3	86.7	64.5	48.3	81.3	75.9	92.6
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	90.4	93.0	95.2	95.9	95.6	93.0	95.6	94.8	95.6	97.0	96.7	95.2	73.4	67.2	85.6	92.6	79.7	53.5	80.4	73.1	91.9
	健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻	145	93.1	95.2	94.5	96.6	93.1	92.4	91.7	95.2	95.2	97.9	96.6	95.9	65.5	65.5	82.8	85.5	76.6	56.6	80.0	65.5	88.3
	心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科	157	87.9	96.8	96.8	97.5	96.2	94.3	98.1	94.9	98.7	98.1	98.7	96.2	65.0	56.7	91.7	93.0	71.3	50.3	77.1	58.6	94.3
	生活環境学科	152	88.8	94.7	94.7	94.7	94.1	91.4	94.1	91.4	92.1	95.4	96.1	92.1	63.8	49.3	84.2	84.9	61.2	55.3	82.2	56.6	89.5
	食物栄養学科	204	93.1	97.1	97.5	94.1	96.6	95.6	98.5	94.1	95.6	97.5	97.1	92.2	63.2	55.9	85.8	90.2	64.7	57.4	77.5	61.8	91.2
	情報メディア学科／生活情報学科	120	81.7	94.2	95.8	92.5	93.3	91.7	94.2	89.2	91.7	95.8	95.0	92.5	61.7	44.2	88.3	93.3	60.8	50.8	78.3	57.5	89.2
	声楽学科	14	92.9	92.9	92.9	92.9	92.9	92.9	85.7	92.9	92.9	92.9	92.9	92.9	64.3	85.7	92.9	78.6	64.3	21.4	92.9	92.9	92.9
	器楽学科	33	90.9	93.9	97.0	100.0	97.0	93.9	100.0	97.0	100.0	100.0	100.0	90.9	72.7	75.8	81.8	84.8	84.8	36.4	93.9	87.9	97.0
薬学科	138	86.2	94.2	94.2	93.5	94.9	92.0	97.8	94.9	96.4	98.6	97.1	94.9	83.3	52.2	86.2	84.8	65.2	58.7	87.0	63.8	92.0	
生物薬学科	72	86.1	95.8	97.2	91.7	97.2	97.2	98.6	94.4	97.2	97.2	100.0	97.2	83.3	56.9	86.1	90.3	73.6	65.3	90.3	70.8	93.1	
在籍学 科・短 大	日本語文化学科／国文学科	178	85.4	91.6	94.9	93.8	93.3	91.6	94.9	94.9	94.9	94.9	96.6	94.9	71.3	51.1	82.0	89.9	70.8	50.6	81.5	68.0	91.0
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	75.0	82.3	88.4	92.7	95.1	89.0	95.7	92.7	95.7	95.1	95.7	92.1	81.7	59.1	83.5	86.6	62.2	40.9	78.0	77.4	89.0
	幼児教育学科	222	92.3	91.0	93.7	94.1	96.8	95.9	95.9	97.3	96.8	99.1	95.9	93.7	69.4	68.5	81.1	83.8	81.1	42.8	79.7	63.5	88.3
	人間関係学科	168	86.3	89.3	93.5	96.4	94.0	92.3	97.0	96.4	92.3	95.8	95.8	94.6	64.9	56.0	86.9	88.7	66.7	52.4	80.4	66.7	88.7
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	87.3	92.4	92.4	93.2	94.9	93.2	93.2	93.2	93.2	95.8	95.8	92.4	57.6	66.1	78.8	83.1	72.9	51.7	83.1	62.7	89.8
	食生活学科	305	89.2	90.8	93.4	93.8	93.1	91.1	94.1	94.1	91.8	94.8	94.4	91.5	59.0	50.5	82.3	87.5	67.5	46.6	82.0	60.0	87.2
業種別	生活造形学科	205	84.9	89.8	89.8	91.7	92.7	89.8	95.1	90.2	93.7	94.1	94.6	91.2	65.9	55.6	80.0	81.5	63.9	49.3	79.0	61.0	92.2
	保健・衛生・医療福祉関係	350	89.1	94.9	96.0	95.7	95.7	94.3	96.9	95.1	96.0	97.4	98.3	95.1	68.3	56.0	86.9	89.1	69.1	59.1	84.0	66.3	91.7
	スポーツ関係	56	89.3	92.9	91.1	87.5	92.9	91.1	89.3	85.7	89.3	91.1	92.9	91.1	57.1	55.4	80.4	78.6	60.7	51.8	73.2	48.2	80.4
	公務員（国・地方自治体）	165	89.1	92.1	96.4	92.7	92.7	92.1	91.5	92.7	93.9	97.6	95.2	93.9	65.5	57.6	81.8	92.1	77.0	52.7	81.8	67.3	87.9
	教育関係	432	92.6	95.1	97.2	98.4	97.9	95.4	96.8	97.2	97.7	99.1	98.8	97.0	73.1	70.8	85.6	88.9	82.9	52.1	81.9	75.2	91.4
	音楽関係	21	90.5	95.2	100.0	100.0	100.0	95.2	100.0	90.5	100.0	100.0	100.0	95.2	71.4	85.7	95.2	85.7	90.5	38.1	95.2	85.7	100.0
	マスコミ・出版関係	17	94.1	100.0	94.1	88.2	94.1	100.0	94.1	82.4	94.1	94.1	100.0	88.2	47.1	47.1	94.1	94.1	76.5	47.1	82.4	70.6	100.0
	販売・サービス関係	387	85.5	90.2	91.7	92.5	92.5	91.2	93.8	91.2	92.2	94.3	94.3	89.9	69.0	54.3	78.6	83.2	59.9	44.2	76.0	64.1	88.9
	商社・金融関係	270	89.6	94.8	96.7	96.7	96.3	93.3	95.9	94.1	95.6	97.4	97.4	93.3	67.4	54.4	88.9	90.7	69.3	53.7	83.7	64.8	90.4
	情報・通信関係	66	84.8	93.9	92.4	93.9	90.9	87.9	92.4	89.4	89.4	92.4	92.4	90.9	63.6	47.0	84.8	89.4	53.0	54.5	87.9	51.5	87.9
	食品・化学関係	143	87.4	95.8	96.5	93.0	97.2	92.3	96.5	95.1	94.4	97.9	95.8	93.7	67.1	51.7	87.4	92.3	65.7	56.6	82.5	62.2	91.6
	建設・機械関係	127	81.9	91.3	92.1	93.7	93.7	90.6	95.3	94.5	94.5	96.1	96.1	91.3	58.3	46.5	81.9	92.1	63.0	52.8	79.5	57.5	88.2
農林・水産関係	8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
その他	291	84.9	87.6	91.1	92.8	92.8	91.8	95.2	92.8	93.1	95.2	94.2	91.8	65.3	52.6	81.1	86.6	63.2	45.0	81.1	66.0	92.1	

 : 全体より10ポイント以上高い
 : 全体より10ポイント以上低い
 ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外
 ※「周囲の状況（人間関係や忙しさなど）に配慮して行動する力」は経済産業省「社会人基礎力」における状況把握力に準じた選択肢。
 その他の選択肢は、文部科学省「学士力」に準じた選択肢。

3. 社会生活全般で必要な能力～業種別分析

問14.あなたは以下(1)～(21)の能力が、B. 社会生活全般でどの程度必要だと思いますか。

- ◆ 全体では、卒業生の半数以上が「必要である」と回答した能力は、「問題解決力」「チームワークリーダーシップ」「状況把握力」「自己管理能力・倫理観」「コミュニケーションスキル(意思疎通力)」「論理的思考力」に関連する能力である。特に、「自分の意見を相手にわかりやすく伝える力」「相手の意見を丁寧に聴き、内容を正確に理解する力」「周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に配慮して行動する力」などコミュニケーションに関連する項目が高い。
- ◆ 業種別で見ると、下記の傾向が見られる。
 - ◇ スポーツ関連では「常識にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力」「目標の実現のために周囲の人の協力を得る力」が高い。
 - ◇ 公務員は、「社会が直面する問題を理解する力」が高い。
 - ◇ 教育関係は、「自分から進んでものごとに取り組む力」「自分とは意見の異なる人の考えを相手の立場で理解する力」が高い。
 - ◇ 情報・通信関係では「コンピュータを使って、文書や発表資料などを作成する力」が高い。



業種別	N	%																				
		創造的思考力	問題解決力	チームワークリーダーシップ	状況把握力(※)	自己管理能力・倫理観	コミュニケーションスキル(意思疎通力)	論理的思考力	社会的規範やルールに従って行動する力	ストレスに対応し、自分の感情をコントロールする力	自分の意見を相手にわかりやすく伝える力	相手の意見を丁寧に聴き、内容を正確に理解する力	自分とは意見の異なる人の考えを相手の立場で理解する力	外国語を読み、書き、聞き、話す力	社会のために行動する力(ボランティア、NPO活動など)	多様な情報を整理し、必要な場面で活用する力	コンピュータを使って、文書や発表資料などを作成する力	社会が直面する問題を理解する力	数式的スキル	生涯学習力	知識の理解力	多文化・異文化に関する論理的思考力
全体	3058	44.5	58.8	64.8	68.5	68.6	58.9	70.8	63.7	65.4	73.6	72.5	61.7	29.6	18.8	43.0	54.3	26.4	18.1	43.5	26.9	55.1
保健・衛生・医療福祉関係	350	44.0	60.9	67.1	67.7	69.4	58.6	73.4	63.4	65.7	77.1	75.4	63.1	29.4	21.1	46.3	54.0	25.7	21.4	50.3	23.1	59.4
スポーツ関係	56	60.7	67.9	64.3	69.6	69.6	67.9	73.2	53.6	62.5	69.6	64.3	55.4	26.8	23.2	42.9	55.4	30.4	19.6	44.6	19.6	57.1
公務員(国・地方自治体)	165	47.9	63.6	69.7	67.9	66.1	64.8	70.3	66.1	64.2	75.8	76.4	61.2	29.1	23.0	49.7	57.6	43.0	18.2	48.5	27.3	56.4
教育関係	432	49.1	63.0	72.5	77.1	75.9	66.4	75.7	70.8	68.5	79.9	77.5	69.4	30.1	24.3	44.0	53.9	34.0	17.6	44.2	31.9	60.0
音楽関係	21	66.7	81.0	90.5	95.2	81.0	61.9	66.7	76.2	76.2	85.7	90.5	76.2	47.6	23.8	47.6	38.1	47.6	19.0	76.2	61.9	76.2
マスコミ・出版関係	17	76.5	52.9	70.6	64.7	76.5	70.6	70.6	52.9	70.6	76.5	76.5	70.6	29.4	23.5	35.3	64.7	35.3	11.8	47.1	29.4	58.8
販売・サービス関係	387	41.6	54.3	61.0	68.0	67.2	54.0	67.7	57.4	64.9	71.3	68.5	59.4	29.5	16.5	39.0	48.8	18.9	15.8	36.7	25.1	50.6
商社・金融関係	270	43.0	59.6	67.8	72.2	71.9	60.7	74.1	67.0	68.5	76.3	78.5	63.7	28.9	16.3	45.2	57.4	24.1	19.6	43.0	26.7	58.1
情報・通信関係	66	42.4	65.2	68.2	69.7	65.2	47.0	56.1	45.5	59.1	72.7	71.2	51.5	31.8	12.1	45.5	68.2	18.2	16.7	50.0	22.7	45.5
食品・化学関係	143	47.6	60.8	69.9	67.1	66.4	60.1	74.8	65.0	59.4	76.9	72.0	57.3	21.0	14.7	35.7	55.9	26.6	19.6	46.2	21.7	52.4
建設・機械関係	127	40.2	61.4	57.5	59.1	55.9	55.9	63.0	61.4	69.3	74.0	69.3	51.2	24.4	13.4	38.6	61.4	17.3	21.3	42.5	24.4	53.5
農林・水産関係	8	50.0	87.5	87.5	87.5	75.0	87.5	100.0	87.5	100.0	87.5	87.5	75.0	12.5	12.5	50.0	75.0	37.5	25.0	75.0	25.0	87.5
その他	291	43.3	58.4	60.8	61.2	66.0	60.1	69.4	57.0	64.3	69.1	68.0	58.8	29.9	20.3	44.7	55.3	24.7	18.2	42.6	28.5	57.4

※「周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に配慮して行動する力」は経済産業省「社会人基礎力」における状況把握力に準じた選択肢。その他の選択肢は、文部科学省「学力」に準じた選択肢。

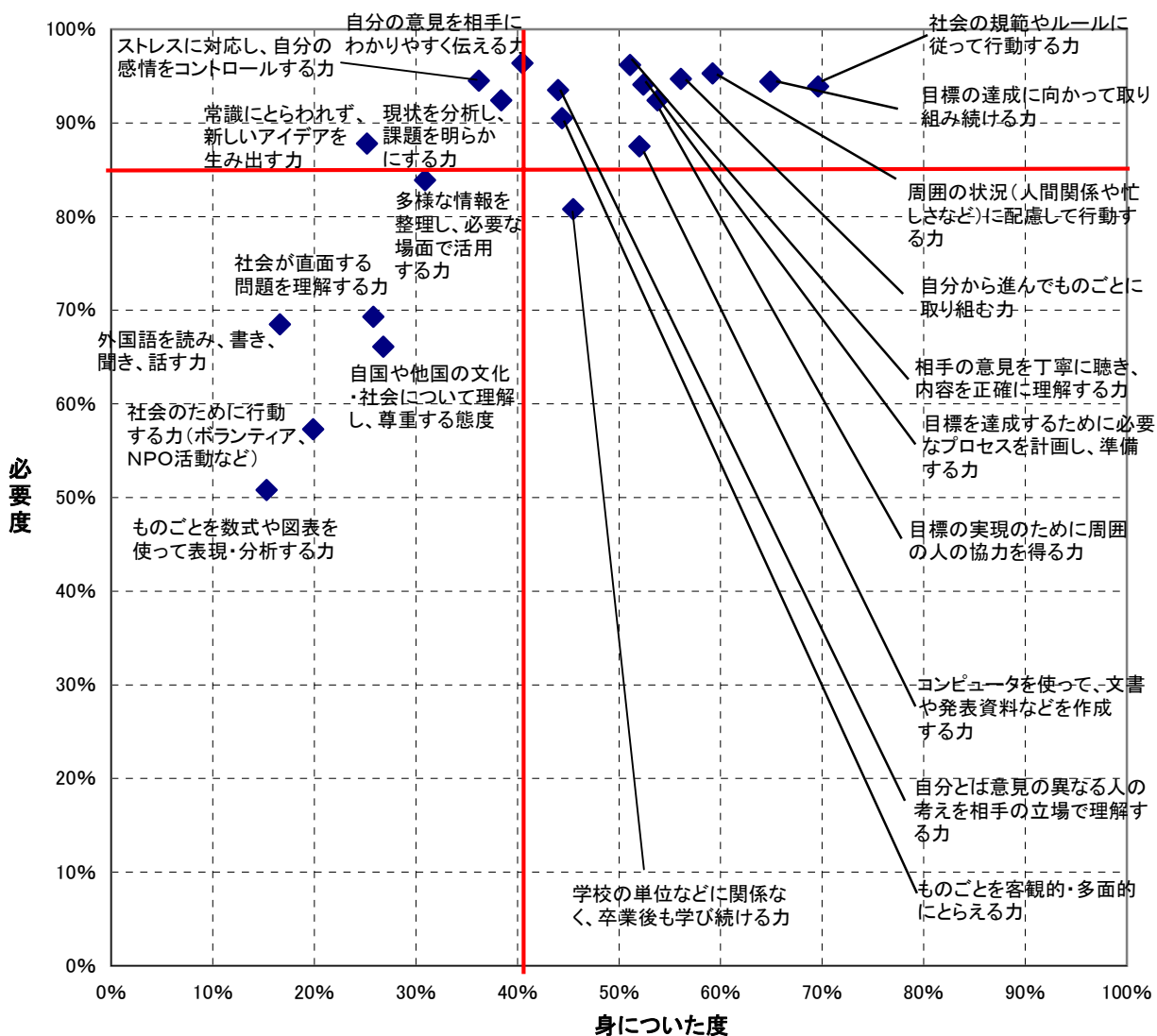
4. 本学で身についた能力と社会生活全般で必要な能力について

問14.あなたは本学で教育を受けたことにより、以下(1)～(21)の能力が、A.どの程度身についたと思いますか。
B.社会生活全般でどの程度必要だと思いますか。

- ・ 下記グラフは、本学で身についた能力の身についた度と社会全般での必要度を掛け合わせ、各項目がどの位置にあるかを表したものである。
- ・ 縦軸は必要度、横軸は身についた度を表している。
- ・ 実線のクロス線は、縦軸・横軸の各平均値を表している。
- ・ 実線のクロス線を境に、左上の象限にプロットされている項目は「必要度が高いが、身についた度は低い」、右上の象限にプロットされている項目は「必要度が高く、身についた度も高い」、左下の象限にプロットされている項目は「必要度が低く、身についた度も低い」、右下の象限にプロットされている項目は「必要度は低い、身についた度は高い」項目である。
- ・ 以下、必要度と身についた度の高い低いは平均との比較である。

- ◆ 左上の「必要度は高いが、身についた度は低い」象限には、「自分の意見を相手にわかりやすく伝える力」「ストレスに対応し、自分の感情をコントロールする力」「現状を分析し、課題を明らかにする力」「常識にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力」の4項目があてはまる。この項目は、社会での必要度が高いにもかかわらず在学中の教育ではあまり身についた実感がないという特徴を持つので、身についたと実感できるような施策の検討が必要と考えられる。
- ◆ 左下の「必要度が低く、身についた度も低い」象限には、「多様な情報を整理し、必要な場面で活用する力」「社会が直面する問題を理解する力」「外国語を読み、書き、聞き、話す力」「自国や他国の文化・社会について理解し、尊重する態度」「社会のために行動する力(ボランティア、NPO活動など)」「ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力」の6項目があてはまる。これらの項目は、他の項目と比べると社会での必要度は低めであるとはいえ、5割以上の卒業生が必要であると回答した事柄なので、上記の「必要度は高いが、身についた度は低い」項目とともに身についたと実感できるような施策検討が必要である。

身についた(「身についた」+「ある程度身についた」)vs. 必要度(「必要である」+「ある程度必要である」)



— : 縦軸、横軸の各平均値

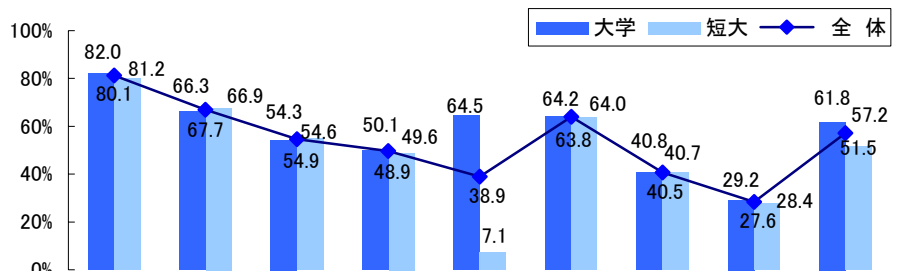
V. 本学の教育内容に対する
在学時の印象について

1. 在学中の教育内容についての満足度

問15-1.あなたは在学中に以下(1)～(9)の教育内容について、A. どの程度満足していましたか。

- ◆ 全体では、「専門教育(専門教育科目)」の満足度が8割と特に高く、次いで「共通教育(一般教養科目)」「クラス(学年)担任制」が6割以上と続く。大学の「ゼミ」も満足度6割以上と高め。一方「外国語教育」(3割弱)や「初期演習」(約4割)は満足度低め。
- ◆ 大学/短大別では、「資格取得、試験対策」に関して大学の方が10ポイント程度高くなっている。(「ゼミ」は短大ではほとんどないため、大学/短大の比較は省略)
- ◆ 卒業年別では、大学・短大とも「情報教育」に関して大きな差が見られ、卒業後の年数が短いほど満足度が高い傾向である。また、「情報教育」に比べると差はゆるやかだが、「資格取得、試験対策」も上記と同じ傾向。(特に05年以降卒業生の満足度が高い。)
- ◆ 学科別では、下記の傾向が見られる。
 - ◇ 大学の日本語日本文学科/国文学科では「共通教育(一般教養科目)」が特に高く、「専門教育(専門教育科目)」を上回る。
 - ◇ 大学の教育学科/教育学科:初等教育専攻、心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科、情報メディア学科/生活情報学科、短大の人間関係学科では、全体では低かった「情報教育」の満足度が6～8割弱程度と高いことが特徴。
 - ◇ 大学の英語文化学科/英米文学科、短大の英語コミュニケーション学科/英語学科では、全体では3割に届かなかった「外国語教育」の満足度が7割以上と高い。
 - ◇ 大学の教育学科/教育学科:初等教育専攻、食物栄養学科、薬学科、生物薬学科、短大の幼児教育学科では、「資格取得、試験対策」の満足度が7～9割と高いことが特徴。
- ◆ 入学満足度別では、大学・短大とも総じてどの内容も入学満足者の満足度が高く、それ以外の人々の満足度が低い。特に、「専門教育(専門教育科目)」や「資格取得、試験対策」において、入学満足者とそれ以外の人との差が大きい。

「満足していた」+「どちらかといえば満足していた」



	N	%									
		専門教育(専門教育科目)	共通教育(一般教養科目)	特別学(特別教育)	情報教育	ゼミ	クラス(学年)担任制	初期演習	外国語教育	資格取得、試験対策	
全体	3058	81.2	66.9	54.6	49.6	38.9	64.0	40.7	28.4	57.2	
区分	大学	1694	82.0	66.3	54.3	50.1	64.5	64.2	40.8	29.2	61.8
	短大	1364	80.1	67.7	54.9	48.9	7.1	63.8	40.5	27.6	51.5
卒業年別	大学:98～99年卒業	275	79.3	59.6	55.6	33.8	60.0	61.1	40.7	25.5	52.4
	大学:00～04年卒業	720	80.3	66.0	53.1	46.1	61.8	61.9	39.2	27.6	58.9
	大学:05～09年卒業	664	84.9	70.6	55.6	60.8	68.8	67.6	42.8	32.7	69.0
	短大:96～99年卒業	396	74.2	61.4	49.5	29.5	7.3	57.3	32.3	19.4	41.2
	短大:00～04年卒業	476	81.3	66.0	53.4	49.4	7.6	60.9	38.9	28.6	47.1
	短大:05～09年卒業	468	85.0	76.1	62.2	65.8	6.4	73.3	50.0	33.8	65.8

■ : 全体より10ポイント以上高い □ : 全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

1. 在学中の教育内容についての満足度

	全体	専門教育 (専門教育科目)	共通教育 (一般教養科目)	特別学期 (特別教育科目)	情報教育	ゼミ	クラス (学年)担任制	初期演習	外国語教育	資格取得、試験対策	
		N	%								
全体	3058	81.2	66.9	54.6	49.6	38.9	64.0	40.7	28.4	57.2	
在籍 学科・ 大学	日本語日本文学科/国文学科	182	76.4	79.1	57.7	44.0	65.4	51.6	39.6	20.9	51.1
	英語文化学科/英米文学科	203	74.4	72.9	47.8	51.2	66.5	62.6	41.9	74.9	43.8
	教育学科/教育学科:初等教育専攻	271	88.2	71.2	62.4	64.9	81.9	73.8	49.8	33.6	87.8
	健・スポ科学科/教育学科:体育/健・スポ専攻	145	83.4	55.2	55.9	50.3	60.7	71.7	47.6	13.1	65.5
	心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科	157	80.9	70.1	55.4	62.4	80.3	63.1	39.5	24.8	45.9
	生活環境学科	152	78.3	67.8	55.3	38.8	53.3	53.9	32.2	16.4	46.7
	食物栄養学科	204	87.7	61.8	61.8	45.1	52.9	65.2	36.3	13.2	68.1
	情報メディア学科/生活情報学科	120	76.7	66.7	46.7	76.7	73.3	62.5	42.5	23.3	37.5
	声楽学科	14	85.7	50.0	35.7	21.4	35.7	71.4	21.4	28.6	50.0
	器楽学科	33	81.8	78.8	72.7	33.3	42.4	72.7	54.5	30.3	54.5
	薬学科	138	82.6	48.6	39.1	29.0	41.3	60.9	31.9	29.0	81.2
生物薬学科	72	91.7	51.4	41.7	26.4	63.9	72.2	38.9	27.8	91.7	
在籍 学科・ 短大	日本語文化学科/国文学科	178	68.0	75.8	60.7	43.8	10.7	62.4	42.7	16.3	41.6
	英語コミュニケーション学科/英語学科	164	74.4	70.1	56.7	46.3	9.1	64.0	43.9	74.4	34.1
	幼児教育学科	222	87.4	72.5	50.9	57.2	13.5	73.4	45.5	36.9	76.1
	人間関係学科	168	79.8	75.6	60.7	70.2	3.0	60.1	42.3	25.6	51.8
	健康・スポーツ学科/体育学科	118	84.7	60.2	55.1	43.2	1.7	71.2	43.2	14.4	53.4
	食生活学科	305	85.9	62.3	54.1	44.6	3.6	61.3	35.7	15.1	55.1
	生活造形学科	205	77.1	60.0	49.8	38.5	6.8	57.6	35.1	17.1	41.0
入学 満足 度別	大学:入学してよかった	1519	85.3	68.6	56.5	52.7	67.5	68.3	43.5	30.9	65.2
	大学:どちらともいえない	132	58.3	47.7	33.3	27.3	38.6	28.8	15.9	12.1	32.6
	大学:入学しなければよかった	31	29.0	35.5	35.5	22.6	22.6	19.4	6.5	9.7	19.4
	短大:入学してよかった	1228	84.3	71.9	57.9	52.0	7.9	67.4	43.4	29.2	55.6
	短大:どちらともいえない	96	51.0	32.3	28.1	19.8	0.0	31.3	12.5	11.5	15.6
	短大:入学しなければよかった	31	16.1	25.8	22.6	29.0	0.0	32.3	19.4	12.9	9.7

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

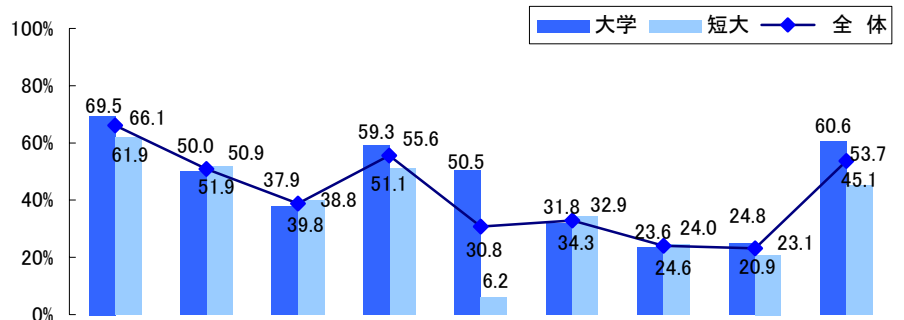
※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

2. 在学中の教育内容について、卒業後の社会生活全般での役立ち度

問15-1.あなたは在学中に以下(1)～(9)の教育内容について、B. 卒業後の社会生活全般でどの程度役に立ちましたか。

- ◆ 全体では、「専門教育(専門教育科目)」の役立ち度が最も高く7割弱に達する。次いで「情報教育」が6割弱、「資格取得、試験対策」が5割強、「共通教育(一般教養科目)」と大学の「ゼミ」が約5割と続く。一方、「外国語教育」「初期演習」は役立ち度は2割台と低め。
- ◆ 大学/短大別では、「資格取得、試験対策」に大きな差が見られ、15ポイント程度の差で大学の方が役立ち度が高い。上記ほどではないが「専門教育(専門教育科目)」「情報教育」も大学の方が役立ち度が高くなっている。(「ゼミ」は短大ではほとんどないため、大学/短大の比較は省略)
- ◆ 業種別では、下記の傾向が見られる。
 - ◇ 保健・衛生・医療福祉関係では、特に「専門教育(専門教育科目)」と「資格取得、試験対策」が高い。
 - ◇ スポーツ関係においても、「専門教育(専門教育科目)」が特に高い。
 - ◇ 教育関係では、全体的にどの項目も役立ち度が高めだが、特に「専門教育(専門教育科目)」と「資格取得、試験対策」が高く、「クラス(学年)担任制」も5割近くと高いことが特徴。
 - ◇ 公務員は「資格取得、試験対策」が高い。
 - ◇ 情報・通信関係は、「専門教育(専門教育科目)」よりも「情報教育」の方が役立ち度が高く、役立ち度トップであることが特徴。

「役に立った」+「どちらかといえば役に立った」



	N	%									
		専門教育(専門教育科目)	共通教育(一般教養科目)	特別学期(特別教育科目)	情報教育	ゼミ	クラス(学年)担任制	初期演習	外国語教育	資格取得、試験対策	
全体	3058	66.1	50.9	38.8	55.6	30.8	32.9	24.0	23.1	53.7	
区分	大学	1694	69.5	50.0	37.9	59.3	50.5	31.8	23.6	24.8	60.6
	短大	1364	61.9	51.9	39.8	51.1	6.2	34.3	24.6	20.9	45.1
卒業年別	大学:98~99年卒業	275	61.1	42.2	38.5	40.4	44.0	29.5	20.0	19.3	50.9
	大学:00~04年卒業	720	69.6	48.9	37.2	56.5	50.1	29.4	23.1	26.7	58.8
	大学:05~09年卒業	664	73.6	55.3	39.2	70.3	53.8	35.2	25.8	25.2	66.9
	短大:96~99年卒業	396	51.5	42.9	31.6	35.1	4.8	28.3	20.2	17.2	32.6
	短大:00~04年卒業	476	64.7	51.9	38.7	53.4	7.4	31.9	22.5	22.5	47.5
	短大:05~09年卒業	468	68.4	59.8	48.3	63.2	6.2	42.7	30.8	22.9	53.6

■:全体より10ポイント以上高い

□:全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

2. 在学中の教育内容について、卒業後の社会生活全般での役立ち度

		全体	専門教育 (専門教育科目)	共通教育 (一般教養科目)	特別学期 (特別教育科目)	情報教育	ゼミ	クラス (学年)担任制	初期演習	外国語教育	資格取得、 試験対策
		N	%								
全体		3058	66.1	50.9	38.8	55.6	30.8	32.9	24.0	23.1	53.7
在籍 学科・ 大学	日本語日本文学科/国文学科	182	42.3	48.9	36.8	58.8	46.7	23.6	24.2	14.3	41.8
	英語文化学科/英米文学科	203	61.6	58.1	36.9	56.2	39.4	34.5	26.6	69.0	49.8
	教育学科/教育学科:初等教育専攻	271	78.2	59.8	46.1	71.2	66.1	40.2	28.8	27.7	80.8
	健・スポ科学科/教育学科:体育/健・スポ専攻	145	75.2	46.9	44.8	60.0	52.4	35.2	26.9	12.4	60.0
	心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科	157	54.1	52.2	38.9	75.8	54.8	29.3	22.3	19.1	41.4
	生活環境学科	152	65.8	51.3	31.6	53.3	48.7	20.4	13.8	11.2	48.0
	食物栄養学科	204	79.9	44.6	39.2	56.9	45.6	32.8	21.1	12.3	71.1
	情報メディア学科/生活情報学科	120	68.3	50.0	33.3	73.3	55.8	22.5	23.3	19.2	39.2
	声楽学科	14	64.3	42.9	14.3	50.0	35.7	42.9	7.1	35.7	42.9
	器楽学科	33	75.8	54.5	57.6	39.4	33.3	51.5	42.4	27.3	60.6
	薬学科	138	85.5	33.3	26.1	35.5	39.1	31.2	21.0	23.2	85.5
生物薬学科	72	95.8	38.9	30.6	37.5	59.7	37.5	16.7	27.8	93.1	
在籍 学科・ 短大	日本語文化学科/国文学科	178	40.4	50.0	38.8	47.8	7.9	20.2	23.0	13.5	31.5
	英語コミュニケーション学科/英語学科	164	54.3	48.8	37.8	48.8	7.3	37.8	27.4	62.2	31.7
	幼児教育学科	222	83.3	61.3	42.3	55.9	11.3	49.5	31.1	24.3	73.4
	人間関係学科	168	55.4	55.4	39.9	72.0	3.6	33.3	28.0	16.7	47.0
	健康・スポーツ学科/体育学科	118	70.3	50.8	45.8	50.8	4.2	39.0	21.2	11.0	46.6
	食生活学科	305	64.9	48.2	40.0	46.6	3.3	30.8	19.7	8.9	43.9
	生活造形学科	205	59.5	49.3	36.1	40.5	5.9	30.7	23.4	17.1	36.1
業 種 別	保健・衛生・医療福祉関係	350	78.0	47.4	38.0	50.3	34.0	35.4	22.9	21.7	67.4
	スポーツ関係	56	80.4	53.6	50.0	51.8	19.6	35.7	25.0	12.5	51.8
	公務員(国・地方自治体)	165	74.5	50.3	40.0	64.8	43.0	34.5	21.8	19.4	69.7
	教育関係	432	81.3	60.4	46.5	64.8	48.6	47.7	33.3	29.9	76.2
	音楽関係	21	81.0	52.4	57.1	42.9	28.6	66.7	33.3	33.3	52.4
	マスコミ・出版関係	17	70.6	52.9	41.2	70.6	58.8	35.3	35.3	17.6	41.2
	販売・サービス関係	387	57.9	46.3	31.5	53.2	22.7	28.2	20.9	21.2	40.3
	商社・金融関係	270	52.6	55.9	43.0	62.2	28.9	30.7	24.4	25.9	42.2
	情報・通信関係	66	53.0	47.0	33.3	69.7	37.9	21.2	19.7	18.2	30.3
	食品・化学関係	143	75.5	49.0	40.6	56.6	25.9	30.1	19.6	13.3	60.8
	建設・機械関係	127	57.5	42.5	33.9	55.9	30.7	29.9	22.0	19.7	40.2
	農林・水産関係	8	62.5	25.0	37.5	50.0	12.5	25.0	25.0	12.5	50.0
	その他	291	58.1	46.0	36.1	53.6	21.0	30.6	21.3	23.0	46.7

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

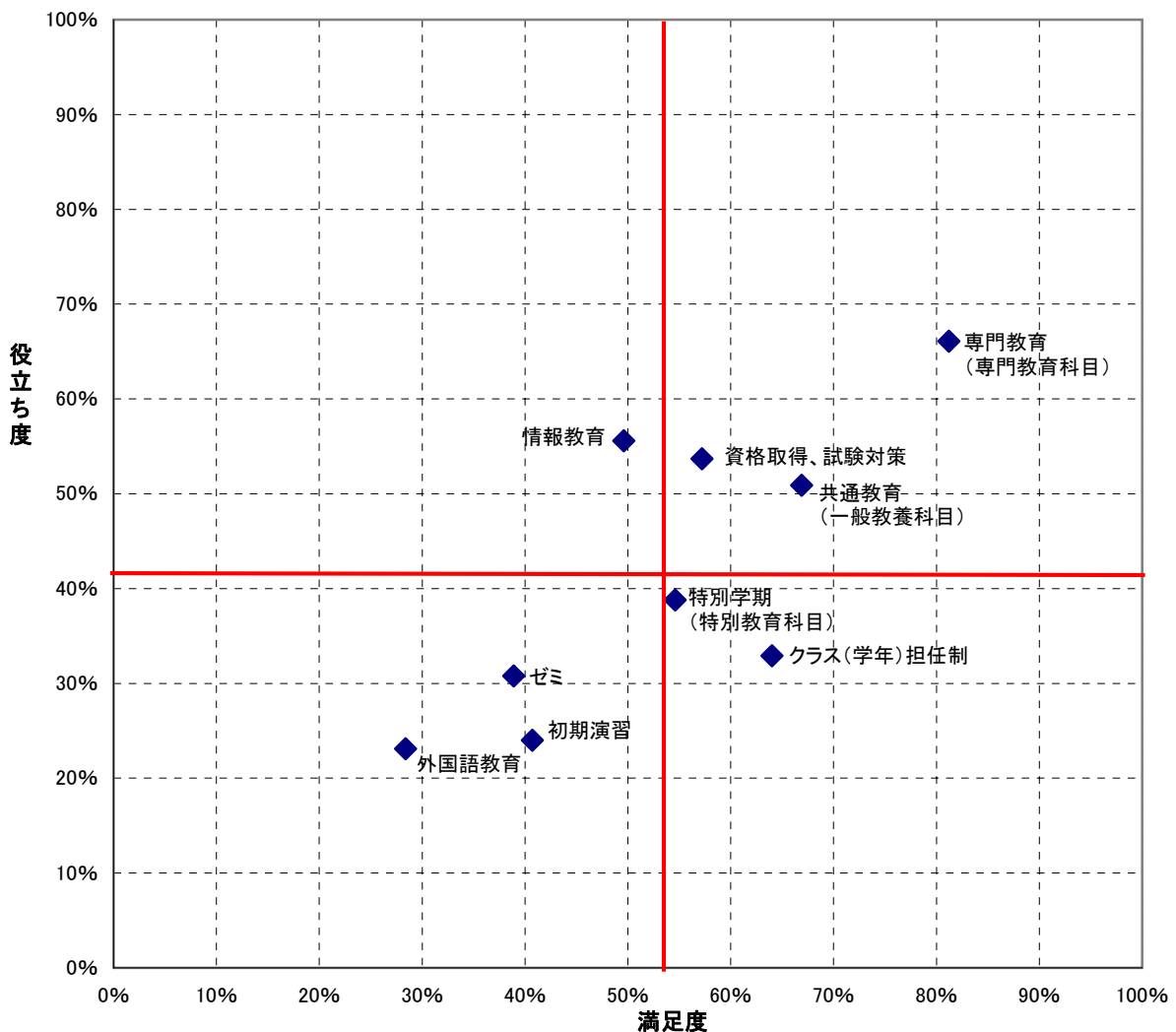
3. 在学中の教育内容についての満足度と卒業後の社会生活全般での役立ち度

問15-1.あなたは在学中に以下(1)～(9)の教育内容について、A. どの程度満足していましたか。
B. 卒業後の社会生活全般でどの程度役に立ちましたか。

- ・ 下記グラフは、前項、前々項で考察をした在学中の教育内容についての満足度と卒業後の社会生活全般での役立ち度を掛け合わせ、各項目がどの位置にあるかを表したものである。
 - ・ 縦軸は役立ち度、横軸は満足度を表している。
 - ・ 実線のクロス線は、縦軸・横軸の各平均値を表している。
 - ・ 実線のクロス線を境に、左上の象限にプロットされている項目は「役立ち度は高いが、満足度は低い」、右上の象限にプロットされている項目は「役立ち度が高く、満足度も高い」、左下の象限にプロットされている項目は「役立ち度が低く、満足度も低い」、右下の象限にプロットされている項目は「役立ち度は低いが、満足度は高い」項目である。
- 以下、役立ち度と満足度の高い低いは平均との比較である。

- ◆ 左上の「役立ち度は高いが、満足度は低い」象限には、「情報教育」1項目があてはまる。
この項目は、社会での役立ち度が高いにもかかわらず在学中にはあまり満足を感じていなかったという特徴を持つので、社会に出た時にいかに役に立つかを在学中から教えることで、在学中の学生のモチベーションが上がり満足度が高められる可能性が考えられる。
- ◆ 左下の「役立ち度が低く、満足度も低い」象限には、「ゼミ」「初期演習」「外国語教育」の3項目があてはまる。
これらの項目は、社会での役立ち度は低めであり、満足と回答したのはほぼ3割以下という低い数値なので、満足度を高められるような施策が必要と思われる。

満足度(「満足していた」+「どちらかといえば満足していた」)vs. 役立ち度(「役に立った」+「どちらかといえば役に立った」)

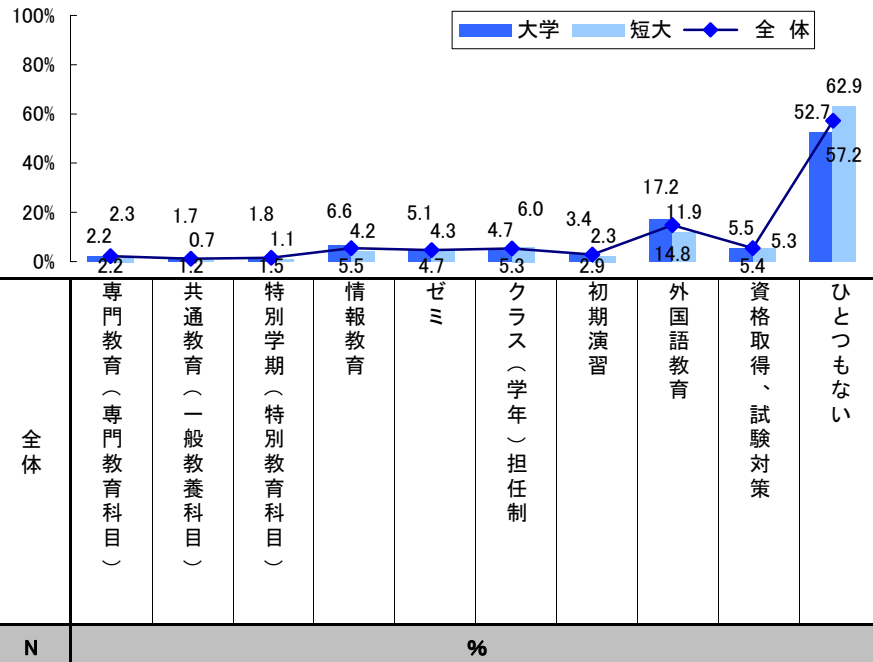


— : 縦軸、横軸の各平均値

4. 最も満足していなかった在学中の教育内容

問15-2.(1)～(9)の項目で、あなたが最も満足していなかった教育内容は何か。

- ◆ 全体では6割近くが、満足していなかった教育内容は「ひとつもない」と回答している。満足しなかった内容として挙げられた中では、「外国語教育」が14.8%と比較的高め。
 - ◆ 大学／短大別では、大学の方がより「外国語教育」の不満足度が高い傾向。
 - ◆ 入学満足度別では大きく差が見られ、満足度が高いほど「ひとつもない」割合が高くなっている。特に大きく差が見られたのが「専門教育(専門教育科目)」と「クラス(学年)担任制」。
- いずれも満足度が低いほど不満足度も高い傾向。
なお、全体で最も不満の高かった「外国語教育」は、入学満足度に関係なくどの層においても不満足度が高い。



		N	%									
全体		3058	2.2	1.2	1.5	5.5	4.7	5.3	2.9	14.8	5.4	57.2
区分	大学	1694	2.2	1.7	1.8	6.6	5.1	4.7	3.4	17.2	5.5	52.7
	短大	1364	2.3	0.7	1.1	4.2	4.3	6.0	2.3	11.9	5.3	62.9
卒業年別	大学:98～99年卒業	275	2.5	1.1	1.8	9.8	3.3	5.8	1.5	18.2	7.3	49.5
	大学:00～04年卒業	720	2.5	1.9	1.3	7.1	5.3	3.8	2.2	17.2	5.8	53.9
	大学:05～09年卒業	664	1.7	1.4	2.1	4.8	5.9	5.1	5.6	16.6	4.1	53.3
	短大:96～99年卒業	396	2.0	1.0	1.8	5.3	5.1	7.1	1.0	14.1	8.8	55.6
	短大:00～04年卒業	476	1.7	0.4	0.8	5.3	3.2	6.3	1.9	11.1	6.5	63.4
	短大:05～09年卒業	468	3.0	0.6	0.9	2.1	5.1	4.9	3.8	10.0	1.3	68.8

■ : 全体より10ポイント以上高い
 ■ : 全体より10ポイント以上低い
 ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

4. 最も満足していなかった在学中の教育内容

	全体	専門教育（専門教育科目）	共通教育（一般教養科目）	特別学期（特別教育科目）	情報教育	ゼミ	クラス（学年）担任制	初期演習	外国語教育	資格取得、試験対策	ひとつもない	
		N	%									
全体	3058	2.2	1.2	1.5	5.5	4.7	5.3	2.9	14.8	5.4	57.2	
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	2.2	0.5	1.6	7.1	4.9	4.4	6.0	14.3	11.0	48.4
	英語文化学科／英米文学科	203	4.9	0.5	1.5	6.9	3.4	10.3	3.4	1.0	7.9	60.6
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	0.4	0.7	1.8	5.2	1.8	5.2	2.2	17.7	0.4	64.6
	健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻	145	2.1	0.7	2.1	7.6	9.0	1.4	2.8	24.8	2.8	47.6
	心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科	157	3.8	1.9	3.2	2.5	3.2	4.5	1.9	15.9	7.6	56.1
	生活環境学科	152	1.3	0.7	0.7	6.6	9.2	4.6	3.3	28.9	9.9	36.8
	食物栄養学科	204	2.0	1.0	1.0	5.4	6.9	5.9	5.4	23.5	5.4	44.6
	情報メディア学科／生活情報学科	120	3.3	0.8	2.5	4.2	5.8	2.5	3.3	23.3	6.7	49.2
	声楽学科	14	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	7.1	14.3	50.0
	器楽学科	33	3.0	0.0	0.0	9.1	3.0	0.0	0.0	18.2	6.1	60.6
	薬学科	138	0.7	8.0	2.2	11.6	5.1	2.2	2.9	13.0	1.4	54.3
生物薬学科	72	1.4	6.9	0.0	15.3	4.2	2.8	0.0	13.9	0.0	55.6	
在籍学科・短大	日本語文化学科／国文学科	178	5.6	1.1	1.1	5.6	2.8	6.2	2.8	9.0	8.4	59.6
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	1.8	0.6	1.2	5.5	2.4	5.5	2.4	3.7	5.5	71.3
	幼児教育学科	222	1.8	0.5	0.9	2.3	7.2	1.4	1.8	7.2	5.0	72.1
	人間関係学科	168	3.0	0.6	0.6	1.8	4.8	10.1	2.4	13.1	4.8	60.7
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	1.7	0.8	0.8	5.1	1.7	1.7	3.4	19.5	3.4	61.9
	食生活学科	305	0.7	0.7	1.0	5.2	4.3	9.2	1.6	14.4	3.6	60.3
	生活造形学科	205	2.4	0.5	2.0	3.9	5.4	5.9	2.4	17.1	6.8	55.1
入学満足度別	入学してよかった	2747	1.6	1.1	1.4	5.6	4.5	4.4	2.9	14.6	4.9	59.8
	どちらともいえない	228	5.7	3.1	1.8	5.3	7.0	11.0	2.6	17.5	11.0	36.4
	入学しなければよかった	62	17.7	0.0	3.2	4.8	9.7	22.6	3.2	16.1	8.1	16.1

 : 全体より10ポイント以上高い

 : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

5. 最も満足していなかった在学中の教育内容の不满理由(自由記述の傾向)

問15-2.(1)～(9)の項目で、あなたが最も満足していなかった教育内容は何ですか。該当する項目番号と、理由をお書きください。

- ◆「専門教育」に関しては、社会に出てからの実践に応えられる教育内容や、もっと高度な専門性を要望する声が多く聞かれた。
- ◆「共通教育」に関しては、「興味を持てるものがなかった」という意見が多く見られた。
その他、人気のある講座が受けにくかった、という意見も多く見られた。
- ◆「特別学期」に関しても、「興味を持てるものが少なかった」という意見が多く見られた。
また、「人気のある講座が受けにくかった」という意見も多かった。
その他、「授業が単発で身につかなかった」という意見も見られた。
- ◆「情報教育」に関しては、授業自体が少ないことや、PCの授業やPCに触れる機会が少なかった、という意見が多く見られた。
また、「実践的な内容が学べなかった」という意見や、「企業が求めるスキルのレベルを事前に教えてほしかった」という意見も見られた。
- ◆「ゼミ」に関しては、「希望のゼミに入れなかった」という意見が多く見られた。
その他、「先生にやる気がなかった」「自由すぎて何をしたらいいのか分からなかった」という意見も見られた。
- ◆「クラス担任制」に関しては、クラスがあることで逆に「自立心、自己責任の意識が芽生えなかった」とする意見が散見された。
また、「クラス替えがないことで、交流範囲が狭められた」「担任の先生の役割が不明瞭」といった意見も見られた。
- ◆「初期演習」に関しては、「興味がない」「必要ない」「何をするための授業なのか分からない」といった意見が多く見られた。
- ◆「外国語教育」に関しては、内容が実践的でなく、社会に出て役に立たないことを指摘する声が多く見られた。
「高校の授業と同じ」や「高校の授業以下のレベル」という意見も散見されている。
- ◆「資格取得、試験対策」に関しては、授業内容自体よりも、「もっと資格の重要性を教えてほしかった(社会に出てから重要性に気がついたが、もう遅い)」「どのような資格がどのタイミングでとれるのか教えて欲しい」「どの資格が今後どのように役立つのか教えて欲しい」など、資格取得に対する心構えや告知に対する要望が多く見られた。

5. 最も満足していなかった在学中の教育内容の不满理由(自由記述より代表的な意見を抜粋)

最も満足していなかった教育内容	代表的な不满内容	大学/短大	所属学科	卒業年
専門教育	単調な授業が多く、興味深い講義にしようとする教授陣の工夫や熱意が感じられなかった。	大学	英語,英文	2002
	社会に出ると実践的なことが求められることが多かったが、そのような内容は少なかったように思う。	大学	健スポ,教育学科体育,教育学科健スポ	2006
	専門的な知識が、あまり身につかなかった。	短大	英コミュ,英語	1997
	高校授業の復習のような内容が多く思ったほどの専門性がなかった。	短大	英コミュ,英語	2007
	社会に出て働く時に役に立つ実践的内容が少ない。	短大	幼児教育	1998
共通教育	もっと学生が興味を持つものを増やしてほしい。	大学	英語,英文	2001
	人気の講座が受けにくかった記憶があります。	大学	生活環境	2003
	単位を取るのだけが目的で、興味深いものがなかった。	大学	薬学	2000
特別学期	人気のあるものを希望していたため受講できなかった。もっとコマ数が欲しかった。	大学	教育,初等教育	2000
	興味があるものがあまりなかった。	大学	教育,初等教育	2008
	授業が単発で身につけていない。	短大	生活造形	2008
情報教育	WORDやEXCELが、社会でどの程度のスキルを求められるのかということを在学中に知って、会社に入る前に学んでおきたかった。	大学	日文,国文	2006
	WORDやEXCELといった企業が求めているPCスキルを身につける授業ではなかった。	大学	英語,英文	2004
	PC授業が少なかったように思います。	大学	健スポ,教育学科体育,教育学科健スポ	2001
	基本的な内容で、実践的かつ応用的な内容でなかった。	大学	生活環境	1998
	コンピューター(PC)に触れる機会があまりなかったため、もっと学びたかったです。	大学	薬学	1999
	コンピューター関係の授業は希望者が多く、定員オーバーで2年間で一度も受講できませんでした。在学生の数の割に少なすぎたと思います。	短大	日本語,国文	1999
ゼミ	ゼミの先生にやる気がなく、有言無実行な事が多々あった。	大学	英語,英文	2007
	ゼミの選択の仕方。くじびきではずれたのは納得がいかない。説明会に行っていない子が希望通りで腹立かった。	大学	健スポ,教育学科体育,教育学科健スポ	2009
	自由すぎて、結局最後まで何をしたいのか分からないまま終わってしまった。	大学	生活環境	2000
	希望のゼミに入れなかった。	大学	食物栄養	2000
クラス担任制	大学生にもなって担任などがいて、大学生として“自己責任”意識が尊重されてなかった。	大学	生活環境	2005
	クラス分けは良いと思いますが、担任の役割が不明で必要がないと感じていた。	大学	食物栄養	2003
	クラス替えがないので、親しい友人はできましたが、せまい範囲でしか交流できず、他のクラスの人との交流があまりできなかった。	短大	人間関係	1997
	高校生の時のような、気持ちで授業に来てしまい、大学生で学ぶ勉学以外のことが学べない(自立や自律等)。	短大	食生活	2004
初期演習	クラス担任の専門分野を内容にされるため、自分の興味が無い部分だった。	大学	日文,国文	1999
	高校のHomeRoomのようで、大学では必要ないと感じた。	大学	英語,英文	2005
	何する時間がイマイチわからなかった。時間のムダだと思う	大学	食物栄養	2009
	教科書を読んでいるだけの授業だった気がします。あまり覚えてもいません。	短大	生活造形	2001
外国語教育	高校までの文法の続きのような授業が多く、実社会で役立てにくい。	大学	教育,初等教育	2001
	教科書通りで実践的でない。楽しみがわからない。	大学	健スポ,教育学科体育,教育学科健スポ	2002
	もっと実践的な授業が良かった。講師が日本人だったので、できればその言語の国の講師がよかったです。	大学	生活環境	2001
	内容が高校の授業と同等以下(英語)。	大学	情報メディア,生活情報	2000
	外国語での簡単なコミュニケーション力をつけたかった。今、学ぼうとしているが、なんとなく知っている会話だが、なかなか口からは飛び出ない。	大学	器楽	1999
資格取得,試験対策	もっと資格取得の重要性を教えてほしいかったです。今何もないので転職も怖くてできないです。	大学	英語,英文	2000
	どのような資格がどのタイミングで取得できるのか、今後どのように役立つものなのか、わかりにくかった。	大学	生活環境	2004
	定員が決まっていて選考にもれ、保育士免許が取得できなかった。	短大	幼児教育	2003
	学生時代は、社会でどんなスキルや資格が有効かわかっていなかったで、そういうところを指導、試験対策してくれていたらよかったのと思う。社会に出ると時間がないので、学生のときに取得しておけばよかったと思う資格がたくさんある。	短大	人間関係	1999
	国家資格などがなく認定ばかり。しかも、試験料、認定料に毎年、更新料…どれも高額なのに、役立たなかった。	短大	人間関係	2001

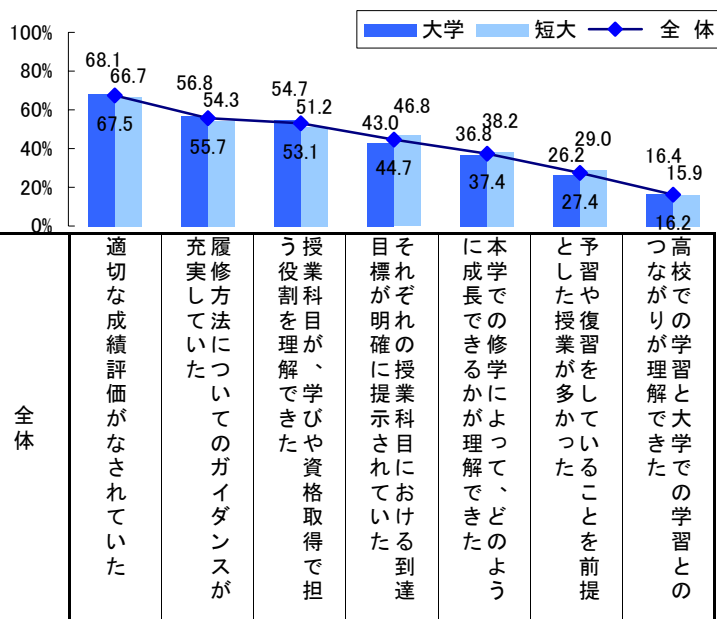
6. 学修支援についての評価

問16.あなたは、本学が以下(1)～(7)のような工夫を通して、あなたのよりよい学修を支援していたと思いますか。

- ◆ 全体では、「適切な成績評価がなされていた」という評価が7割弱と高い。
「履修方法についてのガイダンスが充実していた」「授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた」も過半数が評価。
一方、「予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった」「高校での学習と大学での学習とのつながりが理解できた」は3割以下と低い評価となった。
- ◆ 大学／短大別では、特に大きな差は見られない。
- ◆ 卒業年別では、大学・短大とも、「履修方法についてのガイダンスが充実していた」「授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた」「それぞれの授業科目における到達目標が明確に提示されていた」「本学での修学によって、どのように成長できるかが理解できた」において、卒業後の年数が短いほど評価が高い傾向が見られた。
短大は全般的に卒業年と比例しているが、大学は04年までと05年以降との間に大きな差がある傾向。
- ◆ 学科別では、下記の傾向が見られる。
 - ◇ 大学の英語文化学科／英米文学科や短大の英語コミュニケーション学科／英語学科は、全体では評価の低い「予習や復習をしていることを前提とした授業が多かった」の評価が5～6割と高い。
これは大学の器楽学科も高め。
 - ◇ 大学の教育学科／教育学科：初等教育専攻、器楽学科、薬学科、生物薬学科、短大の幼児教育学科は「授業科目が、学びや資格取得で担う役割を理解できた」が特に高い。
 - ◇ 大学の器楽学科と薬学科は「それぞれの授業科目における到達目標が明確に提示されていた」も高い傾向。

※器楽学科はサンプル数が少ないため参考値

「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」



		N	%						
全体		3058	67.5	55.7	53.1	44.7	37.4	27.4	16.2
区分	大学	1694	68.1	56.8	54.7	43.0	36.8	26.2	16.4
	短大	1364	66.7	54.3	51.2	46.8	38.2	29.0	15.9
卒業年別	大学：98～99年卒業	275	66.2	50.2	52.0	36.7	33.8	24.0	14.5
	大学：00～04年卒業	720	67.8	54.9	51.5	38.5	33.5	24.7	15.0
	大学：05～09年卒業	664	69.1	61.1	59.0	50.6	41.7	28.2	18.7
	短大：96～99年卒業	396	63.9	43.4	40.9	37.9	30.1	27.8	13.1
	短大：00～04年卒業	476	67.0	52.7	50.6	45.0	37.0	28.6	14.3
	短大：05～09年卒業	468	69.7	66.2	61.5	57.1	47.2	30.8	19.7

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

6. 学修支援についての評価

	全体	適切な成績評価がなされていた	充履修方法について の実践したガイダンスが	授業科目が、学びや資格取得で担 う役割を理解できた	それぞれの授業科目における到達 目標が明確に提示されていた	本学での修学によって、どのよう に成長できるかが理解できた	予習や復習が多かったことを前提 とした授業が多かった	高校での学習と大学での学習との つながりが理解できた	
		N	%						
全体	3058	67.5	55.7	53.1	44.7	37.4	27.4	16.2	
在籍 学科・ 大学	日本語日本文学科／国文学科	182	65.9	56.0	37.9	31.9	24.7	14.8	12.6
	英語文化学科／英米文学科	203	70.0	60.1	43.8	45.8	35.0	62.1	25.1
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	70.5	66.1	65.7	45.0	46.9	15.9	13.7
	健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻	145	58.6	53.8	60.0	46.9	36.6	9.7	9.0
	心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科	157	65.6	54.8	48.4	35.0	28.0	14.0	3.8
	生活環境学科	152	70.4	48.7	52.0	38.2	37.5	24.3	13.2
	食物栄養学科	204	64.7	57.8	61.8	39.2	31.4	27.5	18.1
	情報メディア学科／生活情報学科	120	64.2	58.3	39.2	40.0	30.0	10.8	11.7
	声楽学科	14	71.4	64.3	64.3	50.0	42.9	42.9	14.3
	器楽学科	33	87.9	63.6	69.7	57.6	63.6	54.5	33.3
	薬学科	138	73.2	50.0	68.8	58.7	47.8	38.4	30.4
生物薬学科	72	73.6	44.4	63.9	54.2	44.4	37.5	29.2	
在籍 学科・ 短大	日本語文化学科／国文学科	178	65.2	53.9	32.0	40.4	29.8	28.1	20.2
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	64.6	53.7	34.1	43.3	39.0	51.2	20.7
	幼児教育学科	222	71.6	58.1	73.9	52.3	47.3	23.4	16.7
	人間関係学科	168	67.9	59.5	46.4	42.9	36.3	12.5	8.3
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	61.9	49.2	55.9	46.6	39.8	19.5	13.6
	食生活学科	305	69.8	55.7	58.0	49.5	41.0	37.0	18.0
入学 満足 度別	生活造形学科	205	61.5	47.3	47.8	48.8	31.7	24.9	11.2
	入学してよかった	2747	69.9	58.3	55.5	47.0	40.3	28.2	17.1
	どちらともいえない	228	46.5	32.5	36.0	25.0	11.0	18.0	7.0
入学しなければよかった	62	43.5	30.6	17.7	14.5	1.6	17.7	4.8	

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

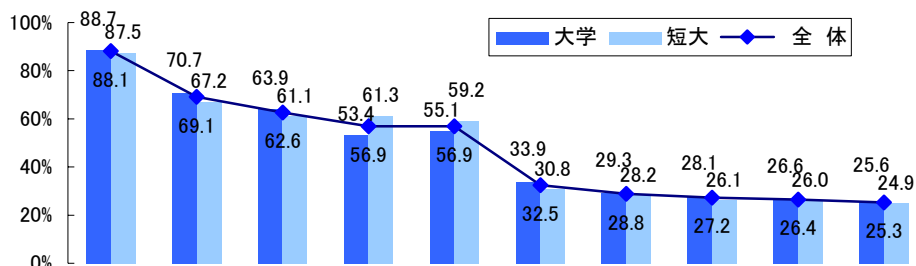
VI. 在学時の学習や活動について

1. 学生生活支援についての満足度

問17-1.あなたは在学中に本学が実施する以下(1)～(10)の学生生活支援についてどの程度満足していましたか。

- ◆ 全体では、「図書館の施設や蔵書の充実」の満足度が最も高く9割近くに達する。次いで「情報処理関係施設や機器の充実」が約7割、「実験・実習施設の充実」「就職活動に対する支援」「学生の交流スペースの充実」が6割前後で続く。
- ◆ 大学／短大別では、「就職活動に対する支援」において大学よりも短大の方が約8ポイント満足度が高い。「学生の交流スペースの充実」も、大学よりも短大の方が満足度がやや高めの傾向。
- ◆ 卒業年別では、「情報処置関係施設や機器の充実」「実験・実習施設の充実」「健康管理体制の充実」「奨学金制度など経済的な支援」において、大学・短大とも卒業後の年数が短くなるほど満足度が高まる傾向が見られる。また、「就職活動に対する支援」と「学生生活におけるさまざまな悩みの解決支援」は、04年以前と05年以降で大きな差が見られ、05年以降卒業生はそれ以前の卒業生と比べると満足度が非常に高い傾向が見られる。
- ◆ 入学満足度別では、大学・短大ともどの支援内容も入学満足度の高いの方が満足度は高く、それ以外の人の満足度が低い傾向が見られる。特に、「就職活動に対する支援」において、入学満足者とそれ以外の人の差が大きい。

「満足していた」+「どちらかといえば満足していた」



全体	N	%									
		図書館の施設や蔵書の充実	情報処理関係施設や機器の充実	実験・実習施設の充実	就職活動に対する支援	学生の交流スペースの充実	健康管理体制の充実	留学や語学研修への支援	奨学金制度など経済的な支援	学生生活におけるさまざまな悩みの解決支援	クラブ・サークルなど課外活動に対する理解や支援

全体		N	88.1	69.1	62.6	56.9	56.9	32.5	28.8	27.2	26.4	25.3
区分	大学	1694	88.7	70.7	63.9	53.4	55.1	33.9	29.3	28.1	26.6	25.6
	短大	1364	87.5	67.2	61.1	61.3	59.2	30.8	28.2	26.1	26.0	24.9
卒業年別	大学:98～99年卒業	275	87.6	46.2	56.7	43.3	55.6	18.9	29.1	20.7	21.1	28.4
	大学:00～04年卒業	720	88.8	64.0	60.6	48.8	50.6	26.9	25.4	23.5	22.2	22.2
	大学:05～09年卒業	664	88.7	87.7	70.9	63.1	59.5	47.9	33.7	36.3	33.6	28.3
	短大:96～99年卒業	396	86.9	45.2	54.0	55.1	55.8	17.2	25.3	14.6	20.2	22.5
	短大:00～04年卒業	476	84.9	66.4	60.3	56.9	62.2	28.4	27.5	23.1	21.6	23.9
	短大:05～09年卒業	468	91.2	88.2	67.7	71.6	59.8	45.3	31.6	38.9	36.3	27.6

■ : 全体より10ポイント以上高い ■ : 全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

1. 学生生活支援についての満足度

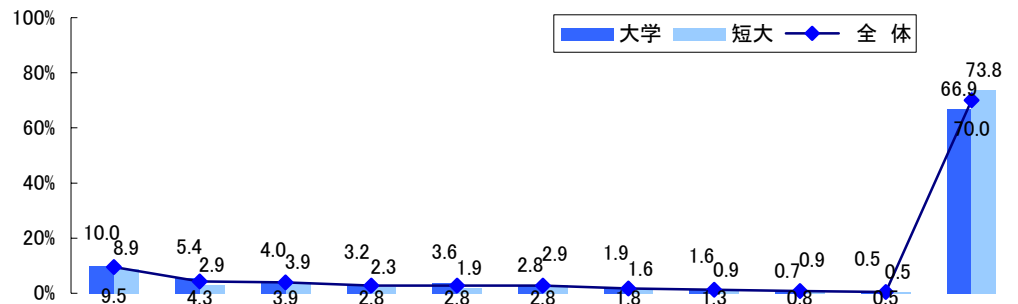
	全体	図書館の施設や蔵書の充実	情報処理関係施設や機器の充実	実験・実習施設の充実	就職活動に対する支援	学生の交流スペースの充実	健康管理体制の充実	留学や語学研修への支援	奨学金制度など経済的な支援	学生生活におけるさまざまな悩みの解決支援	クラブ・サークルなど課外活動に対する理解や支援	
		N	%									
全体	3058	88.1	69.1	62.6	56.9	56.9	32.5	28.8	27.2	26.4	25.3	
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	93.4	63.7	28.0	45.6	49.5	34.6	20.9	24.2	26.4	25.3
	英語文化学科／英米文学科	203	91.6	69.0	31.5	52.7	60.1	35.0	78.8	30.5	22.2	20.7
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	93.0	79.7	74.9	77.1	63.8	40.2	39.9	33.9	37.6	30.6
	健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻	145	89.7	75.9	69.0	62.1	57.2	39.3	14.5	29.0	29.0	61.4
	心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科	157	87.9	82.2	50.3	47.1	58.0	33.1	19.7	22.3	26.1	17.8
	生活環境学科	152	87.5	69.7	77.0	44.7	50.0	27.6	19.7	22.4	20.4	23.0
	食物栄養学科	204	87.3	69.6	88.2	51.5	51.5	37.7	19.6	25.5	18.6	24.5
	情報メディア学科／生活情報学科	120	89.2	90.8	55.8	42.5	53.3	32.5	22.5	24.2	28.3	20.8
	声楽学科	14	78.6	35.7	28.6	42.9	42.9	21.4	7.1	35.7	42.9	21.4
	器楽学科	33	81.8	48.5	72.7	39.4	60.6	33.3	24.2	33.3	36.4	9.1
在籍学科・短大	薬学科	138	79.0	51.4	87.7	44.9	45.7	23.2	13.8	29.7	21.0	13.8
	生物薬学科	72	80.6	47.2	95.8	45.8	52.8	23.6	15.3	37.5	30.6	13.9
	日本語文化学科／国文学科	178	94.9	65.2	24.2	62.4	57.9	35.4	20.2	28.1	25.3	23.0
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	79.9	62.8	32.9	65.2	54.3	26.8	84.8	25.6	21.3	19.5
	幼児教育学科	222	88.3	71.2	74.3	66.2	65.3	36.5	29.7	30.2	30.6	24.8
	人間関係学科	168	81.5	82.1	50.6	64.3	63.7	25.0	20.8	24.4	32.1	31.0
入学満足度別	健康・スポーツ学科／体育学科	118	79.7	61.9	61.0	56.8	56.8	29.7	7.6	26.3	25.4	41.5
	食生活学科	305	92.5	63.3	85.2	65.2	61.6	32.1	17.7	26.9	26.2	20.7
	生活造形学科	205	88.8	65.9	75.1	46.8	52.2	27.8	22.4	21.0	21.0	22.9
	大学：入学してよかった	1519	90.5	73.9	66.3	56.9	57.8	35.7	30.6	29.4	28.3	27.0
	大学：どちらともいえない	132	75.8	43.9	46.2	21.2	29.5	17.4	17.4	15.9	13.6	13.6
	大学：入学しなければよかった	31	64.5	35.5	29.0	19.4	32.3	12.9	12.9	16.1	3.2	12.9
短大：入学してよかった	短大：入学してよかった	1228	88.9	69.7	63.8	64.7	61.7	32.6	29.6	27.7	27.9	26.1
	短大：どちらともいえない	96	75.0	43.8	38.5	31.3	37.5	15.6	14.6	10.4	8.3	16.7
	短大：入学しなければよかった	31	74.2	48.4	32.3	19.4	32.3	9.7	12.9	16.1	6.5	9.7

 : 全体より10ポイント以上高い
 : 全体より10ポイント以上低い
 ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

2. 最も満足していなかった学生生活支援

問17-2.問17-1で「どちらかといえば満足していなかった」「満足していなかった」に1つでも○をつけた方にお聞きます。(1)～(10)の中で、あなたが最も満足していなかった学生生活支援は何ですか。該当する番号と、理由をお書きください。

- ◆ 全体では、満足していなかった学生生活支援は7割が「ひとつもない」と回答。満足していなかった学生生活支援として挙げられた中では、「就職活動に対する支援」が最も多く約1割。他は全て5%に満たなかった。
- ◆ 大学／短大別では、短大の方が「ひとつもない」割合が高めで、大学の方が満足していない人が多い傾向ではあるが、具体的な学生生活支援内容としては特に大きな差の見られるものはない。
- ◆ 入学満足度別で大きな差が見られたのは「就職活動に対する支援」。入学満足者の「就職活動に対する支援」に関する不満度は1割未満であるのに対し、入学不満者の不満度は4割弱にのぼる。就職は、武庫川女子大学・短期大学部への満足度に大きな影響を与えていると考えられる。



	N	%											
		就職活動に対する支援	にクラブ・サークルなど課外活動	み学生生活におけるさまざまな悩み	留学や語学研修への支援	学生の交流スペースの充実	情報処理関係施設や機器の充実	健康管理体制の充実	奨学金制度など経済的な支援	実験・実習施設の充実	図書館の施設や蔵書の充実	ひとつもない	
全体	3058	9.5	4.3	3.9	2.8	2.8	2.8	1.8	1.3	0.8	0.5	70.0	
区分	大学	1694	10.0	5.4	4.0	3.2	3.6	2.8	1.9	1.6	0.7	0.5	66.9
	短大	1364	8.9	2.9	3.9	2.3	1.9	2.9	1.6	0.9	0.9	0.5	73.8
卒業年別	大学:98~99年卒業	275	14.5	2.5	4.0	1.8	4.7	5.1	3.6	2.5	0.4	0.0	61.5
	大学:00~04年卒業	720	11.7	5.0	4.6	3.8	3.6	3.8	2.1	1.1	0.4	0.7	63.9
	大学:05~09年卒業	664	6.2	6.8	3.2	3.2	3.2	0.8	1.1	1.8	1.2	0.6	72.6
	短大:96~99年卒業	396	12.4	1.8	4.0	2.5	1.5	6.1	1.8	1.3	0.8	0.8	68.4
	短大:00~04年卒業	476	8.4	3.4	3.8	2.5	1.9	2.7	1.9	0.6	0.6	0.4	74.4
	短大:05~09年卒業	468	6.4	3.4	3.6	1.9	2.4	0.6	1.1	0.9	1.3	0.4	78.0

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※ サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

2. 最も満足していなかった学生生活支援

		全体	就職活動に対する支援	クラブ・サークルなど課外活動に対する理解や支援	学生生活におけるさまざまな悩みの解決支援	留学や語学研修への支援	学生の交流スペースの充実	情報処理関係施設や機器の充実	健康管理体制の充実	奨学金制度など経済的な支援	実験・実習施設の充実	図書館の施設や蔵書の充実	ひとつもない
		N	%										
全体		3058	9.5	4.3	3.9	2.8	2.8	2.8	1.8	1.3	0.8	0.5	70.0
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	13.2	4.4	6.0	2.7	1.1	7.7	2.2	0.5	1.1	0.5	60.4
	英語文化学科／英米文学科	203	6.9	6.9	3.9	2.5	2.5	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.4
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	5.5	4.8	3.7	2.2	3.0	2.2	1.1	1.8	0.7	0.4	75.6
	健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻	145	3.4	3.4	4.8	2.8	4.8	0.7	2.8	2.1	0.7	0.0	75.2
	心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科	157	15.3	5.1	1.9	4.5	6.4	1.3	1.3	3.2	1.9	1.3	58.6
	生活環境学科	152	13.8	5.9	3.9	3.9	4.6	2.6	3.3	3.9	0.7	2.6	55.9
	食物栄養学科	204	15.7	4.9	2.5	2.5	2.5	2.9	3.4	1.5	1.0	0.5	63.2
	情報メディア学科／生活情報学科	120	11.7	6.7	5.0	4.2	1.7	0.8	2.5	0.8	0.8	0.0	66.7
	声楽学科	14	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	50.0
	器楽学科	33	9.1	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	78.8
	薬学科	138	6.5	8.0	7.2	5.8	7.2	1.4	0.7	1.4	0.0	0.0	62.3
生物薬学科	72	8.3	5.6	0.0	4.2	4.2	6.9	0.0	1.4	0.0	0.0	69.4	
在籍学科・短大	日本語文化学科／国文学科	178	10.1	1.1	2.2	3.4	0.6	4.5	1.7	1.7	1.7	1.1	73.6
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	6.1	1.2	1.2	2.4	3.0	7.3	1.2	1.2	0.0	1.2	75.6
	幼児教育学科	222	8.1	2.7	2.7	2.3	2.7	2.3	0.9	0.5	0.9	0.5	76.6
	人間関係学科	168	8.9	4.2	3.6	2.4	0.6	0.0	3.0	1.2	1.8	1.2	74.4
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	6.8	5.9	7.6	2.5	0.8	0.8	1.7	0.0	0.0	0.0	73.7
	食生活学科	305	11.8	2.6	4.3	1.6	1.6	3.3	1.3	1.0	1.0	0.0	71.8
	生活造形学科	205	8.3	3.4	6.3	2.0	3.4	2.0	1.5	0.5	0.5	0.0	72.7
業種別	保健・衛生・医療福祉関係	350	10.6	4.0	4.3	3.7	5.1	2.6	2.9	1.4	0.3	0.6	65.1
	スポーツ関係	56	7.1	7.1	3.6	0.0	3.6	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	73.2
	公務員(国・地方自治体)	165	4.8	3.6	6.1	1.8	1.8	3.0	2.4	1.2	2.4	0.6	72.7
	教育関係	432	5.1	4.9	2.1	4.4	3.0	3.2	1.2	1.4	0.2	0.2	74.8
	音楽関係	21	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	81.0
	マスコミ・出版関係	17	29.4	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	41.2
	販売・サービス関係	387	7.8	3.9	4.7	1.8	2.8	2.3	1.3	1.3	0.3	1.0	73.1
	商社・金融関係	270	11.1	5.2	3.3	3.3	0.4	2.6	0.0	1.9	1.5	0.4	71.1
	情報・通信関係	66	10.6	9.1	4.5	1.5	4.5	1.5	3.0	0.0	3.0	1.5	62.1
	食品・化学関係	143	11.2	5.6	4.2	4.2	3.5	2.1	1.4	2.1	0.0	0.0	67.1
	建設・機械関係	127	11.8	4.7	5.5	2.4	3.1	2.4	1.6	0.8	0.0	0.0	68.5
	農林・水産関係	8	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	その他	291	11.3	2.7	3.4	3.1	2.4	4.5	0.3	1.0	1.0	1.0	69.4
	入学満足度別	入学してよかった	2747	8.2	4.4	3.5	2.6	2.7	2.6	1.6	1.2	0.8	0.5
どちらともいえない		228	19.7	3.5	8.8	4.8	3.9	4.8	3.9	1.8	0.4	0.9	50.0
入学しなければよかった		62	35.5	4.8	4.8	4.8	8.1	6.5	0.0	3.2	3.2	0.0	30.6

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

3. 最も満足していなかった学生生活支援の不满理由(自由記述の傾向)

問17-2.問17-1で「どちらかといえば満足していなかった」「満足していなかった」に1つでも○をつけた方にお聞きます。(1)～(10)の中で、あなたが最も満足していなかった学生生活支援は何ですか。該当する番号と、理由をお書きください。

- ◆「学生生活における様々な悩みの解決支援」に関しては、「支援体制自体を知らなかった」という意見が多く見られた。
また、支援自体に対しては、「対応が冷たい」「いじめなどを見抜けない先生が多い」など、スタッフや先生の対応内容に対する不満が多く見られた。
- ◆「健康管理体制の充実」に関しても、「支援体制自体を知らなかった」という意見がほとんど。
支援自体に対しては、「すばらしい施設があるのに、一部のしか使えない」「自由に使えるフィットネスジムなどが欲しかった」などの意見が見られた。
- ◆「奨学金制度など経済的支援」に関しても、「支援体制自体を知らなかった」という意見が多く見られた。
支援自体に対しては、「使いたくても受理されずに使えなかった」という意見が複数見られた。
- ◆「留学や語学研修への支援」に関しても、「支援体制自体を知らなかった」という意見が多く見られた。
支援自体に対しては、費用が高額である点や、学科による不平等感、単位の関係で留年になってしまうことに対する不満が見られた。
- ◆「クラブ・サークルなど課外活動に対する理解や支援」に関しては、「支援体制自体を知らなかった」という意見が多く見られた。
支援自体に対しては、運動部に関しては、クラブ(種目)による支援の格差に不満が感じられている様子。
その他、文化部は運動部と比べて軽視されている印象がある点、クラブ・サークル自体が少ない点などが指摘されている。
- ◆「就職活動に対する支援」に関しては、就職支援施設については、予約がなかなか取れずに利用できなかった点、スタッフの対応(「ろくに話を聞いてもらえなかった」など)に対する不満などが多く見られた。
その他、「就職対策の情報は3年生からでは遅いので、もっと早くから教えて欲しい」「県外での地元就職は大変」「紹介された会社に就職したが、問題のある会社だった」なども複数見られた意見。
- ◆「図書館の施設や蔵書の充実」に関しては、蔵書が古い点を指摘する声は複数見られた。
その他、開館時間や、閲覧スペースと学習スペースの区分についての意見も見られた。
- ◆「学生の交流スペースの充実」に関しては、学生の交流スペースが少ない/狭いといった意見や、食堂の狭さを指摘する意見が多く見られた。
- ◆「情報処理関係施設や機器の充実」に関しては、PCに触れる機会が少なかったことへの指摘と、実践的な教育をして欲しかったという要望が多く見られた。
- ◆「実験・実習施設の充実」に関しては、実習の前段階での準備・学習に関する不満が複数見られた。

3. 最も満足していなかった学生生活支援の不满理由(自由記述より代表的な意見を抜粋)

最も満足していなかった学生生活支援	代表的な不满内容	大学/短大	所属学科	卒業年
学生生活における様々な悩みの解決支援	カウンセリングなどあったようだが普段見えないところにあるので行ってみようという気持ちになれないように感じた。	大学	教育,初等教育	2008
	質問したら冷たかった(事務職の方)。	大学	情報メディア,生活情報	2000
	どこで支援が受けれるか、情報が乏しかった。	大学	音楽	2002
	いじめや代筆が見抜けない先生が多い。生徒が多すぎて1人1人と接する時間もないし、その生徒がどんな性格なのかわかっていない先生ばかり。	短大	幼児教育	2005
	担当の先生(担任)はいたが、当時、学生相談室のようなものがなく、第三者的に話を聞いてくれる人がいいのにと思っていた。	短大	健スポ,体育	1997
健康管理体制の充実	健康管理…という体制があったか…それがどのようなものか具体的にわからない。	大学	教育,初等教育	2002
	素晴らしい施設があるにもかかわらず、一部の人が使用できないものが多かった。	大学	大学:健スポ,教育学科体育,教育学科健スポ	2008
	自由に使えるフィットネスジムや、エアロビクス、ヨガなどの講座がほしかった。また、料理家をまねいての特別カリキュラムがあっても良かった。	大学	食物栄養	2000
奨学金制度など経済的な支援	奨学金制度があることも知らなかった。	大学	生活環境	2002
	家庭の事情で経済的に不安定になり、親の負担を軽くしたいと思い、また親からも、奨学金の支援をお願いして欲しいと言われ、担任に相談したが、「あなたの家は、まださしせまったものがない」というようなことを言われ、結局取りあってもええ支援を受けられなかった。担任が奨学金の認定をすると何か不利益なことがあるのでしょうか？私には「色々と面倒なの」などとも言っておられました。	大学	生活環境	2009
留学や語学研修への支援	留学の費用が高くて、参加したくてもできなかった。	大学	教育,初等教育	2007
	やっていることすら知らなかった。	大学	健スポ,教育学科体育,教育学科健スポ	2000
	全ての学科において、希望者に留学する機会を与えるべき。	大学	心理,人間関係,人間科学	2006
	学部によっては、留学に行きたかったが、単位の関係で留年になる為、行く事自体、難しい所があった。	大学	食物栄養	
クラブ・サークルなど課外活動に対する理解や支援	文化部は運動部と比べて軽視されているように感じていた。	大学	英語,英文	
	クラブ活動は種目によって予算に差がありすぎた。1部リーグだったにもかかわらず、外部の方が指導して下さっていたためなのか(学校での理解度があまりにも低かった)、教授のいるクラブとの差がひどい。	大学	健スポ,教育学科体育,教育学科健スポ	2000
	クラブ活動をしていたが、強化クラブとそうでないクラブに対しての力の入れ具合の差が激しい。	大学	健スポ,教育学科体育,教育学科健スポ	2005
	サークル活動が全然活発でなかった。学外(他大学)のサークルに参加していました。	大学	食物栄養	2003
	サークルが少なすぎる。クラブは体育学科の人が多く、授業も忙しかったので入りにくい。	大学	食物栄養	2008
	薬学部は校舎も離れていたし、授業もおそくまであったから本学のクラブに参加できなかった。	大学	薬学	2001
	サークル数が少なく、クラブになると強すぎたため、楽しみ目的で入りたいものに入れなかった。	短大	健スポ,体育	2009
就職活動に対する支援	就職課に相談したが、まともに話を聞いてくれず、超氷河期の支援内容とはとても思えなかった。	大学	日文,国文	2000
	入学してすぐぐらいに就職に有利なことをもっとたくさん教えてほしかった。3年から説明されても遅いと感じた。	大学	英語,英文	2007
	就職指導室(?)の先生方が少なく相談予約がなかなかとれなかった→そのためほとんど利用せず。	大学	英語,英文	2008
	県外の出身の学生にとっては、地元での就職活動は大変である。	大学	心理,人間関係,人間科学	1999
	自分の持っている資格はどのような分野で求められているのかわかりづらかった。先輩達がどのように働いているのかも知りたかった。	大学	食物栄養	2003
	学校にきた求人で見つけたが、あまりにも厳しく、評判のよくない会社だとあとで知った。就職活動中に教えてほしかった。	短大	食生活	1996
	自分も含め、周りの友達もあまり支援がなく、ほとんど自分で就職を決めていた。	短大	生活造形	1996
	就職活動対応のある事務の方が、不親切で私をよく知りもしないのに一方的に怒られたことをよく覚えている。友人は泣かされていた。当時、親身に相談にのってもらえるような雰囲気ではなかった。	短大	生活造形	1998
	蔵書内容がよくないと思います!!古い本が多い。教員の研究室にあるものが多すぎる。学生が気軽に借りれない。図書館で申しこんで研究室にある本も借りれるetcのシステムがほしかった。	大学	生活環境	2000
図書館の閉館時刻が早く、授業後の利用が難しかったです。図書館以外も遅くまで開いて欲しかったです。	大学	生活環境	2004	
閲覧スペースと学習スペースを分けていなかった。自習する人の隣りで、本を読みにくい。イスだけの場所は本が置けずに困りました。	短大	日本語,国文	2004	
学生の交流スペースの充実	学生の交流スペースとはどこのことを指すのか?人数が多いわりに、食堂などのスペースは小さすぎた気がする。	大学	日文,国文	2006
	学生の数に対し、スペースが明らかにせまい。昼休み中に昼食が終わらないことも多々あった。	大学	英語,英文	2009
	教室以外のスペースがない。他学科の人との交流スペースや、機会が必要。	大学	心理,人間関係,人間科学	2001
	薬学部は本学とちがいがい不十分すぎた(食堂や売店など)。	大学	薬学	2001

3. 最も満足していなかった学生生活支援の不满理由(自由記述より代表的な意見を抜粋)

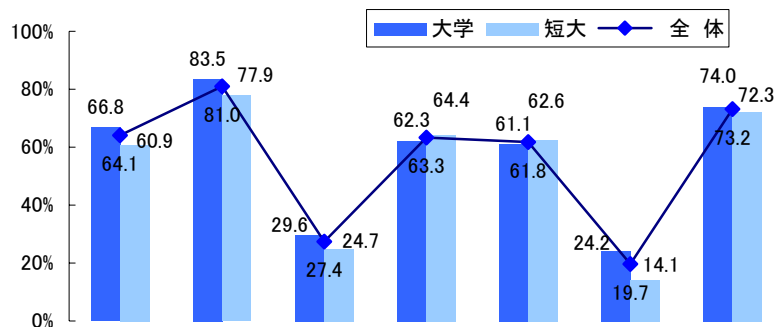
最も満足していなかった学生生活支援	代表的な不满内容	大学/ 短大	所属学科	卒業 年
情報処理関係施設や 機器の充実	パソコンの使用や数に限りがあり、部屋に出入ができなかったり、制限が多かった。	大学	日文,国文	2006
	パソコンを使用したくても人でいっぱいでした。新しい情報処理技術を教えてくれるスタッフが少なかった。	大学	生活環境	2004
	社会に出た時にITは必要だと思うが、あまりそういったカリキュラムが組まれていなかった。	短大	英コミ,英語	1998
実験・実習施設の充 実	もっと、実習に対しての心得など、知ってから、行くべきだと思う。わけもわからず行っていた気がする	大学	教育,初等教育	2006
	実技練習を行った上で、実習に臨みたかったが、十分な練習物品がなかった(数や練習指導が不十分と感じた)。	大学	心理,人間関係,人間科学	2005

4. 意欲的な取り組み度

問18-1.あなたは在学中、以下(1)～(7)について、A. どの程度意欲的に取り組みましたか。

- ◆ 全体としては、「専門的な知識の習得」が最も高く、約8割。
次いで「アルバイト」(7割強)、「幅広い教養の習得」「交友関係を広げること」(6割強)、「就職活動」(約6割)と続く。
- ◆ 大学／短大別では、「専門的な知識の習得」「幅広い教養の習得」などの学習関連と「ボランティア活動」において大学の方が高い傾向。
- ◆ 入学満足度別では、全ての項目において入学満足度の高い者は不満者よりも意欲的な取り組み度が高い傾向が出ているが、中でも差異が特に顕著なのが「交友関係を広げること」で、入学満足者と不満者の間に、大学では37ポイント、短大においては43ポイントにのぼる隔たりが見られる。
一方、「アルバイト」や「ボランティア」は他の項目と比べると差異は少なく、入学満足度には特に影響を与えない要素であると推測できる。

「取り組んだ」+「どちらかといえば取り組んだ」



	N	%							
		幅広い教養の習得	専門的な知識の習得	学生会活動・サークル	交友関係を広げること	就職活動	ボランティア活動	アルバイト	
全体	3058	64.1	81.0	27.4	63.3	61.8	19.7	73.2	
区分	大学	1694	66.8	83.5	29.6	62.3	61.1	24.2	74.0
	短大	1364	60.9	77.9	24.7	64.4	62.6	14.1	72.3
卒業年別	大学:98～99年卒業	275	64.0	80.4	27.3	59.6	56.0	20.7	72.0
	大学:00～04年卒業	720	64.9	82.8	27.2	59.2	56.8	21.5	72.8
	大学:05～09年卒業	664	70.0	86.1	33.0	66.7	68.5	28.2	75.8
	短大:96～99年卒業	396	55.8	70.2	23.5	63.4	59.6	15.9	71.2
	短大:00～04年卒業	476	60.1	77.7	22.7	64.1	59.9	13.9	73.1
	短大:05～09年卒業	468	66.9	85.0	27.8	66.0	68.6	13.0	72.2

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

4. 意欲的な取り組み度

		全体	幅広い教養の習得	専門的な知識の習得	学友会活動・サークル活動	交友関係を広げること	就職活動	ボランティア活動	アルバイト
		N	%						
全 体		3058	64.1	81.0	27.4	63.3	61.8	19.7	73.2
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	70.9	73.1	30.2	59.3	54.4	13.2	73.6
	英語文化学科／英米文学科	203	73.4	79.8	16.3	69.5	63.5	14.8	79.3
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	72.3	87.1	29.9	70.1	76.8	60.1	83.8
	健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻	145	63.4	80.7	82.8	69.7	48.3	21.4	54.5
	心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科	157	71.3	76.4	22.3	61.1	49.7	45.9	79.6
	生活環境学科	152	68.4	90.1	27.6	61.8	71.1	11.2	80.9
	食物栄養学科	204	65.2	86.8	27.5	58.8	64.2	16.7	77.9
	情報メディア学科／生活情報学科	120	65.8	78.3	21.7	56.7	66.7	14.2	75.0
	声楽学科	14	50.0	92.9	35.7	64.3	42.9	21.4	85.7
	器楽学科	33	69.7	87.9	3.0	57.6	36.4	21.2	60.6
薬学科	138	42.8	89.9	18.1	51.4	48.6	4.3	55.8	
生物薬学科	72	63.9	97.2	30.6	50.0	61.1	8.3	61.1	
在籍学科・短大	日本語文化学科／国文学科	178	68.5	65.2	19.7	53.4	59.0	7.3	74.7
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	53.7	72.0	11.6	72.6	63.4	6.1	77.4
	幼児教育学科	222	68.5	92.8	23.0	73.4	78.8	27.5	70.7
	人間関係学科	168	66.7	69.0	31.5	64.3	65.5	35.1	81.5
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	49.2	84.7	61.9	75.4	44.9	15.3	55.1
	食生活学科	305	59.0	80.3	23.9	60.3	63.6	5.2	69.5
	生活造形学科	205	57.1	77.6	15.6	57.6	54.6	6.8	74.6
入学満足度別	大学：入学してよかった	1519	69.1	86.1	30.0	65.8	63.3	25.4	75.1
	大学：どちらともいえない	132	44.7	61.4	26.5	29.5	40.2	15.2	61.4
	大学：入学しなければよかった	31	41.9	51.6	22.6	29.0	35.5	12.9	74.2
	短大：入学してよかった	1228	62.7	80.2	26.0	68.3	64.4	14.6	73.0
	短大：どちらともいえない	96	42.7	60.4	13.5	28.1	47.9	10.4	68.8
	短大：入学しなければよかった	31	54.8	48.4	12.9	25.8	38.7	9.7	58.1

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

5. 本学で身についた能力と意欲的な取り組み度の関係

問14.あなたは以下(1)～(21)の能力が、A.どの程度身についたと思いますか。

問18-1.あなたは在学中、以下(1)～(7)について、A.どの程度意欲的に取り組みましたか。

- ◆ 在学中の活動への意欲的な取り組みの有無別にみると、意欲的に取り組んだことがある人の方が、意欲的に取り組んだ項目が「ひとつもない」と回答している人よりも、能力が身についたと感じており、意欲的な取り組みの有無が身についた能力に影響していることが分かる。
- ◆ 特に、ボランティア活動を意欲的に取り組んだ人は、多くの項目で全体よりも能力が身についたと感じている。
- ◆ また、学友会活動・サークル活動を意欲的に取り組んだ人は「自分から進んでものごとに取り組む力」「周囲の状況に配慮して行動する力」、交友関係を広げることを意欲的に取り組んだ人は「目標の実現のために周囲の人の協力を得る力」の身についた割合が全体よりも10ポイント以上高い。

本学で身についた能力(「身についた」+「ある程度身についた」)と意欲的な取り組み度(「取り組んだ」+「どちらかといえば取り組んだ」)の関係

		本学で身についた能力(「身についた」+「ある程度身についた」)									
		カデ常 ア、識 を新に 生しと みいら 出あわ すいれ	す課現 る題状 力をを 明分 ら析 かし、 に、	し口た目 、せめ標 準スにを 備を必達 す計要成 る画なす 力づる	続か目 けつ標 るての 力取達 り成 組に み向	組も自 むの分 力ごから とら に進 取ん りて	協め目 力に標 を周の 得困実 るの現 力人の のた	てな間周 行ど関 動係の すにや状 る配忙況 力慮し(へ しさ人	行ル社 動 会 すルの るに規 力従範 つやて		
		N	%								
全体		3058	25.2	38.4	52.4	64.9	56.1	53.8	59.2	69.6	
在 学 中 の 活 動 へ の 意 欲 度	幅広い教養の習得	1961	29.8	44.4	59.9	72.0	64.6	58.2	63.7	74.8	
	専門的な知識の習得	2477	27.9	42.1	58.1	70.3	61.0	57.2	62.3	72.3	
	学友会活動・サークル活動	838	32.8	47.5	62.1	73.6	69.0	63.1	69.2	76.5	
	交友関係を広げること	1935	29.1	42.8	58.4	71.4	63.4	63.8	67.2	75.8	
	就職活動	1889	28.4	42.9	58.3	71.4	62.9	59.5	63.3	73.0	
	ボランティア活動	602	30.7	45.8	61.3	75.4	70.1	65.9	64.1	77.9	
	アルバイト	2239	25.9	39.1	54.5	66.4	57.7	55.9	59.9	70.0	
	ひとつもない	101	10.9	12.9	15.8	32.7	21.8	25.7	34.7	48.5	

		本学で身についた能力(「身についた」+「ある程度身についた」)									
		すをしス るコ、ト カント 分スの 感対 ル情応	く手自 伝に分 えわの るか意 かりや を相	るを寧相 力正に手 確聴の にき意 理、見 解内を す容丁	理を異自 解相な分 す手ると 力立の意 場考見 でえの	す書外 力き国 、語 聞を読 きみ 話、	オン動社 活テす会 動イるの なア力た ど、(め Nポに Pラ行	面理多 でし様 活、な 用必情 す要報 るなを 力場整	作発使コ 成表つン す資てピ る料、ユ 力な文、 ど書タ をやを		
		N	%								
全体		3058	36.2	40.5	51.1	44.0	16.6	19.9	30.9	52.0	
在 学 中 の 活 動 へ の 意 欲 度	幅広い教養の習得	1961	40.2	46.5	58.1	50.9	18.7	24.3	37.2	59.8	
	専門的な知識の習得	2477	38.4	44.1	55.0	46.7	17.4	21.9	33.9	54.7	
	学友会活動・サークル活動	838	43.1	48.6	61.0	52.9	14.1	29.2	38.4	56.1	
	交友関係を広げること	1935	41.0	47.3	57.8	50.3	18.6	24.4	34.5	54.3	
	就職活動	1889	38.9	45.8	56.5	48.3	17.7	22.3	34.2	57.7	
	ボランティア活動	602	42.2	49.7	59.0	54.5	18.3	63.8	42.4	66.6	
	アルバイト	2239	36.8	42.4	51.9	45.5	17.2	21.4	31.9	54.0	
	ひとつもない	101	21.8	15.8	23.8	22.8	11.9	5.0	11.9	34.7	

		本学で身についた能力(「身についた」+「ある程度身についた」)						
		力問社 題会 をが 理直 解面 する	力表やも 現図の ・表と 分を 析使を すつ数 るて式	る業に学 力後関校 も係の 学な単 びく位 続、な け卒ど	すて化自 理・国 態解社や 度し会他 、に国 尊つ文 重い文	ら的も え・の る多 力面と 的を に客 と観	ひとつ もない	
		N	%					
全体		3058	25.8	15.3	45.5	26.8	44.4	6.1
在 学 中 の 活 動 へ の 意 欲 度	幅広い教養の習得	1961	32.2	18.4	54.9	33.0	51.8	3.1
	専門的な知識の習得	2477	28.3	17.3	50.1	28.6	48.2	4.0
	学友会活動・サークル活動	838	30.0	16.7	51.3	27.8	51.7	4.3
	交友関係を広げること	1935	29.4	16.6	50.6	30.2	50.5	4.0
	就職活動	1889	30.2	17.0	49.0	29.4	47.8	4.3
	ボランティア活動	602	42.4	16.8	57.8	33.9	50.3	2.2
	アルバイト	2239	27.2	15.3	46.7	27.8	46.3	5.6
	ひとつもない	101	5.0	6.9	19.8	11.9	13.9	26.7

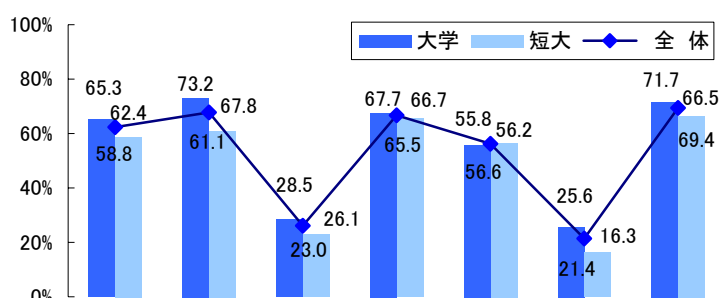
■ : 全体より10ポイント以上高い □ : 全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

6. 卒業後の社会生活全般での役立ち度

問18-1.あなたは在学中、以下(1)～(7)について、以下のことがらに取り組むことは、B. 卒業後の社会生活全般において役に立っていますか。

- ◆ 全体では、「アルバイト」「専門的な知識の習得」「交友関係を広げること」が役立ち度7割弱と特に高い。意欲的に取り組んだ人が多い項目ほど、全体としては役立ち度が高い傾向。
- ◆ 大学／短大別では、「専門的な知識の習得」「幅広い教養の習得」などの学習関連と「ボランティア活動」において大学の方が高い傾向。意欲的取り組み度とほぼ同じ傾向である。
- ◆ 各意欲的取り組み度別で見ると、どの項目も取り組んだ人と取り組まなかった人では大きな隔たりがあるが、特にかい離が大きいのは「学友会活動・サークル活動」と「ボランティア活動」。この2つは意欲的に取り組んだ人は少ないが、取り組めば役立ち感を感じられる度合いが非常に高い項目であると言える。
- ◆ 業種別では、下記の傾向が見られた。
 - ◇ 保健・衛生・医療福祉関係、スポーツ関係、公務員、教育関係では特に「専門的な知識の習得」の役立ち度が高い。
 - ◇ スポーツ関係は、上記の他「学友会・サークル活動」「交友関係を広げること」など、交友関係の役立ち度が高いことも特徴。
 - ◇ 公務員や教育関係は、「ボランティア活動」の役立ち度が他業種と比べて非常に高いことが特徴。
 - ◇ 商社・金融関係や食品・化学関係は、「就職活動」の役立ち度が特に高い。

「役に立った」+「どちらかといえば役に立った」



		N	%							
			幅広い教養の習得	専門的な知識の習得	学友会活動・サークル活動	交友関係を広げること	就職活動	ボランティア活動	アルバイト	
全体		3058	62.4	67.8	26.1	66.7	56.2	21.4	69.4	
区分	大学	1694	65.3	73.2	28.5	67.7	55.8	25.6	71.7	
	短大	1364	58.8	61.1	23.0	65.5	56.6	16.3	66.5	
卒業年別	大学：98～99年卒業	275	60.4	66.5	25.1	61.8	44.7	20.7	69.5	
	大学：00～04年卒業	720	64.0	73.8	26.4	67.9	53.5	23.8	71.7	
	大学：05～09年卒業	664	68.4	75.8	31.6	69.7	64.0	29.4	73.2	
	短大：96～99年卒業	396	50.5	52.8	19.4	64.4	55.8	18.2	66.9	
	短大：00～04年卒業	476	58.6	61.3	21.0	62.4	51.5	13.9	64.9	
	短大：05～09年卒業	468	67.3	68.8	28.4	70.1	63.5	17.5	68.6	
意欲的取り組み度別	幅広い教養の習得	取り組んだ	1961	83.3	76.5	28.9	71.1	63.0	26.5	73.1
		取り組まなかった	326	18.7	50.9	19.6	60.1	44.5	11.3	68.1
	専門的な知識の習得	取り組んだ	2477	69.4	78.6	27.3	70.2	60.6	23.7	71.7
		取り組まなかった	153	30.1	16.3	22.9	57.5	39.2	11.8	61.4
	学友会活動・サークル活動	取り組んだ	838	69.2	73.0	80.3	79.0	59.2	32.3	69.2
		取り組まなかった	1670	60.1	67.4	3.2	61.7	54.9	16.0	71.6
	交友関係を広げること	取り組んだ	1935	69.6	74.3	33.0	88.9	65.1	25.8	75.1
		取り組まなかった	391	51.7	61.9	11.5	17.6	39.6	13.3	62.9
	就職活動	取り組んだ	1889	70.0	73.8	26.9	74.2	80.9	25.7	76.1
		取り組まなかった	537	53.6	60.1	27.4	55.9	11.4	15.5	65.0
	ボランティア活動	取り組んだ	602	75.1	77.6	40.0	77.1	67.8	82.1	77.9
		取り組まなかった	1870	59.4	66.3	21.2	64.2	52.9	3.9	69.4
アルバイト	取り組んだ	2239	65.1	69.5	25.0	70.4	62.0	23.9	85.8	
	取り組まなかった	429	59.9	69.0	32.6	61.8	43.1	14.5	16.6	

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

6. 卒業後の社会生活全般での役立ち度

	全体	幅広い教養の習得	専門的な知識の習得	学友会活動・サークル活動	交友関係を広げること	就職活動	ボランティア活動	アルバイト	
		N	%						
全体	3058	62.4	67.8	26.1	66.7	56.2	21.4	69.4	
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	60.4	52.2	30.8	65.4	48.4	13.2	72.5
	英語文化学科／英米文学科	203	71.4	71.9	15.3	68.0	56.2	15.3	72.4
	教育学科／教育学科:初等教育専攻	271	73.1	79.0	28.8	76.8	69.7	60.9	75.6
	健・スポ科学科/教育学科:体育/健・スポ専攻	145	58.6	71.0	75.2	67.6	45.5	25.5	55.2
	心理・社会福祉学科/人間関係学科/人間科学科	157	59.2	57.3	21.0	63.7	51.0	40.8	71.3
	生活環境学科	152	70.4	70.4	26.3	68.4	58.6	12.5	75.7
	食物栄養学科	204	68.6	79.9	27.5	69.6	55.4	17.2	77.9
	情報メディア学科／生活情報学科	120	72.5	76.7	25.0	64.2	66.7	19.2	78.3
	声楽学科	14	64.3	85.7	28.6	64.3	50.0	28.6	78.6
	器楽学科	33	66.7	75.8	6.1	69.7	33.3	24.2	69.7
	薬学科	138	47.1	87.7	18.8	57.2	44.9	10.1	60.1
生物薬学科	72	59.7	95.8	25.0	65.3	61.1	12.5	70.8	
在籍学科・短大	日本語文化学科／国文学科	178	60.7	45.5	16.9	55.6	55.6	11.2	70.2
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	49.4	56.1	11.6	66.5	61.6	7.3	67.7
	幼児教育学科	222	76.1	83.8	25.7	74.3	72.5	32.0	65.8
	人間関係学科	168	62.5	51.2	25.0	67.3	57.7	32.7	76.2
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	55.1	72.0	61.9	77.1	44.1	16.9	60.2
	食生活学科	305	53.4	61.3	21.0	63.3	56.7	7.9	62.3
生活造形学科	205	53.7	56.6	13.7	58.0	42.9	9.3	65.4	
業種別	保健・衛生・医療福祉関係	350	56.3	78.6	23.1	62.9	48.3	17.4	68.6
	スポーツ関係	56	66.1	78.6	67.9	78.6	57.1	12.5	71.4
	公務員(国・地方自治体)	165	72.1	79.4	29.7	75.8	63.0	38.2	72.1
	教育関係	432	74.1	80.1	35.6	73.8	62.7	43.5	67.8
	音楽関係	21	61.9	81.0	14.3	81.0	33.3	14.3	66.7
	マスコミ・出版関係	17	70.6	58.8	29.4	76.5	58.8	23.5	70.6
	販売・サービス関係	387	57.1	61.0	23.8	61.5	50.9	17.1	70.5
	商社・金融関係	270	63.7	57.0	21.9	68.5	67.4	17.0	70.7
	情報・通信関係	66	66.7	71.2	28.8	63.6	53.0	15.2	75.8
	食品・化学関係	143	64.3	73.4	21.0	69.9	67.1	11.9	74.1
	建設・機械関係	127	56.7	59.8	19.7	61.4	52.8	12.6	66.9
	農林・水産関係	8	62.5	62.5	25.0	50.0	50.0	0.0	25.0
	その他	291	60.5	61.5	26.1	64.9	50.9	17.2	66.3

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

7. 意欲的な取り組み度と卒業後の社会生活全般での役立ち度

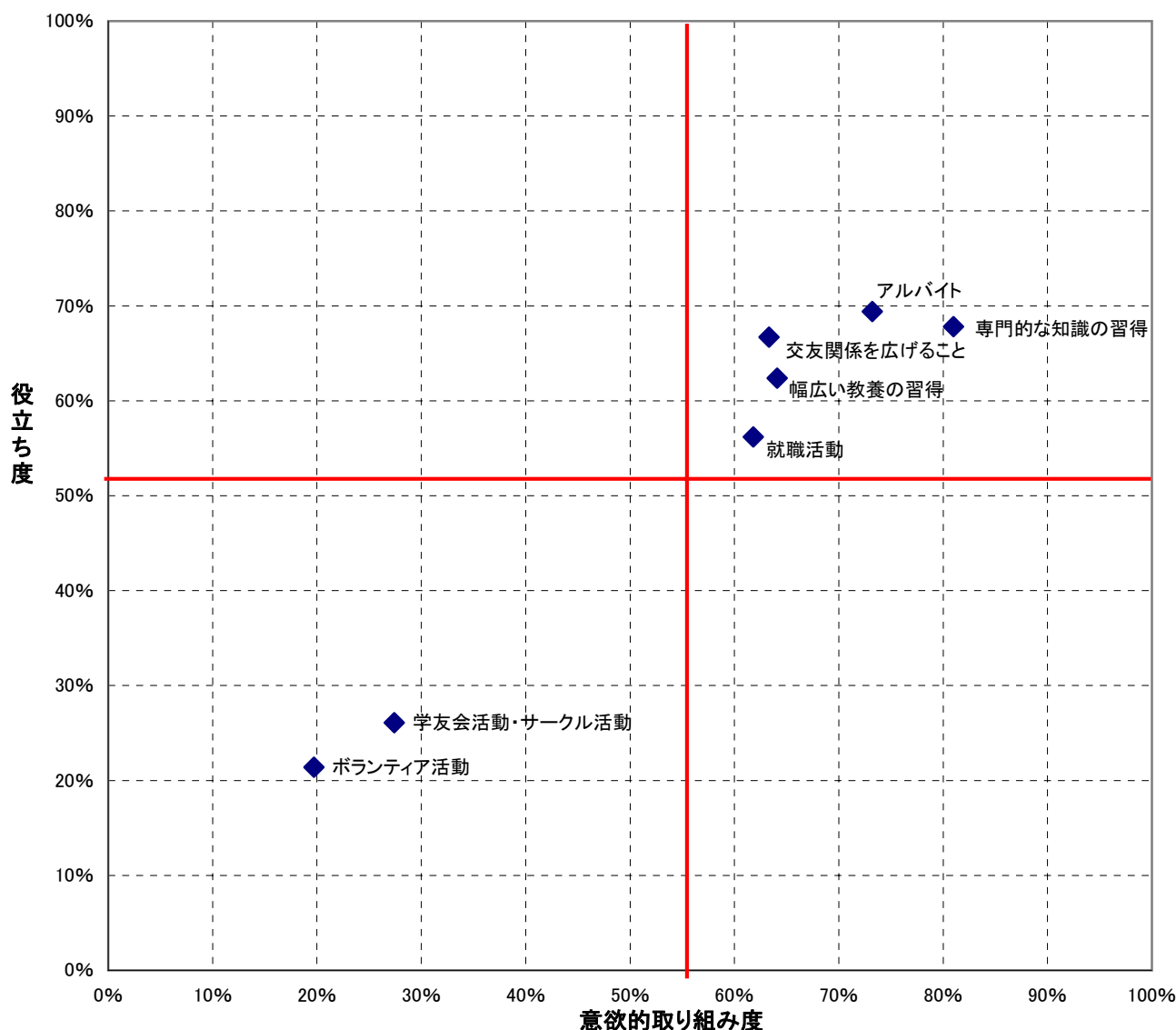
問18-1.あなたは在学中、以下(1)～(7)について、A. どの程度意欲的に取り組みましたか。

B. 卒業後の社会生活全般において役に立っていますか。

- ・ 下記グラフは、前項、第4項で考察をした意欲的な取り組み度と卒業後の社会生活全般での役立ち度を掛け合わせ、各項目がどの位置にあるかを表したものである。
- ・ 縦軸は役立ち度、横軸は意欲的な取り組み度を表している。
- ・ 実線のクロス線は、縦軸・横軸の各平均値を表している。
- ・ 実線のクロス線を境に、左上の象限にプロットされている項目は「役立ち度は高いが、意欲的な取り組み度は低い」、右上の象限にプロットされている項目は「役立ち度が高く、意欲的な取り組み度も高い」、左下の象限にプロットされている項目は「役立ち度が低く、意欲的な取り組み度も低い」、右下の象限にプロットされている項目は「役立ち度は低いが、意欲的な取り組み度は高い」項目である。以下、役立ち度と意欲的な取り組み度の高い低いは平均との比較である。

- ◆ 左上の「役立ち度は高いが、意欲的な取り組み度は低い」象限には、特にあてはまる項目は見られない。また、右下の「役立ち度は低いが、意欲的な取り組み度は高い」象限にも、特にあてはまる項目は見られない。意欲的な取り組み度と役立ち度はほぼ比例していると言ってよい状況である。
- ◆ 前項の取り組み度別の役立ち度を見てもわかる通り、意欲的に取り組んだ人は役立ちを感じている人が多い。今後、取り組む人を増やしていくことで、役立ち度もさらに上がる可能性が考えられる。

取り組み度(「取り組んだ」+「どちらかといえば取り組んだ」) vs. 役立ち度(「役に立った」+「どちらかといえば役に立った」)

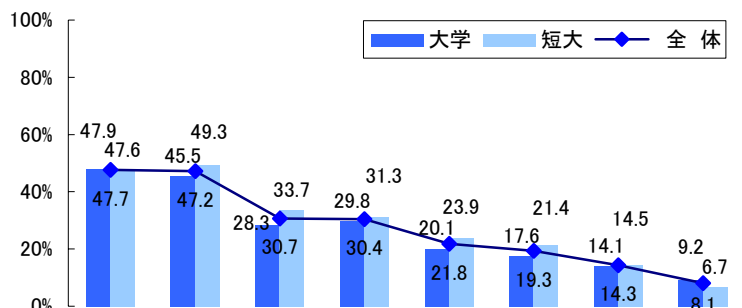


— : 縦軸、横軸の各平均値

8. 在学中にもっとやればよかったと思うこと

問18-2.以下の1.～8.の中で、あなたが「在学中にもっとやればよかった」と思うことはありますか。

- ◆ 全体では、「幅広い教養の習得」と「専門的な知識の習得」の2つがほぼ同率の5割弱で、他を15ポイント以上引き離しトップ。卒業してから「もっとやればよかった」と後悔することは、学習関連のことが主である様子。
- ◆ 大学／短大別では、「専門的な知識の習得」「学友会活動・サークル活動」「就職活動」「ボランティア活動」において、大学よりも短大の方が「もっとやればよかった」と思っている割合が高めの傾向。
- ◆ 卒業年別では、「専門的な知識の習得」は大学・短大とも99年以前の卒業生の「やればよかった」の割合が特に高い傾向。一方、「アルバイト」は05年以降の卒業生の方が「やればよかった」の割合が高い。「学友会活動・サークル活動」は、大学においてのみ卒業後の年数が短いほど「やればよかった」の割合が高まる傾向。「交友関係を広げる」とは、特に短大において卒業後の年数が短いほど「やればよかった」の割合が高まる傾向。
- ◆ 意欲的な取り組み度別では、全般的に取り組み度の低い人の方が「やればよかった」の割合が高いが、特に差が顕著なものは「就職活動」と「アルバイト」。
- ◆ 入学満足度別で顕著な差が見られたのは「就職活動」で、入学不満者は入学満足者に比べ20ポイント近く「やればよかった」の割合が高い。
- ◆ なお、「その他」の具体的内容としては、「留学・海外研修」(56件)「資格取得」(52件)「(英会話などの)語学習得」(40件)「旅行」(35件)などが挙げられていた。



	全体	%									
		幅広い教養の習得	専門的な知識の習得	学友会活動・サークル活動	交友関係を広げる	就職活動	ボランティア活動	アルバイト	その他		
全体	3058	47.7	47.2	30.7	30.4	21.8	19.3	14.3	8.1		
区分											
大学	1694	47.9	45.5	28.3	29.8	20.1	17.6	14.1	9.2		
短大	1364	47.6	49.3	33.7	31.3	23.9	21.4	14.5	6.7		
卒業年別											
大学:98～99年卒業	275	50.9	48.7	23.3	28.0	23.6	18.2	10.5	6.2		
大学:00～04年卒業	720	45.8	44.7	26.1	29.0	20.0	16.5	12.1	9.7		
大学:05～09年卒業	664	48.9	45.2	32.4	30.9	18.7	19.1	17.8	9.6		
短大:96～99年卒業	396	48.0	55.6	31.3	24.7	20.5	19.4	10.6	3.5		
短大:00～04年卒業	476	45.8	46.4	35.7	31.3	25.6	20.4	12.8	8.4		
短大:05～09年卒業	468	48.9	46.8	33.8	36.5	24.1	24.1	19.7	7.9		
意欲的な取り組み度別	幅広い教養の習得	取り組んだ	1961	47.6	45.2	31.1	29.7	20.6	21.3	14.9	9.3
		取り組まなかった	326	58.6	54.3	28.2	31.3	27.0	16.9	16.6	8.3
	専門的な知識の習得	取り組んだ	2477	47.9	45.0	30.6	30.9	20.9	20.1	14.8	8.8
		取り組まなかった	153	53.6	60.1	35.9	28.8	29.4	15.0	15.7	8.5
	学友会活動・サークル活動	取り組んだ	838	52.3	47.5	17.5	24.5	21.5	21.2	16.0	10.3
		取り組まなかった	1670	47.1	47.5	37.6	34.2	23.1	17.7	14.0	7.1
	交友関係を広げる	取り組んだ	1935	48.7	47.9	30.3	24.9	20.8	21.2	13.2	8.9
		取り組まなかった	391	46.5	47.3	35.0	46.0	25.1	17.9	19.7	8.2
	就職活動	取り組んだ	1889	48.2	45.7	31.9	30.0	14.9	20.7	14.3	8.8
		取り組まなかった	537	49.3	48.8	30.9	34.1	38.9	16.9	15.6	6.7
	ボランティア活動	取り組んだ	602	47.5	41.9	32.1	27.7	14.1	15.8	15.0	10.6
		取り組まなかった	1870	48.2	49.3	30.8	32.4	25.3	19.0	14.5	8.0
アルバイト	取り組んだ	2239	48.4	47.0	33.2	29.7	21.7	19.6	9.9	8.9	
	取り組まなかった	429	44.8	45.9	21.0	33.6	24.9	16.8	34.0	5.1	

■ : 全体より10ポイント以上高い

■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

8. 在学中にもっとやればよかったと思うこと

		全体	幅広い教養の習得	専門的な知識の習得	学友会活動・サークル活動	交友関係を広げること	就職活動	ボランティア活動	アルバイト	その他
		N	%							
全体		3058	47.7	47.2	30.7	30.4	21.8	19.3	14.3	8.1
在籍学科・大学	日本語日本文学科／国文学科	182	47.3	42.3	33.0	26.4	31.9	21.4	15.4	9.3
	英語文化学科／英米文学科	203	50.2	62.1	28.1	23.2	22.2	18.7	11.3	4.9
	教育学科／教育学科：初等教育専攻	271	46.1	39.1	30.3	26.6	10.0	18.1	17.0	5.9
	健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻	145	51.7	44.1	14.5	22.1	20.0	24.1	11.7	8.3
	心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科	157	51.6	48.4	28.7	36.9	23.6	9.6	9.6	14.0
	生活環境学科	152	38.8	48.7	27.0	33.6	19.1	19.7	9.2	16.4
	食物栄養学科	204	51.0	43.6	32.4	35.8	23.0	16.2	15.7	9.3
	情報メディア学科／生活情報学科	120	44.2	57.5	30.8	28.3	23.3	15.0	12.5	15.8
	声楽学科	14	71.4	50.0	21.4	21.4	7.1	14.3	7.1	0.0
	器楽学科	33	45.5	45.5	15.2	33.3	27.3	15.2	12.1	6.1
薬学科	138	42.0	37.7	26.8	33.3	16.7	15.2	21.7	7.2	
生物薬学科	72	56.9	22.2	33.3	40.3	11.1	18.1	18.1	5.6	
在籍学科・短大	日本語文化学科／国文学科	178	53.9	50.6	39.9	40.4	28.7	19.1	10.1	6.7
	英語コミュニケーション学科／英語学科	164	46.3	57.3	35.4	15.9	26.2	25.6	12.2	4.3
	幼児教育学科	222	43.2	40.5	36.0	33.3	15.3	24.8	19.8	8.6
	人間関係学科	168	43.5	53.0	35.7	32.7	26.8	24.4	18.5	7.7
	健康・スポーツ学科／体育学科	118	48.3	53.4	18.6	23.7	23.7	22.0	16.9	5.9
	食生活学科	305	51.8	43.9	32.1	33.1	23.3	19.3	16.7	5.6
	生活造形学科	205	43.9	53.7	34.6	34.1	25.9	16.6	6.8	7.8
業種別	保健・衛生・医療福祉関係	350	48.6	47.4	29.7	35.4	19.1	15.1	15.4	7.7
	スポーツ関係	56	50.0	62.5	17.9	26.8	19.6	12.5	16.1	5.4
	公務員(国・地方自治体)	165	49.7	46.7	25.5	26.1	14.5	14.5	15.8	9.7
	教育関係	432	46.1	47.0	29.9	28.0	12.0	26.9	15.3	9.5
	音楽関係	21	42.9	42.9	23.8	19.0	4.8	4.8	14.3	14.3
	マスコミ・出版関係	17	47.1	58.8	29.4	29.4	23.5	5.9	0.0	11.8
	販売・サービス関係	387	48.1	49.4	30.5	33.9	31.5	19.1	14.0	6.2
	商社・金融関係	270	49.3	43.7	35.2	33.3	21.9	18.9	16.3	6.7
	情報・通信関係	66	59.1	56.1	31.8	28.8	30.3	15.2	12.1	6.1
	食品・化学関係	143	50.3	41.3	38.5	31.5	21.0	24.5	19.6	14.7
	建設・機械関係	127	38.6	40.9	35.4	40.9	26.8	26.0	18.9	7.1
	農林・水産関係	8	50.0	37.5	0.0	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5
	その他	291	46.4	49.1	29.2	31.6	25.8	18.9	10.0	10.0
入学満足度別	入学してよかった	2747	48.7	47.1	30.9	30.1	21.2	20.2	14.4	7.9
	どちらともいえない	228	42.1	49.1	30.7	36.0	23.7	11.8	16.7	8.8
	入学しなければよかった	62	32.3	48.4	27.4	29.0	40.3	4.8	6.5	14.5

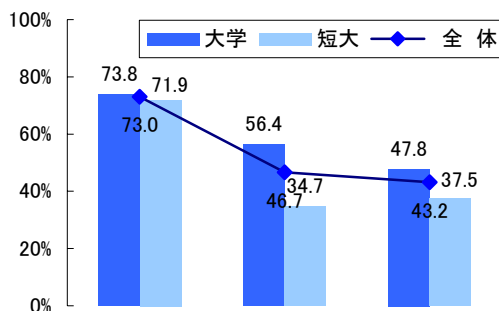
■ : 全体より10ポイント以上高い □ : 全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

**VII. 卒業後の本学からの
情報提供・支援体制について**

1. 広報物や卒業生向けの活動について～閲覧経験

問19-1.以下の1.～3.の広報物について、卒業後、見たことがある・読んだことがあるものすべてに○をつけてください。

- ◆ 全体では、「鳴松会報」の閲覧率は7割強、「リビエール」は5割弱、「武庫川学院ホームページ」は4割強。
- ◆ 大学／短大別では、「リビエール」において大きな差が見られ、大学の方が短大よりも20ポイント以上閲覧率が高い。「武庫川学院ホームページ」も大学の方が閲覧率が10ポイント高い。「鳴松会報」は特に大きな差は見られない。
- ◆ 卒業年別では、「武庫川学院ホームページ」や「リビエール」は卒業後の年数が短い方が閲覧率が高いが、「鳴松会報」は卒業後の年数が長い方が閲覧率が高い傾向が見られる。(大学・短大とも)



		N	%		
			鳴松会報	リビエール	武庫川学院ホームページ
全体		3058	73.0	46.7	43.2
区分	大学	1694	73.8	56.4	47.8
	短大	1364	71.9	34.7	37.5
卒業年別	大学:98～99年卒業	275	83.3	43.3	38.2
	大学:00～04年卒業	720	82.9	59.2	44.3
	大学:05～09年卒業	664	60.5	60.2	55.7
	短大:96～99年卒業	396	84.3	32.1	24.7
	短大:00～04年卒業	476	74.6	31.3	33.2
	短大:05～09年卒業	468	59.8	40.6	53.2

■ : 全体より10ポイント以上高い

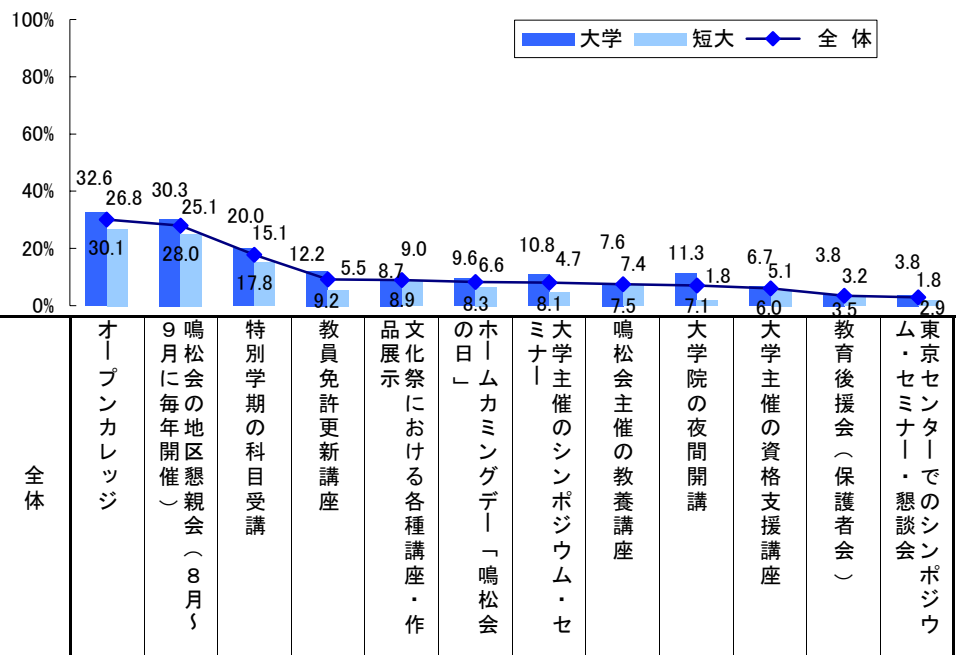
□ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

2. 広報物や卒業生向けの活動について～認知

問19-2.以下の1.～12.の大学の卒業生向け活動について、あなたが知っているものすべてに○をつけてください。

- ◆ 全般的に認知は低く、最も知られている「オープンカレッジ」や「鳴松会の地区懇親会」でも認知度は約3割程度。その他で比較的認知度が高いのは「特別学期の科目受講」で約2割。それ以外は認知度は1割未満である。
- ◆ 大学／短大別では、ほとんどの活動において大学の方が短大よりも認知度が高い。特に「大学院の夜間開講」は約10ポイントと大きな差が見られる。
- ◆ 卒業年別では、「オープンカレッジ」「鳴松会の地区懇親会」「ホームカミングデー『鳴松会の日』」は、卒業後の年数が長い方が認知度が高く、「特別学期の科目受講」「大学主催の資格支援講座」「教育後援会（保護者会）」は、卒業後の年数が短い方が認知度が高い傾向。



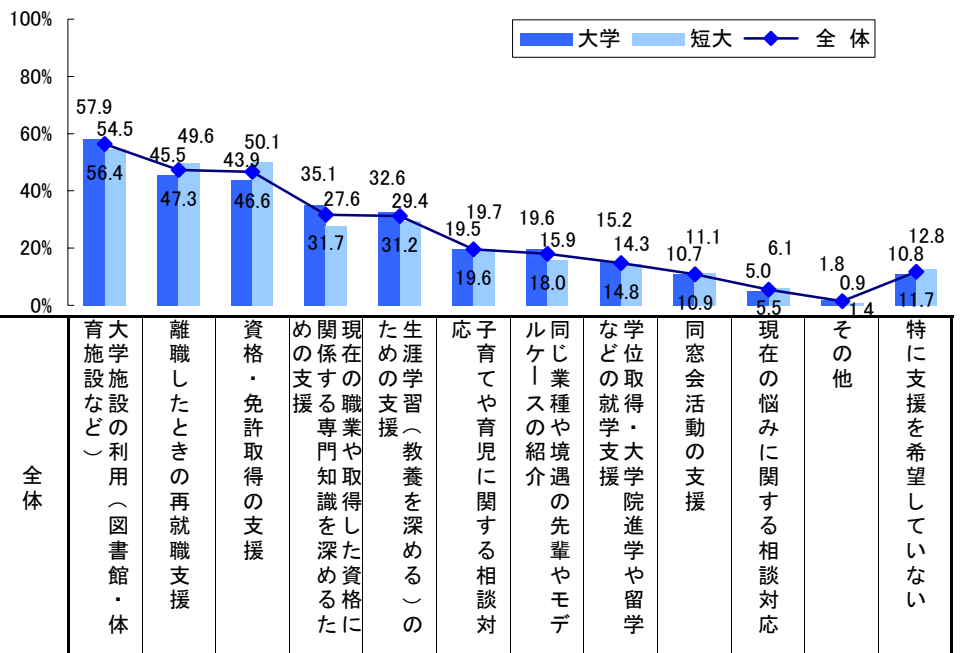
区分	N	%												
		オープンカレッジ	鳴松会の地区懇親会 (8月)	特別学期の科目受講	教員免許更新講座	文化祭における各種講座・作品展	「鳴松会の日」	ホームカミングデー「鳴松会の日」	大学主催のシンポジウム・セミナー	鳴松会主催の教養講座	大学院の夜間開講	大学主催の資格支援講座	教育後援会 (保護者会)	東京センターでのシンポジウム・懇談会
全体	3058	30.1	28.0	17.8	9.2	8.9	8.3	8.1	7.5	7.1	6.0	3.5	2.9	
大学	1694	32.6	30.3	20.0	12.2	8.7	9.6	10.8	7.6	11.3	6.7	3.8	3.8	
短大	1364	26.8	25.1	15.1	5.5	9.0	6.6	4.7	7.4	1.8	5.1	3.2	1.8	
卒業年別	大学:98～99年卒業	275	47.6	46.2	13.8	14.9	9.8	12.0	10.9	10.9	13.5	3.6	2.9	3.3
	大学:00～04年卒業	720	35.1	33.6	20.6	7.4	7.1	11.3	11.5	6.5	13.3	5.7	2.9	3.5
	大学:05～09年卒業	664	23.5	20.2	22.4	16.4	9.9	7.1	10.4	7.2	8.6	9.2	5.1	4.7
	短大:96～99年卒業	396	35.1	37.1	11.4	3.0	6.6	8.6	3.0	8.8	1.8	3.0	1.0	1.8
	短大:00～04年卒業	476	25.8	22.7	13.2	3.8	7.1	6.7	4.2	6.1	1.3	4.6	2.5	1.5
	短大:05～09年卒業	468	21.4	18.2	20.3	9.4	13.0	5.1	6.4	7.1	2.4	7.3	5.6	2.1
現在の居住地別	関東以北	141	35.5	30.5	13.5	7.1	11.3	9.9	7.8	5.0	5.0	6.4	2.8	13.5
	北陸・東海・甲信越	81	38.3	42.0	16.0	6.2	7.4	8.6	8.6	9.9	12.3	3.7	4.9	3.7
	近畿	2628	29.7	26.7	18.3	9.7	8.8	8.3	8.3	7.7	7.1	6.0	3.4	2.3
	中国・四国	156	25.0	42.9	16.0	7.1	8.3	5.1	5.8	6.4	5.8	5.8	5.8	2.6
	九州・沖縄	29	34.5	37.9	13.8	3.4	17.2	10.3	3.4	3.4	13.8	10.3	6.9	6.9
	海外	15	40.0	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0

■ : 全体より10ポイント以上高い □ : 全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

3. 本学から支援してほしいと思うもの

問20-1.あなたは以下の1.～12.の項目のうち、本学から支援してほしいと思うものはありますか。

- ◆ 全体では、「大学施設の使用(図書館・体育施設など)」の支援を希望する人が最も高く6割弱。次いで「退職したときの再就職支援」と「資格・免許取得の支援」が5割弱で続く。
- ◆ 大学／短大別では、「退職したときの再就職支援」と「資格・免許取得の支援」は短大の方がより支援を希望する人が多く、「現在の職業や取得した資格に関する専門知識を深めるための支援」は大学の方がより支援を希望する人が多い傾向が見られる。その他の支援に関しては、特別大きな差は見られない。
- ◆ 卒業年別では、卒業後の年数が短い方がより支援を希望する人が多い項目が目立つ。「退職したときの再就職支援」「資格・免許取得の支援」「子育てや育児に関する相談対応」「学位取得・大学院進学や留学などの就学支援」「現在の悩みに関する相談対応」などが上記にあてはまる。



		N	%											
全体		3058	56.4	47.3	46.6	31.7	31.2	19.6	18.0	14.8	10.9	5.5	1.4	11.7
区分	大学	1694	57.9	45.5	43.9	35.1	32.6	19.5	19.6	15.2	10.7	5.0	1.8	10.8
	短大	1364	54.5	49.6	50.1	27.6	29.4	19.7	15.9	14.3	11.1	6.1	0.9	12.8
卒業年別	大学:98～99年卒業	275	53.8	35.3	41.1	34.5	33.8	16.0	18.2	12.7	8.7	2.9	1.5	13.8
	大学:00～04年卒業	720	58.1	42.5	42.9	35.8	36.3	19.4	18.6	14.2	10.7	4.0	1.7	11.8
	大学:05～09年卒業	664	59.8	53.8	45.8	34.9	27.9	21.1	21.4	17.5	11.7	6.5	2.1	8.4
	短大:96～99年卒業	396	54.3	37.9	45.7	24.2	37.4	17.9	11.1	12.6	10.6	3.3	0.5	14.9
	短大:00～04年卒業	476	50.8	48.7	51.1	29.0	28.8	19.5	14.5	13.4	9.0	5.9	1.5	14.1
	短大:05～09年卒業	468	59.4	61.3	53.0	28.6	22.6	21.4	21.2	16.9	14.1	9.0	0.6	8.8
現在の居住地別	関東以北	141	55.3	36.2	35.5	26.2	39.7	20.6	22.0	14.2	19.1	5.0	3.5	14.2
	北陸・東海・甲信越	81	50.6	33.3	38.3	33.3	28.4	22.2	23.5	16.0	16.0	7.4	2.5	18.5
	近畿	2628	57.5	49.2	47.6	32.0	31.4	19.4	17.2	14.6	10.4	5.4	1.2	11.1
	中国・四国	156	43.6	35.9	42.9	30.8	22.4	19.9	17.9	16.7	10.9	6.4	1.3	17.9
	九州・沖縄	29	48.3	27.6	58.6	31.0	17.2	31.0	34.5	20.7	0.0	6.9	0.0	6.9
	海外	15	46.7	46.7	53.3	33.3	26.7	26.7	40.0	26.7	13.3	6.7	6.7	6.7

■ : 全体より10ポイント以上高い

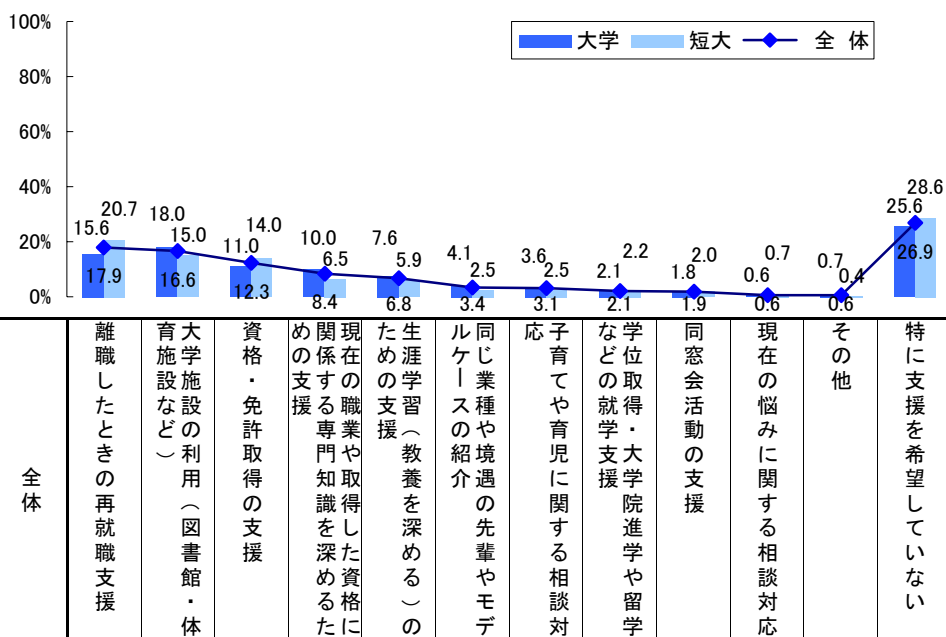
■ : 全体より10ポイント以上低い

※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

4. 本学からの支援で最も希望するもの

問20-2.問20-1で○をつけた項目中、あなたが「最も希望する」ものの番号をお書きください。

- ◆ 全体では、「特に支援を希望していない」という人が3割近くを占める。支援を希望するものとしては、「離職したときの再就職支援」や「大学施設の利用(図書館・体育施設など)」が2割弱と希望が多く、次いで「資格・免許取得の支援」が約1割。
- ◆ 大学／短大別では、「大学施設の利用(図書館・体育施設など)」や「現在の職業や取得した資格に関する専門知識を深めるための支援」は比較的大学の方が高く、「離職したときの再就職支援」や「資格・免許取得の支援」は短大の方が高い傾向。
- ◆ 卒業年別では特に大きな差は見られないが、大学・短大とも「生涯学習(教養を深める)のための支援」は卒業後の年数が長い方が最も支援を希望する割合が高い傾向。
一方、短大においては「離職したときの再就職支援」は卒業後の年数が短い方がより希望が高い傾向が見られる。



	N	%												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全体	3058	17.9	16.6	12.3	8.4	6.8	3.4	3.1	2.1	1.9	0.6	0.6	26.9	
区分	大学	1694	15.6	18.0	11.0	10.0	7.6	4.1	3.6	2.1	1.8	0.6	0.7	25.6
	短大	1364	20.7	15.0	14.0	6.5	5.9	2.5	2.5	2.2	2.0	0.7	0.4	28.6
卒業年別	大学:98~99年卒業	275	14.2	19.3	10.5	10.5	9.5	4.0	2.2	1.1	1.5	0.4	0.4	26.5
	大学:00~04年卒業	720	13.8	15.8	11.0	10.3	8.9	4.0	4.6	2.5	2.1	0.6	0.4	27.1
	大学:05~09年卒業	664	18.5	20.0	11.3	9.6	5.0	4.2	2.9	2.1	1.7	0.6	1.2	23.3
	短大:96~99年卒業	396	14.9	16.2	14.6	6.8	9.3	2.3	2.5	4.3	1.5	0.8	0.3	27.8
	短大:00~04年卒業	476	20.6	13.4	14.5	6.5	5.7	1.9	2.5	1.3	2.1	0.8	1.1	30.7
	短大:05~09年卒業	468	26.5	15.6	13.5	5.8	3.4	3.2	2.4	1.5	2.4	0.4	0.0	25.6
短大年齢別	関東以北	141	13.5	17.0	10.6	2.8	11.3	5.0	3.5	2.1	5.0	0.0	1.4	27.7
	北陸・東海・甲信越	81	9.9	9.9	12.3	6.2	4.9	7.4	8.6	1.2	3.7	1.2	0.0	34.6
	近畿	2628	18.8	17.4	12.3	8.9	6.6	3.1	2.9	2.1	1.6	0.6	0.5	26.1
	中国・四国	156	12.8	8.3	12.8	7.1	7.1	1.9	3.2	3.2	3.2	1.3	1.3	37.8
	九州・沖縄	29	6.9	10.3	17.2	13.8	6.9	10.3	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	27.6
	海外	15	13.3	6.7	20.0	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	26.7

■ : 全体より10ポイント以上高い ■ : 全体より10ポイント以上低い ※サンプル数が30件未満の項目は網掛けを除外

5. 本学から最も希望する支援内容（自由記述の傾向）

問20.2.問20-1で○をつけた項目中、あなたが「最も希望する」ものの番号をお書きください。
また、それを利用するためにどのような配慮があればよいと思いますか。具体的にお書きください。

- ◆ 「離職したときの再就職支援」に関しては、「就職・再就職のあっせん」や「就職・再就職の相談窓口」の希望が多い。
また、「ホームページ／ネット上での情報掲載」など、情報告知に関する要望も多く見られた。
- ◆ 「学位取得・大学院進学や留学などの就学支援」に関しても、学習支援の他に情報告知に関する要望が多めであることが特徴。
- ◆ 「子育てや育児に関する相談対応」に関しては、「育児相談」自体に対する要望が多いが、その他には「経験者の意見・経験談を聞きたい」「同じ仲間同士での交流・サークル活動」など、人とのつながりを求める声も多く見られた。
- ◆ 「現在の悩みに関する相談対応」に関しては、「電話・メールでの相談窓口」「電話・メール以外での相談窓口」など、相談の受け皿に関する要望が見られた。
- ◆ 「大学施設の利用（図書館・体育施設など）」に関しては、「大学の図書館の利用」を希望する意見が圧倒的に多い。
また、利用施設自体のこと以外では、「ホームページ／ネット上での情報掲載」など、情報告知に関する意見も多く見られた。
- ◆ 「生涯学習（教養を深める）のための支援」に関しては、「講座・講習会開催」や「就学・学習支援」など、学習支援自体に対する要望が多く見られるが、その他には、「ホームページ／ネット上での情報掲載」など情報告知に関する意見や、「価格面での支援・優遇」などの要望も多く見られた。
- ◆ 「現在の職業や取得した資格に係る専門知識を深めるための支援」に関しては、「講座・講習会開催」や「資格・技術取得支援／資格・技術取得者へのフォロー」など、学習支援に対する要望が多くを占める。講座に関しては、「通信教育」への要望が多く見られた。
その他にも「同じ仲間同士での交流・サークル活動」や、情報告知に関する要望も多く見られた。
- ◆ 「資格・免許取得の支援」に関しても、「講座・講習会開催」や「資格・技術取得支援／資格・技術取得者へのフォロー」など、学習支援に対する要望が多くを占めた。講座に関しては、「通信教育」への要望が多く見られた。
その他には「価格面での支援・優遇」や情報告知に関する要望も多く見られた。
- ◆ 「同窓会活動の支援」に関しては、「同窓会の開催／開催するための支援」など活動自体に対する要望が多いが、その他には情報告知に関する要望も見られた。
- ◆ 「同じ業種や境遇の先輩やモデルケースの紹介」に関しては、「経験者の意見・経験談を聞きたい」という要望が多い。
また、「ホームページ／ネットでの情報掲載」など情報告知に関する要望や、「同じ仲間同士での交流・サークル活動」を希望する声も多い。

5. 本学から最も希望する支援内容(カテゴリー別分類結果)

問20.2.問20-1で○をつけた項目中、あなたが「最も希望する」ものの番号をお書きください。
また、それを利用するためにどのような配慮があればよいと思いますか。具体的にお書きください。

記入内容 (掲載数値は件数)	最も希望する支援別									
	支離職したときの再就職	や学位取得などの大学院進学支援	相談子育てや育児に関する	現在の悩みに関する相談	大学施設の利用(図書館・体育施設など)	生涯学習(教養を深める)のための支援	資格に関する関係する専門知識を深めるための支援	現在の職業や取得した資格・免許取得の支援	同窓会活動の支援	同じ業種や境遇の先輩やモデルケースの紹介
大学の図書館の利用	-	1	-	-	274	-	1	2	-	-
講座・講習会開催	1	1	5	1	2	63	89	103	-	2
資格・技術取得支援／資格・技術取得者へのフォロー	8	1	-	1	1	3	60	149	-	-
就職・再就職の相談窓口(あっせん以外)	156	2	1	-	-	-	4	3	-	-
就学・学習支援	2	43	-	1	-	51	21	17	-	-
就職・再就職のあっせん	127	-	2	1	-	-	2	1	-	-
ホームページ／ネット上での情報掲載	81	1	2	-	9	7	3	6	-	15
図書館以外の大学施設の利用	-	-	-	-	96	-	1	2	-	-
経験者の意見・経験談を聞きたい	1	1	8	-	-	-	4	2	-	49
価格面での支援・優遇	1	4	-	-	3	9	7	25	1	-
同じ仲間同士での交流・サークル活動	-	-	9	-	2	-	12	2	1	16
同窓会の開催／開催するための支援	-	-	-	-	-	-	-	-	35	-
育児相談	1	-	30	2	-	-	-	-	-	-
電話・メールでの相談窓口	8	-	7	5	-	-	-	1	-	-
相談窓口(電話・メール以外)	1	2	1	7	-	1	-	1	-	-
大学施設の利用に関するその他	11	-	-	-	64	-	-	1	-	-
情報告知に関するその他	25	7	5	-	15	35	22	30	9	6
育児に関するその他	2	-	11	1	2	9	3	4	-	-
その他	30	5	6	3	7	5	5	2	2	1
支援内容以外	4	1	1	-	-	-	1	10	-	-

6. 取得を希望する資格・免許(自由記述の傾向)

問21.あなたは現在、資格や免許の取得を考えていますか。よろしければ取得をお考えの資格・免許名をお書きください。

◆ 取得を希望する資格・免許として特に多く挙げられたものは、下記の資格・免許。

- ・簿記
- ・TOEIC
- ・保育士
- ・ファイナンシャルプランナー
- ・栄養士・管理栄養士
- ・教員・教諭免許
- ・医療事務

「簿記」は、大学・短大とも特に00年～04年卒業者に多い。学科は万遍なく見られる。

「TOEIC」は、特に大学の英語文化学科・英米文学科で人気が高い。また、大学の05年以降の卒業者で人気が高いことも特徴。

「保育士」は、特に大学の教育学科／教育学科：初等教育専攻、短大の幼児教育学科で人気が高い。

「ファイナンシャルプランナー」は、大学・短大とも05年以降の卒業者で人気が高い傾向。

「栄養士・管理栄養士」は、特に短大の食生活学科で人気が高い。大学の食物栄養学科では短大ほどの人気は見られない。

「教員・教諭免許」は、特に大学の健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻で人気が高い。

上記ほどではないが、大学の教育学科／教育学科：初等教育専攻や短大の健康・スポーツ学科／体育学科や幼児教育学科でも人気が高め。

「医療事務」は、大学・短大や学科の区別なく、満遍なく色々な学科で人気が高い模様。

◆ 上記ほど多くはないが、下記の資格・免許も人気が高め。

- ・インテリアコーディネーター
- ・社会保険労務士
- ・宅地建物取引主任者
- ・英検
- ・建築士
- ・秘書検定
- ・ケアマネージャー

6. 取得を希望する資格・免許(カテゴリー別分類結果)

問21.あなたは現在、資格や免許の取得を考えていますか。
よろしければ取得をお考えの資格・免許名をお書きください。

記入内容	全体	大学	短大	大学卒業年			短大卒業年		
				98 99 年 卒 業	00 04 年 卒 業	05 09 年 卒 業	96 99 年 卒 業	00 04 年 卒 業	05 09 年 卒 業
(掲載数値は件数)									
医療事務	64	27	37	3	11	13	9	12	16
ケアマネージャー	23	18	5	2	10	6	2	2	1
看護師	16	6	10	1	3	2	4	4	2
介護福祉士	13	5	8	-	2	2	2	1	5
臨床心理士	13	7	6	-	3	4	3	2	1
社会福祉士	13	5	8	1	1	3	2	2	4
ヘルパー・ホームヘルパー	11	3	8	1	2	-	2	5	1
薬剤師	9	7	2	-	3	4	-	2	-
手話	7	3	4	-	2	1	2	1	1
健康運動指導士	6	1	5	-	-	1	3	1	1
理学療法士	5	2	3	-	-	2	1	1	1
介護福祉士	3	-	3	-	-	-	-	-	3
その他医療福祉・健康関連	89	52	37	14	14	22	10	10	17
簿記	121	64	57	10	32	22	18	27	12
ファイナンシャルプランナー(FP・AFP・CFP)	81	41	40	6	14	20	11	11	18
社会保険労務士	33	19	14	7	7	4	7	4	2
秘書検定	24	10	14	1	1	8	2	2	10
行政書士	12	7	5	1	2	3	3	2	-
その他ビジネス関連	51	29	22	1	9	19	8	9	5
MOS	15	6	9	-	2	4	2	5	2
マイクロソフトスペシャリスト	8	3	5	-	2	1	1	-	4
その他PC・情報処理関連	67	35	32	5	11	18	8	8	15
建築士(1級・2級)	26	15	11	-	5	10	-	5	5
宅地建物取引主任者(宅建)	27	16	11	1	7	8	6	3	2
その他建築・不動産関連	9	6	3	1	3	2	2	-	1
保育士	82	47	35	8	19	19	11	18	5
教員・教諭免許	69	42	27	10	12	19	5	10	12
その他教育関連(語学教師含まず)	59	43	16	11	13	19	5	4	7
TOEIC	88	55	33	4	22	28	6	14	13
英検	27	15	12	3	8	4	3	6	3
その他語学関連(語学教師含む)	37	22	15	2	11	9	5	5	5
栄養士・管理栄養士	75	26	49	5	13	7	5	12	32
調理師	15	7	8	-	5	2	-	2	6
その他食関連	45	26	19	5	11	10	3	9	7
インテリアコーディネーター	39	13	26	-	5	8	5	5	15
カラー色彩関連(色彩検定・カラーコーディネーターなど)	21	7	14	1	1	4	2	3	8
図書館司書	19	11	8	3	7	1	2	5	1
アロマ・ハーブ関連(アロマセラピストなど)	19	13	6	3	7	3	1	3	2
漢字検定	13	4	9	-	1	3	1	2	6
その他生活・文化教養・レジャー関連	58	30	28	2	11	16	8	8	12
スポーツ関連(健康・福祉系以外)	13	2	11	-	-	2	1	2	8
その他	47	27	20	6	15	6	8	7	4

6. 取得を希望する資格・免許(カテゴリー別分類結果)

問21.あなたは現在、資格や免許の取得を考えていますか。
よろしければ取得をお考えの資格・免許名をお書きください。

記入内容 (掲載数値は件数)	大学学科												
	日 文 学 科	日 本 語 日 本 文 学 科 ／ 国 語	英 語 文 学 科 ／ 英 米 文 学	初 等 教 育 専 攻 ／ 教 育 学 科 ／ 教 育 学 科	専 攻 学 科 ： 体 育 ／ 健 ・ ス ポ ー ツ	学 科 ： ス ポ ー ツ 学 科 ／ 健 ・ ス ポ ー ツ 学 科	人 間 関 係 学 科 ／ 人 間 科 ／ 心 理 ・ 社 会 福 祉 学 科	生 活 環 境 学 科	食 物 栄 養 学 科	情 報 メ デ ィ ア 学 科 ／ 生 活 情 報 学 科	声 楽 学 科	器 楽 学 科	薬 学 科
医療事務	6	2	3	2	4	2	4	2	-	-	2	-	
ケアマネージャー	1	-	-	2	4	-	7	1	-	-	2	1	
看護師	-	1	-	-	2	-	2	-	-	-	-	1	
介護福祉士	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	
臨床心理士	-	-	2	-	3	-	-	1	-	-	1	-	
社会福祉士	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパー・ホームヘルパー	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
薬剤師	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	
手話	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
健康運動指導士	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
理学療法士	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護福祉士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他医療福祉・健康関連	8	5	7	4	8	-	7	3	-	3	4	3	
簿記	15	8	5	1	9	8	6	11	-	-	-	1	
ファイナンシャルプランナー(FP・AFP・CFP)	7	6	2	3	8	5	3	3	-	-	3	1	
社会保険労務士	1	4	-	2	6	-	1	5	-	-	-	-	
秘書検定	1	2	2	-	2	1	-	2	-	-	-	-	
行政書士	2	-	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	
その他ビジネス関連	1	5	-	1	7	5	3	6	-	1	-	-	
MOS	-	1	-	-	1	1	1	1	-	-	1	-	
マイクロソフトスペシャリスト	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
その他PC・情報処理関連	5	5	2	3	4	1	2	12	-	-	-	1	
建築士(1級・2級)	1	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	
宅地建物取引主任者(宅建)	2	-	-	-	3	8	1	2	-	-	-	-	
その他建築・不動産関連	1	-	1	-	-	3	1	-	-	-	-	-	
保育士	2	2	18	6	6	3	2	5	2	-	1	-	
教員・教諭免許	4	3	10	17	1	1	3	-	-	3	-	-	
その他教育関連(語学教師含まず)	1	4	16	7	2	4	2	3	1	1	2	-	
TOEIC	4	24	5	-	6	3	2	4	-	1	4	2	
英検	2	8	-	-	-	1	2	1	-	-	1	-	
その他語学関連(語学教師含む)	9	5	1	1	2	1	-	-	-	-	3	-	
栄養士・管理栄養士	-	2	1	2	-	2	15	1	-	-	1	2	
調理師	1	-	1	1	-	-	3	-	-	-	-	1	
その他食関連	-	1	2	3	-	3	16	-	-	-	-	1	
インテリアコーディネーター	1	2	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	
カラー色彩関連(色彩検定・カラーコーディネーターなど)	2	-	1	1	-	1	1	1	-	-	-	-	
図書館司書	4	-	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
アロマ・ハーブ関連(アロマセラピストなど)	2	1	1	2	1	1	1	2	-	-	2	-	
漢字検定	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
その他生活・文化教養・レジャー関連	5	5	3	3	4	4	2	1	-	1	2	-	
スポーツ関連(健康・福祉系以外)	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
その他	2	2	1	3	3	5	5	1	-	2	3	-	

6. 取得を希望する資格・免許(カテゴリー別分類結果)

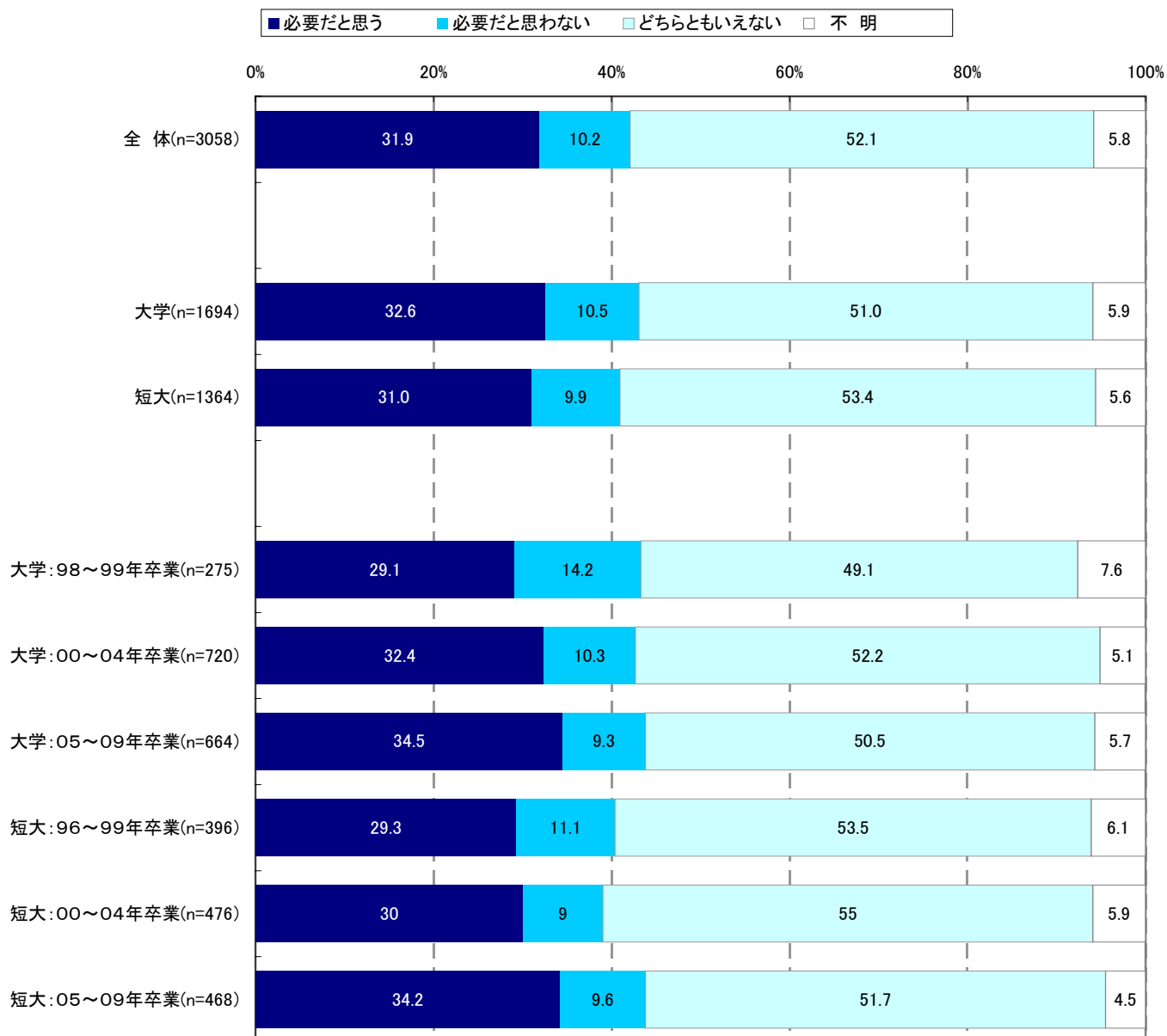
問21.あなたは現在、資格や免許の取得を考えていますか。
よろしければ取得をお考えの資格・免許名をお書きください。

記入内容	短大学科						
	学 科 日 本 語 文 化 学 科 ／ 国 文	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科 ／ 英 語 学 科	幼 児 教 育 学 科	人 間 関 係 学 科	健 康 ・ ス ポ ー ツ 学 科 ／ 体 育 学 科	食 生 活 学 科	生 活 造 形 学 科
(掲載数値は件数)							
医療事務	10	4	13	3	1	5	1
ケアマネージャー	-	2	-	2	-	1	-
看護師	1	-	2	3	-	2	2
介護福祉士	-	-	4	2	2	-	-
臨床心理士	1	-	-	5	-	-	-
社会福祉士	1	1	1	5	-	-	-
ヘルパー・ホームヘルパー	1	1	2	-	1	3	-
薬剤師	1	-	-	1	-	-	-
手話	-	-	2	2	-	-	-
健康運動指導士	-	-	-	-	4	1	-
理学療法士	-	-	-	-	1	1	1
介護福祉士	-	-	2	1	-	-	-
その他医療福祉・健康関連	6	2	7	7	6	8	1
簿記	13	8	4	9	-	15	8
ファイナンシャルプランナー(FP・AFP・CFP)	12	4	2	6	2	10	4
社会保険労務士	3	-	-	5	1	5	-
秘書検定	2	1	2	3	-	2	4
行政書士	1	1	1	1	-	-	1
その他ビジネス関連	3	6	1	3	1	7	1
MOS	1	-	1	2	-	5	-
マイクロソフトスペシャリスト	1	-	1	-	-	2	1
その他PC・情報処理関連	8	2	4	6	2	9	1
建築士(1級・2級)	-	-	-	-	-	1	10
宅地建物取引主任者(宅建)	1	2	1	3	-	3	1
その他建築・不動産関連	-	1	-	-	-	2	-
保育士	1	2	17	2	5	5	2
教員・教諭免許	2	2	7	3	8	2	2
その他教育関連(語学教師含まず)	1	1	8	-	1	4	1
TOEIC	3	16	2	1	1	3	7
英検	1	8	1	-	1	-	1
その他語学関連(語学教師含む)	7	2	-	-	-	2	4
栄養士・管理栄養士	-	2	1	3	-	42	1
調理師	-	1	1	-	-	6	-
その他食関連	1	3	1	-	1	9	4
インテリアコーディネーター	3	2	-	-	-	1	20
カラー色彩関連(色彩検定・カラーコーディネーターなど)	1	1	2	3	-	3	4
図書館司書	2	-	2	1	-	2	-
アロマ・ハーブ関連(アロマセラピストなど)	-	1	-	3	1	-	1
漢字検定	3	-	2	2	-	2	-
その他生活・文化教養・レジャー関連	3	2	6	4	1	3	9
スポーツ関連(健康・福祉系以外)	-	-	-	-	7	4	-
その他	1	6	1	3	2	2	5

7. 卒業生を優遇する制度についての評価

問22.あなたは、本学から卒業生を優遇する制度が必要だと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ◆ 全体では、「どちらともいえない」という意見が過半数を占めているものの、卒業生優遇制度は「必要だと思う」という意見が約3割、「必要だと思わない」という意見が1割で、必要という方が多い。
- ◆ 大学／短大別で見ても、特に大きな差は見られない。



8. 卒業生を優遇する制度についての具体例(自由記述の傾向)

問22.2.あなたは、本学から卒業生を優遇する制度として、どのようなものがあればいいと思われますか。具体的にお書きください。

- ◆ 卒業生を優遇する制度として、最も要望が多かったのは「学校施設の利用」。
大学・短大、学科を問わず多く見られた意見である。
具体的施設の内容は、図書館の利用の希望が目立つが、体育館やPC関連、業務用のマシンなどの意見も見られた。
- ◆ 次いで多かったのが「学習支援」。
特に大学卒業生で多く、卒業年では00～04年卒業生で要望が多かった。
具体的学習の内容は、社会人向けの生涯学習の希望が目立つが、大学の授業の聴講を希望する声も見られた。
- ◆ その次に多かったのが「就職支援」。
大学・短大、学科を問わず多く見られた。
- ◆ 「資格・技術取得支援／資格・技術取得者へのフォロー」も希望が多く、100名以上が挙げた。
大学・短大とも00～04年卒業生からの希望が多いことが特徴。
また、学科別では、大学の教育学科／教育学科：初等教育専攻や短大の食生活学科で希望が多い。
- ◆ 上記ほど多くはないが、下記のような意見も見られた。
 - ・「価格面での優遇(低価格の講座開講など)」
 - ・「家族が大学や系列学校に入学したい時の優遇」
 - ・「講演会・イベントの開催／参加」
 - ・「同窓生や先輩との交流」
 - ・「育児支援」

8. 卒業生を優遇する制度についての具体例(カテゴリー別分類結果)

問22.2.あなたは、本学から卒業生を優遇する制度として、どのようなものがあればいいと思われますか。
具体的にお書きください。

記入内容	全体	大学	短大	大学卒業年			短大卒業年		
				98 ～ 99 年 卒 業	00 ～ 04 年 卒 業	05 ～ 09 年 卒 業	96 ～ 99 年 卒 業	00 ～ 04 年 卒 業	05 ～ 09 年 卒 業
(掲載数値は件数)									
学校施設の利用	227	121	106	14	46	57	35	31	39
学習支援	187	112	75	21	50	39	28	25	21
就職支援	150	74	76	9	33	30	21	25	29
資格・技術取得支援／資格・技術取得者へのフォロー	123	74	49	19	31	23	16	19	14
価格面での優遇(低価格の講座開講など)	79	57	22	11	29	17	8	8	6
家族が大学や系列学校に入学したい時の優遇	43	26	17	7	10	9	4	9	4
講演会・イベントの開催／参加	33	19	14	1	9	9	2	2	9
同窓生や先輩との交流	18	13	5	-	5	8	-	2	3
育児支援	17	12	5	1	6	5	2	3	-
支援内容以外	15	6	9	-	3	3	3	2	3
その他	33	22	11	2	9	10	4	3	4

8. 卒業生を優遇する制度についての具体例(カテゴリー別分類結果)

問22.2.あなたは、本学から卒業生を優遇する制度として、どのようなものがあればいいと思われますか。
具体的にお書きください。

記入内容 (掲載数値は件数)	大学学科												
	日本文学 語文 学	英語 学	初等 教育 学	専攻 学	健康 学	人間 関 心	心理 学	生活 環 境	食 物 栄 養	情 報 メ デ ィ ア	声 楽	器 楽	薬 学
学校施設の利用	10	15	25	11	16	14	13	7	1	2	5	2	
学習支援	14	12	11	6	12	9	16	5	2	1	12	12	
就職支援	3	9	12	6	5	7	15	10	2	4	-	1	
資格・技術取得支援／資格・技術取得者への フォロー	7	6	21	9	7	7	6	4	-	1	2	4	
価格面での優遇(低価格の講座開講など)	5	6	5	1	7	6	6	3	-	1	12	5	
家族が大学や系列学校に入学したい時の優遇	2	1	4	2	2	3	5	2	-	-	4	1	
講演会・イベントの開催／参加	1	5	1	-	1	3	2	1	-	-	3	2	
同窓生や先輩との交流	1	2	-	2	1	3	3	-	-	-	-	1	
育児支援	1	2	2	1	2	1	1	2	-	-	-	-	
支援内容以外	2	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	
その他	4	2	2	-	4	2	4	1	-	-	2	1	

8. 卒業生を優遇する制度についての具体例(カテゴリー別分類結果)

問22.2.あなたは、本学から卒業生を優遇する制度として、どのようなものがあればいいと思われますか。
具体的にお書きください。

記入内容 (掲載数値は件数)	短大学科						
	学 科 日 本 語 文 化 学 科 ／ 国 文	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科 ／ 英 語 学 科	幼 児 教 育 学 科	人 間 関 係 学 科	健 康 ・ ス ポ ー ツ 学 科 ／ 体 育 学 科	食 生 活 学 科	生 活 造 形 学 科
学校施設の利用	18	12	13	13	7	21	21
学習支援	10	9	9	13	7	18	9
就職支援	12	12	16	5	6	18	7
資格・技術取得支援／資格・技術取得者へのフォロー	4	5	6	5	3	19	6
価格面での優遇(低価格の講座開講など)	4	-	3	4	1	8	2
家族が大学や系列学校に入学したい時の優遇	4	4	1	3	-	3	2
講演会・イベントの開催／参加	-	1	3	-	4	3	3
同窓生や先輩との交流	2	1	-	-	-	2	-
育児支援	1	1	-	1	1	1	-
支援内容以外	-	2	3	-	1	1	2
その他	1	3	1	2	2	1	1

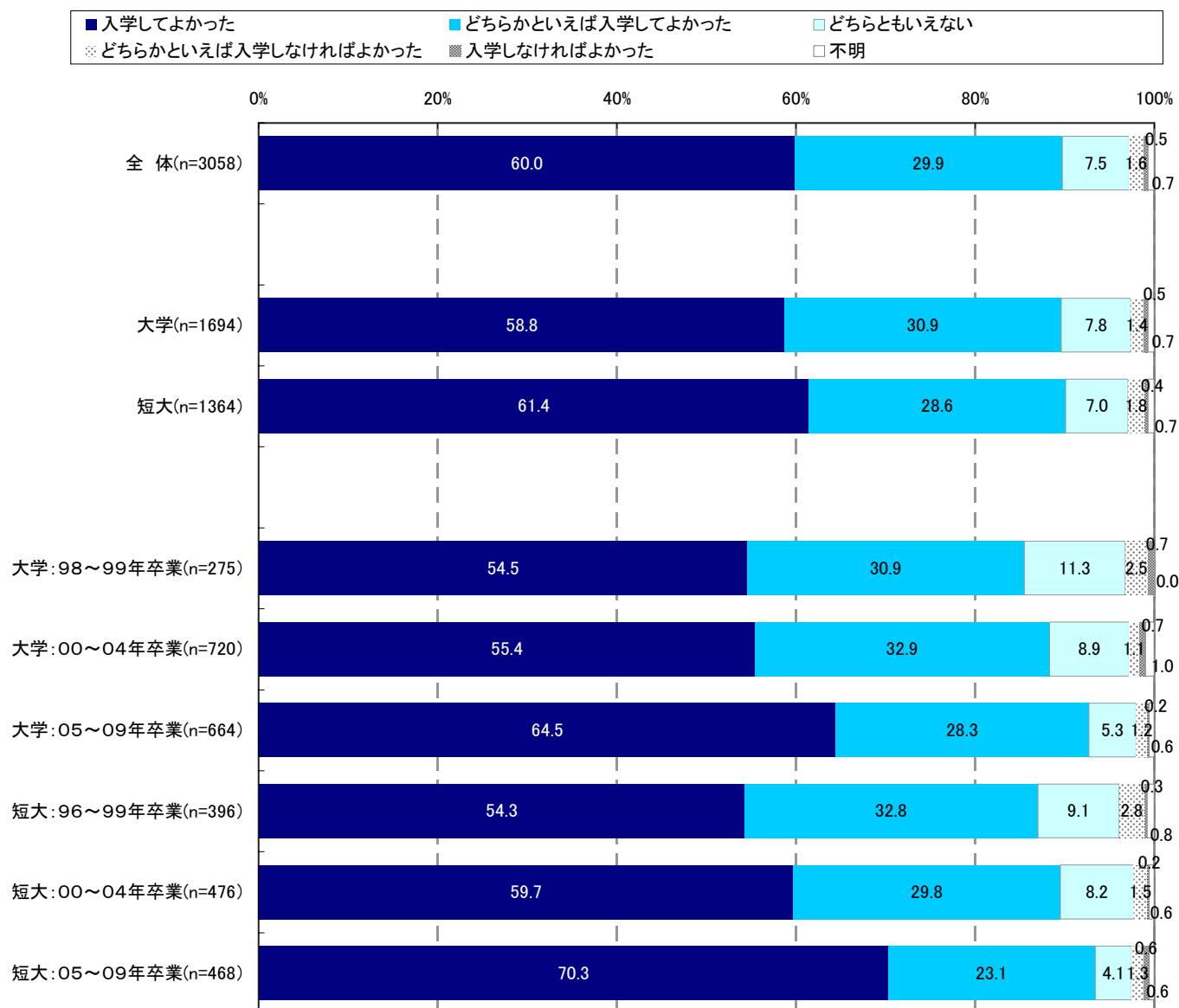
VIII. 本学の満足度について

1. 本学への入学満足度

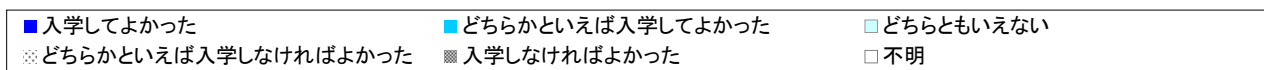
問23.あなたは、本学に入学してよかったと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ◆ 武庫川女子大学・短期大学部への入学満足度は、全体では6割が「入学してよかった」と回答。「どちらかといえば入学してよかった」も含めると入学満足度はほぼ9割に達する。ただし、わずか2%程度ながら「入学しなければよかった」と回答した人も見られる。
- ◆ 大学／短大別では、ほとんど差は見られない。
- ◆ 卒業年別では、大学・短大とも卒業後の年数が短い方がより満足度が高い。特に短大でその傾向が顕著。
- ◆ 学科別では、大学の教育学科／教育学科：初等教育専攻、健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻、器楽学科、短大の幼児教育学科、健康・スポーツ学科／体育学科において、特に満足度が高い。
- ◆ 業種別では、スポーツ関係と教育関係において特に満足度が高い。学科とリンクしているようである。
- ◆ 希望進路別では、大きな差が見られる。希望進路に進めた人は、進めなかった人に比べて入学満足度が30ポイント近く高い。

* 入学満足度に関しては、第3章において更に詳しく分析をしております。
第3章もあわせてお読みください。



1. 本学への入学満足度



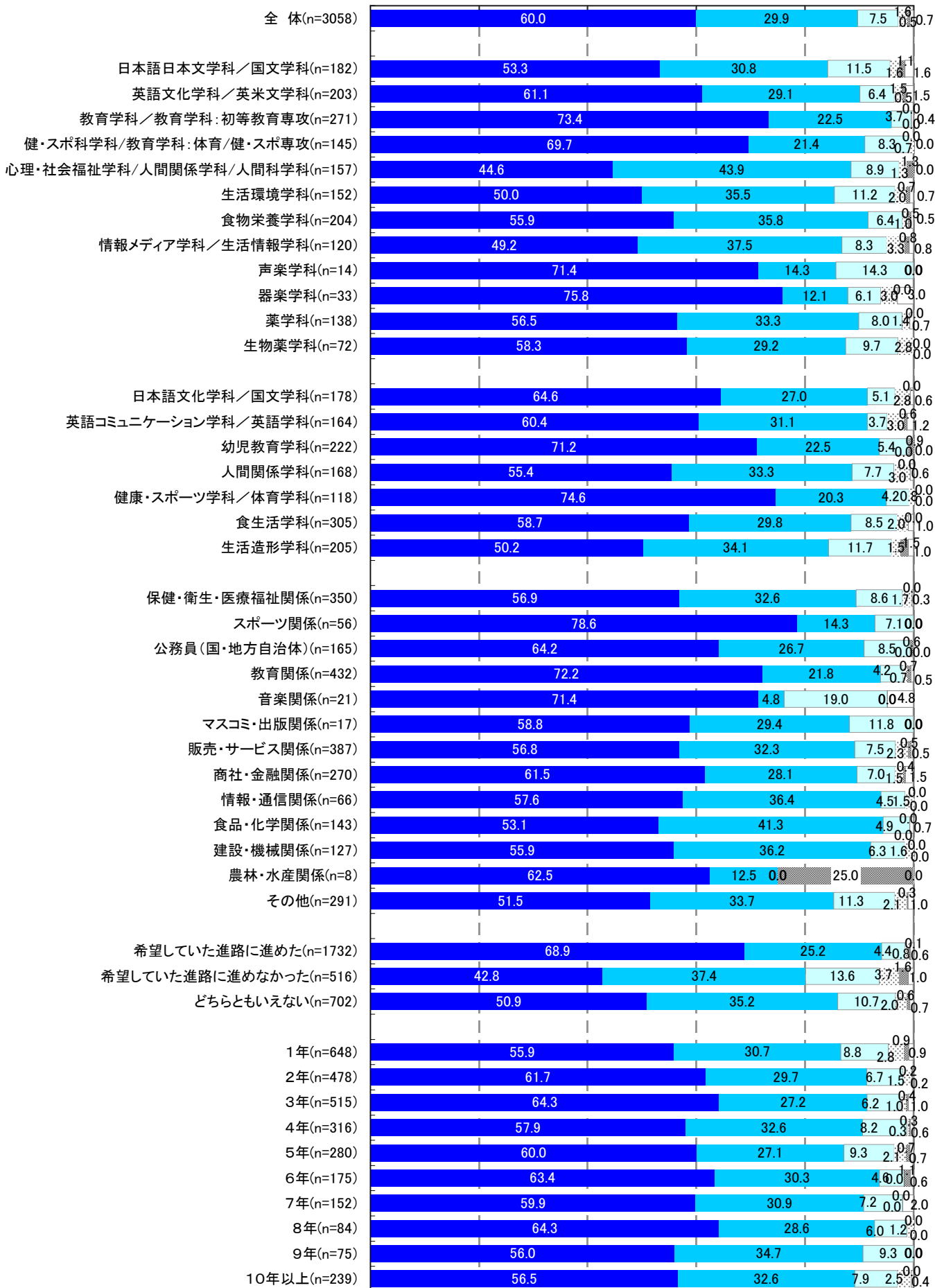
在籍学科・大学

在籍学科・短大

業種別

進路別

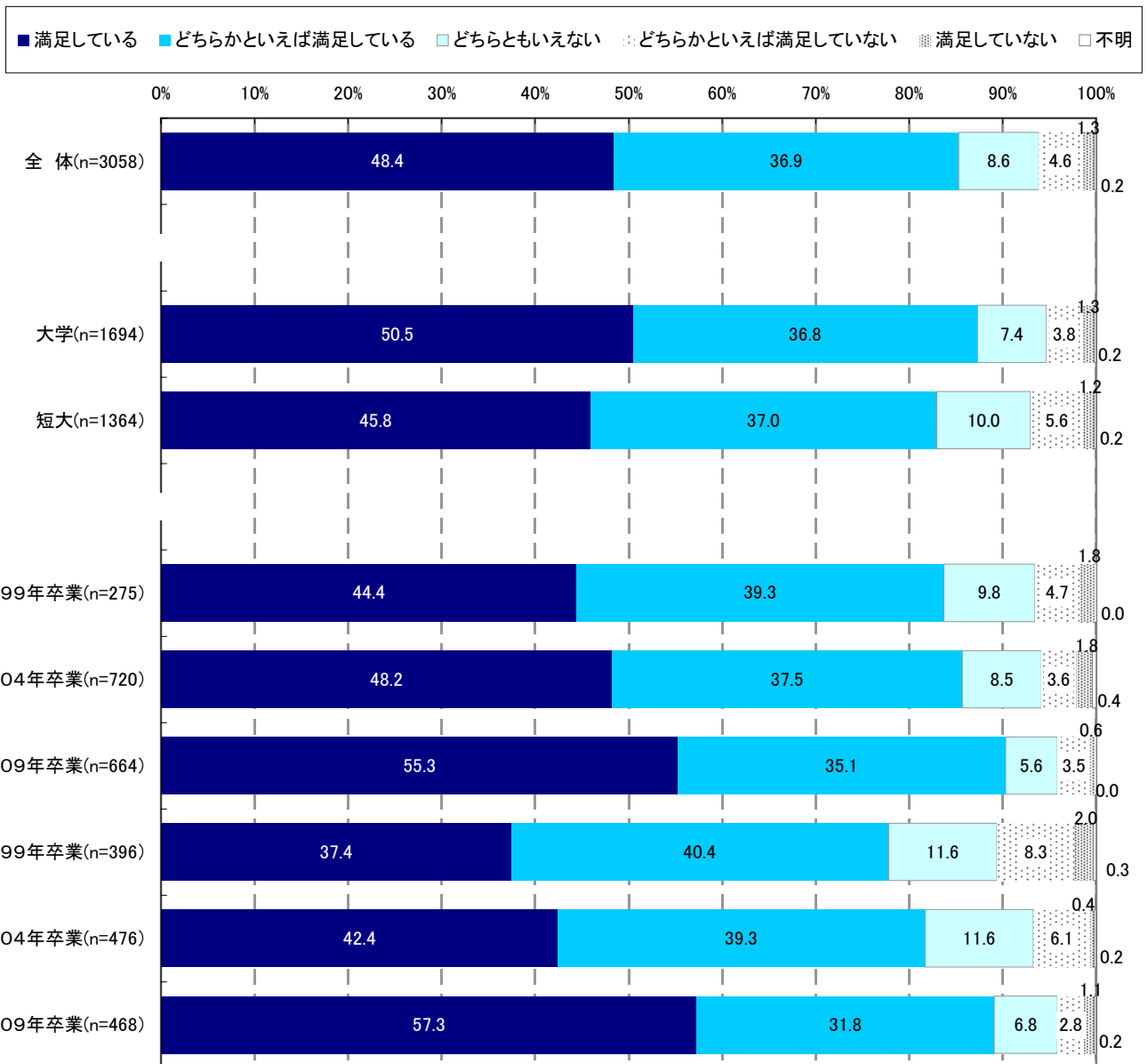
最初の勤続先の勤続年数



2. 所属していた学部・学科への満足度

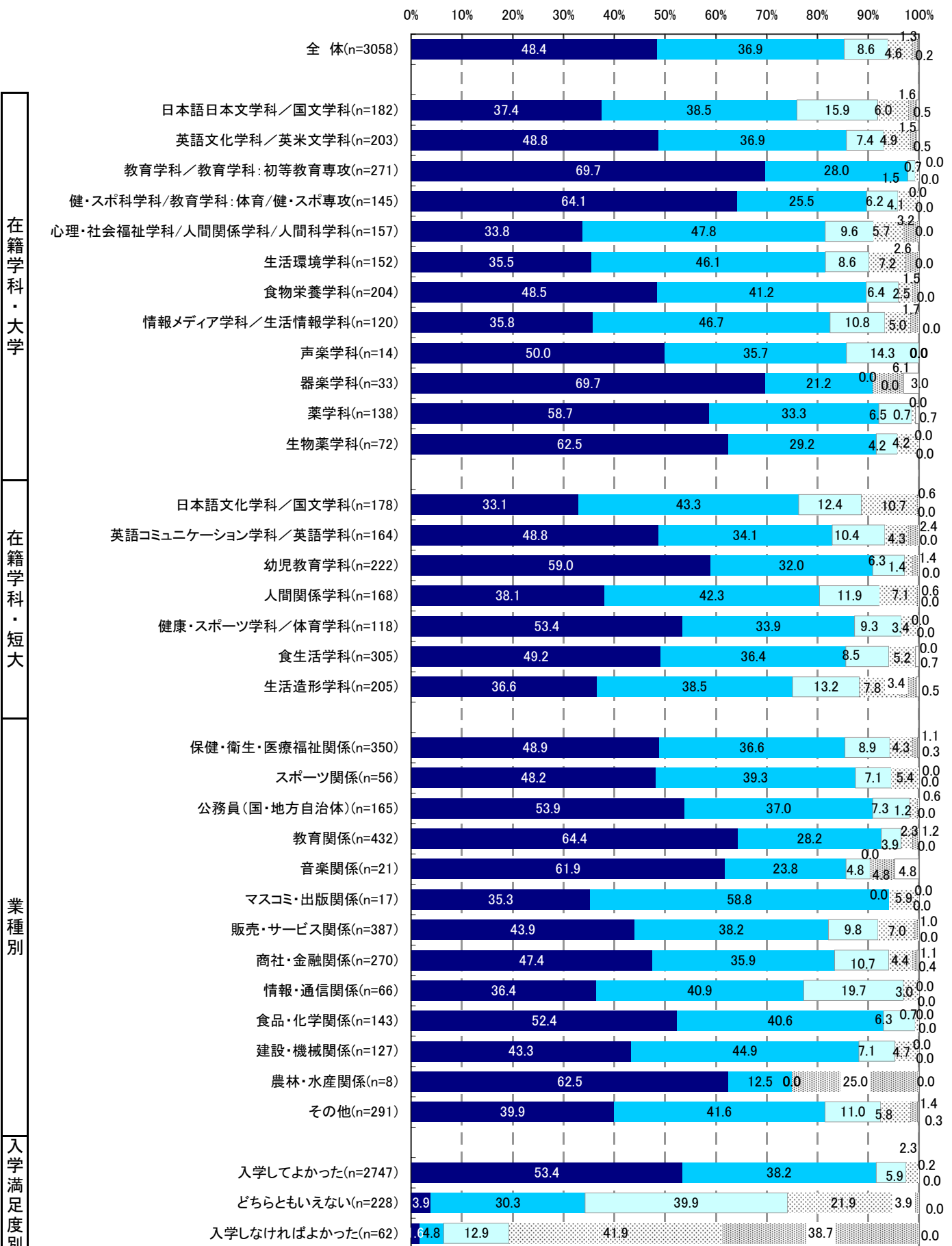
問24.あなたは、所属していた学部・学科に満足していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ◆ 所属学科への満足度は、全体では約5割が「満足している」と回答。「どちらかといえば満足している」も含めると、学部・学科への満足度は9割弱に達する。ただし、わずか6%程度ながら「満足していない」と回答した人も見られる。
- ◆ 大学／短大別では、大学の方がより満足度が高い。
- ◆ 学科別では、最も満足度が高いのは大学の教育学科／教育学科：初等教育専攻と器楽学科。短大の中では幼児教育学科の満足度が最も高く、教育関係の満足度の高さが目立つ。この他、大学の健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻、生物薬学科の満足度も高め。一方、大学の日本語日本文学科／国文学科、心理・社会福祉学科／人間関係学科／人間科学科、生活環境学科、情報メディア学科／生活情報学科、短大の日本語文化学科／国文学科、人間関係学科、生活造形学科は「満足している」割合が4割以下と全体と比較して低い傾向にある。



2. 所属していた学部・学科への満足度

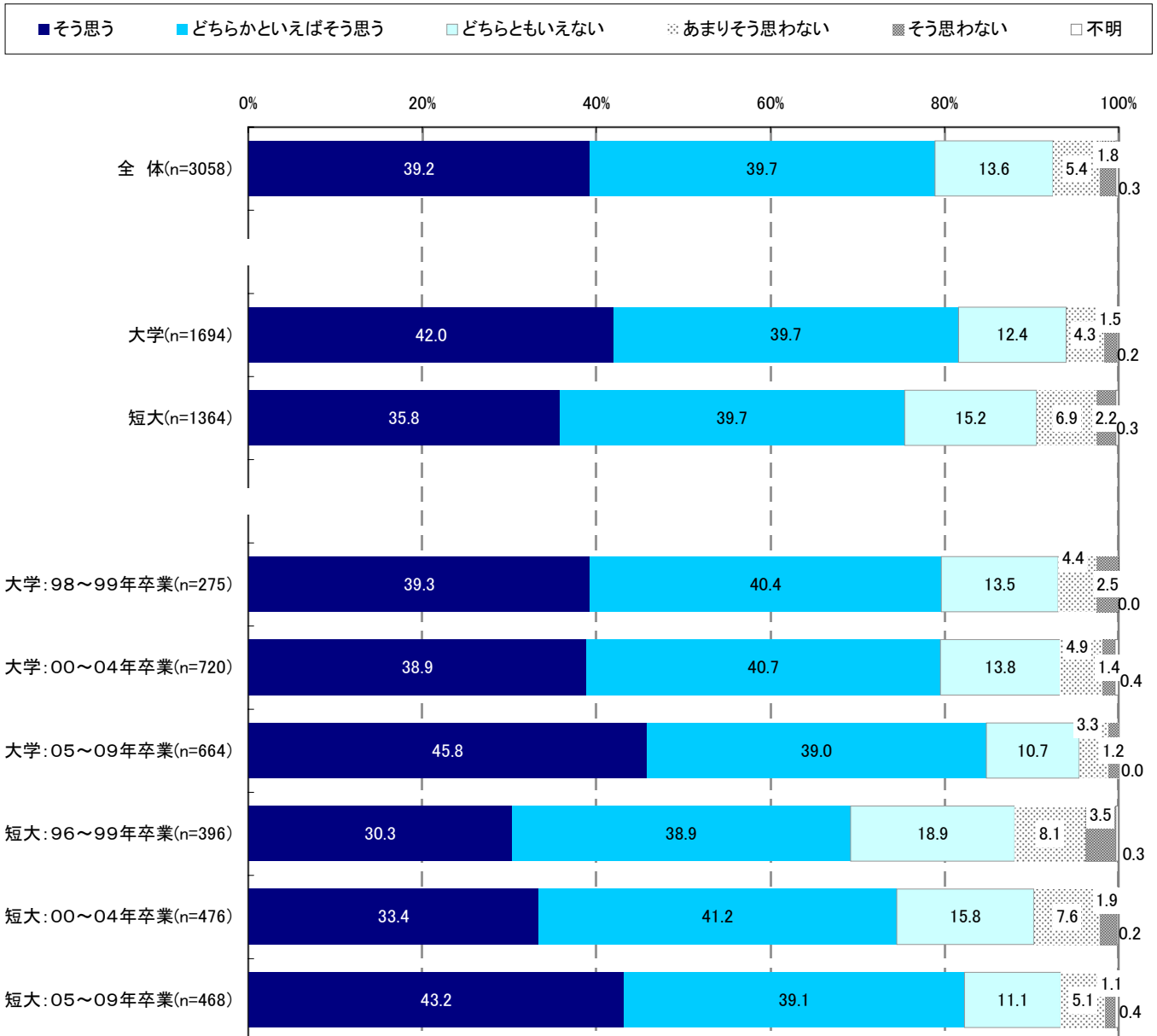
■ 満足している ■ どちらかといえば満足している □ どちらともいえない ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない □ 不明



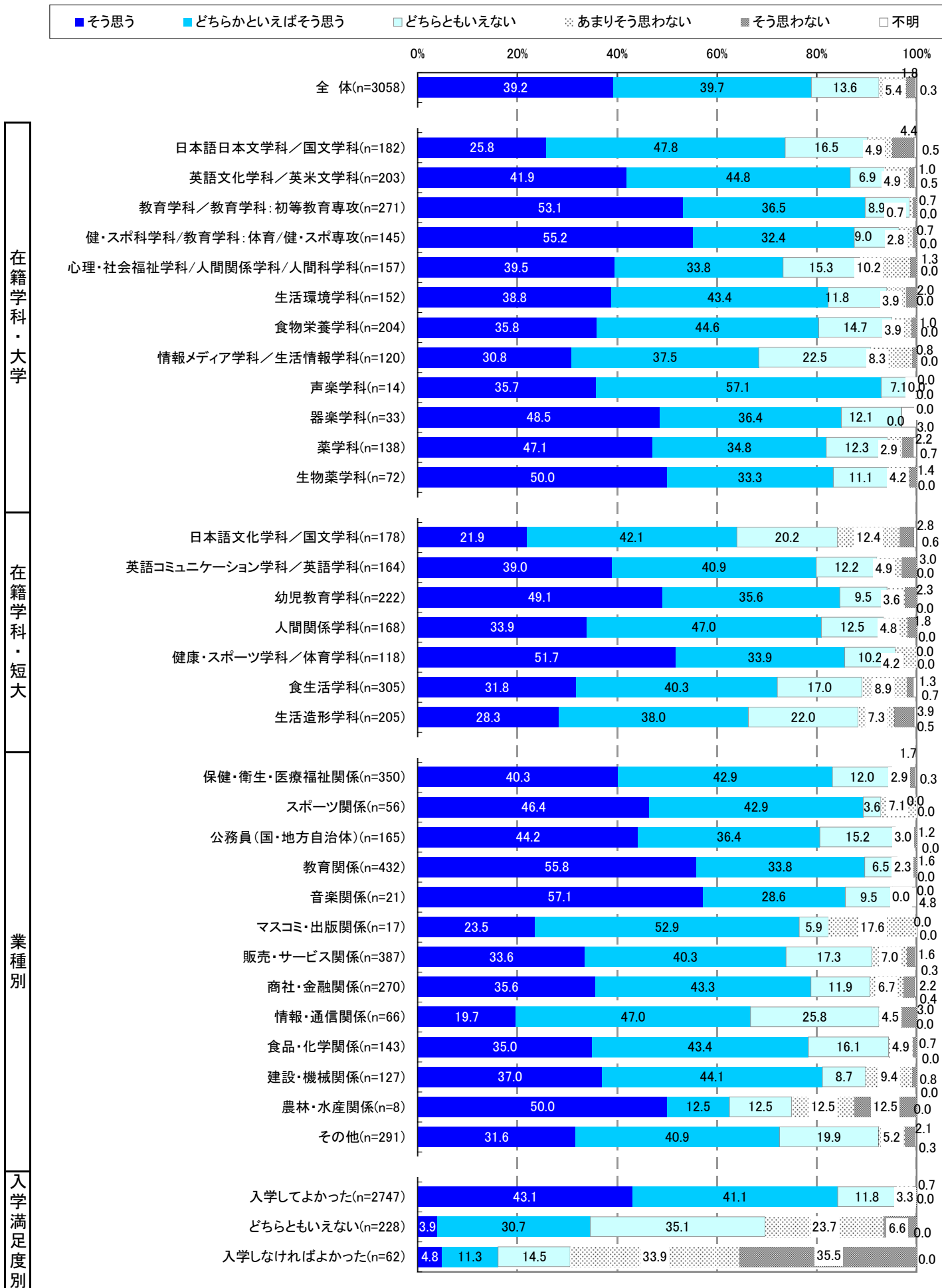
3. 学びの成果

問25.あなたは、本学で学んだことが卒業後の生き方、人生観、職業観などになんらかの成果をもたらしたと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ◆ 武庫川女子大学・短期大学部で学んだことが卒業後になんらかの成果をもたらしたかどうかは、全体では「そう思う」と回答した人が約4割。「どちらかといえばそう思う」も含めると、そう思う割合は8割近くに達する。ただし、「そう思わない」と回答している人も1割近く見られる。
- ◆ 大学／短大別では、大学の方が「そう思う」割合が高い。
- ◆ 卒業年別では、大学・短大とも、04年以前の卒業生と比べ、05年以降の卒業生の方が「そう思う」割合が高い傾向にあり、特に学びの成果を実感できている模様。
- ◆ 学科別では、「そう思う」割合が50%以上なのは、大学の教育学科／教育学科：初等教育専攻、生物薬学科、健・スポ科学科／教育学科：体育／健・スポ専攻、短大の健康・スポーツ学科／体育学科。



3. 学びの成果

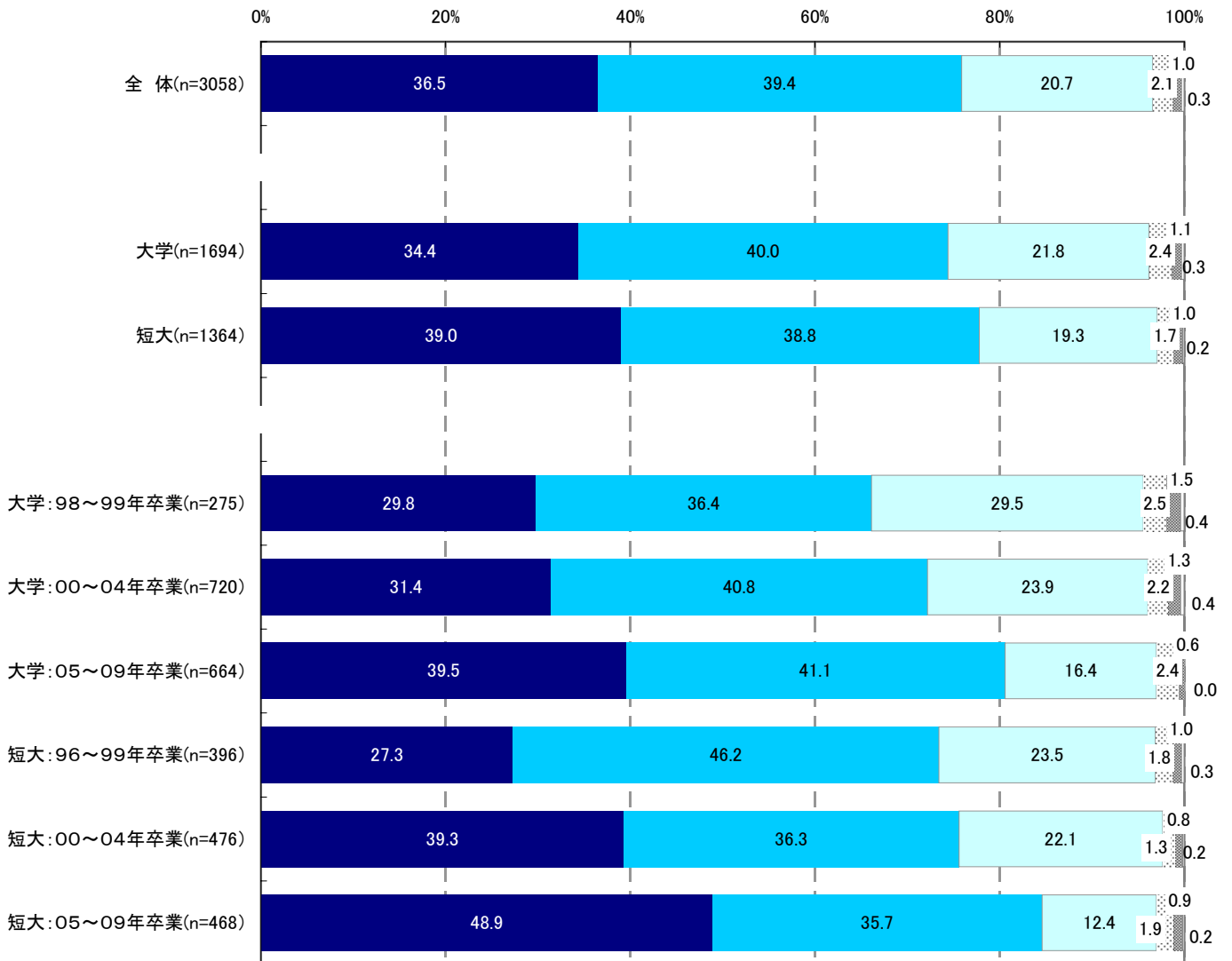


4. 入学推奨度

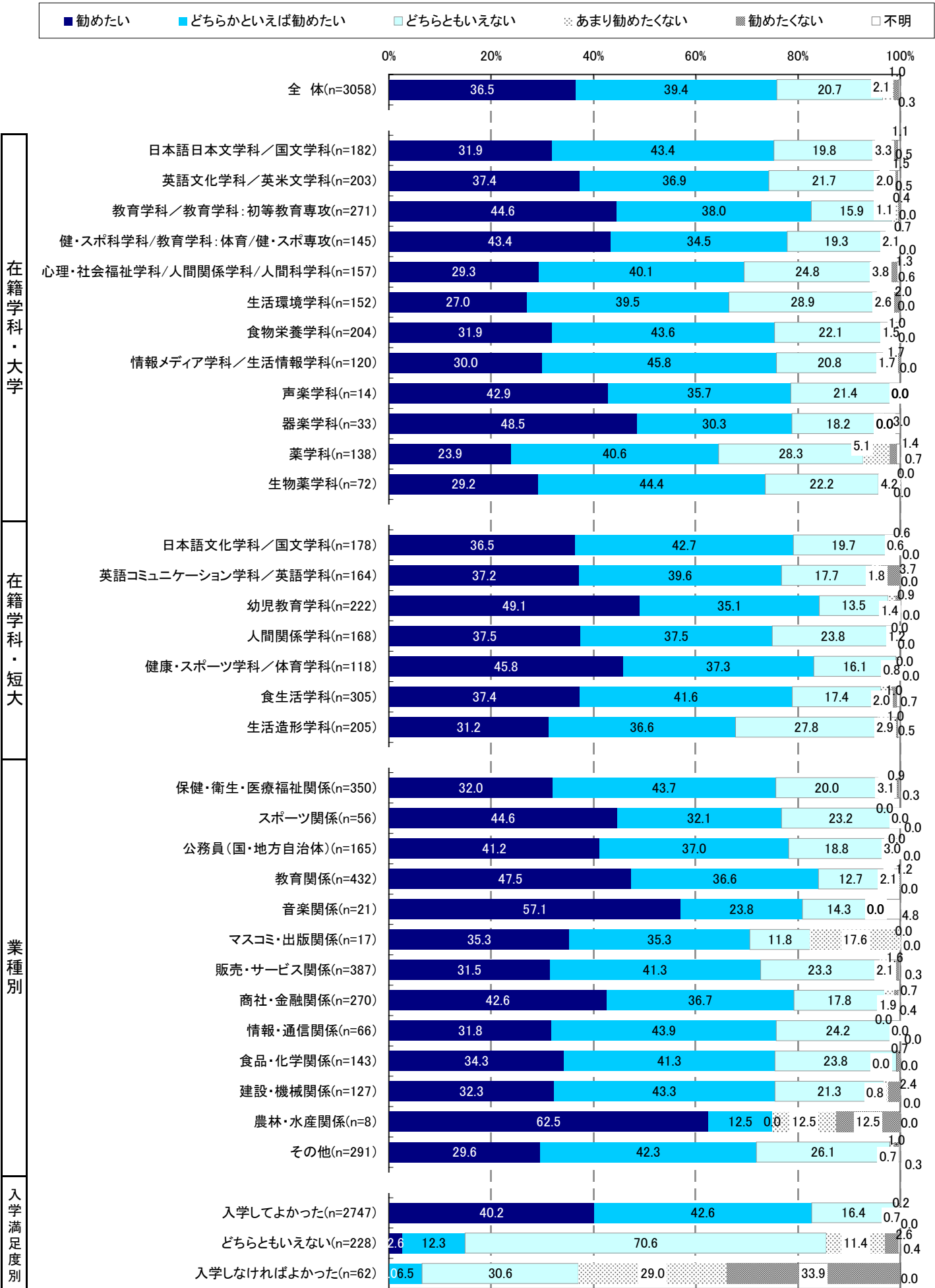
問26.あなたは、本学に興味を持っている家族や知人に入学を勧めたいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ◆ 全体では、4割弱が、武庫川女子大学・短期大学部に興味を持っている家族や知人に入学を「勧めたい」と回答。「どちらかといえば勧めたい」を含めると入学推奨度は8割弱に達する。ただし、わずか3%程度ながらも「勧めたくない」という人も見られる。
- ◆ 大学／短大別では、短大の方が入学推奨度が高い。
- ◆ 卒業年別では、大学・短大とも卒業後の年数が短い方が入学推奨度が高い傾向。特に短大においては、05年以降卒業の人の「勧めたい」割合は約50%とほぼ半数に達している。

■ 勧めたい ■ どちらかといえば勧めたい ■ どちらともいえない ■ あまり勧めたくない ■ 勧めたくない □ 不明



4. 入学推奨度



Ⅸ.本学・在学生への意見

1. 本学の学生へのメッセージ(自由記述の傾向)

問27.あなたから現在本学で学んでいる学生に対してメッセージがあれば、自由にお書きください。

- ◆ 在学生へのメッセージで、最も多かったことは、やはり学生の本分である「勉強・学習面」。特に大学卒業生に多く見られた意見。
→「専門・教養を問わず広く学ぶように」「施設やカリキュラムは充実しているので積極的に学ぶように」という意見が多く見られた。
また、「自分が学生時代にあまり勉強しなかったことを社会人になってから後悔している」という意見も散見された。
- ◆ 次の多かったのが「物事に取り組む姿勢について」。
→「色々なことを経験するように」「学生時代にしかできない事をやるように」「やりたいと思ったこと・興味を持ったことは挑戦するように」「自分から取り組むという積極性・前向きな姿勢を大事に」「何事も精一杯取り組むように」などという意見が多く見られた。
- ◆ 次に多かったのが「学生生活の充実について」。
→「有意義に過ごしてほしい」「限られた時間を大切にしたい」といった意見が多く見られた。
- ◆ 「友人との交流について」も多く見られた意見。
→「幅広い交友関係を持つように」という意見と、「一生付き合えるような友人を見つけるように」という意見が多く見られた。
- ◆ 上記ほどではないが、下記も多く見られた意見。
 - ・「施設の利用について」
→「施設が充実しているので、十分に活用するように」という意見が多く見られた。
 - ・「目標設定について」
→「将来の夢や目標をしっかりと持って学生生活を送るように」「学生のうちに、将来の目標を見つけるように」といった意見が多く見られた。
 - ・「就職について」
→「あきらめずに希望する職に就けるように頑張る」という意見がある一方、「視野を狭めないで色々な可能性を考えて就職活動をして」という意見も見られた。
 - ・「人間形成について」
→「マナー」「思いやり」「優しさ」「一般常識」といったものを身につけて欲しい、という意見が多く見られた。
 - ・「学校からの支援の利用について」
→施設などハード面に限らず、先生やスタッフ、サポートシステムなどのソフト面の利用に関する意見が多く見られた。
 - ・「人(友人以外)との交流について」
→学内の友人に限らず、学外の友人や先生との交流を促す意見が多く見られた。
 - ・「武庫川女子大の全般的な良さについて」
→「『武庫川女子大卒業です』というと、『いい学校ですね』と言われる」「武庫川女子大生であることに誇りを持って」など全てを総合して良い学校であることを伝える意見が多く見られた。
 - ・「課外活動・ボランティア」
→課外活動やボランティア自体の内容以外にも、活動によって視野や交流関係が広がることを言及した意見が多く見られた。
 - ・「余暇・遊びの面」
→「たくさん学んで、たくさん遊んで」や、「旅行に行って視野を広げて」といった意見が多く見られた。

1. 本学の学生へのメッセージ(カテゴリー別分類結果)

問27.あなたから現在本学で学んでいる学生に対してメッセージがあれば、自由にお書きください。

記入内容	全体	大学	短大	大学卒業年			短大卒業年		
				98 5 9 9 年 卒 業	00 5 4 年 卒 業	05 5 0 9 年 卒 業	96 5 9 9 年 卒 業	00 5 0 4 年 卒 業	05 5 0 9 年 卒 業
(掲載数値は件数)									
勉強・学習面	423	262	161	45	108	104	52	55	54
物事に取り組む姿勢について	342	194	148	32	80	77	43	49	55
学生生活の充実について	273	144	129	18	55	71	27	49	53
友人との交流について	124	73	51	14	25	31	11	12	27
施設の利用について	74	38	36	4	21	13	6	11	19
目標設定について	69	36	33	2	18	15	15	12	6
就職について	66	38	28	9	17	11	10	7	11
人間形成について	61	35	26	4	13	15	3	14	9
学校からの支援の利用について	44	19	25	4	5	10	3	12	10
人(友人以外)との交流について	43	28	15	5	11	11	5	5	5
武庫川女子大の全般的な良さについて	28	13	15	4	7	2	3	6	6
課外活動・ボランティア	23	14	9	3	4	7	3	3	2
余暇・遊びの面	14	10	4	1	4	4	-	2	2
その他	120	66	54	12	31	21	22	17	14
卒業生へのメッセージ以外	19	15	4	-	9	5	2	1	1

1. 本学の学生へのメッセージ(カテゴリー別分類結果)

問27.あなたから現在本学で学んでいる学生に対してメッセージがあれば、自由にお書きください。

記入内容 (掲載数値は件数)	大学学科													
	日本文学科 日本語日本文学科／国	英語文化学科 ／英米文	初等教育学科 ／教育学科	専攻 ：体育／健・ス	学 科 ：体育／健・ス	学 科 ：体育／健・ス	人間関係学 科／人間科	心理・社会福 祉学／人間科	生活環境学 科	食物栄養学 科	情報メディア学 科／生	音楽学 科	器楽学 科	薬学 科
勉強・学習面	34	43	33	17	23	27	35	18	1	3	17	11		
物事に取り組む姿勢について	21	22	38	23	22	15	22	12	1	4	9	5		
学生生活の充実について	6	12	21	14	17	17	19	15	1	4	12	6		
友人との交流について	10	13	17	2	8	3	7	3	-	-	6	4		
施設の利用について	7	6	8	5	-	2	6	3	1	-	-	-		
目標設定について	2	4	6	2	5	2	2	5	1	1	5	1		
就職について	3	10	3	1	4	5	7	4	-	-	1	-		
人間形成について	4	4	3	5	3	4	4	2	-	1	4	1		
学校からの支援の利用について	1	1	3	3	1	3	5	1	1	-	-	-		
人(友人以外)との交流について	1	2	2	4	2	5	5	4	-	-	2	1		
武庫川女子大の全般的な良さについて	2	2	2	3	-	-	-	1	-	-	2	1		
課外活動・ボランティア	1	-	4	3	3	-	-	-	-	-	2	1		
余暇・遊びの面	1	-	2	1	-	-	1	3	-	-	2	-		
その他	7	6	6	6	4	9	6	8	-	2	8	3		
卒業生へのメッセージ以外	3	2	-	2	2	1	1	-	1	1	2	-		

1. 本学の学生へのメッセージ(カテゴリー別分類結果)

問27.あなたから現在本学で学んでいる学生に対してメッセージがあれば、自由にお書きください。

記入内容	短大学科							
	学 科	日 本 語 文 化 学 科 ／ 国 文	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科 ／ 英 語 学 科	幼 児 教 育 学 科	人 間 関 係 学 科	健 康 ・ ス ポ ー ツ 学 科 ／ 体 育 学 科	食 生 活 学 科	生 活 造 形 学 科
(掲載数値は件数)								
勉強・学習面	17	19	27	17	15	35	31	
物事に取り組む姿勢について	25	16	18	29	13	28	18	
学生生活の充実について	9	21	32	15	10	31	11	
友人との交流について	6	2	12	10	2	14	5	
施設の利用について	10	3	4	4	2	8	5	
目標設定について	8	3	5	3	1	3	10	
就職について	4	2	2	8	2	8	2	
人間形成について	4	7	3	-	2	4	6	
学校からの支援の利用について	7	4	3	2	2	4	3	
人(友人以外)との交流について	1	1	-	3	2	5	3	
武庫川女子大の全般的な良さについて	-	2	4	3	3	1	2	
課外活動・ボランティア	2	-	1	1	-	4	1	
余暇・遊びの面	-	1	-	1	-	-	2	
その他	8	4	6	7	5	11	13	
卒業生へのメッセージ以外	-	1	2	-	1	-	-	

2. 本学への意見(自由記述の傾向)

問28.最後に、あなたから、本学へご意見などございましたら自由にお書きください。

- ◆ 武庫川女子大学・短期大学部への意見としては、ポジティブな意見とネガティブな意見がみられた。

【ポジティブな意見】

- ◆ ポジティブな意見としては、「学校の質全般について」の意見が最も多く見られた。
→「武庫川女子大を誇りに思う」「武庫川女子大に入学して良かった」といった意見が、大学・短大、学科を問わず多く見られた。
- ◆ 次に多かったポジティブな意見は、「友人・交流関係について」。
→「いい友達ができた」「今でも大学時代の友人とは仲がいい」「一生付き合える友人に出会えた」などの意見が多く見られた。
- ◆ 次に多かったポジティブな意見は、「先生について」。
→学習面だけでなく、「就職活動でとてもお世話になった」など、就職活動での感謝の意を表する意見も多く見られた。
→「先生について」のポジティブ意見は、特に大学卒業生に多く見られた。
- ◆ その他、上記ほどではないが、下記も多く見られたポジティブな意見。
 - ・「情報発信について」
→「リビエール」などの会報を楽しみにしている、といった意見が多く見られた。
また、今回のアンケートの配布により、改めて武庫川女子大の良さを見直した、という意見も多く見られた。
 - ・「施設について」
→図書館や情報処理関連施設の充実を挙げる意見が多く見られた。
 - ・「学生生活について」
→充実した学生生活を送れたことに対する感謝の意を述べた回答が目立った。

【ネガティブな意見】

- ◆ 一方、ネガティブな意見としては、「学習内容について」の意見が最も多く見られた。
→英語をはじめ外国語科目に対するネガティブ意見が多く見られた。
また、「もっと実践的な学習をして欲しかった」「もっと社会で役立つ学習をして欲しかった」など実践的学習を望む声も多く見られた。
- ◆ 次に多かったネガティブな意見は、「就職支援について」。
→学生時代の就職活動のサポートが不十分であった点の指摘が多かった。
また、卒業後の再就職支援を要望する声も複数見られた。

2. 本学への意見(カテゴリー別分類結果)

問28.最後に、あなたから、本学へご意見などございましたら自由にお書きください。

記入内容	全体	大学	短大	大学卒業年			短大卒業年		
				98 5 9 9 年 卒 業	00 5 0 4 年 卒 業	05 5 0 9 年 卒 業	96 5 9 9 年 卒 業	00 5 0 4 年 卒 業	05 5 0 9 年 卒 業
(掲載数値は件数)									
学校の質全般について	266	140	126	18	51	70	35	45	45
友人・交流関係について	107	67	40	12	23	29	8	19	13
先生について	93	60	33	9	16	32	8	13	12
情報発信について	84	49	35	11	20	17	9	11	15
施設について	80	41	39	5	15	20	12	12	15
学生生活について	67	35	32	7	14	13	7	10	15
学習内容について	58	31	27	2	15	13	6	11	9
就職支援について	44	27	17	3	10	12	7	8	2
課外活動について	28	12	16	1	4	6	2	8	6
資格・技術取得について	24	11	13	-	8	3	7	4	2
人間形成について	16	13	3	3	6	4	-	2	1
卒業後のフォローについて	8	8	-	1	5	2	-	-	-
甲子園球場の広告などについて	7	6	1	3	2	-	1	-	-
クラス制について	5	3	2	1	1	1	1	-	1
その他	66	36	30	6	16	14	9	11	10
ポジティブ意見									
学習内容について	94	56	38	8	25	23	17	9	12
就職支援について	69	33	36	7	10	16	10	13	12
先生について	58	34	24	6	13	14	5	9	9
友人・交流関係について	55	30	25	6	17	7	8	9	8
人間形成について	52	35	17	6	14	12	5	6	6
施設について	51	27	24	4	8	15	6	9	9
授業料、学費などについて	41	27	14	3	12	9	2	6	6
資格・技術取得について	40	20	20	5	12	2	9	5	6
情報発信について	39	16	23	3	6	7	7	9	7
学校の質全般について	29	24	5	5	10	9	3	1	1
卒業後のフォローについて	26	8	18	3	2	3	7	3	8
課外活動について	20	10	10	2	2	5	3	5	2
相談場所について	14	13	1	2	5	6	1	-	-
制服について	12	8	4	-	4	4	-	2	2
クラス制について	7	5	2	-	4	1	1	1	-
送迎バスについて	3	2	1	-	1	1	1	-	-
その他	60	29	31	8	8	13	13	11	6
ネガティブ意見									
その他	71	57	14	8	24	24	8	5	1

2. 本学への意見(カテゴリー別分類結果)

問28.最後に、あなたから、本学へご意見などございましたら自由にお書きください。

記入内容 (掲載数値は件数)	大学学科												
	日本文学 日本語 日本文学 国	英語 文化 学 英米文	初等 教育 専攻 教育 学 科	専攻 学 科 ： 体 育 / 健 ・ ス ポ ー ツ	健 学 科 : ス ポ ー ツ 学 科 / 教 育	人 間 関 係 学 科 / 人 間 科	心 理 ・ 社 会 福 祉 学 科 / 人 間 科	生 活 環 境 学 科	食 物 栄 養 学 科	情 報 メ デ ィ ア 学 科 / 生	声 楽 学 科	器 楽 学 科	薬 学 科
学校の質全般について	9	17	21	18	9	14	21	13	1	3	4	10	
友人・交流関係について	5	5	16	6	10	5	9	6	-	-	3	2	
先生について	4	3	15	3	9	7	8	3	1	1	2	4	
情報発信について	5	5	4	3	9	2	9	5	1	1	2	3	
施設について	1	6	6	5	5	4	6	3	-	-	3	2	
学生生活について	5	4	4	4	7	3	4	1	-	1	1	1	
学習内容について	1	4	13	3	1	3	3	2	-	-	1	-	
就職支援について	1	3	15	2	1	1	3	1	-	-	-	-	
課外活動について	-	4	4	-	-	1	1	1	-	-	1	-	
資格・技術取得について	-	-	1	-	1	1	2	1	-	-	4	1	
人間形成について	2	1	-	-	3	3	3	-	-	-	1	-	
卒業後のフォローについて	1	1	4	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
甲子園球場の広告などについて	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	
クラス制について	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	4	6	5	5	6	3	1	3	-	-	1	2	
ポジティブ意見													
学習内容について	7	10	6	5	4	5	9	6	-	-	4	-	
就職支援について	8	3	1	2	4	3	5	3	-	-	3	1	
先生について	4	5	2	6	5	3	4	2	-	1	2	-	
友人・交流関係について	3	3	8	3	2	1	2	2	2	1	1	2	
人間形成について	2	7	6	1	1	4	4	3	-	1	3	3	
施設について	5	2	5	-	4	-	7	2	1	-	-	1	
授業料、学費などについて	2	-	5	3	6	4	2	2	-	-	3	-	
資格・技術取得について	4	2	3	1	1	5	2	1	-	-	-	1	
情報発信について	-	2	-	-	2	4	2	3	-	-	1	2	
学校の質全般について	7	-	-	1	4	5	1	1	1	1	1	2	
卒業後のフォローについて	-	1	-	-	2	-	1	-	1	-	3	-	
課外活動について	-	1	1	-	-	1	3	1	1	-	2	-	
相談場所について	4	1	1	1	1	2	1	-	-	-	2	-	
制服について	1	3	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	
クラス制について	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
送迎バスについて	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
その他	3	6	2	1	2	1	1	4	1	1	4	3	
ネガティブ意見													
その他	8	1	8	6	5	5	8	5	2	1	7	1	

2. 本学への意見(カテゴリー別分類結果)

問28.最後に、あなたから、本学へご意見などございましたら自由にお書きください。

記入内容 (掲載数値は件数)	短大学科							
	学 日 科 本 語 文 文 化 学 科 ／ 国 文	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科 ／ 英 語 学 科	幼 児 教 育 学 科	人 間 関 係 学 科	体 育 学 科 健 康 ・ ス ポ ー ツ 学 科 ／	食 生 活 学 科	生 活 造 形 学 科	
ポ ジ テ ィ ブ 意 見	学校の質全般について	20	17	22	15	8	32	12
	友人・交流関係について	4	5	9	6	2	9	5
	先生について	2	-	16	3	5	4	3
	情報発信について	4	5	6	7	4	4	5
	施設について	7	8	5	3	-	8	8
	学生生活について	4	3	10	4	4	5	2
	学習内容について	2	3	4	2	3	8	5
	就職支援について	2	3	3	3	1	2	2
	課外活動について	2	9	2	1	-	-	2
	資格・技術取得について	-	-	5	1	1	2	4
	人間形成について	-	-	-	1	1	1	-
	卒業後のフォローについて	-	-	-	-	-	-	-
	甲子園球場の広告などについて	-	-	-	-	-	-	1
	クラス制について	1	-	-	-	-	1	-
その他	2	4	7	4	1	6	6	
ネ ガ テ ィ ブ 意 見	学習内容について	8	3	13	3	1	5	5
	就職支援について	8	2	3	3	4	6	10
	先生について	6	1	3	3	3	3	5
	友人・交流関係について	1	2	4	6	4	5	3
	人間形成について	4	1	1	4	2	2	3
	施設について	-	2	6	1	2	7	6
	授業料、学費などについて	-	4	6	1	1	-	2
	資格・技術取得について	2	2	4	2	2	3	5
	情報発信について	4	5	1	3	1	7	2
	学校の質全般について	-	-	1	2	1	1	-
	卒業後のフォローについて	4	2	3	2	3	3	1
	課外活動について	1	3	2	1	-	1	2
	相談場所について	1	-	-	-	-	-	-
	制服について	1	1	-	1	-	1	-
	クラス制について	1	-	-	1	-	-	-
送迎バスについて	-	-	-	-	-	1	-	
その他	3	1	11	2	2	8	4	
その他	1	1	1	5	1	4	1	

■第2章■

大学・短大・全体施策と その効果検証

はじめに

1. 目的

武庫川女子大学・短期大学部では、よりよい学修や充実した学生生活のため、近年様々な施策を実施している。本章では、各施策の実施前卒業生(＝施策を受けていない)と実施後卒業生(＝施策を受けた)の違いを見ることによって、施策目的とする効果が得られたかを検証する。

2. 対象施策

本調査で効果検証の対象とした施策は下記の通り。

- 1 立学の精神を学生・生徒に理解しやすく、より身近な指針とすべく「教育目標」を設定
- 2 担任制度の見直し ※大学
- 3 情報基礎教育の確立:「情報活用の基礎」を開講(大学1年生全学生必修) ※大学
- 4 情報基礎教育の確立:「情報活用の基礎」を開講(短大1年生全学生必修) ※短大
- 5 共通教育科目に英会話関係科目を新設「英会話基礎」「英会話入門」「英会話発展」
- 6 学生の語学力強化プロジェクト設置
- 7 全学英語科目「英語会話」開設 ※短大
- 8 エクステンション講座開設
- 9 キャリアプラン科目を共通教育科目に開設
- 10 初期演習でのキャリアガイダンスを開始
- 11 スチューデントガイド発行開始
- 12 GPAの導入(厳格な成績評価制度)
- 13 図書館の開館時間延長
- 14 鳴松会奨学制度開始
- 15 マルチメディア館竣工
- 16 図書館システムの再構築(リメディオ)
- 17 就職情報システム(M-NAVI)稼働
- 18 就職部移転、相談ブース拡大・増設
- 19 健康・スポーツクリニック開設
- 20 インターンシップ開始(教務部扱い)
- 21 交換留学生制度本格化
- 22 インターンシップ開始(キャリアセンター扱い)
- 23 交換留学協定による交換留学開始
- 24 就職部からキャリアセンターへ組織変更、入学段階からのキャリア支援を実施
- 25 運動部強化支援事業スタート、強化コーチ制度の導入、報奨制度「学院長賞」創設
- 26 スポーツ奨学制度開始
- 27 浜甲子園グラウンドの整備(グラウンド整備等、施設の充実)
- 28 公江特待生枠の拡大、武庫川学院奨学の応募要件緩和
- 29 東京センター開設
- 30 インターンシップ活動の単位認定
- 31 MUSESシステム稼働
- 32 保護者対象の就職関連冊子を作成

■ 分析方法

施策の効果を測る各質問に関してスコア平均値を算出し、施策実施前卒業生→施策実施後卒業生のスコア平均値の推移(差があるかどうか)を考察する。

* スコア平均値……5段階評価の回答によって、下記のようにウェイト値をつけたもの

- | | |
|-----------------------|---|
| 5段階中最も評価が高い選択肢…………… | 5 |
| 5段階中2番目に評価が高い選択肢…………… | 4 |
| 5段階中3番目に評価が高い選択肢…………… | 3 |
| 5段階中4番目に評価が高い選択肢…………… | 2 |
| 5段階中最も評価が低い選択肢…………… | 1 |

はじめに

■ 効果を検証する施策に関わる質問と卒業年の括り方

領域	質問番号	質問内容	上段：施策の影響を初めて受ける卒業年 (記載数字は「2. 対象施策」の施策番号)												
			下段：比較する卒業年グループの括り												
			96年	97年	98年	99年	00年	01年	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年
立学の精神の認知度	問12A	立学の精神全項目													1
			⇔												⇔
教育活動の実感度	問13A (2)	各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている			2							31			
			⇔		⇔						⇔				
本学で身についた能力	問13A (4)	実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する							4,15		3				
			⇔				⇔		⇔						
教育内容の満足度	問14A (13)	外国語を読み、書き、話す力									5,6				7
			⇔								⇔				⇔
	問14A (16)	コンピュータを使って、文章や発表資料などを作成する力							4,15		3				
			⇔				⇔		⇔						
教育内容の満足度	問15-1A (2)	共通教育(一般教養科目)													9
			⇔								⇔				
	問15-1A (4)	情報教育							4,15		3				
			⇔				⇔		⇔						
	問15-1A (6)	クラス(学年)担任制			2										
			⇔		⇔										
	問15-1A (7)	初期演習													10
			⇔								⇔				⇔
	問15-1A (8)	外国語教育									5,6				7
			⇔				⇔		⇔					⇔	
学修支援の評価	問15-1A (9)	資格取得、試験対策							8						
			⇔				⇔		⇔						
	問16 (4)	履修方法についてのガイダンスが充実していた							11						
			⇔				⇔		⇔						
	問16 (6)	適切な成績評価がなされていた										12			
			⇔								⇔				
学生生活支援の満足度	問17-1 (1)	学生生活におけるさまざまな悩みの解決支援			2										
			⇔		⇔										
	問17-1 (2)	健康管理体制の充実							19						
			⇔				⇔		⇔						
	問17-1 (3)	奨学金制度などの経済的な支援							14			26		28	
			⇔		⇔		⇔		⇔		⇔		⇔		
	問17-1 (4)	留学や語学研修への支援								21	5,6,23				7
			⇔								⇔		⇔		⇔
	問17-1 (5)	クラブ・サークルなど課外活動に対する理解や支援										25,26		27	
		⇔				⇔		⇔					⇔		
	問17-1 (6)	就職活動に対する支援							17,18	20	22,32	24			29,30
			⇔				⇔		⇔					⇔	
	問17-1 (7)	図書館の施設や蔵書の充実				13			16						
			⇔		⇔		⇔								
	問17-1 (9)	情報処理関係施設や機器の充実							4,15		3				
			⇔				⇔		⇔						

1. 実施施策とその効果検証結果まとめ

武庫川女子大学・短期大学部における実施施策とその効果検証の結果一覧を下記に掲載する。
 (詳細は、次項以降の各項目ごとの効果検証結果をご覧ください。)

			施策の効果検証結果			
			大学・短大 ともに 効果が みられる	大学のみ 効果が みられる	短大のみ 効果が みられる	大学・短大 ともに 効果が あまり みられない
問12A	立学の精神の 認知度	立学の精神の認知度			○	
問13A	教育活動の 実感度	各学生の個性を大切にしたきめ細かな指導をしている	○			
		実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する	○			
問14A	本学で 身についた 能力	外国語を読み、書き、話す力				○
		コンピュータを使って、文章や発表資料などを作成する力	○			
問15- 1A	教育内容の 満足度	共通教育(一般教養科目)	○			
		情報教育	○			
		クラス(学年)担任制			○	
		初期演習			○	
		外国語教育			○	
		資格取得、試験対策	○			
問16	学修支援の 評価	履修方法についてのガイダンスが充実していた	○			
		適切な成績評価がなされていた				○
問17-1	学生生活 支援の 満足度	学生生活におけるさまざまな悩みの解決支援			○	
		健康管理体制の充実	○			
		奨学金制度などの経済的な支援	○			
		留学や語学研修への支援	○			
		クラブ・サークルなど課外活動に対する理解や支援				○
		就職活動に対する支援	○			
		図書館の施設や蔵書の充実			○	
		情報処理関係施設や機器の充実	○			

※施策実施前後で効果検証をした項目とその結果を掲載

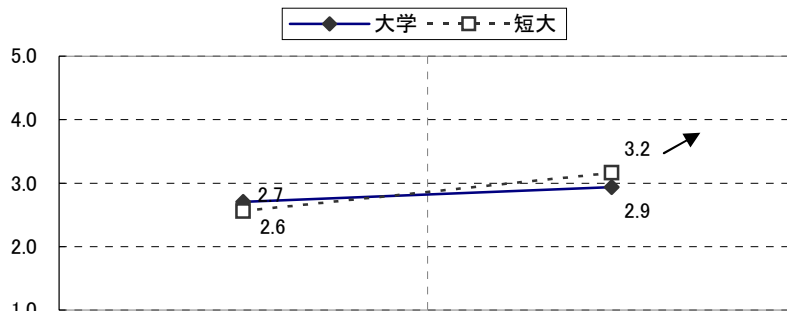
2. 立学の精神の認知度

問12. 本学は、「高い知性、善美な情操、高雅な徳性」を持った、「社会に貢献できる女性の育成」という立学の精神を踏まえ、以下(1)～(9)のような女性を育成することをめざしています。あなたは、このことを A. 在学中に知っていましたか。

- ◆ 短大においては、08年以前と09年との間に0.6ポイントの差が見られる。
- ◆ 大学においては、特に大きな差は見られない。
- ◆ 短大においては、「立学の精神を学生・生徒に理解しやすく、より身近な指針とすべく『教育目標』を設定」した施策に関する効果が表れていると考えられる。

* 本項のスコア平均値は、問12の下記9項目のスコア値の平均値(9項目のスコア値を足し上げて9で割った値)を採用している。

- ・ 自分で課題を見つけ出すことを大切にする女性
- ・ 自主的・積極的に勉強することを大切にする女性
- ・ 自分で考え、行動することを大切にする女性
- ・ 感動を覚える心を大切にする女性
- ・ まごころをもって人と接することを大切にする女性
- ・ 感性を豊かにし、潤いのある心を持つことを大切にする女性
- ・ 倫理に根ざして物事を考えることを大切にする女性
- ・ 人を思いやる心を大切にする女性
- ・ 人のために尽くすことを大切にする女性



卒業年度		96~08年	09年
大学	N	1562	97
短大	N	1269	71

1元配置分散分析の結果(大学)

	1996~2008	2009
1996~2008		=
2009		

1元配置分散分析の結果(短大)

	1996~2008	2009
1996~2008		<<
2009		

➡ : 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



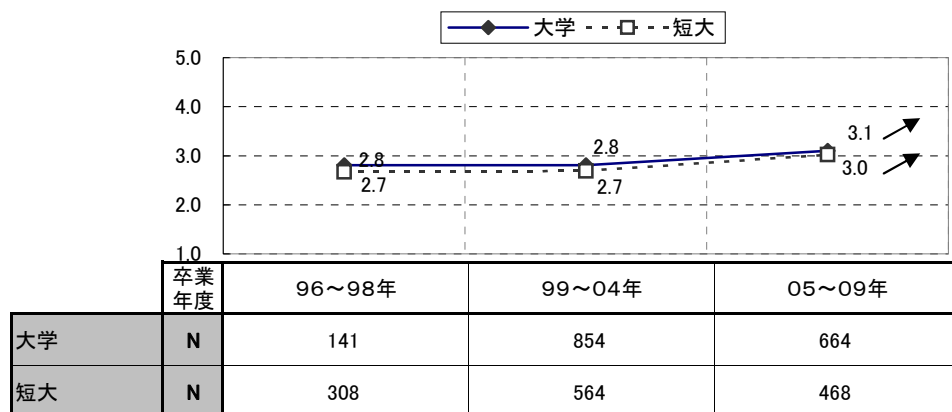
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

3. 立学の精神をふまえた教育活動実践への実感度

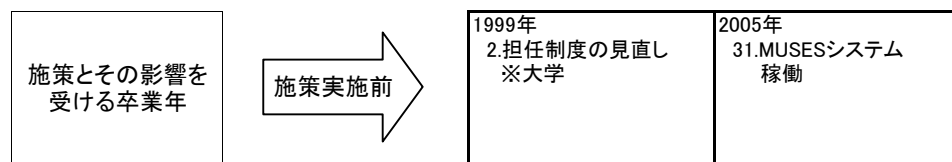
問13. 本学は、問12に示した立学の精神を実現するために、以下(1)～(6)の教育活動を実践してきました。
あなたは在学中、A. それぞれについてどの程度実感していましたか。

(2)個性を大切にしたいきめ細かな指導

- ◆ 大学・短大とも、98年以前と99～04年との間に差は見られないが、99～04年と05年以降の間には差が見られる。
- ◆ 大学・短大とも、98年以前から05～09年の間の上昇幅は0.3ポイント。
- ◆ 「個性を大切にしたいきめ細かな指導」に関しては、「担任制度の見直し」「MUSESシステム稼働」などの施策効果が、05年以降で表れている。



注: 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



1元配置分散分析 多重比較の結果(大学)

	1996～1998	1999～2004	2005～2009
1996～1998		=	<
1999～2004			<<
2005～2009			

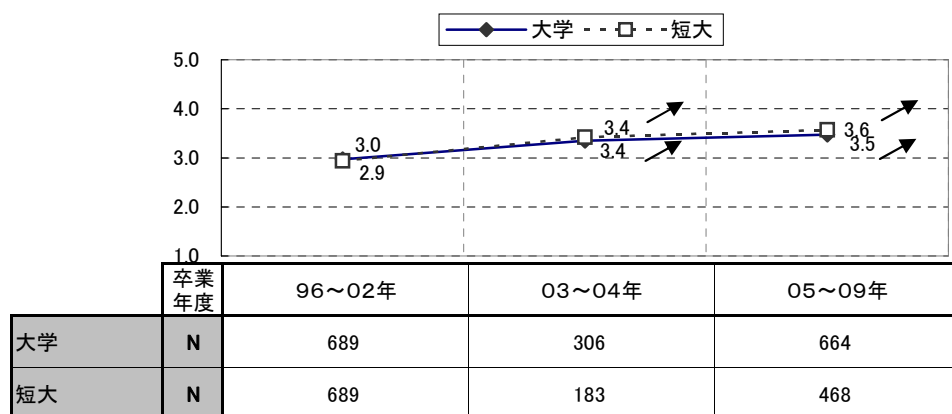
1元配置分散分析 多重比較の結果(短大)

	1996～1998	1999～2004	2005～2009
1996～1998		=	<<
1999～2004			<<
2005～2009			

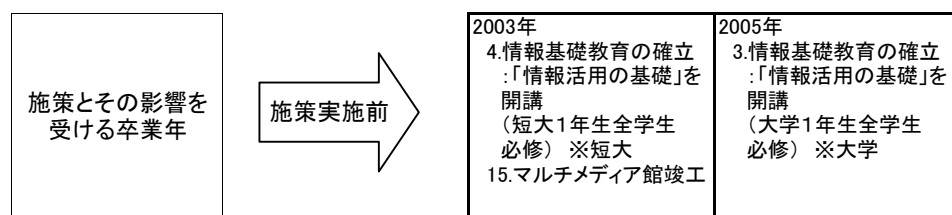
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

(4)実社会で役立つ高度なIT運用能力の養成

- ◆ 大学・短大とも、02年以前と03～04年との間には差が見られるが、03～04年と05年以降の間には差が見られない。
- ◆ 大学・短大とも、02年以前から05～09年の間の上昇幅は0.5～0.7ポイント。
- ◆ 「情報活用の基礎の開講」や「マルチメディア館の竣工」などの施策により、上記の変化が表れている可能性が考えられる。



注: 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



1元配置分散分析 多重比較の結果(大学)

	1996～2002	2003～2004	2005～2009
1996～2002		<<	<<
2003～2004			=
2005～2009			

1元配置分散分析 多重比較の結果(短大)

	1996～2002	2003～2004	2005～2009
1996～2002		<<	<<
2003～2004			=
2005～2009			

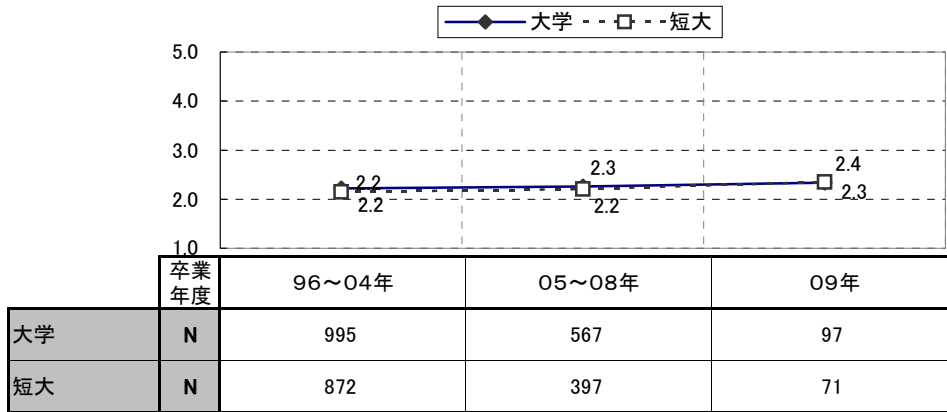
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

4. 本学で身についた能力

問14.あなたは本学で教育を受けたことにより、以下(1)～(21)の能力が、A.どの程度身についたと思いますか。

(13)外国語を読み、書き、話す力

- ◆ 大学・短大とも、04年以前と05～08年との間、05～08年と09年との間ともに大きな差は見られない。
- ◆ 「外国語を読み、書き、話す力」に関する施策の効果は、今のところ顕著には表れていない様子である。

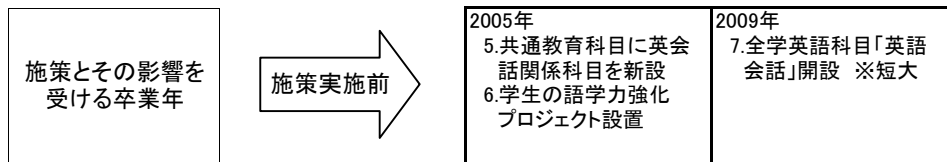


1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～2004	2005～2008	2009
1996～2004		=	=
2005～2008			=
2009			

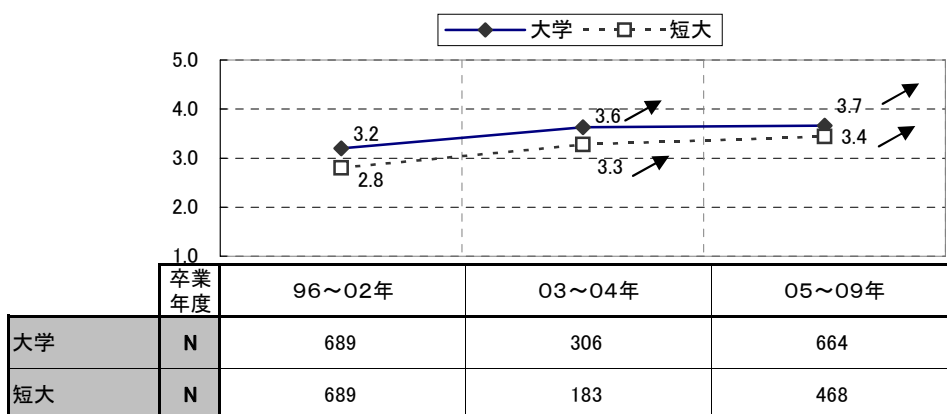
1元配置分散分析の結果(短大)

	1996～2004	2005～2008	2009
1996～2004		=	=
2005～2008			=
2009			



(16)コンピュータを使って、文章や発表資料などを作成する力

- ◆ 大学・短大とも、02年以前と03～04年との間には差が見られるが、03～04年と05年以降の間にはあまり大きな差は見られない。
- ◆ 大学・短大とも、02年以前から05～09年の上昇幅は0.5～0.6ポイント。
- ◆ 「情報活用の基礎の開講」や「マルチメディア館竣工」などの施策により、上記の変化が表れている可能性が考えられる。

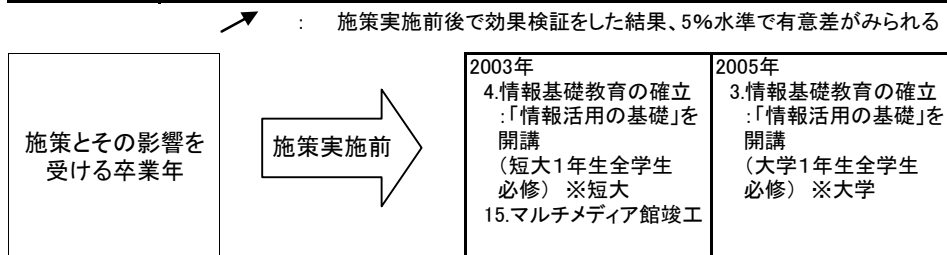


1元配置分散分析 多重比較の結果(大学)

	1996～2002	2003～2004	2005～2009
1996～2002		<<	<<
2003～2004			=
2005～2009			

1元配置分散分析 多重比較の結果(短大)

	1996～2002	2003～2004	2005～2009
1996～2002		<<	<<
2003～2004			=
2005～2009			



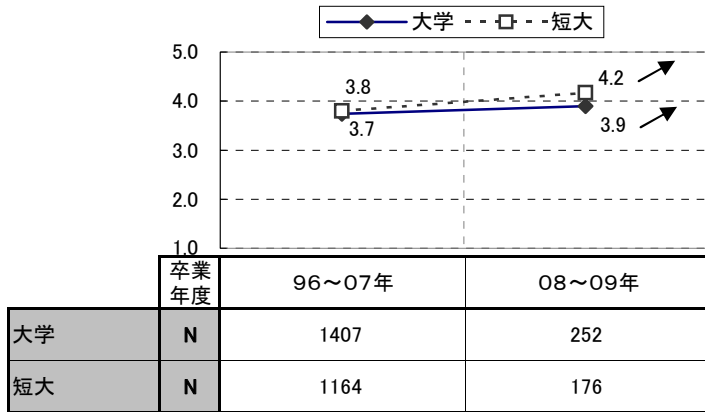
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<<または<>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

5. 在学中の教育内容についての満足度

問15-1.あなたは在学中に以下(1)～(9)の教育内容について、A.どの程度満足していましたか。

(2)共通教育(一般教養科目)

- ◆ 特に短大において、07年以前と08年以降との間に顕著な差が見られる。
- ◆ 「キャリアプラン科目を共通教育科目に開設」したことの効果が表れている可能性が考えられる。



➔ : 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～2007	2008～2009
1996～2007		<
2008～2009		

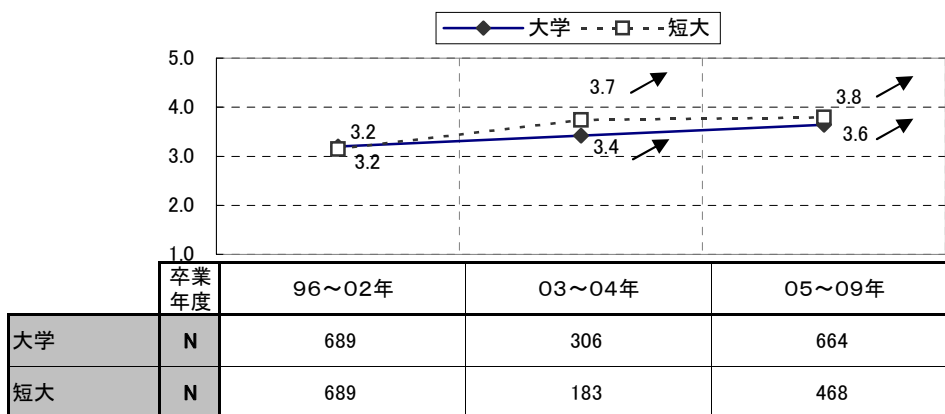
1元配置分散分析の結果(短大)

	1996～2007	2008～2009
1996～2007		<<
2008～2009		

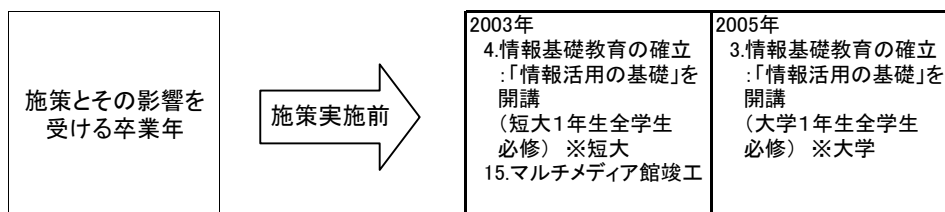
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

(4)情報教育

- ◆ 大学においては、02年以前と03～04年との間、03～04年と05年以降の間には特に上昇幅は大きくはないが差が見られる。
- ◆ 短大においては、特に02年以前と03～04年との間で大きな差が見られる。
- ◆ 「情報活用の基礎の開講」や「マルチメディア館の竣工」などの施策により、上記の変化が表れている可能性が考えられる。



➔ : 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



1元配置分散分析 多重比較の結果(大学)

	1996～2002	2003～2004	2005～2009
1996～2002		<<	<<
2003～2004			<<
2005～2009			

1元配置分散分析 多重比較の結果(短大)

	1996～2002	2003～2004	2005～2009
1996～2002		<<	<<
2003～2004			=
2005～2009			

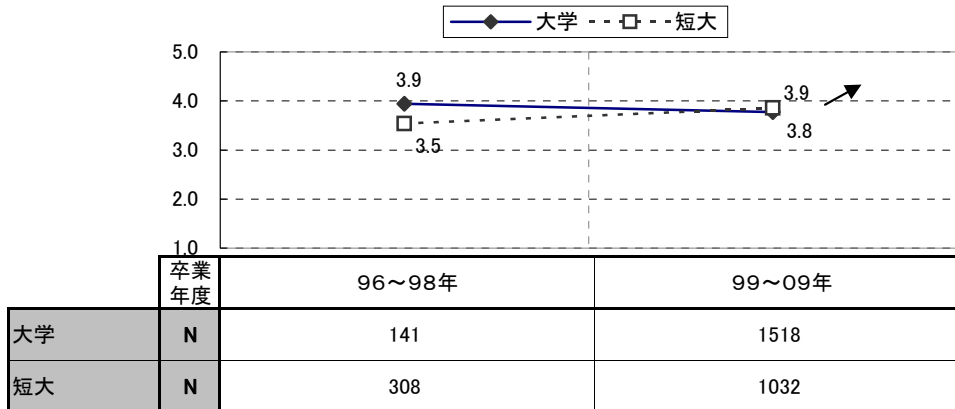
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

5. 在学中の教育内容についての満足度

問15-1.あなたは在学中に以下(1)～(9)の教育内容について、A.どの程度満足していましたか。

(6)クラス(学年)担任制

- ◆「クラス(学年)担任制」に関しては、99年に大学の担任制の見直しを実施しているが、大学においては卒業年による特に大きな変化は見られない。
- ◆ 大学における「担任制度の見直し」に関しては、今のところ施策により効果は顕著に表れていない模様。



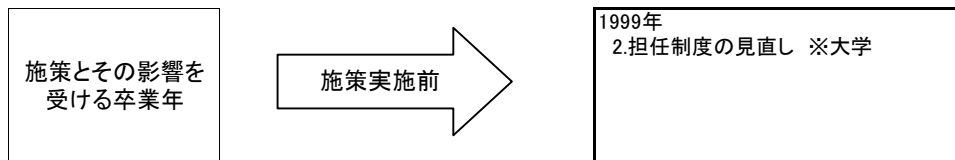
1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～1998	1999～2009
1996～1998		=
1999～2009		

1元配置分散分析の結果(短大)

	1996～1998	1999～2009
1996～1998		<<
1999～2009		

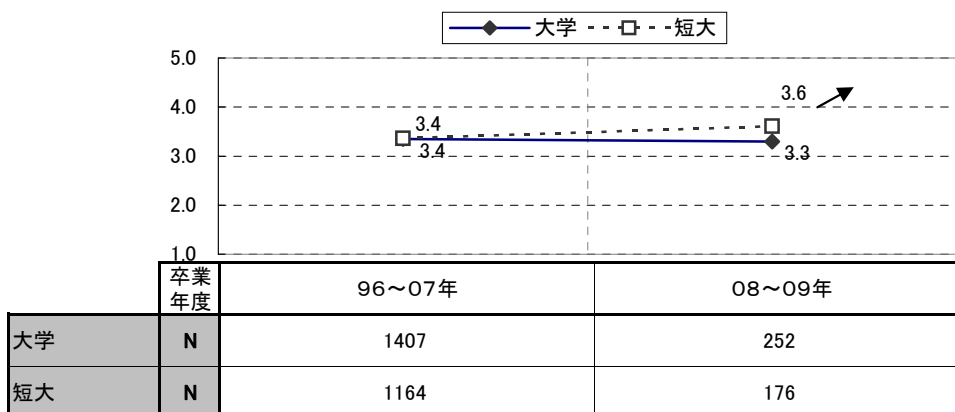
注: 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

(7)初期演習

- ◆ 短大においては、07年以前と08年以降との間に0.2ポイントの上昇が見られる。
- ◆ 大学においては、特に大きな差は見られない。
- ◆ 「初期演習でのキャリアガイダンスの開始」が、特に短大において、影響を与えていると考えられる。



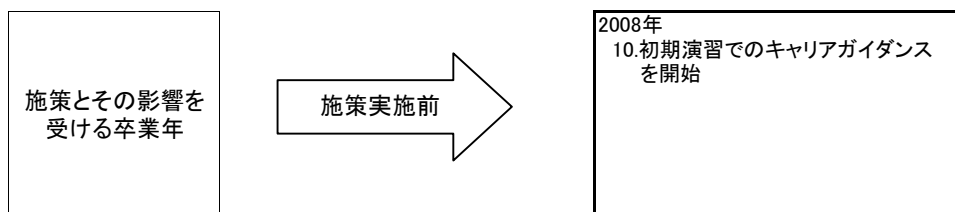
1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～2007	2008～2009
1996～2007		=
2008～2009		

1元配置分散分析の結果(短大)

	1996～2007	2008～2009
1996～2007		<<
2008～2009		

注: 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



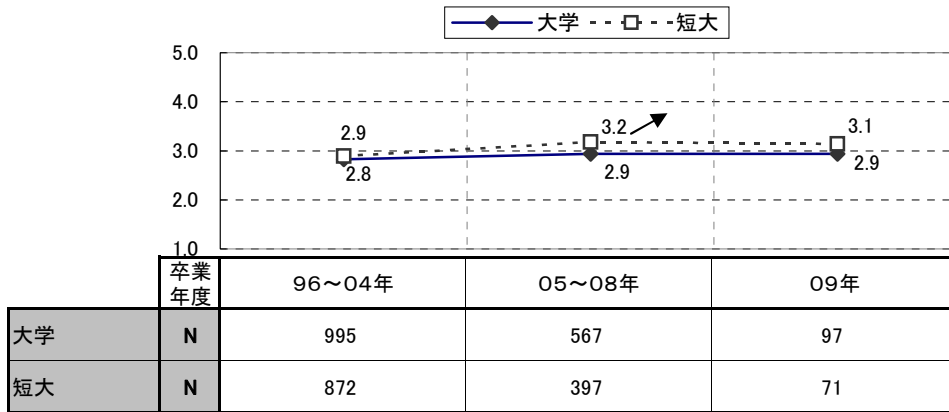
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

5. 在学中の教育内容についての満足度

問15-1.あなたは在学中に以下(1)～(9)の教育内容について、A.どの程度満足していましたか。

(8)外国語教育

- ◆ 短大においては、04年以前と05年～08年の間に0.3ポイントの上昇が見られる。
- ◆ 大学においては、卒業年による特に大きな差は見られない。
- ◆ 「共通教育科目への英会話関係科目の新設」や「学生の語学力強化プロジェクト」「短大の全学英語科目『英語会話』開設」などの施策を実施しているが、今のところ大学においては、特に顕著な変化は表れていないようである。



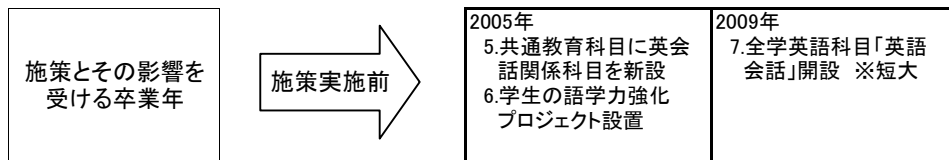
1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～2004	2005～2008	2009
1996～2004		=	=
2005～2008			=
2009			

1元配置分散分析 多重比較の結果(短大)

	1996～2004	2005～2008	2009
1996～2004		<<	=
2005～2008			=
2009			

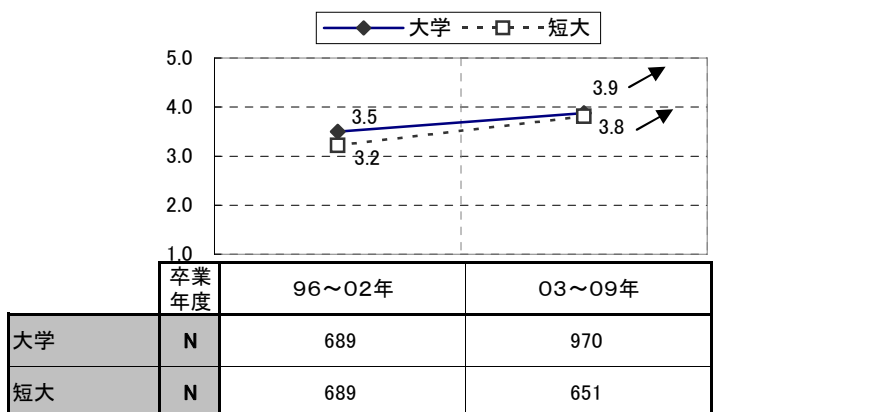
↑ : 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

(9)資格取得、試験対策

- ◆ 大学・短大とも、02年以前と03年以降との間に大きな差が見られる。
- ◆ 上昇幅は0.4～0.6ポイント程度。
- ◆ 各学科における資格取得の充実や、2003年の「エクステンション講座開設」が、「資格取得、試験対策」の評価に影響を与えている可能性が考えられる。



1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～2002	2003～2009
1996～2002		<<
2003～2009		

1元配置分散分析の結果(短大)

	1996～2002	2003～2009
1996～2002		<<
2003～2009		

↑ : 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



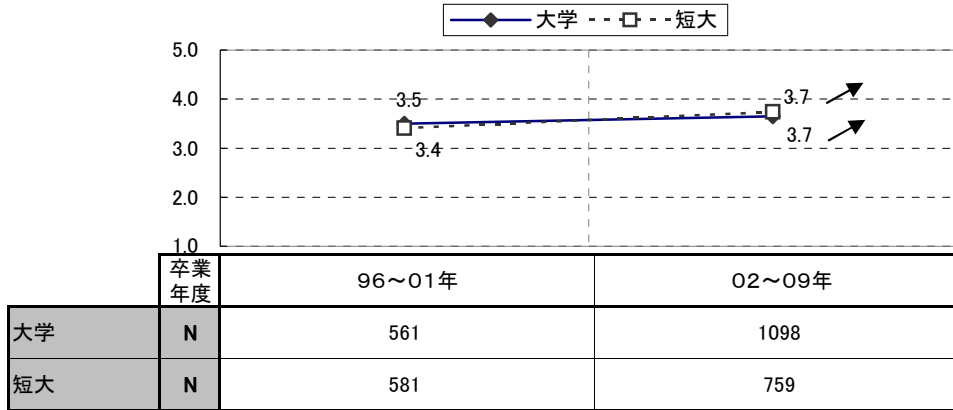
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

6. 学修支援についての評価

問16.あなたは、本学が以下(1)～(7)のような工夫を通して、あなたのよりよい学修を支援していたと思いますか。

(4)履修方法についてのガイダンスが充実していた

- ◆ 大学・短大とも、01年以前と02年以降を比べてみると、0.2～0.3ポイントの上昇。
- ◆ 2002年に「チュードントガイド」の発行を開始しているが、上記の評価上昇はその影響が考えられる。



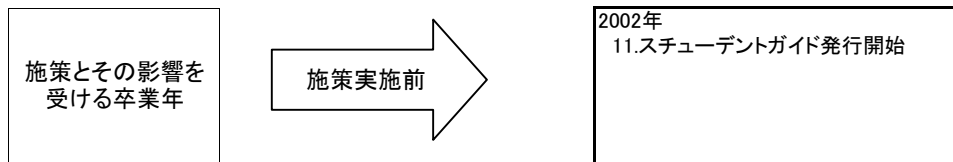
1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～2001	2002～2009
1996～2001		<<
2002～2009		

1元配置分散分析の結果(短大)

	1996～2001	2002～2009
1996～2001		<<
2002～2009		

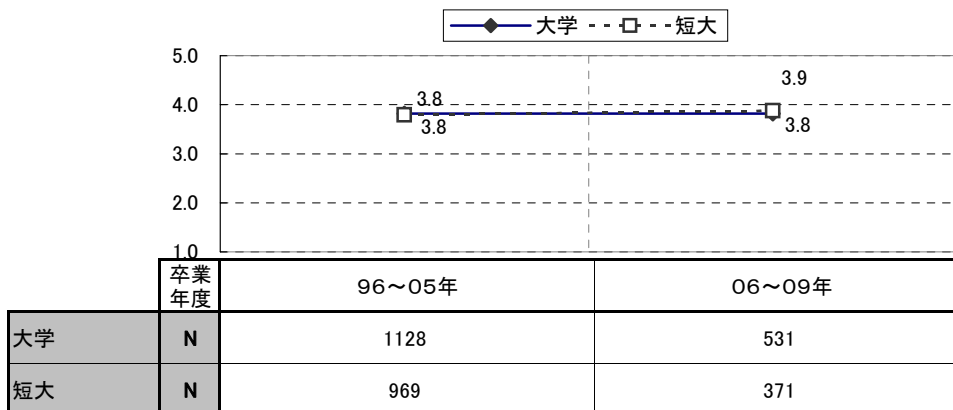
➡ : 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

(6)適切な成績評価がなされていた

- ◆ 大学・短大とも、卒業年による差はほとんど見られない。
- ◆ 2006年に「GPA」導入を実施しているが、今のところまだその影響は表れていない模様。

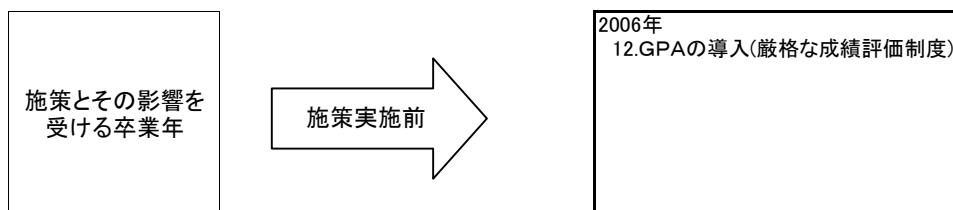


1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～2005	2006～2009
1996～2005		=
2006～2009		

1元配置分散分析の結果(短大)

	1996～2005	2006～2009
1996～2005		=
2006～2009		

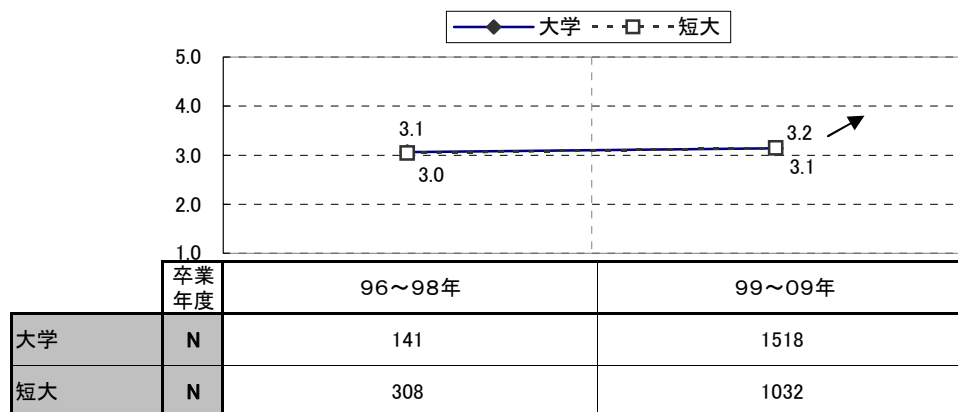


7. 学生生活支援についての満足度

問17-1.あなたは在学中に本学が実施する以下(1)～(10)の学生生活支援についてどの程度満足していましたか。

(1) 学生生活におけるさまざまな悩みの解決支援

- ◆ 大学においては、卒業年による差はほとんど見られない。
- ◆ 1999年に大学において「担任制度の見直し」を実施しているが、その影響は特に顕著には表れていない。



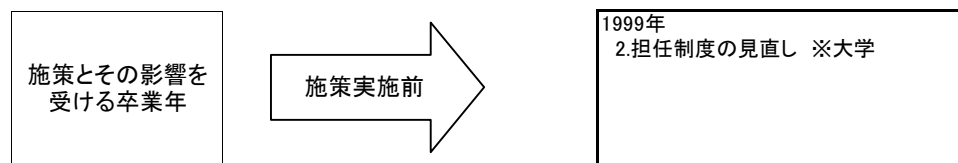
1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～1998	1999～2009
1996～1998		=
1999～2009		

1元配置分散分析の結果(短大)

	1996～1998	1999～2009
1996～1998		<
1999～2009		

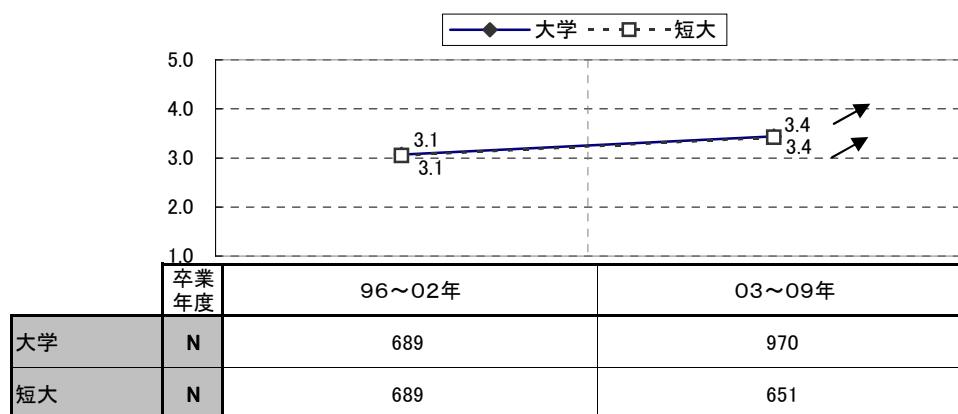
注: 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

(2) 健康管理体制の充実

- ◆ 大学・短大とも、02年以前と03～09年との間で0.3ポイントの上昇が見られる。
- ◆ 2003年に「健康・スポーツクリニック」が開設されたことが、上記の変化に影響を与えていると考えられる。



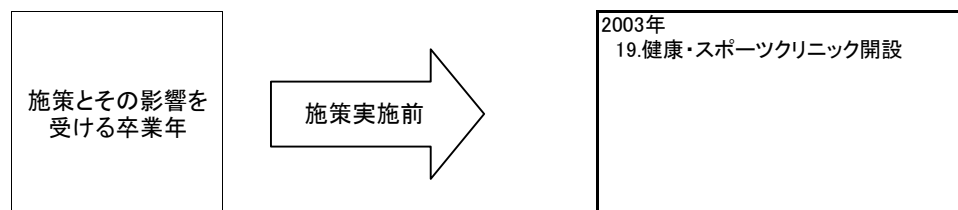
1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～2002	2003～2009
1996～2002		<<
2003～2009		

1元配置分散分析の結果(短大)

	1996～2002	2003～2009
1996～2002		<<
2003～2009		

注: 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



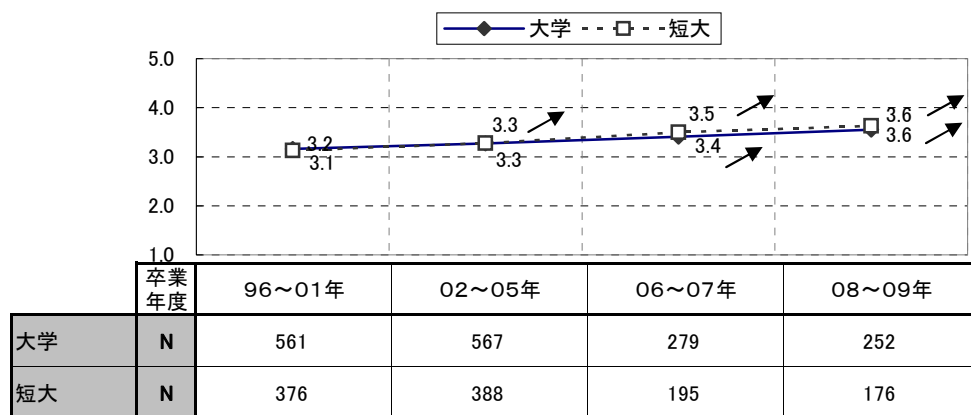
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

7. 学生生活支援についての満足度

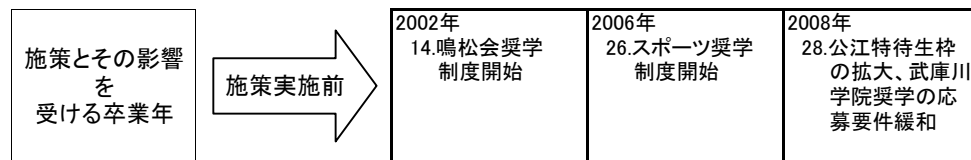
問17-1.あなたは在学中に本学が実施する以下(1)～(10)の学生生活支援についてどの程度満足していましたか。

(3)奨学金制度などの経済的支援

- ◆ 大学・短大とも、01年以前と02～05年、02～05年と06～07年、06～07年と08～09年の各間に僅かずつではあるが上昇が見られる。
- ◆ 「鳴松会奨学金制度」や「スポーツ奨学金制度」「公江特待生枠の拡大、武庫川学院奨学の応募要件緩和」などの施策を実施してきているが、それらの効果が徐々に表れている可能性が考えられる。



： 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



1元配置分散分析 多重比較の結果(大学)

	1996～2001	2002～2005	2006～2007	2008～2009
1996～2001		=	<<	<<
2002～2005			=	<<
2006～2007				=
2008～2009				

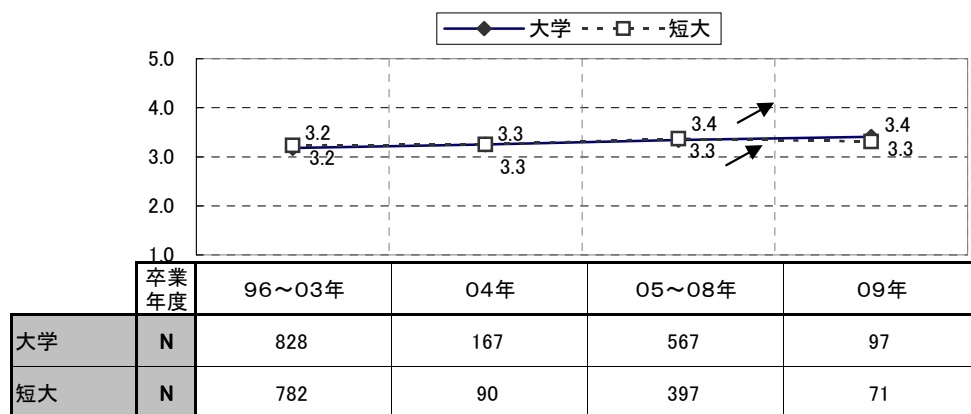
1元配置分散分析 多重比較の結果(短大)

	1996～2001	2002～2005	2006～2007	2008～2009
1996～2001		<<	<<	<<
2002～2005			<<	<<
2006～2007				=
2008～2009				

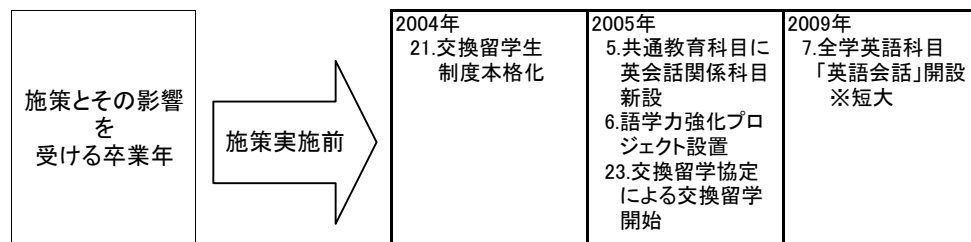
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

(4)留学や語学研修への支援

- ◆ 大学・短大とも、卒業年による特に大きな変化は見られないものの、僅かずつではあるが上昇が見られる。
- ◆ 留学や語学研修への支援に関しては「交換留学生制度」など様々な施策を実施しているが、それらの効果が徐々に表れている可能性が考えられる。



： 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



1元配置分散分析 多重比較の結果(大学)

	1996～2003	2004	2005～2008	2009
1996～2003		=	<<	=
2004			=	=
2005～2008				=
2009				

1元配置分散分析 多重比較の結果(短大)

	1996～2003	2004	2005～2008	2009
1996～2003		=	<	=
2004			=	=
2005～2008				=
2009				

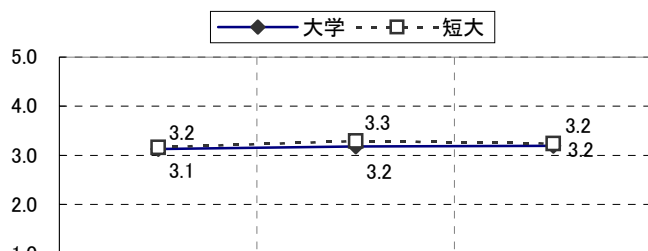
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

7. 学生生活支援についての満足度

問17-1.あなたは在学中に本学が実施する以下(1)～(10)の学生生活支援についてどの程度満足していましたか。

(5)クラブ・サークルなどの課外活動に対する理解や支援

- ◆ 大学・短大とも、卒業年による特に大きな変化は見られない。
- ◆ クラブ・サークルなどの課外活動に関しては「運動部強化支援事業」「強化コーチ制度」など様々な施策を実施しているが、今のところ特に大きな変化は表れていない模様。



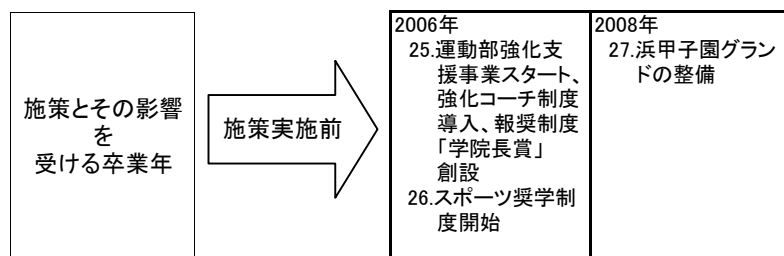
卒業年度		96～05年	06～07年	08～09年
大学	N	1128	279	252
短大	N	969	195	176

1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～2005	2006～2007	2008～2009
1996～2005		=	=
2006～2007			=
2008～2009			

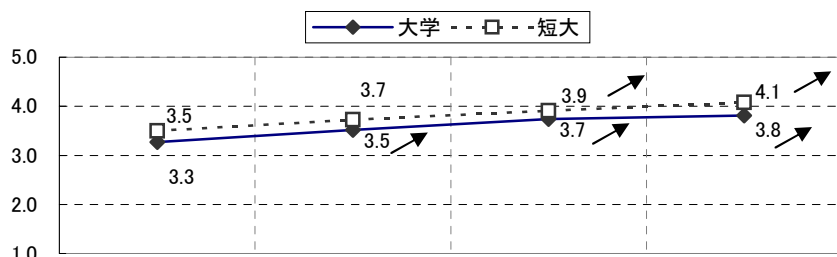
1元配置分散分析の結果(短大)

	1996～2005	2006～2007	2008～2009
1996～2005		=	=
2006～2007			=
2008～2009			



(6)就職活動に対する支援

- ◆ 大学・短大とも、02年以前と03～04年、03～04年と05～08年、05～08年と09年の各間に僅かずつではあるが上昇が見られる。
- ◆ 「就職情報システム(M-NAVI)」など多くの施策を導入してきているが、その効果が徐々に表れているのではないかと考えられる。



卒業年度		96～02年	03～04年	05～08年	09年
大学	N	689	306	567	97
短大	N	689	183	397	71

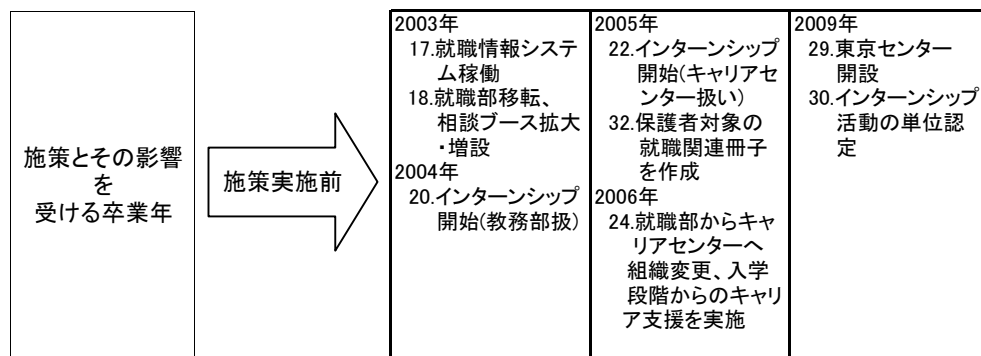
1元配置分散分析 多重比較の結果(大学)

	1996～2002	2003～2004	2005～2008	2009
1996～2002		<<	<<	<<
2003～2004			<	=
2005～2008				=
2009				

1元配置分散分析 多重比較の結果(短大)

	1996～2002	2003～2004	2005～2008	2009
1996～2002		=	<<	<<
2003～2004			=	=
2005～2008				=
2009				

↑ : 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



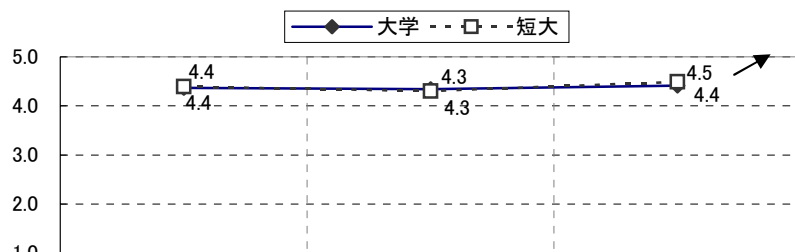
注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

7. 学生生活支援についての満足度

問17-1.あなたは在学中に本学が実施する以下(1)～(10)の学生生活支援についてどの程度満足していましたか。

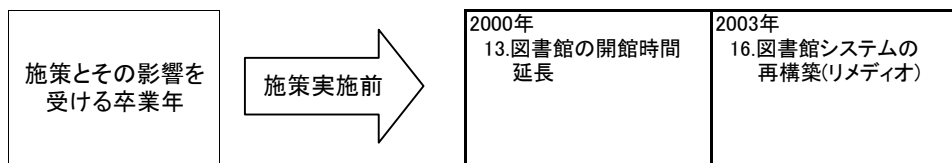
(7)図書館の施設や蔵書の充実

- ◆ 短大においては、00年～02年と03年～09年の間に0.2ポイントの上昇が見られる。
- ◆ 大学においては、卒業年による特に大きな差は見られない。
- ◆ 「図書館の開館時間延長」や「図書館システムの再構築(リメディアオ)」などの施策を実施しているが、短大においてはその効果が徐々に表れているのではないかと考えられる。



卒業年度		96～99年	00～02年	03～09年
大学	N	275	414	970
短大	N	396	293	651

： 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



1元配置分散分析の結果(大学)

	1996～1999	2000～2002	2003～2009
1996～1999		=	=
2000～2002			=
2003～2009			

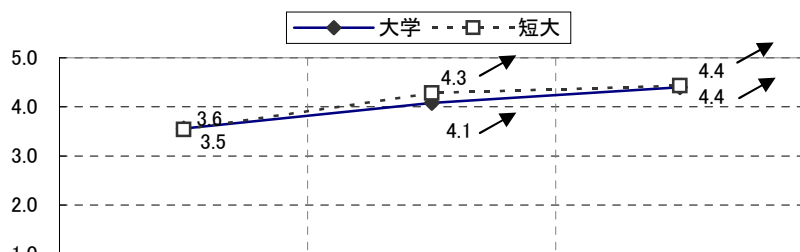
1元配置分散分析 多重比較の結果(短大)

	1996～1999	2000～2002	2003～2009
1996～1999		=	=
2000～2002			<<
2003～2009			

注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

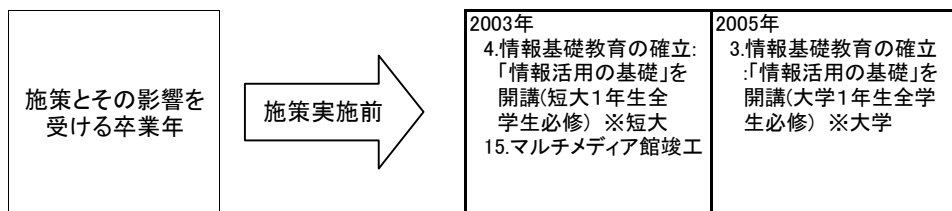
(9)情報処理関係施設や機器の充実

- ◆ 大学・短大とも、02年以前と03～04年との間に大きな差が見られる。
- ◆ 大学においては、03～04年と05年以降との間にも差異が見られる。
- ◆ 「情報活用の基礎の開講」や「マルチメディア館の竣工」などの施策により、上記の変化が表れている可能性が考えられる。



卒業年度		96～02年	03～04年	05～09年
大学	N	689	306	664
短大	N	689	183	468

： 施策実施前後で効果検証をした結果、5%水準で有意差がみられる



1元配置分散分析 多重比較の結果(大学)

	1996～2002	2003～2004	2005～2009
1996～2002		<<	<<
2003～2004			<<
2005～2009			

1元配置分散分析 多重比較の結果(短大)

	1996～2002	2003～2004	2005～2009
1996～2002		<<	<<
2003～2004			=
2005～2009			

注) 表側の卒業年平均値と表頭の卒業年平均値を比較し、後者のほうが有意に大きい場合には、<または<<、また有意に小さい場合には、>または>>で表示。<、>は5%水準、<<、>>は1%水準で有意差があることを示し、=は有意差がないことを示す。

■第3章■

入学満足度と 学びの成果の 要因

入学満足度と学びの成果の要因の分析にあたって

入学満足度と学びの成果に関して、どのような要素が入学満足度／成果に影響を与えているのかを探るため、相関係数を算出し、その強弱を考察するものとした。

本章では、入学満足度／学びの成果との相関係数を算出する項目として、下記の項目を使用した。

- 問11. 仕事重視点 全項目
 - 問12A. 立学の精神の認知 全項目
 - 問12B. 立学の精神への共感 全項目
 - 問13A. 立学の精神実現のための教育活動の実感 全項目
 - 問13B. 立学の精神実現のための教育活動の社会での必要度 全項目
 - 問14A. 本学で身についた能力 全項目
 - 問14B. 本学の教育内容の社会での必要度 全項目
 - 問15A. 教育内容満足度 全項目
 - 問15B. 教育内容の社会での役立ち度 全項目
 - 問16. 学修支援の評価 全項目
 - 問17. 学生生活支援の満足度 全項目
 - 問18A. 在学中の活動意欲度 全項目
 - 問18B. 在学中の活動の社会での役立ち度 全項目
- 計140項目

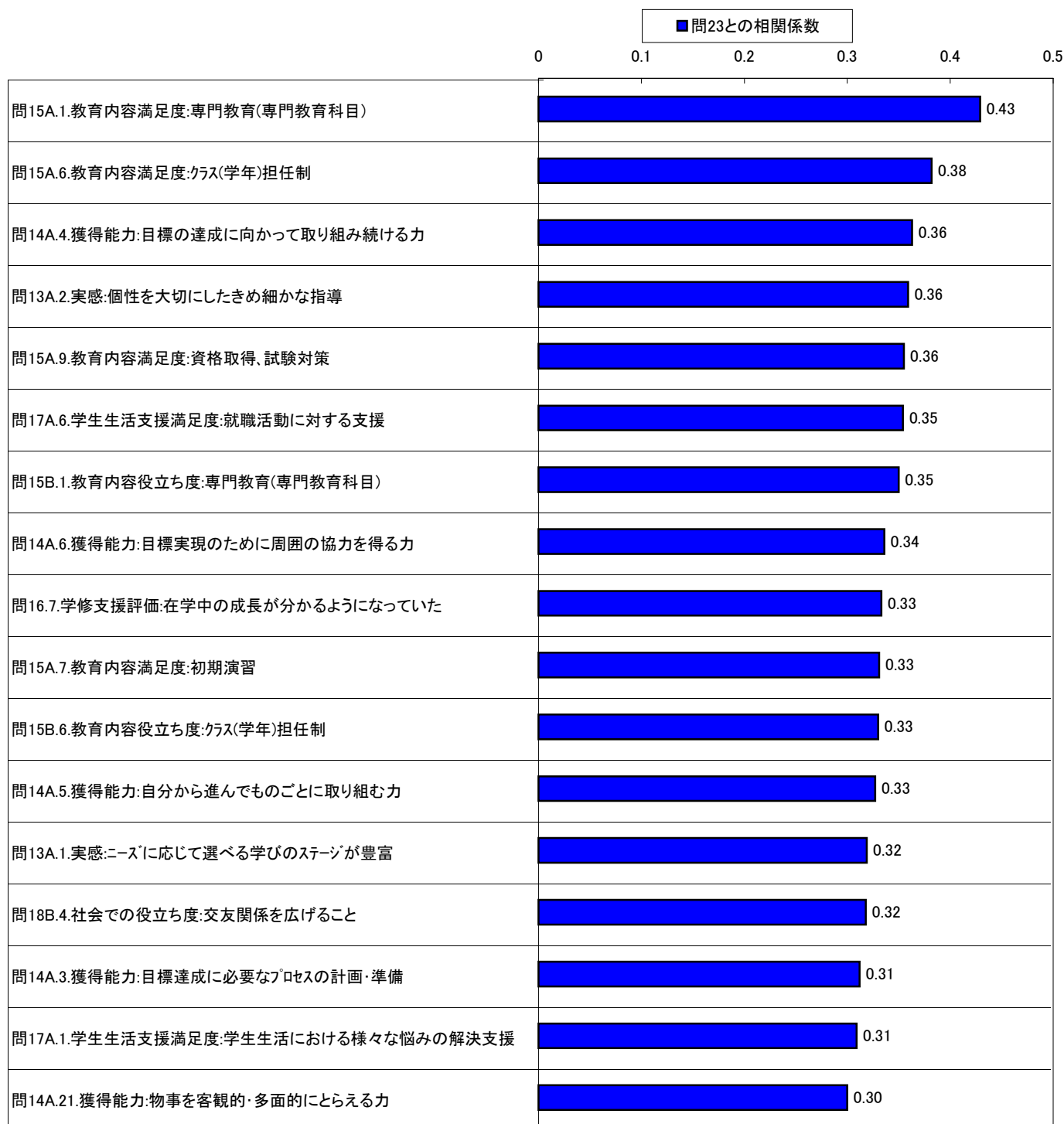
1. 本学への入学満足度に影響を与えていること～大学

問23.あなたは、本学に入学してよかったと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

入学満足度に対してどのような要素が影響を与えているのかを探るため、入学満足度との相関係数を算出し、その強弱を考察した。

- ◆ 大学卒業者に関して、入学満足度との相関係数を見てみると、上位には、全般的に教育内容の満足度(問15A)や本学で身についた能力(問14A)に関する項目が目立つ。
具体的には、「専門教育(専門教育科目)の満足度」や「クラス(学年)担任制の満足度」が上位に挙げられている。
- ◆ また、問15の教育内容ほど具体的ではないが、教育活動の実感度(問13A)も上位項目が目立つ。
「個性を大切にしたいきめ細かな指導」「ニーズに応じて選べる学びのステージが豊富」など、授業の仕方や学びの機会に関する
ことの評価も影響度が高い模様。

本学への入学満足度との相関係数:相関係数0.30以上を抜粋



1. 本学への入学満足度に影響を与えていること～短大

問23.あなたは、本学に入学してよかったと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ◆ 短大卒業者に関して入学満足度との相関係数を見てみると、大学同様上位には、全般的に教育内容の満足度(問15A)や教育内容の社会での役立ち度(問15B)に関する項目が目立つ。
- ◆ 一方、短大は大学と比べると本学で身についた能力(問14A)が上位に挙がってくる傾向が低い。
大学よりも短期間での修学のためか、学修に直接結びつきやすい教育内容の評価をより重視する傾向が表れている可能性が考えられる。
- ◆ 具体的には、入学満足度との相関係数が最も高かったのは、大学と同様教育内容の「専門教育(専門教育科目)の満足度」。
次点も大学同様「クラス(学年)担任制の満足度」。
- ◆ 上記2項目は、社会での役立ち度も相関係数が高い。(大学同様)

本学への入学満足度との相関係数:相関係数0.30以上を抜粋

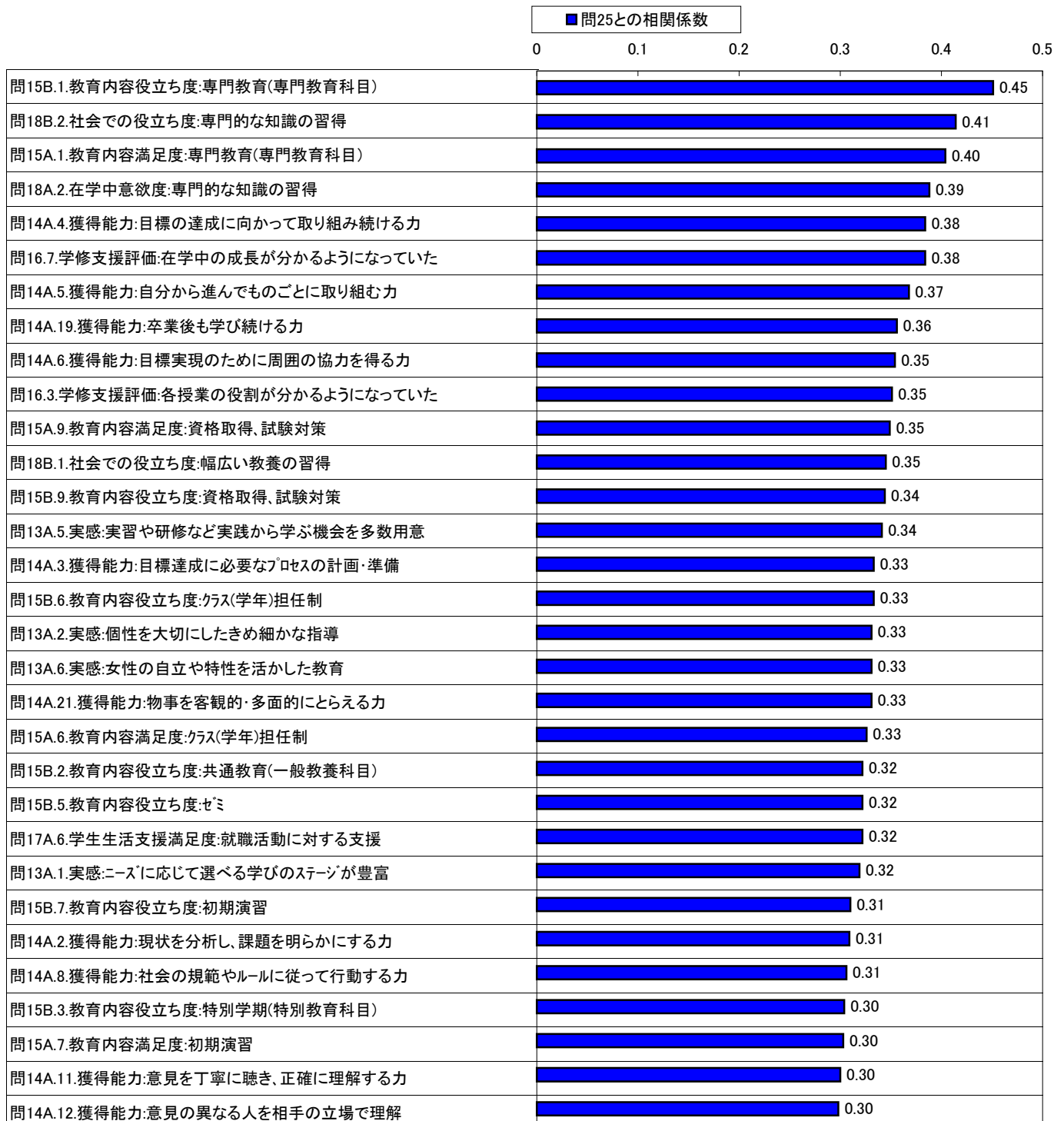


2. 学びの成果に影響を与えていること～大学

問25.あなたは、本学で学んだことが卒業後の生き方、人生観、職業観などになんらかの成果をもたらしたと思いますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ◆ 大学卒業者に関して、学びの成果との相関係数を見てみると、教育内容の満足度(問15A)以上に、教育内容の役立ち度(問15B)が多く上位に挙がってくるのが特徴である。
教育内容が実際に役立っていることを実感できることが学びの成果につながる傾向があると考えられる。
- ◆ また、「目標の達成に向かって取り組み続ける力」や「自分から進んでものごとに取り組む力」など、自発的に目標の達成に向けて物事を進める力を養うことが上位に挙がってくることも特徴。
- ◆ 具体的には、学びの成果との相関係数が最も高かったものは教育内容の「専門教育(専門教育科目)の役立ち度」。次点は「専門的な知識の習得の役立ち度」、第3位は「専門教育(専門教育科目)の満足度」、第4位は「専門的な知識の習得の意欲度」等、専門的な学びに関する項目が上位を占めている。
- ◆ 学びの成果を実感するためには、専門教育科目を中心に教育内容の役立ち度を実感できることや、自ら積極的に取り組む姿勢を身につけることが重要であると考えられる。

学びの成果との相関係数:相関係数0.30以上を抜粋

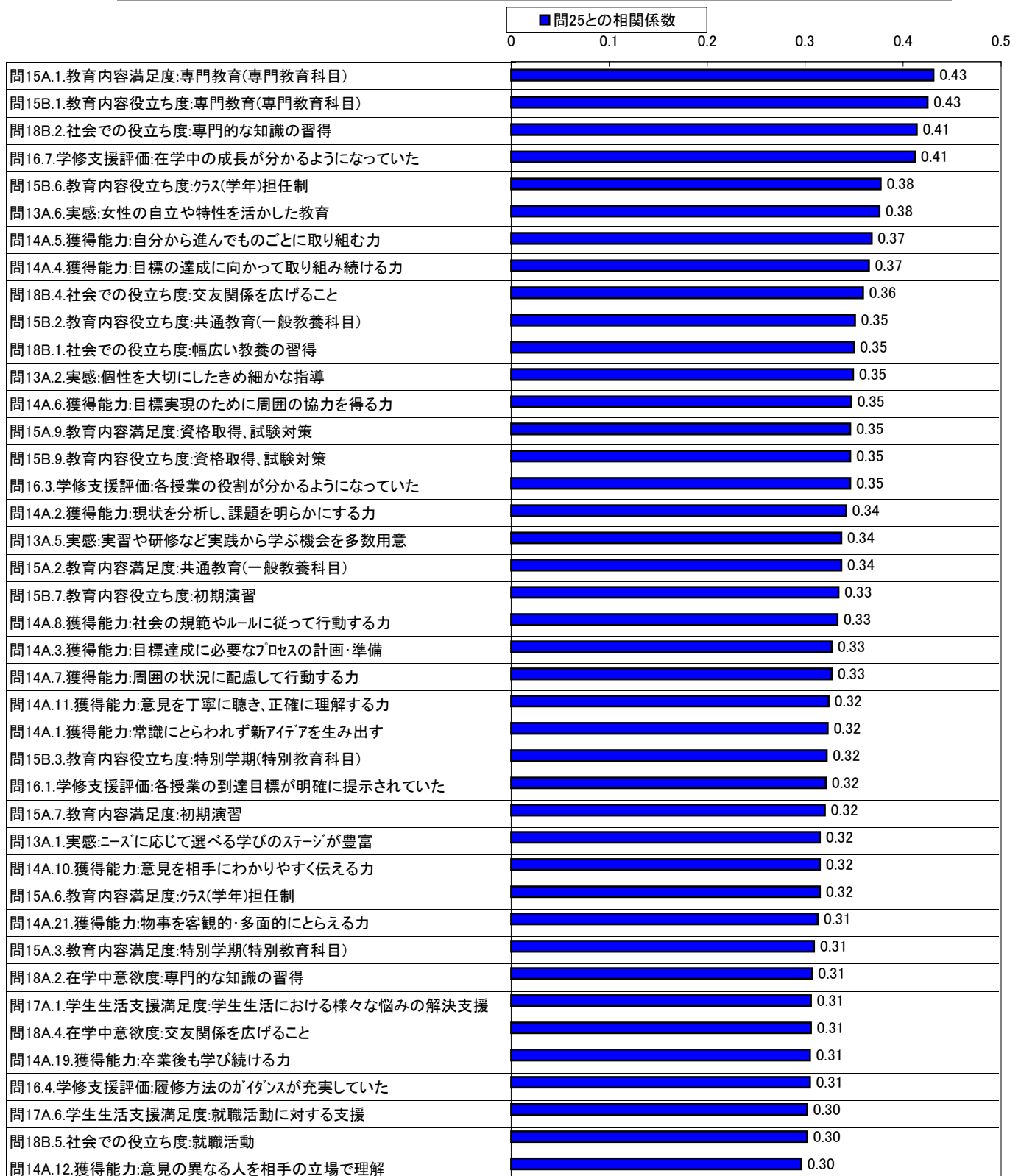


2. 学びの成果に影響を与えていること～短大

問25.あなたは、本学で学んだことが卒業後の生き方、人生観、職業観などになんらかの成果をもたらしたと思いますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ◆ 学びの成果に影響を与えていることに関して、短大の場合も大学同様、教育内容の満足度(問15A)以上に、教育内容の役立ち度(問15B)が多く上位に挙がってくるのが特徴。
- ◆ また、本学で身についた能力(問14)が比較的上位に多く挙がっていることも特徴。
入学満足度ではあまり上位に挙がってこなかった項目群だが、学びの成果に対する影響度は高い模様。
- ◆ 具体的には、教育内容の「専門教育(専門教育科目)の満足度」、「専門教育(専門教育科目)の役立ち度」、「専門的な知識の習得の役立ち度」等、大学同様、専門的な学びに関する項目が上位を占めた。
- ◆ 短大生の学びの成果に関しては、専門的な学びを中心とする教育内容に満足できるか、役立ち度を感じられるかどうかが重要な鍵となってくると推測される。

学びの成果との相関係数:相関係数0.30以上を抜粋



附属資料

調查票

Ⅱ.あなたの現在の状況についてお聞きします。

問6 あなたの現在の就業状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 民間企業の正社員(総合職) | 2. 民間企業の正社員(一般職) |
| 3. 教員・保育士 | 4. 公務員 |
| 5. 派遣・契約社員 | 6. パート・アルバイト・非常勤職員 |
| 7. 自営業主 | 8. 自由業・フリーランス |
| 9. 1.～8.以外の職業 | |
| 10. 専業主婦 | 11. 家事手伝い |
| 12. 学生 | |

1.～9.に○をつけた方は
問7にお進みください。

10.～12.に○をつけた方は
問8にお進みください。

問7 問6で1.～9.を回答された方にお聞きします。あなたの現在の業種であてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------------|-----------------|
| 1. 保健・衛生・医療福祉関係 | 2. スポーツ関係 | 3. 公務員(国・地方自治体) |
| 4. 教育関係 | 5. 音楽関係 | 6. マスコミ・出版関係 |
| 7. 販売・サービス関係 | 8. 商社・金融関係 | 9. 情報・通信関係 |
| 10. 食品・化学関係 | 11. 建設・機械関係 | 12. 農林・水産関係 |
| 13. その他 (具体的に:) | | |

問8 あなたが卒業されたとき、ご希望の進路(就職先・業種・進学先など)に進めましたか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 希望していた進路に進めた 2. 希望していた進路に進めなかった 3. どちらともいえない

問9 卒業後、最初の勤務先(自営業を含む)での勤続年数を記入してください。

*1年未満の方は1年と記入してください。

[] 年

問10 あなたは転職の経験がありますか。転職経験をお持ちの方はその回数を記入してください。

[] 回

Ⅲ.あなたの仕事への考え方についてお聞きします。

問11 あなたが仕事をする上で(もしくは今後働くとしたら仕事をする上で)、重視することは何ですか。

(1)～(19)の項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	重視する	どちらかといえば重視する	どちらともいえない	どちらかといえば重視しない	重視しない
(1) 自分のやりたい仕事であること →	1	2	3	4	5
(2) 給料が高いこと →	1	2	3	4	5
(3) 職場の雰囲気がよいこと →	1	2	3	4	5
(4) 自分の個性や能力が生かせること →	1	2	3	4	5
(5) 長期間安定して働けること →	1	2	3	4	5
(6) 休みが多いこと →	1	2	3	4	5
(7) 自分のやりたいこと(趣味など)と両立できること →	1	2	3	4	5
(8) 仕事を通して資格や技術が身につけられること →	1	2	3	4	5
(9) 地理的条件がよいこと →	1	2	3	4	5
(10) 人や社会の役に立つこと →	1	2	3	4	5
(11) 育児と両立できること →	1	2	3	4	5
(12) 資格を活かせること →	1	2	3	4	5
(13) 好きな時間に働けること →	1	2	3	4	5
(14) 人と接する機会が多いこと →	1	2	3	4	5
(15) 将来独立して事業ができること →	1	2	3	4	5
(16) 働く会社に将来性があること →	1	2	3	4	5
(17) 人や社会から尊敬されること →	1	2	3	4	5
(18) 国際的に働けること →	1	2	3	4	5
(19) 働く会社の知名度が高いこと →	1	2	3	4	5

IV. 本学の教育目標や教育活動についてお聞きます。

問12 本学は、“高い知性、善美な情操、高雅な徳性”を持った、「社会に貢献できる女性の育成」という立学の精神を踏まえ、以下(1)～(9)のような女性を育成することをめざしています。

あなたは、このことを A. 在学中に知っていましたか。

また、このような女性になることを B. 現在のあなたはめざしていますか。

それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	A. 本学がこのような女性育成をめざしていることを					B. このような女性になることをあなたは				
	知っていた	多少知っていた	どちらともいえない	あまり知らなかった	知らなかった	めざしている	どちらかといえばめざしている	どちらともいえない	あまりめざしていない	めざしていない
(1) 自分で課題を見つけ出すことを大切にしている女性 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 自主的・積極的に勉強することを大切にしている女性 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 自分で考え、行動することを大切にしている女性 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 感動を感じる心を大切にしている女性 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) まごころをもって人と接することを大切にしている女性 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 感性を豊かにし、潤いのある心を持つことを大切にしている女性 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 倫理に根ざして物事を考えることを大切にしている女性 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 人を思いやる心を大切にしている女性 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 人のために尽くすことを大切にしている女性 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問13 本学は、問12に示した立学の精神を実現するために、以下(1)～(6)の教育活動を実践してきました。

あなたは在学中、A. それぞれについてどの程度実感していましたか。

また、(1)～(6)の項目は B. 卒業後の社会生活全般にどの程度必要だと思われるか。

それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	A. 在学中にこれらの教育を					B. これらの教育は、卒業後の社会生活全般で				
	実感していた	どちらかといえば実感していた	どちらともいえない	どちらかといえば実感していなかった	実感していなかった	必要である	どちらかといえば必要である	どちらともいえない	どちらかといえば必要ではない	必要ではない
(1) ニーズに応じて選べる学びのステージを豊富に用意している →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 各学生の個性を大切にしたいきめ細かな指導をしている →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 文系・理系を問わず幅広い分野を自由に学べる科目群を用意している →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 実社会で役立つ高度なIT(情報技術)運用能力を養成する →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 実習や研修など実践から学ぶ機会を多数用意している →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 女性の自立や特性を活かした教育が行われている →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

V. 本学を卒業したことによって身についたことをお聞きます。

問14 あなたは本学で教育を受けたことにより、以下(1)～(21)の能力が、A. どの程度身についたと思いますか。

また、B. 社会生活全般でどの程度必要だと思いますか。

それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	A. 本学で教育を受けたことにより、この能力が					B. 卒業後の社会生活全般でこの能力は				
	身についた	ある程度身についた	どちらともいえない	あまり身につけていない	身につけていない	必要である	ある程度必要である	どちらともいえない	あまり必要ではない	必要ではない
(1) 常識にとらわれず、新しいアイデアを生み出す力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 現状を分析し、課題を明らかにする力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 目標を達成するために必要なプロセスを計画し、準備する力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 目標の達成に向かって取り組み続ける力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 自分から進んでものごとに取り組む力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 目標の実現のために周囲の人の協力を得る力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 周囲の状況(人間関係や忙しさなど)に配慮して行動する力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 社会の規範やルールに従って行動する力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) ストレスに対応し、自分の感情をコントロールする力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 自分の意見を相手にわかりやすく伝える力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 相手の意見を丁寧に聴き、内容を正確に理解する力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 自分とは意見の異なる人が、なぜそのように考えるのかを相手の立場で理解する力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 外国語を読み、書き、聞き、話す力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 社会のために行動する力(ボランティア、NPO活動など) →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 多様な情報を整理し、必要な場面で活用する力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) コンピュータを使って、文書や発表資料などを作成する力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 社会が直面する問題を理解する力(地域のまちづくり、少子高齢化問題、環境問題など) →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) ものごとを数式や図表を使って表現・分析する力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 学校の単位などに関係なく、卒業後も学び続ける力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 自国や他国の文化・社会について理解し、尊重する態度 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) ものごとを客観的・多面的にとらえる力 →	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

IX. 本学への総合満足度についてお聞きします。

問23 あなたは、本学に入学してよかったと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 入学してよかった	2. どちらかといえば入学してよかった	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば入学しなければよかった	5. 入学しなければよかった
-------------	---------------------	--------------	------------------------	----------------

問24 あなたは、所属していた学部・学科に満足していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば満足していない	5. 満足していない
-----------	-------------------	--------------	--------------------	------------

問25 あなたは、本学で学んだことが卒業後の生き方、人生観、職業観などになんらかの成果をもたらしたと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない
---------	-----------------	--------------	--------------	-----------

問26 あなたは、本学に興味を持っている家族や知人に入学を勧めたいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 勧めたい	2. どちらかといえば勧めたい	3. どちらともいえない	4. あまり勧めたくない	5. 勧めたくない
---------	-----------------	--------------	--------------	-----------

X. 最後にあなたから、本学や在学生へメッセージをお願いします。

問27 あなたから現在本学で学んでいる学生に対してメッセージがあれば、自由にお書きください。

問28 最後に、あなたから、本学へご意見などございましたら自由にお書きください。

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部
卒業生アンケート調査 結果報告書

2011年3月発行

編集・発行 武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部
自己評価委員会（所管部署：法人室法人課）

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46

※無断転載を禁じます。転載をご希望の場合はご一報ください。